

平成26年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

平成26年度当初予算

目 次

安曇野市の重点項目	2 頁		
議会事務局	5	商工観光部 207
総務部	7	商工労政課 208
総務管理課	8	観光交流促進課 218
職員課	16	都市建設部 227
危機管理課	17	監理課 228
人権男女共同参画課	22	建設課 236
庁舎建設推進課	24	都市計画課 245
政策部	27	建築住宅課 250
政策経営課	28	上下水道部 253
秘書広報課	32	経営管理課 254
情報統計課	34	下水道課 255
財政部	43	会計課 259
財政課	44	教育委員会 教育部 261
市民税課	50	学校教育課 262
資産税課	51	生涯学習課 321
収納課	52	文化課 334
財産管理課	53	図書館交流課 342
市民生活部	59	監査委員事務局 347
地域づくり課	60	選挙管理委員会事務局 349
市民課	65	農業委員会事務局 357
環境課	66	公平委員会事務局 361
廃棄物対策課	71	(特別会計)	
豊科支所地域課	80	同和地区住宅新築資金等貸付 365
穂高支所地域課	83	事業特別会計	
三郷支所地域課	87	国民健康保険特別会計 369
堀金支所地域課	91	後期高齢者医療特別会計 415
明科支所地域課	95	介護保険特別会計 423
福祉部	99	下水道事業特別会計 443
長寿社会課	100	農業集落排水事業特別会計 457
福祉課	108	安曇野市上川手財産区特別会計 463
子ども支援課	120	安曇野市北の沢財産区特別会計 469
保健医療部	149	安曇野市有明山財産区特別会計 475
健康推進課	150	安曇野市富士尾沢財産区特別会 479
介護保険課	166	安曇野市穂高山林財産区特別会 483
国保年金課	168	産業団地造成事業特別会計 487
農林部	171	観光宿泊施設事業特別会計 489
農政課	172		
耕地林務課	192		

安曇野市の重点項目

1	活力あふれるまちづくり
1-1	企業誘致と産業振興による雇用の創出など「地域を元気にする」取組み
1-2	農業の担い手育成と特産品の販路拡大に向けた取組み
1-3	公共施設などを活用した健康増進と癒しの場を創出する取組み
1-4	「滞在型観光」をめざす取組み
2	健康長寿のまちづくり
2-1	健康診断の受診率向上と健康の維持増進を図る実践活動の普及に向けた取組み
2-2	老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み
2-3	地産地消による安全・安心な食生活に向けた取組み
3	豊かな人を育むまちづくり
3-1	出産前から就学までの「子育て支援策を強化」する取組み
3-2	郷土の伝統・文化などを継承する取組み
3-3	国際感覚豊かな人を育てる「子ども育成事業」の取組み
4	環境を守り、安全・安心なまちづくり
4-1	地下水の保全・涵養及び適正利用の取組み
4-2	自助・共助である自主防災組織などの体制強化に向けた取組み
4-3	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに向けた取組み
5	協働によるまちづくりと行政サービスの向上
5-1	区のあり方を明確にし「自治会への加入促進」を図る取組み
5-2	地域の課題解決などのため「地域と行政の連携を強化」する取組み
5-3	市民サービスの充実を基本に健全財政を維持するため、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み

一般会計

議会事務局

予算書ページ	52
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	011401100
		部・課・係等	議会事務局 庶務係(議会)	
		旧	コード	011101100
		部・課・係等	議会事務局 庶務係(議会)	

予算	款	1	議会費	総合計画	基本方針
	項	1	議会費		主要施策
	目	1	議会費		基本施策
	事業	0101010	議会費		具体的な施策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	277,217					277,217
前年度	287,681					287,681
増減額	10,464	0	0	0	0	10,464

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、議会活動への理解を得る場となる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、議会報告会の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。

・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。

・各常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会の視察研修を実施し、それぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	109,464	議員報酬	12	役務費	105	電話FAX料金、新聞広告費
3	職員手当等	37,036	議員期末手当	13	委託料	11,422	会議録調製業務、大型バス運転業務、議長車運転業務等
4	共済費	57,349	議員共済給付費	14	使用料及び賃借料	1,655	コピー機リース料、コピーパフォーマンスチャージ料
8	報償費	636	講師謝礼、行政視察お土産	18	備品購入費	65	図書購入費
9	旅費	4,085	行政視察、議員研修、議長会総会等 旅費	19	負担金補助金及び交付金	3,222	政務活動費、市議会議長会等負担金
10	交際費	180	議長交際費				
11	需用費	5,934	議会だより印刷費、追録代				
上記の合計		231,153	職員の人件費合計	46,064	事業費総合計	277,217	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・本会議の映像配信について、現在はユーストリームを利用してリアルタイムの配信を行っているところであるが、新庁舎での業務開始から、映像配信の安定性に欠ける現在の手法から、新庁舎の議場内に設置したカメラの映像を利用し、テロップなどの情報を付加し、見やすさを考慮して配信することとし、加えて、録画での配信を検討し、議会の取組みについて、多面的な情報発信に取り組み、議会活動への理解を高めていく。

節	金額(千円)	主な内容
13	1,815	映像配信機器保守業務12千円、映像配信機器初期設定業務108千円、会議録配信業務1,695千円(継続事業)
14	197	映像配信機器リース料24千円、映像配信システム使用料173千円
合計	2,012	左記の特定財源

総務部

予算書ページ	56
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010101100		
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当			
予算	款	2	総務費	総合	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	計	主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
目	1	一般管理費	画	基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102010	一般管理費	画	具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		1038080				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,041,057	15	1,500	0	60,002	979,540
前年度	1,087,595	15	1,500	0	76,502	1,009,578
増減額	46,538	0	0	0	16,500	30,038

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	その他証明手数料	1	17	指定寄附金	1				
14	自衛官募集事務委託金	15	20	派遣職員給与費負担金	60,000					
15	特例処理事務交付金	1,500								

【目的・効果】

【目的】

・総務部、政策部、財政部など市の総務部門に従事する職員の給与費等や行政運営経費を計上する。

【効果】

- ・儀礼や会議賄等、行政運営上必要な経費の計上による円滑な行政運営。
- ・市の平和行政(平和祈念式典中学生派遣に係る費用等)の推進。
- ・法定義務により配置する防火管理者、安全運転管理者等の講習受講機会を設ける。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・固定資産評価審査委員報酬及び研修旅費。
- ・特別職・一般職の人件費。
- ・議案作成、本庁機能を維持のための必要経費。
- ・全庁舎に関連するNHK受信料の一括管理。
- ・中学生の広島平和記念式典参加、平和のつどい開催経費。
- ・支出基準による食糧費予算の適正な執行。

【一般財源についての説明】

・新庁舎後の公用車一元管理化を進めるための、公用車関係経費を事業分離したことによる減。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	86	・固定資産評価審査委員報酬 3名分	14	使用料及び賃借料	1,590	・NHK受信料(市施設関係一括計上) 1,586千円
7	賃金	1,611	・本庁電話交換 臨時職員1名	19	負担金及び交付金	412	・安全運転管理者協会費等
8	報償費	443	・平和のつどい講師謝礼20千円、・生徒図書カード等24千円、・ふるさと寄附お礼の品375千円、外				
9	旅費	483	・固定資産評価審査委員研修48千円、・広島平和記念式典随伴旅費 67千円、・記念式典参加生徒等旅費367千円				
11	需用費	1,684	・食糧費20千円 ・議案書、予算書印刷製本費1,484千円				
12	役務費	250	・広告料 160千円 ・危険物取扱保安講習受講 83千円				
13	委託料	269	・公用車運転業務129千円 ・広島平和記念式典バス運転業務 140千円				
上記の合計		6,828	職員の人件費合計	1,034,229	事業費総合計	1,041,057	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

本年度3回目となる平和のつどいを開催する。また、広島平和記念式典へ中学校の生徒代表を派遣する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	44	平和のつどい講演者及び広島参加者の作文集作成、平和のつどいで作文発表に対する謝礼
9	旅費	434	広島平和記念式典参加生徒、随行者の参加旅費、船賃等
11	印刷製本費	127	作文集の印刷製本費
13	委託料	132	市バスの運転委託(運転者2名)料
			有料道路通行料、市バス燃料代は公用車管理費に計上
合計		737	左記の特定財源 一般財源

予算書ページ	56
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010101100
			部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当
		旧	コード	010101100
			部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102020	新本庁舎管理費		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
18,636		18,636	0	0	0	0
						18,636
						0
						18,636

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・新本庁舎を業者から引渡を受けた後の庁舎維持管理を行う。
- ・設置された設備の初動確認や行政情報システム等の移転・事務機器搬入後の警備等。

【効果】

- ・新本庁舎業務開始のため、事務所移転を計画的・合理的に進められる。
- ・各種のシステムや機器の機能、施設設備の点検を行い、業務開始に向けての研修、操作手順の確認等をすすめる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・新本庁舎引き渡しを受けた後、計画的に移転作業を実施する。
 - ・庁舎に設置、導入された各種設備の点検・管理・検査等を実施する。
 - ・設備や施設の管理、警備を行うため、庁舎の委託管理を行う。
- 【参考】
- ・竣工引渡後の新庁舎仮稼働経費
 - ・光熱水費 各種設備電気・水道(防火水槽初期充填含)、下水等の使用料等
 - ・管理委託 1、設備管理(常駐管理委託により、電気、空調、エレベーター等の点検保守の実施)
 - 2、警備管理(施設の常駐警備委託、機械の警備監視委託)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	12,016	電気料 9,047千円、上下水道 509千円、A重油1,069千円、灯油 756千円 外				
13	委託料	6,620	設備常駐管理・エレベータ保守等 2,898千円、警備管理 3,121千円、庁舎周辺管理等 601千円				
上記の合計		18,636	職員の人件費合計 0	事業費総合計	18,636	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・平成26年12月に市へ引き渡しとなった後、新本庁舎の管理を行うための経費。事務所の移転作業は平成27年4月末を予定しているが、その前段で設備機器等の稼働を開始し、業務開始に備えた設備点検確認等を行う。予算では各種の管理経費、委託費用を計上している。
- ・警備については、システム関係の設置準備や事務所レイアウトに沿った備品搬入を進めることから、委託による管理を行う。
- ・光熱水費は、防火水槽、重油タンクへの初期充填や機器通電確認、機能確認のため必要となる。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	光熱水費	12,016	電気料1000kw基本 3,618×2.5月 = 9,047千円、当初充填:A重油@99×1万リットル 1,069千円、灯油@100×7千リットル 756千円
13	管理委託料	6,620	設備常駐管理・エレベータ保守等 2,898千円、警備管理 3,121千円、庁舎周辺管理等 601千円
合計		18,636	左記の特定財源

新	コード	010101300
	部・課・係等	総務部検査室
旧	コード	010902100
	部・課・係等	会計局検査課検査担当

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経済的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務監理費		主要施策	経済的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	健全な自治体運営の推進
	事業	0102180	検査管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	258					258
前年度	275					275
増減額	17	0	0	0	0	17

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・的確な検査実施の為に技術指針等の図書の充実を図り、また実務研修へ参加する。
- ・工事検査においては技術検査を実施し、評価対象工事においては技術検査結果に基づき評価者が公正かつ的確に評価できるようにする。
- ・安曇野市建設工事請負人等選定委員会の審査資料等を作成する。

【効果】

- ・職員の検査、評定技術向上が見込める。
- ・請負業者の指導育成に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・請負契約又は物の買入れ等について契約書、仕様書等に基づいて、適切に履行されているか確認する。
 - ・公共建設工事の評定を公正かつ的確に行い、優良工事の表彰を行うと共に職員及び業者の技術向上に寄与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	8	優良工事表彰記念品(賞状、額、手提げ袋他) 5件				
9	旅費	83	NOMA検査実務研修の交通費(名古屋)、宿泊費、日当 3回				
11	需用費	50	参考図書、事務用品				
12	役務費	15	優良工事表彰の表彰状筆耕料 5件				
19	負担金補助及び交付金	102	NOMA検査実務研修の参加費 3回				
上記の合計		258	職員の人件費合計	0	事業費総合計	258	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	72
--------	----

新	コード	010101200
	部・課・係等	総務部 総務管理課 文書法規担当
旧	コード	010101200
	部・課・係等	総務部 総務課 文書法規担当

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102190	文書管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	92,587				400	92,187
前年度	74,527				400	74,127
増減額	18,060	0	0	0	0	18,060

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	400							

【目的・効果】

【目的】

- ・文書事務・文書管理の適正化を図る。
- ・例規の制定改廃の適正化を図る。

【効果】

- ・行政事務の効率化、市民サービスの公平性を担保する。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 新本庁舎移転に合わせ、より適正な文書管理を行う必要があることから、「ファイリングシステム」の構築、導入を図るため、その準備を行う。
 平成26年度 ファイリングシステム構築及び導入準備
 平成27年度 ファイリングシステム運用開始
 平成28年度以降 ファイリングシステムの定着、維持 の計画を推進する。

その他一般事務

- 文書の收受・発送
- 例規の審査及び例規集の管理
- 行政手続制度の総合調整

【一般財源増加倍理由】 文書管理の適正化のためのファイリングシステム導入経費の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,411	支所間文書配達賃金ほか				
9	旅費	30	職員研修旅費				
11	需用費	9,699	コピー用紙、ファイリングシステム用品				
12	役務費	71,764	郵便料ほか				
13	委託料	7,324	例規システム維持更新、ファイリングシステム導入支援業務委託				
14	使用料及び賃借料	324	判例体系利用料				
19	負担金補助及び交付金	35	職員研修受講料				
上記の合計		92,587	職員の人件費合計	0	事業費総合計	92,587	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

ファイリングシステム構築及び導入

平成27年度の新庁舎開庁に向け、文書管理の適正化、その徹底を図り、執務室環境について、市民及び職員にとっての快適な環境を創出する。
 また、文書の保管、保存の適正化を図り、文書サイクルを維持する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	8,411	ファイリングシステム用フォルダー、ファイリングガイド、ファイルボックス等
13	委託料	3,816	ファイリングシステム構築・導入支援業務委託(コンサルティング)
合計		12,227	左記の特定財源

予算書ページ	74
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010101200
		部・課・係等	総務部 総務管理課 文書法規担当	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010110100
		部・課・係等	総務部 庁舎建設推進課 公文書整理担当	

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102200	公文書整理事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	13,493	国支出金	県支出金	市債	その他	13,493
前年度	16,434		6,247			10,187
増減額	2,941	0	6,247	0	0	3,306

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

旧町村時代の公文書の整理と活用を図る。

【効果】

公文書の整理を行うことにより、文書量の削減 公文書の一元化と検索システム化 歴史的公文書の保存 につながり、今後の行政運営上でのメリットは大きい。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・非現用文書を中心とした整理事業はH25で完了する。
- ・H26からは現用文書を中心とした整理作業を行う。担当は庁舎建設推進課から総務管理課文書法規担当へ移る。
- ・各総合支所等に保管されている旧町村時代の公文書すべてにバーコードを付け検索・管理システムへ登録する。
- ・長期保存文書(永年)であっても、実質、使われていないものについては極力非現用化を進め、文書量の削減につなげる。
- ・歴史資料とした公文書については、当面穂高会館等へ収蔵する。今後、活用に向けてその取り扱いを検討する。

【一般財源増加理由】 昨年は賃金とシステム構築費を緊急雇用対策事業で対応していたため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	8,683	非常勤職員賃金(作業員3名、パンチャー2名)	18	備品購入費	54	台車、整理用踏台
11	需用費	1,809	事務用消耗品(バーコードシール、マスク等) 事務室暖房用灯油 整理、保存用封筒印刷				
12	役務費	26	建築確認申請手数料				
13	委託料	1,323	管理・検索システム変更業務、公文書燻蒸処理業務、廃棄物処理費、用途変更に伴う確認委託料				
14	使用料及び賃借料	107	コピー機リース料及び保守使用料				
15	工事請負費	1,491	上川手就労センター改修工事				
上記の合計		13,493	職員の人件費合計 0	事業費総合計	13,493	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・H27.5の新本庁舎への移動に伴い、本庁・合庁・豊科総合支所の公文書の仮置き場を確保するため、上川手就労センターの床を補強する改修を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	26	建築確認申請手数料
13	委託料	281	用途変更に係る確認委託料
15	工事請負費	1,491	上川手就労センター改修工事費
合計		1,798	左記の特定財源

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当	
予算	款	2	総務費	
	項	1	総務管理費	
事業	目	6	企画費	
	0102310	行政改革		

総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	基本施策	行政改革の推進
	具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	788	0	0	0	0	788
前年度	1,094	0	0	0	0	1,094
増減額	306	0	0	0	0	306

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・第2次安曇野市行財政改革大綱に掲げた実施計画の進捗管理及び第3次大綱の策定に着手
- ・平成26年度指定期間が終了する公の施設及び新規施設等の指定管理者の選定

【効果】

- ・第2次大綱に掲げた実施計画の確実かつ着実な推進を図るとともに、市民意見を反映させた第3次大綱の策定が行える。
- ・指定管理者の応募団体等の審査にあたり、公正・公平な選定が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・第2次行財政改革大綱の実施計画について、「行政改革推進委員会」へ進捗状況等の報告を行い意見を求める。また、第2次大綱の計画期間が平成26年度までであることから、第3次大綱策定にあたり委員会に諮問し答申を求める。
- ・「公の施設指定管理者審査委員会」に、募集要項及び応募団体等審査を依頼する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	766	行政改革推進委員会及び指定管理者審査委員会委員報酬				
11	需用費	22	参考図書外				
上記の合計		788	職員の人件費合計	0	事業費総合計	788	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	92
--------	----

重点項目番号	5	新	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当	
旧		コード	010101100	
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	11	諸費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102420	諸費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,620	2,100	520	0	0	0	0
						2,620
						2,100
						520

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市の行政運営における法的問題を適正且つ迅速に対応するため、市の考え方に対する助言と指導を受ける。
- ・市が被告とされる係争事件の口頭弁論対応と課題の早期解決を図るため、訴訟代理人弁護委託を行う。

【効果】

- ・法的な問題を解決し、理解と協力が得られる行政運営の実現。
- ・職員負担の軽減と的確な裁判対応。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政運営上の法的問題等を早期解決するため、顧問弁護士を選任する。
- ・係争中の事件では、訴訟代理人弁護士の口頭弁論出廷に係る日当・旅費を支出する。
- ・弁護士への相談、助言を求めると、書類の作成を委託した場合の委託費用。

【前年度を上回った理由】

- ・25年度に起きた係争案件の管轄が東京地方裁判所となり、弁護士旅費等の支出が予想されるため。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	2,620	顧問弁護士の委託及び書類作成等 2,160千円 現在係争中の事件に係る実費弁償、日当 460千円				
上記の合計		2,620	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,620	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	96
--------	----

重点項目番号	5	新	コード	010101200
		部・課・係等	総務部 総務管理課 文書法規担当	
重点項目番号	5	旧	コード	010101200
		部・課・係等	総務部 総務課 文書法規担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	12	情報公開費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102450	情報公開管理費		具体的な施策	行政資料の公表・情報提供の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	231				100	131
前年度	255				100	155
増減額	24	0	0	0	0	24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】

【目的】

情報公開事務の適正化

【効果】

情報公開請求者・市民の行政に対する理解が進む。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 情報公開事務の適正化を図り、情報公開制度の適切な運用を推進する。
 個人情報取扱事務の適正化を図り、個人情報の適切な取り扱いと保護を両立する。

情報公開又は個人情報開示に対する異議申立てに対する情報公開・個人情報保護審査委員会への諮問、答申事務を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬				
8	報償費	30	不服申立てに対する答申書作成謝礼				
9	旅費	48	委員旅費				
11	需用費	52	参考図書、目隠しテープほか				
上記の合計		231	職員の人件費合計	0	事業費総合計	231	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	58
--------	----

新	コード	010102100
	部・課・係等	総務部 職員課 職員担当
旧	コード	010102100
	部・課・係等	総務部 人事課 職員担当

重点項目番号	5-3
--------	-----

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102030	職員管理		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	833,365	0	0	0	709	832,656
前年度	796,735	0	978	0	728	795,029
増減額	36,630	0	978	0	19	37,627

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	20	職員健康診断共済組合補助		469	20	共済組合研修会助成		100	709
	20	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金		8	20	健康管理証明料		1	
	20	団体定期保険事務費外		131					

【目的・効果】

【目的】

・市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現のため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置を行うとともに、定員適正化計画に基づく適正な管理を行う。
 ・人材育成システムの中心となる人事評価制度及び職員研修の実施により、職員の意識改革及び職務遂行能力の向上を図り、組織力の強化と拡充を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成19年に人材育成の総合的・効果的な推進するために策定した職員人材育成方針の改訂を行う。
- ・人事評価に対する職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るために、職員研修を実施する。また、人材育成、職員の処遇等の反映に向け、人事評価結果を運用及び活用する。
- ・人事評価制度を根幹とした複線型人事制度の検討を進める。
- ・職場内研修(OJT)の充実と職務階層別の内部研修・外部研修の計画的な実施により、職員の意識開発・組織的人材育成の風土づくりなどを行う。
- ・職員の定員適正化計画に基づき、適正な定員管理及び職員採用を行う。
- ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・カウンセリング事業等を実施する。

【一般財源増加理由】 非常勤職員社会保険料(22,893千円増)、職員作業服等(2,552千円)、臨時賃金【総合支所対応分】(2,124千円)、派遣職員日額旅費(1,541千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,080	産業医報酬(2人分)	13	委託料	22,424	職員採用試験(一次試験・二次試験)、職員研修、人事制度構築・研修・システム保守運用業務)
4	共済費	179,414	非常勤職員社会保険料・公務災害	14	使用料及び賃借料	2,846	人事評価システム借上料
7	賃金	11,219	正職員不在時対応分(一般事務6人分)、総合支所対応分(三郷支所1名分、豊科・穂高支所2名分)、人事課配置分(2名分)	19	負担金補助及び交付金	3,422	職員研修負担金、職員自主研修助成金
8	報償費	669	研修講師謝礼、職員提案制度基調講演会講師謝礼、退職者記念品、研修等土産				
9	旅費	9,136	職員研修旅費、複線型人事制度プロジェクトチーム先進地視察日当、派遣職員日額旅費				
11	需用費	2,922	職員管理事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				
12	役務費	309	職員採用活動(学生向け就職サイト利用料、就職合同説明会参加手数料)、職員健康診断医務委託料				
上記の合計		233,441	職員の人件費合計	599,924	事業費総合計	833,365	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	270
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係	
		旧	コード	010108100
		部・課・係等	総務部 危機管理室 消防防災担当	

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109010	常備消防負担金		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	949,566	国支出金	県支出金	市債	その他	943,067
前年度	975,279				4,313	970,966
増減額	25,713	0	0	0	2,186	27,899

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	高速自動車道救急支弁金	6,499							

【目的・効果】

【目的】

・常備消防の松本広域消防局が行う消防、救急業務が、効率的、効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について構成団体として応分の負担をする。

【効果】

・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施され、市民の安全と安心の確保が図れた。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

当年度の一般財源額が前年度を上回った理由; 実施内容、これまでの経過等

・常備消防分 ...940,956,000円

・高速自動車道救急事業分...6,499,500円

「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出した。

・県消防防災航空隊の隊員1名の増員と出動件数の増加により負担金が前年度より264千円の増。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	2,110	県消防防災航空隊				
19	負担金及び交付金	947,456	松本広域連合負担金(常備消防分、高速自動車道救急事業)				
上記の合計		949,566	職員の人件費合計	0	事業費総合計	949,566	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	270
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010108100
		部・課・係等	総務部 危機管理室 消防防災担当	

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	2	非常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109020	非常備消防費		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	227,898	国支出金	県支出金	市債	その他	196,274
前年度	237,658			19,300	19,362	198,996
増減額	9,760	0	0	13,000	5,962	2,722

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	消防団員退職報償金	19,865	21	防災基盤整備事業	6,300				
20	消防団員等公務災害補償給付金	5,220								
20	消防団員福祉共済	239								

【目的・効果】

【目的】

・火災時における初期消火活動の充実、強化。多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化。

【効果】

・火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化が図れた。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・消防組織法第9条に定める消防団の運営

・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等

・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安心、安全を確保するための活動を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	26,437	消防団員報酬、消防委員報酬	13	委託料	201	運転代行委託
5	災害補償費	5,221	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	982	ポンプ操法会場・簡易トイレ等借り上げ料他
7	賃金	2,637	臨時職員賃金	18	備品購入費	8,500	消防車両
8	報償費	47,479	災害・訓練等出勤・出席謝礼 退団者退職報奨金	19	負担金補助及び交付金	43,708	消防団員退職報償金掛金、消防団運営費補助金他
9	旅費	170	消防団幹部視察研修、女性消防隊視察研修他	27	公課費	1,143	自動車重量税
11	需用費	14,382	ポンプ用ホース外、法被外、本部車・消防車両・可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕他				
12	役務費	2,638	消防車輛検査登録				
上記の合計		153,498	職員の人員費合計	74,400	事業費総合計	227,898	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・少子化にともなって、消防団員の減少と高齢化が危惧されています。このような状況のなかで消防団員の確保と団員の処遇改善のため、市消防団サポート事業を平成26年7月を目途に実施します。この事業は、市内外の店舗等にご協力をお願いし、消防団員に対する優遇措置を設けていただくものです。具体的には、「団員証」を提示した消防団員に対して、商品価格の割引や購入ポイントの割増などのサービス提供をお願いするものです。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	388	消防団員優待制度団員証外 ((団員証200円×1,500枚×1.08)+(店舗表示証300円×200枚×1.08))
合計		388	左記の特定財源

予算書ページ	272
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係	
旧		コード	010108100	
		部・課・係等	総務部 危機管理室 消防防災担当	

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	65,839					65,839
前年度	43,700					43,700
増減額	22,139	0	0	0	0	22,139

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
- ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。

【効果】

- ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・本市に望ましい消防水利の基準数は、10,370メッシュ(1メッシュ:140×140:1基の消火栓か防火水槽)であり、現状として約6,900メッシュが不足している。充足率は約34%であるため、継続的に消防水利施設を設置する。
 - ・当年度に新設する消防水利は、防火水槽2基と消火栓13基である。新設については、区等の要望を聴取するとともに、現有消防水利施設の設置場所の確認、メッシュとの整合性を図り推進する。
 - ・当年度の一般財源額が前年度を上回った主な理由は、消火栓の新設及び更新等の基数が増加したものです。

【一般財源増加理由】 消火栓設置に伴う負担金(6,892千円増) 防火水槽設置に関わる実施設計委託(443千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	8,623	消火栓用ホース、消防団詰所修繕費、消防団詰所光熱水費外				
12	役務費	79	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請手数料				
13	委託料	7,183	消防団詰所耐震化整備工事実施設計委託料、防火水槽撤去工事設計監理委託料外				
14	使用料及び賃借料	381	消防設備用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	25,731	防火水槽撤去工事(明科 上押野区)、詰所耐震改修工事(4棟)外				
18	備品購入費	972	消火栓ホース格納箱				
19	負担金補助及び交付金	22,870	消火栓維持修繕13基、新設13基外				
上記の合計		65,839	職員の人件費合計 0	事業費総合計	65,839	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・水槽が地上に露出して水面が見える「無蓋(むがい)の防火水槽」は、設置後20年以上経過し、管理上の安全面等から年次計画で撤去を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	2,196,000	3基撤去/年。無蓋防火水槽の設置状況...豊科地域11基、明科地域23基、堀金地域25基
合計		2,196,000	左記の特定財源

予算書ページ	272
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010108100
		部・課・係等	総務部 危機管理室 消防防災担当	

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費		具体的な施策	防災施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	477,441	国支出金	県支出金	市債	その他	90,221
前年度	124,705			63,300	20	61,385
増減額	352,736	0	0	323,900	0	28,836

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	戸別受信機設置負担金	20							
21	防災行政無線設備整備事業	387,200								

【目的・効果】

【目的】

・防災行政無線を適切に管理し、災害時の緊急連絡に万全を期して、市民の安全確保に資するもの。

【効果】

・アナログ波からデジタル波への移行が図られ、電波の質の向上、多重チャンネルによる相互通信等が可能となる。老朽化した設備を更新することにより、故障との不具合を解消でき、修理費、維持管理費の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域の災害時の連絡体制を確保するため、現在運用中の2系統の防災行政無線(デジタル移動系1系統、アナログ同報系1系統)の定期的な保守・点検を実施し、現在実施中のデジタル防災行政無線確立までの運用を担保するとともに、同無線システムに付随する電気・回線・電波使用料を賄うものです。

【一般財源増加理由】 デジタル同報系防災無線整備工事が債務負担行為による契約(2年目)であり、本庁舎建設にあわせて新設備の導入と既設設備の新本庁舎への移設による必要経費が増んだため、他、同報系拡声子局整備による火の見櫓撤去工事の増によるものです。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,862	防災無線屋外受信機電気料、戸別受信機修繕他				
12	役務費	7	防災行政無線資格取得手数料				
13	委託料	27,510	防災行政無線設備保守点検、デジタル同報系防災行政無線施工監理業務委託				
14	使用料及び賃借料	2,151	電波利用料、NTT回線使用料他				
15	工事請負費	444,702	デジタル同報系防災行政無線整備工事、デジタル移動系防災行政無線移設工事他				
19	負担金補助及び交付金	146	県防災無線設備保守管理経費(豊科・穂高・堀金支所)、第3級陸上無線技士養成講習会				
22	補償補填及び賠償金	63	屋外拡声子局整備に伴う既存工作物移設補償				
上記の合計		477,441	職員の人件費合計	0	事業費総合計	477,441	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	274
--------	-----

重点項目番号	4-2	新	コード	010103100
		部・課・係等	総務部危機管理課危機管理担当	
旧		コード	010108100	
		部・課・係等	総務部危機管理室消防防災担当	

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	4	災害対策費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109050	災害対策費		具体的な施策	危機管理体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	411,667	国支出金	県支出金	市債	その他	86,867
前年度	95,716			27,900		67,816
増減額	315,951	0	0	296,900	0	19,051

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	庁舎建設事業		324,800						

【目的・効果】

【目的】

・市民の生命及び財産への被害に直結する事態に迅速かつ的確に対処するため、危機管理体制の充実・強化、防災施設の整備、自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。

【効果】

・自然災害などから市民の身体・生命・財産を守る災害に強いまちづくりのための態勢が確立される。
 ・自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図ることにより、防災減災社会が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・防災減災社会の構築を図るため、防災広場の整備及び災害支援ツールの整備を推進する。
 ・長野県地震対策基礎調査結果に基づき、地域の実情に応じた食糧、飲料水、生活必需品、災害対策用資器材の備蓄を推進する。併せて、必要量を備蓄できる備蓄倉庫の整備を推進をする。
 ・自主防災組織の充実・強化を図るため、資機材整備、訓練実施する際の補助金制度、自主防災アドバイザーの任命による地域防災リーダーの養成による地域間での連携体制の強化を図る。
 ・市民の防災意識(危機管理意識)の高揚と自助の浸透を図るため、防災用品助成事業を推進する。
 ・平成26年12月に防災広場の完成を予定しており、防災広場用地造成外工事外及び光熱費、備品購入費等の増額、備蓄計画見直しによる災害用備蓄品購入費の増額。

【一般財源増加理由】 主に災害対策備蓄品購入費(32,935千円増)、防災広場整備事業(26,792千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	77	防災会議委員の報酬(3500円×11名分)	15	工事請負費	338,540	防災広場用地造成外工事、造園及び付帯工事、管理事務所・車庫建築工事
8	報償費	220	防災講演会講師謝礼	18	備品購入費	6,856	災害用救助用品、地理情報システム(GIS)パソコン、防災広場備品、大型発電機
9	旅費	131	職員研修、防災講演会講師旅費実施弁償	19	負担金補助及び交付金	14,397	自主防災組織資機材整備、防災訓練補助、防災用品購入助成事業補助金
11	需用費	36,299	災害対策備蓄品、防災訓練食糧費外				
12	役務費	56	自主防災アドバイザー(5名)保険料外				
13	委託料	11,356	緊急メール配信システム保守委託、業務継続計画、防災広場建築施工監理業務外、防災マップ修正委託				
14	使用料及び賃借料	3,735	緊急メール配信システム借上、衛星電話使用料外				
上記の合計		411,667	職員の人件費合計	0	事業費総合計	411,667	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	90
--------	----

新	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係
旧	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共同参画係

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,564		400		133	2,031
前年度	4,277					4,277
増減額	1,713	0	400	0	133	2,246

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
内訳	13	厚生住宅使用料		132					533
	13	厚生住宅使用料滞納繰越分		1					
	15	地域人権啓発活動活性化事業委託金		400					

【目的・効果】

【目的】

・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。

【効果】

・人権に対する啓発・広報活動を進めることで、人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
 ・人権擁護団体の育成を図ることで、支援・連携しながら、啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・県の「地域人権啓発活動活性化事業」による「人権の花運動」他の啓発活動、「人権のつどい」等市民参加事業を法務局、人権擁護委員会や人権推進団体と共に実施する。
 ・地域イベント等市民が多く参加する場において人権啓発活動を行う。
 ・成人式において新成人に啓発を行い、人権擁護意識の高揚を図る。
 ・法務局、人権擁護委員による「人権相談所」を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
 ・同和対策推進団体と共に同和対策事業を推進する。
 ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加、支援する。
 ・社会教育担当と「企業人権啓発事業」を推進する。
 ・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
8	報償費	32	「人権のつどい」託児サービス謝礼、人権作文受賞者記念品他				
9	旅費	25	人権施策関連集会参加参加職員旅費				
11	需用費	683	地域人権啓発活動活性化事業「人権の花運動」他の人権啓発用品、人権相談所開設贈り、広報チラシ印刷				
12	役務費	29	「人権のつどい」託児サービス保険料、手話通訳料金				
19	負担金補助及び交付金	1,742	人権擁護委員他人権擁護推進団体への負担金及び同和対策推進団体、社会を明るくする運動実施団体への補助金				
上記の合計		2,564	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,564	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	136
--------	-----

新	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係
旧	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共同参画係

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	協働によるまちまちづくりの推進
	項	1	社会福祉費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	4	男女共同施策費		基本施策	男女共同参画の推進
	事業	0103220	男女共同施策費		具体的な施策	女性の社会活動参画推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	951					951
前年度	1,377					1,377
増減額	426	0	0	0	0	426

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、その個性と能力を十分に発揮することができる 男女共同参画の実現を目指す。

【効果】

・国県市の施策を事業者や推進関係団体と連携し協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
 ・女性の社会活動を推進するため、啓発や学習を展開することで、自らの意識改革に向けた機会を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・男女共同参画推進審議会を開催し、「第2次男女共同参画計画」の推進状況を審議していただく。
- ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
- ・自治会や地域公民館等、地域活動の中で男女共同参画コミュニケーターによる啓発活動を行う。
- ・男女共同参画推進団体、コミュニケーターと連携し、市民に呼びかけ「男女共同参画講座」を開催し、学習の機会を提供する。
- ・企業人権啓発事業とタイアップし事業者に男女共同参画推進を啓発する。
- ・各種研修会や国や県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材育成を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	119	男女共同参画推進審議会委員報酬				
8	謝礼	16	フォーラム託児サービス謝礼				
9	旅費	16	男女共同参画推進団体視察研修、大会参加随員職員旅費				
11	需用費	75	啓発用チラシ用紙、会議資料、啓発用品作成消耗品				
12	役務費	18	フォーラム託児サービス、コミュニケーター傷害保険料				
13	委託料	157	大会・研修会・視察研修 バス運転委託料				
19	負担金補助及び交付金	550	男女共同参画推進団体補助金				
上記の合計		951	職員の人件費合計	0	事業費総合計	951	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	60
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010105100
		部・課・係等	総務部 庁舎建設推進課 建設担当	
		旧	コード	010110100
		部・課・係等	総務部 庁舎建設推進課 建設担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102040	本庁駐車場整備事業		具体的な施策	業務の効率化

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	51,556					51,556
前年度						0
増減額	51,556	0	0	0	0	51,556

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 用地交渉、周辺住民への説明、土地利用条例に基づく特定開発事業に係る申請手続きの準備等をし、適正規模の職員駐車場を整備する他、公用車駐車場を整備する。
【効果】
 職員駐車場を確保し、自家用車で通勤する職員が安心して職務に専念できる執務環境の整備が図られ、効果的かつ効率的な公務が行なわれる。新本庁舎北側に公用車駐車場を整備することで、迅速な公務遂行が図られる。これらを一体的に整備することで、乱開発が防げられ、周辺の良好な居住環境が保たれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 新規事業
 ・土地所有者との用地交渉
 ・周辺住民への説明会の実施
 ・実施設計
 ・土地利用条例に基づく特定開発事業の申請(地元説明会)
 ・農地法に基づく申請(転用許可)
 ・造成工事

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	5,811	職員駐車場造成測量設計業務管理委託料						
15	工事請負費	45,425	職員駐車場造成工事、公用車駐車場整備						
22	補償補填及び賠償金	320	農業用倉庫取り壊し賠償金						
上記の合計		51,556	職員の人件費合計	0	事業費総合計		51,556	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・職員駐車場造成測量設計業務
 ・職員駐車場造成工事
 ・公用車駐車場整備

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	5,811	職員駐車場造成測量設計業務管理委託料
15	工事請負費	45,425	職員駐車場造成工事、公用車駐車場整備
22	補償補填及び賠償金	320	農業用倉庫取り壊し賠償金
合計		51,556	左記の特定財源

予算書ページ	60
--------	----

新	コード	010105100
	部・課・係等	総務部 庁舎建設推進課 建設担当
旧	コード	010110100
	部・課・係等	総務部 庁舎建設推進課 建設担当

重点項目番号	5-3
--------	-----

予算	款	2	総務費	総 計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102050	本庁舎建設事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	3,023,208	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	1,719,355		51,200	2,509,000	331,718	131,290
増減額	1,303,853	0	51,200	878,500	244,396	129,757

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市町村合併特例交付金	51,200	21	庁舎建設事業	2,509,000				
16	安曇野市庁舎建設基金利子	2,228								
18	庁舎建設基金繰入金	329,490								

【目的・効果】

- 【目的】9ヶ所の庁舎を統合することで、市民の皆様の利便を向上させると共に、分庁による非効率な経費を削減する。
 ・老朽化が著しい庁舎に替り、省エネ・省資源に配慮し、防災拠点としての機能も果たす庁舎を建設する。
 【効果】市民の皆様の利便性向上や、防災拠点としての機能を充実させると共に、市の一体感醸成の拠点となる。
 ・部局間の連携強化により、複雑化する行政課題の解決や意思決定のスピードアップが図れる。
 ・建設場所 安曇野市豊科6000番地 敷地面積 17,630.47㎡・延床面積 21,467.82㎡(内、容積対象面積 17,095.48㎡)
 ・規模、構造 地上4階 地下1階 免震構造 鉄筋コンクリート造、プレキャスト・プレストレストコンクリート造、一部鉄骨造

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・本庁舎建設工事の進行にあわせ、外構工事、通信・弱電工事に着手する。
- ・備品、消耗品の転用計画を作成し、必要物品を購入する。
- ・本庁舎のPRとして、工事期間中や竣工後に市民対象の見学会を開催する。

〔一般財源増加理由〕 地方債の対象とならない、備品購入費等の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	581	竣工式イベント出演料	18	備品購入費	291,000	本庁舎で使用する備品購入費
09	旅費	58	検査員旅費	19	負担金補助及び交付金	3,724	下水道加入者負担金、中部電力工事費負担金、NTT移転工事費負担金
11	需用費	5,820	本庁舎開庁時消耗品、本庁舎パンフレット	25	積立金	2,229	庁舎建設基金積立金利子
12	役務費	623	完成検査手数料				
13	委託料	30,849	什器等整備計画作成業務委託、建築施工監理業務委託				
14	使用料及び賃借料	1,290	駐車場用地借地料				
15	工事請負費	2,687,034	本庁舎建設本体工事、本庁舎外構工事、本庁舎通信・弱電工事、西側出入口改修工事				

上記の合計	3,023,208	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,023,208	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・本庁舎の工事進行にあわせ、外構工事、通信・弱電工事を行う。
- ・本庁舎竣工に伴い、竣工式イベントを開催する。
- ・開庁に備え、転用品以外の備品消耗品の購入を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	581	竣工式イベント出演料、庁舎管理業務委託業者選定プロポーザル審査委員謝礼
11	需用費	5,738	本庁舎開庁時消耗品、本庁舎パンフレット
12	役務費	623	竣工式案内状、完成検査手数料
13	委託料	18,721	什器等整備計画作成業務委託、新庁舎竣工式業務委託、外構工事施工監理業務委託
15	工事請負費	144,357	本庁舎通信・弱電工事、本庁舎外構工事、西側出入口改修工事
その他		294,724	備品購入費、中部電力工事費負担金、NTT移転工事費負担金
合計		464,744	左記の特定財源 合併特例交付金(51,200)、市債(2,509,000)、庁舎建設基金利子・繰入金(331,718)

政策部

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5 - 3	新	コード	010201100
			部・課・係等	政策部政策経営課企画担当
		旧	コード	010201100
			部・課・係等	企画財政部企画政策課企画担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	6	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102320	企画総務費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	31,620	国支出金	県支出金	市債	その他	30,300
前年度	33,076		20		478	32,578
増減額	1,456	0	1,300	0	478	2,278

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	土地利用対策交付金	20							1,320
	15	地域主導型自然エネルギー創出支援事業	1,300							

【目的・効果】

【目的】

- 行政評価:行政運営の透明性、信頼性の向上、総合計画の適正な進行管理、行政資源の効率的な活用及び職員の意識改革
- 移住等促進
- 市歌制定:新市において検討するとされた合併合意項目であるシンボルの制定のうち未制定の市歌について、市の一体感の醸成のため市制施行10周年を契機に制定
- その他:AED管理

【効果】

- 行政評価:
- 移住等促進
- 市歌制定:市内外への情報発信と市民の一体感の醸成
- その他:AED救急救命率の向上

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【行政評価関係】

行政評価に基づき、事務事業評価 外部評価 施策評価 部局の経営方針 外部評価の事後検証のサイクルによる取り組みを引き続き行う

【移住等促進関係】

仮称「安曇野市移住・定住促進計画」の策定
都市圏での「安曇野暮らしセミナー」開催(市主催3回・県等主催3回程度)
移住ガイドブック「安曇野暮らしのスミ」改訂(2,000部 主に都市圏へ設置)

【市歌の制定】

制定委員会を設置し、作詞は全国等から募集、選定、表彰、作曲は、専門家へ委託し音源等を作成し、平成27年度の市制施行10周年式典等で披露(案)

【一般財源増加理由】 臨時職員賃金(1,186)、市歌制定関係(5,119)、AED購入(11,093)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1,469	市歌制定関係(979)、行政評価(226)、移住定住関係(264)				
9	旅費	668	市歌制定関係(278)、移住定住関係(242)				
11	需用費	1,923	市歌制定関係(260)、移住ガイドブック(437)、AED(841)				
13	委託料	9,932	バス運行委託(107)、市歌制定関係(3,600) 地中熱利用調査委託(5,735)				
14	使用料及び賃借料	71	公用車駐車料(60)、会場使用料(11)				
18	備品購入費	1,037	AED機器購入				
19	負担金補助及び交付金	16,520	松本広域連合総務費負担金(15,943)				
上記の合計		31,620	職員の人件費合計 0	事業費総計	31,620	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- 市歌制定:(仮称)「市歌制定委員会」を設置し、歌詞の募集、作曲の方法等の審議をいただき、平成27年度の制定を目指す。
- 公共施設への自然エネルギー利用システムの導入を検討するため、地中熱利用調査を平成26年度に行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	979	委員出席(279)、謝礼(100)、歌詞入選賞金等(600)
9	旅費	281	実費弁償(133)、職員(148)
11	需用費	259	委員会賄い(9)、募集チラシ印刷(200)、事務用品(50)
13	委託料	9,335	作曲(3,500)、CD作成(100)、地中熱利用調査委託(5,735)
合計		10,854	左記の特定財源 0

予算書ページ	82
--------	----

新	コード	010201100
	部・課・係等	政策部政策経営企画担当
旧	コード	010201100
	部・課・係等	企画財政部企画政策課企画担当

重点項目番号	2
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	社会性を増進させる交通環境の整備
	項	1	総務管理費		主要施策	公共交通体系の充実
	目	6	企画費		基本施策	生活交通としての利用促進
	事業	0102330	新公共交通構築運行事業		具体的な施策	デマンド交通等の運行の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,331					81,331
前年度	93,299					93,299
増減額	11,968	0	0	0	0	11,968

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

1 市民の移動手段の確保・維持

【効果】

1 市民生活の質的向上

2 地域間交流の促進による市域全体の活性化

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 大幅な財政負担増を招かないような「あづみん」定時定路線の利便性向上策の検討
- 2 「あづみん」等に係る市内タクシー事業者4社への運行委託単価(現在2,100円/1h)の見直し
- 3 「あづみん」等に係る運行車両の更新に伴う基本的考え方の整理(市購入又は運行事業者購入等)
- 4 運行システム備品(NTTが構築した受付・配車システム)の整備

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	使用料及び賃借料	13	田沢駅構内定時定路線標識設置料				
18	備品購入費	908	運行システム備品(バックアップ機器等)				
19	負担金補助及び交付金	80,410	市地域公共交通協議会負担金(運行委託費、運行管理費等)				
上記の合計		81,331	職員の人件費合計	0	事業費総合計	81,331	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	010201200			予算書ページ	92
		部・課・係等	政策部 政策経営課 都市交流係					
予算	款	2	旧	コード	010101300			
	項	1	部・課・係等	総務部 総務課 都市交流・国際係				
目	11	総務費		総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成		
事業	0102430		国内友好交流事業		主要施策	文化を学び育むまち		
					基本施策	交流活動の推進		
					具体的な施策	都市間の連携と交流の推進		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,731	3,446	2,285	0	0	0	655
						225
						430
						5,076
						3,221
						1,855

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	交流事業参加負担金	655							

【目的・効果】

【目的】

友好提携都市との連携・交流を深め、市民や地域などが主体となる多様な交流を展開し、文化交流と人材育成を推進する。

【効果】

友好提携を結ぶ国内都市との交流事業を通し、市の特産品ならびに安曇野市自体を発信することができる。
市の特産品ならびに安曇野市自体の発信により、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。
青少年交流事業において、各都市の自然・文化・伝統に触れる中で視野の広い青少年の育成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

友好提携を結ぶ武蔵野市、江戸川区、福岡市東区、三郷市、三郷町、真鶴町へのイベントへ25年度同様参加する。さらに、武蔵野市...隔年で実施している市民交流「武蔵野市芸術文化の旅」の開催年度であり、参加者を募集して実施する。
江戸川区...穂高町時代からの友好提携40周年にあたるため、江戸川区で計画されている記念事業への理事者等の参加。
また、40周年記念として市民交流事業を当市で計画している。さらに、社会教育課で対応していた江戸川区の花火大会への招待事業が当係の担当となるため、参加者を募集の上実施する。
福岡市東区...例年実施している青少年交流事業の受入れ年度となるため、参加者を募集の上実施する。
真鶴町...社会教育課で対応していた青少年交流が当係の担当となり、26年度は受入れ年度となるため、参加者を募集の上実施する。

[一般財源増加理由] 組織改編による参加交流イベントの増(898千円)、交流事業の受入れ年度による増(1,328千円)、江戸川区友好提携40周年記念による増(8

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	54	福岡市東区、真鶴町交流事業参加看護師賃金		19	負担金及び交付金	960	友好都市協議会負担金、友好都市イベント参加負担金、市民交流実施団体への補助金	
8	報償費	807	青少年交流事業受入れに係る指導者等謝礼 友好都市イベント開催に係る土産等						
9	旅費	784	友好都市イベントへの参加に係る職員旅費 江戸川区友好提携40周年記念事業参加議員旅費						
11	需用費	790	福岡市東区、真鶴町青少年交流事業に係る消耗品 青少年交流事業と市民交流事業に係る食糧費						
12	役務費	189	イベント使用法被クリーニング代 イベント参加傷害保険料						
13	委託料	393	交流事業に係る車両運行業務委託料						
14	使用料及び賃借料	1,754	交流事業に係る物品等借上げ料、駐車場使用料、友好都市参加者宿泊施設使用料、有料施設入場料						
上記の合計		5,731	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,731	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・江戸川区花火大会招待事業対応、真鶴町青少年交流事業については組織改編により社会教育課こども支援係から、都市交流係へ移管される。
・江戸川区友好提携40周年に係る事業については、江戸川区担当から記念行事への市長はじめ市関係者の参加要請があった。当市としては友好交流における市民参加を進める意味で、観光課が26年度に開催する「安曇野ハーフマラソン」を軸に市民交流を計画。
・26年度は、東区交流の受入れ年度となるため関係予算を計上。
・隔年実施の「武蔵野市芸術文化の旅」の開催年度であるため関係予算を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
7	賃金	54	福岡市東区、真鶴町青少年交流受入れに係る参加看護師賃金	
8	報償費	407	江戸川区友好提携40周年記念関連事業記念品、土産等	
9	旅費	335	江戸川区友好提携40周年記念事業、江戸川花火大会、武蔵野市芸術文化の旅参加旅費	
11	需用費	744	江戸川区、福岡市東区、真鶴町交流事業に係る消耗品費、食糧費	
12	役務費	76	江戸川区、武蔵野市、真鶴町交流事業に係る傷害保険料	
	委託料/使用料及び賃借料	1,996	江戸川区、武蔵野市、福岡市東区、真鶴町交流に係る車両運行業務委託料及び有料施設使用料	
合計		3,612	左記の特定財源	交流事業参加負担金(655)

予算書ページ	94
--------	----

重点項目番号	3	新	コード	010201200
		部・課・係等	政策部 政策経営課 都市交流係	
旧		コード	010101300	
		部・課・係等	総務部 総務課 都市交流・国際係	

予算	款	2	総務費	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	総務監理費	主要施策	文化を学び育むまち
	目	11	諸費	基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業	具体的な施策	国際交流の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,229				1,004	2,225
前年度	979				967	12
増減額	2,250	0	0	0	37	2,213

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年交流事業支援基金利子	27							
	16	国際交流基金利子	93							
	18	国際交流基金繰入金	884							

【目的・効果】

【目的】

広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。

【効果】

国外友好交流都市のクラムザッハとの交流事業を通して、市ならびに日本文化を広く発信できる。クラムザッハの青少年と市の青少年が交流することにより、広い視野と国際感覚豊かな青少年の育成を行うことができる。青少年が生きた外国語に触れることにより、英語等の外国語を身近なものとして捉え、外国文化に通じた青少年の育成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

国外友好交流都市であるクラムザッハとの交流事業を進める。
 平成24年3月に青少年交流で安曇野市の青少年がクラムザッハを訪問し、同年6月に市長はじめクラムザッハ友好会の公式訪問が行われている。この公式訪問の際、首長が行う公式行事は4年に1回を目途にし、その間に青少年交流を進めることが確認されている。
 26年度はクラムザッハの青少年を受入れるが、クラムザッハ町長の来日も平成19年以降滞っているため、双方の訪日を同時に行えるように呼び掛ける。26年度予算の増額分はこれら訪日団受け入れに係る予算である。
 また、市内で活動している国際交流団体の上部団体への負担金補助とともに、活動補助金を交付し民間の国際交流事業の促進を図り、国際化を担う市民の育成に努める。

[一般財源増理由] 25年度未実施であったクラムザッハとの交流事業について、26年度は受け入れを呼び掛けるため事業に係る予算が増となっている。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	495	青少年交流事業におけるホームステイの受け入れ謝礼ならびに、訪日団への土産代等	25	積立金	28	青少年交流事業支援基金利子
9	旅費	50	クラムザッハ訪日団の東京への迎いに係る職員旅費				
11	需用費	837	クラムザッハ訪日団滞在に伴う食糧費等				
12	役務費	9	クラムザッハ訪日団受け入れに伴う地元参加者、通訳傷害保険				
13	委託料	205	クラムザッハ訪日団の東京送迎と安曇野滞在時の車両運行業務委託				
14	使用料及び賃借料	711	クラムザッハ町長はじめ行政関係者の宿泊施設使用料と、青少年を含めた一行の有料施設入場料				
19	負担金補助及び交付金	894	日中友好協会の上部団体への負担金ならびに、補助団体への活動補助金				
上記の合計		3,229	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,229	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・平成5年10月クラムザッハ町長豊科町へ公式訪問。姉妹都市提携調印。
 - ・平成19年11月クラムザッハ町長来訪。安曇野市と姉妹都市提携を再提携。
 - ・平成24年3月青少年交流として12名がクラムザッハを訪問。
 - ・平成24年6月安曇野市長、クラムザッハ友好会公式訪問
- 前回22年度に青少年交流を受け入れた際には、全員ホテルに宿泊の上の交流事業であったが、26年度は青少年についてはクラムザッハ友好会員の自宅にホームステイして交流を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	495	青少年交流事業におけるホームステイの受け入れ謝礼ならびに、訪日団への土産代等
9	旅費	50	クラムザッハ訪日団の東京への迎いに係る職員旅費
11	需用費	837	クラムザッハ訪日団滞在に伴う食糧費等
12	役務費	9	通訳ならびに青少年交流における地元参加者の保険料
13	委託料	205	クラムザッハ訪日団の東京送迎と安曇野滞在時の車両運行業務委託
14	使用料及び賃借料	711	クラムザッハ町長、友好会長はじめ行政関係者他の宿泊施設使用料と、青少年を含めた一行の有料施設入場料
合計		2,307	左記の特定財源

予算書ページ	62
--------	----

重点項目番号	5	新	コード	010202100
		部・課・係等	政策部秘書広報課秘書広報担当	
		旧	コード	010103100
		部・課・係等	総務部秘書広報課秘書広報担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102060	秘書・渉外		具体的な施策	-

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,454				300	5,154
前年度	5,561				300	5,261
増減額	107	0	0	0	0	107

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	新年祝賀会会費	300							

【目的・効果】

【目的】

・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。

【効果】

- ・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
- ・新年祝賀会及び功労表彰により、市の一体感の醸成が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市長日程・交際費等を情報公開し、開かれた市政を進める。
- ・市功労表彰式を開催し、功労者に対して感謝と敬意を表する。
- ・市長・市議ほか、市民が一堂に会し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
- ・県市長会等を通じ、各市と連携のもとに、政策要望を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	229	市功労表彰者記念品、表彰者写真代、渉外土産						
09	旅費	1,049	市長・副市長、随員職員旅費						
10	交際費	960	市長・副市長交際費						
11	需用費	833	事務消耗品、新年祝賀会会食費、名刺印刷代他						
12	役務費	110	表彰状等筆耕料他						
14	使用料及び賃借料	450	功労表彰式及び新年祝賀会会場使用料						
19	負担金補助及び交付金	1,823	県、北信越、全国市長会負担金						
上記の合計		5,454	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,454	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	74
--------	----

重点項目番号	5	新	コード	010202100
		部・課・係等	政策部秘書広報課秘書広報担当	
重点項目番号	5	旧	コード	010103100
		部・課・係等	総務部秘書広報課秘書広報担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102210	広報費		具体的な施策	広報制度の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	40,595	国支出金	県支出金	市債	その他	37,715
前年度	38,753				2,880	35,951
増減額	1,842	0	0	0	78	1,764

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	広告料収入	2,880							

【目的・効果】

【目的】

・広報紙やホームページ、防災行政無線などの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。

【効果】

- ・市の事業にかかわるさまざま情報(詳細な内容、現状、課題)を市民に知ってもらうことができる。
- ・市政への関心、参画意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市発行の全市民向け広報紙を作成配布する。発行部数 37,000部(発行月の第1水曜日 お知らせ版 第3水曜日 通常版 年21回発行)
- ・市ホームページで市政情報を広く発信する。
 広報紙は新聞販売店を通じて、全世帯に迅速に届ける。
 広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源を確保する。
 ホームページのお問い合わせフォーム等で市民意見をお寄せいただき広聴の充実にも努める。
- ・防災行政無線で広く市政情報を発信する。

【一般財源増加理由】 広報発行ページの増、市長と語る会手話通訳の人数の増、配布委託(市の全戸配布物・世帯数)の増、研修負担金の増

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
9	旅費	87	写真セミナー、基礎セミナー、ホームページセミナー参加旅費						
11	需用費	16,366	広報紙印刷費、市長記者会見パネル用消耗品費						
12	役務費	83	市長と語る会手話通訳料						
13	委託料	23,704	広報紙配布委託料、ホームページ自動翻訳料						
18	備品購入費	251	取材用広角レンズ、取材データ保存用メモリー、記事校正ソフト						
19	負担金	104	日本広報協会負担金、広報研修会参加負担金						
上記の合計		40,595	職員の人件費合計	0	事業費総合計	40,595	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	86
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010203100
			部・課・係等	政策部情報統計課情報政策係
		旧	コード	010202100
			部・課・係等	企画財政部情報政策課情報政策係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
507,656	164,409	343,247	0	0	0	644
						644
						644

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	644							644

【目的・効果】

【目的】

・行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。

【効果】

・情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 ・行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
 ・情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。
 ・情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
 ・情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
 ・新本庁舎における総合窓口運用を支援するためのシステムを導入する。
 ・新本庁舎竣工後、現在のサーバールームにある機器を新本庁舎に移設する。
 ・平成27年度の共通番号制度開始に向けて、現行システムの改修を行う。

【一般財源増加理由】 「電算システム更新事業」の予算を本事業に統合し、共通番号制度対応に係るシステム改修及び新本庁舎のネットワーク構築、情報システム機器等の移設経費等を新たに計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	4	システム更新に係る先進地への視察の際の土産代	18	備品購入費	100	リース満了機器の買い取り
9	旅費	415	情報システム研修や先進地視察に係る旅費	19	負担金補助及び交付金	90	地方自治情報センター会費
11	需用費	36,903	プリンタのトナー代、納付書等帳票用紙代、パソコン・プリンタ等修繕費				
12	役務費	32,059	支所、出先、インターネットへの接続に係るネットワーク通信料				
13	委託料	227,643	各種情報システム保守料、総合窓口支援システム導入委託料、新本庁舎への移設委託料				
14	使用料及び賃借料	210,342	パソコン、プリンタ、各種情報システムリース料、ケーブルテレビ・各種情報システム使用料				
15	工事請負費	100	電柱移設に伴う通信ケーブル移設工事費				
上記の合計		507,656	職員の人件費合計	0	事業費総合計	507,656	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・新本庁舎における総合窓口運用を支援するためのシステムを導入する。
 ・新本庁舎竣工後、現在のサーバールームにある機器を新本庁舎に移設する。
 ・平成27年度の共通番号制度開始に向けて、現行システムの改修を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	141,687	総合窓口支援システム導入委託、共通番号制度に係るシステム改修委託、新本庁舎のネットワーク構築及び情報機器等移設委託
14	使用料	694	総合窓口支援システム使用料
合計		142,381	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	新	コード	010203100
			部・課・係等	政策部情報統計課情報政策係
		旧	コード	010202100
			部・課・係等	企画財政部情報政策課情報政策係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,969					8,969
前年度	9,111					9,111
増減額	142	0	0	0	0	142

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・電子申請・公的個人認証等情報化による市民生活の利便性向上や防災・減災システムを構築し、安心して暮らせるまちづくりに寄与する。
【効果】
 ・公的個人認証により、税務署等に出向がなくても所得税還付・確定申告ができる。
 ・LGWAN(総合行政ネットワーク)からの、給与支払報告書や確定申告書等のデータ受信を行うことにより、迅速・正確に市税の課税事務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
 ・ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加依頼に伴う設定情報の追加・修正を行う。
 ・大規模災害に備え、本庁・総合支所間及び小中学校への既設ネットワークについて、無線によるネットワークを追加構築し強靱化を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	4,325	LGWAN等情報システム保守								
14	使用料及び賃借料	3,759	LGWAN等情報システムリース料								
19	負担金補助及び交付金	885	情報ブロードウェイながの利用負担金、ながの電子申請利用負担金								
上記の合計		8,969	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,969	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・大規模災害に備え、本庁・総合支所間及び小中学校への既設ネットワークについて、無線によるネットワークを追加構築し強靱化を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	786	ネットワーク強靱化機器等保守料	
14	使用料及び賃借料	2,804	ネットワーク強靱化機器等リース料	
合計		3,590	左記の特定財源	

予算書ページ	108
--------	-----

重点項目番号	5	新	コード	010203200
			部・課・係等	政策部情報統計課統計係
		旧	コード	010201200
			部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	統計調査総務費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	322		19			303
前年度	316		24			292
増減額	6	0	5	0	0	11

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	統計調査員確保対策事業	委託金	19									19

【目的・効果】

【目的】

・「安曇野市の統計」の冊子の作成及びホームページへ統計データ掲載し、各種施策に役立てることを目的としています。
 ・国が行う統計調査の実施にあたり県からの委託により調査員の推薦を行い、調査を円滑に実施するために登録調査員の確保を行っています。

【効果】市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表し、これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されています。また、登録調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進します。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・「安曇野市の統計」の製本・印刷・配布及びホームページへの統計データを掲載します。
 ・統計登録調査員の確保、統計調査員・指導員台帳の作成整備を行います。

【一般財源増加理由】消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	30	統計調査関係資料の整理等						
11	需用費	264	「安曇野市の統計」冊子の印刷製本						
12	役務費	10	統計調査委員書連絡郵便料						
13	委託料	18	県統計調査員表彰式参加のためのマイクロバス運行委託						
上記の合計		322	職員の人件費合計	0	事業費総合計		322	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	110
--------	-----

新	コード	010203200
	部・課・係等	政策部情報統計課統計係
旧	コード	010201200
	部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18		17			1
前年度	19		17			2
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校基本調査委託金	17							

【目的・効果】

【目的】 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われます。

【効果】 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【調査の概要】

- ・所管省庁 文部科学省
- ・調査周期 毎年
- ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(2園)と安曇野市教育委員会
- ・調査方法 教育委員会を通じて、調査協力依頼及び関係書類配布(調査は全てオンライン調査による)
- ・調査基準日 平成26年5月1日現在

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	18	統計調査関係の消耗品の購入						
上記の合計				18	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	110
--------	-----

重点項目番号	5	新	コード	010203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係	
旧		コード	010201200	
		部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	589		579			10
前年度	640		630			10
増減額	51	0	51	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	工業統計調査委託金	579							

【目的・効果】

【目的】 製造業を営む経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われます。

【効果】 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 【調査の概要】 指導員1人 調査員21人予定
 ・所管省庁 経済産業省
 ・調査周期 毎年
 ・調査対象 製造業の経営を行う全ての個人、組織、法人
 ・調査方法 調査員による調査客体への調査票の配布、回収を行う。
 ・調査基準日 平成26年12月31日現在

【一般財源増加理由】 消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	500	統計調査 指導員1人、調査員21人 報酬				
7	賃金	13	調査票等整理				
9	旅費	31	統計調査 指導員1人、調査員21人 交通費				
11	需用費	31	調査事務用品				
12	役務費	11	指導員、調査員 通信費				
上記の合計		586	職員の人件費合計	3	事業費総合計	589	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5	新	コード	010203200
			部・課・係等	政策部情報統計課統計係
		旧	コード	010201200
			部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102600	2015年農林業センサス		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,667	国支出金	県支出金	市債	その他	10
前年度						0
増減額	10,667	0	10,657	0	0	10

特定財源の内訳	款	2015年農林業センサス委託金		金額	款	2015年農林業センサス委託金		金額	合計金額
		金額	款			金額	款		
	15	10,657							10,657

【目的・効果】

【目的】 農林業センサスは、農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的に行われます。

【効果】 調査結果は、地方交付税法に基づく交付金の算定、農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律に基づく水田・畑作経営所得安定対策の交付金交付対象の特認要件(面積特例)の判定資料、地域資源の保全管理政策の検討・推進資料外、各種統計調査の母集団情報として利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 【調査の概要】 指導員18人 調査員348人予定
 ・市内で農業林業を営む、調査経営客体候補件数4,757(2010年農林業センサス実施時)、
 農林業経営客体数4,508見込(2010年農林業センサス実施時)を調査対象として実施する。
 ・所管省庁 農林水産省
 ・調査周期 5年周期
 ・調査対象 農林業経営を行う個人、組織、法人
 ・調査方法 調査員が調査客体への調査票配布、回収を実施する。
 ・主な調査事項 経営の態様、経営規模ほか
 ・調査基準日 平成27年2月1日現在

【一般財源増加理由】 消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	8,860	統計調査 指導員18人、調査員348人 報酬						
7	賃金	249	調査票等整理						
9	旅費	864	統計調査 指導員18人、調査員348人 交通費						
11	需用費	347	調査事務用品						
12	役務費	236	指導員、調査員 通信費						
上記の合計		10,556	職員の人件費合計	111	事業費総合計		10,667	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	110
--------	-----

重点項目番号	5	新	コード	010203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係	
		旧	コード	010201200
		部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102610	平成27年国勢調査調査区設定		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	377		367			10
前年度						0
増減額	377	0	367	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】平成27年10月1日を基準日として行われる、平成27年国勢調査の実施にあたり、国勢調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するとともに、調査結果の集計及び各種統計調査の実施の基礎資料を得ることを目的に前年の10月1日現在によって行われます。

【効果】国勢調査の調査結果は、衆議院の小選挙区の画定基準、地方交付税の算定基準など、多くの法令でその利用が明記されています。また、国や地方公共団体における様々な施策の立案・推進に利用されるのみならず、学術、教育、民間など各方面で広く利用されます。

【調査の概要】

- ・所管省庁 総務省
- ・調査周期 5年周期(国勢調査実施年の前年に行う。)
- ・調査対象 H22調査区(単位区数)1433(参考)H17調査区(単位区数)1420
- ・調査方法 現地踏査、各種資料等により、住戸調査客体を把握し調査区の分割等を行う。
- ・設定基準日 平成26年10月1日現在

〔一般財源増加倍理由〕消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	200	調査区(調査単位区)内の各種状況の確認事務				
11	需用費	142	調査事務用品 住宅地図外				
12	役務費	35	調査確認に係る郵便料等				
上記の合計		377	職員の人件費合計	0	事業費総合計	377	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	112
--------	-----

重点項目番号	5	新	コード	010203200
			部・課・係等	政策部情報統計課統計係
		旧	コード	010201200
			部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102620	全国消費実態調査		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,310		1,300			10
前年度						0
増減額	1,310	0	1,300	0	0	10

特定財源の内訳	款	15	全国消費実態調査委託金	金額	1,300	合計金額	1,300

【目的・効果】

【目的】 全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的に行われます。

【効果】 調査結果は、行政上の施策(年金、税制、エネルギー問題、住宅問題、福祉、公務員関連、日本放送協会の受信料)、国民経済計算(家計消費支出推計)、最近の白書における分析(経済白書、国民生活白書、水産白書、厚生労働白書、労働経済白書、通商白書、中小企業白書)で利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【調査の概要】 調査対象 市内3調査区 調査員3人予定

- ・所管省庁 総務省
- ・調査周期 5年周期
- ・調査対象 調査対象の選定は、2人以上の世帯36世帯と単身世帯6世帯に分けて行う。
- ・調査方法 調査員による調査客体への調査票の配布、回収を行う。
- ・調査基準日 2人以上の世帯H26年9-11月、単身世帯平成26年10-11月

【一般財源増加理由】 消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	801	統計調査 調査員3人 報酬				
7	賃金	14	調査票等整理				
8	報償費	288	統計調査 調査世帯42世帯				
9	旅費	101	統計調査 調査員3人 交通費				
11	需用費	95	調査事務用品				
12	役務費	11	調査員 通信費				
上記の合計		1,310	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,310	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	112
--------	-----

重点項目番号	5	新	コード	010203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係	
旧		コード	010201200	
		部・課・係等	企画財政部企画政策課情報統計係	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102630	平成26年経済センサス-基礎調査・商業統計調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,575		3,565			10
前年度						0
増減額	3,575	0	3,565	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	平成26年経済センサス・商業統計調査委託金		3,565					3,565

【目的・効果】

【目的】 事業所及び企業の活動の状態を明らかにし、産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的に行われます。

【効果】 調査結果は、行政施策への利用(経済、環境、雇用、中小企業、男女共同参画、振興施策、交通計画策定、地域災害対策)や国民経済計算の推計への利用、各種白書における分析で利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【調査の概要】 指導員4人 調査員56人予定
 ・所管省庁 総務省・経済産業省
 ・調査周期 5年周期
 ・調査対象 市内事業所・企業等
 ・調査方法 調査員による調査客体への調査票の配布、回収を行う。
 ・調査基準日 平成26年7月1日現在

【一般財源増加理由】 消費税率の引き上げによる。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	3,037	統計調査 指導員4人、調査員56人 報酬						
7	賃金	67	調査票等整理						
9	旅費	146	統計調査 指導員4人、調査員56人 交通費						
11	需用費	182	調査事務用品						
12	役務費	26	指導員、調査員 通信費						
上記の合計		3,458	職員の人件費合計	117	事業費総合計		3,575	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

財政部

予算書ページ	76
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当	
		旧	コード	010204100
		部・課・係等	企画財政部 財政課 財政担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	3	財政管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102230	財政管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	134					134
前年度	134					134
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

財政事務に必要な職員の実務能力の向上、情報収集、物品の購入。

【効果】

知識の習得や継続的な学習・情報収集等を通じ、適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・財政運営に必要な知識を職員が習得する機会を設ける。(財務等研修会への参加)
- ・制度等の最新情報(参考図書等)の収集、および執務上必要な物品の購入

【一般財源増加理由】 旅費として豊科～松本間の電車代(230円×2(往復)×3回分)が増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	35	公会計制度研修(1回)、財政研修(2回)				
11	需用費	99	決算統計ハンドブック、地方財務実務提要の追録、その他参考図書等の購入				
上記の合計		134	職員の人件費合計	0	事業費総合計	134	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	78
--------	----

新	コード	010301100
	部・課・係等	財政部 財政課 財政担当
旧	コード	010204100
	部・課・係等	企画財政部 財政課 財政担当

重点項目番号	5-3
--------	-----

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102250	基金積立金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
42,556	35,523	7,033	0	0	0	7,032
						4
						3
						1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	財政調整基金利子	23,151							
16	減債基金利子	8,425								
16	公共施設正義基金利子	10,976								

【目的・効果】

【目的】

条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。

【効果】

市の健全な財政運営に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・財政調整基金条例の定めにより、H25年度決算剰余金からH26年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として通次繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。
 ・財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金の3基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。

【参考:基金残高(H25年度末見込額)】

財政調整基金 4,952,745,442円 / 減債基金 2,104,512,811円 / 公共施設整備基金 3,079,086,276円

【一般財源増加理由】 公営住宅整備基金を廃止し、公共施設整備基金に統合したことに伴う利子分増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
25	積立金	42,556	財政調整基金への積立、および各基金の利子の積立						
上記の合計				42,556	職員の人件費合計	0	事業費総合計	42,556	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	78
--------	----

重点項目番号	5	新	コード	010301200
			部・課・係等	財政部 財政課 契約係
		旧	コード	010205100
			部・課・係等	企画財政部 契約管財課 契約管財担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102260	契約管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,314					5,314
前年度	0					0
増減額	5,314	0	0	0	0	5,314

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・競争性、透明性、公平性が確保されて契約事務を執行する。

【効果】

・予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

一般競争入札を基本とした契約の執行

【一般財源増加理由】 組織替えに伴い事業名を新設したため。また、入札参加申請を保管する箱とPDFソフトを購入するため増額した。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	670	契約事務及び入札参加資格申請資格申請定期受付業務賃金						
09	旅費	55	工事及びリース契約の実務研修						
11	需用費	74	事務用品、入札参加申請保管用コンテナ						
13	委託料	1,167	電子入札システム保守						
14	使用料及び賃借料	2,845	落札業者データ検索システム・電子入札システム・契約システム						
18	備品購入費	83	ソフトウェア購入(アクロバット11)						
19	負担金補助及び交付金	420	電子コアシステム負担金・契約研修負担金						
		5,314	職員の人件費合計	0	事業費総合計		5,314	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成26年4月よりパソコンがWindows7に入れ替えられる。現在入札公告など契約システムから出力されるPDF帳票の軽微な修正は、アクロバットで字句修正している(2ID有り)。現在使用中のアクロバットは古くWindows7で作動保証が無いバージョンであるため、最新のバージョン11を購入したい。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	83	ソフトウェア購入(アクロバット11×2ID)
合計		83	左記の特定財源

予算書ページ 380

重点項目番号	5-3	新	コード	010301100
			部・課・係等	財政部 財政課 財政担当
		旧	コード	010204100
			部・課・係等	企画財政部 財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	元金		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112010	長期借入金償還元金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,994,264				400,212	3,594,052
前年度	4,113,980				253,027	3,860,953
増減額	119,716	0	0	0	147,185	266,901

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	減債基金繰入金	393,982							
20	地域総合整備資金貸付金 元金収入	6,230								

【目的・効果】

【目的】

地方債元金を償還する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 H25年度までの借入に対し元金を償還する。
 (地方債現在高のH25年度末見込額 38,485,080千円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	3,994,264	H25までの借入に対する償還金元金				
上記の合計		3,994,264	職員の人件費合計 0	事業費総合計		3,994,264	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	380
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	010301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当	
		旧	コード	010204100
		部・課・係等	企画財政部 財政課 財政担当	

予算	款	12	公債費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	利子		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112020	長期借入金償還利子		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
417,577	465,632	48,055	0	0	0	36,000
						6,145
						29,855
						77,910

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	減債基金繰入金	36,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・地方債利子を償還する。
- ・一時借入のための利子を確保する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
H25年度までの借入に対し利子を償還。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	417,577	H25までの借入に対する償還金利子				
上記の合計		417,577	職員の人件費合計	0	事業費総合計	417,577	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	382
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	010301100
			部・課・係等	財政部 財政課 財政担当
		旧	コード	010204100
			部・課・係等	企画財政部 財政課 財政担当

予算	款	14	予備費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	予備費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	予備費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0114010	予備費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000					50,000
前年度	50,000					50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

地方自治法217条により予備費を設ける。

【効果】

当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する予備費として50,000千円を計上。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	50,000					
上記の合計		50,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	96
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010302100
		部・課・係等	財政部 市民税課 諸税係	
旧		コード	10105300	
		部・課・係等	総務部 市民税課 諸税係	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	税務総務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102460	税務総務費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	415,745	0	107,000	0	1	308,744
前年度	332,592	0	66,000	0	1	266,591
増減額	83,153	0	41,000	0	0	42,153

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県民税徴収事務委託金	107,000							
20	その他税関係雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって公平・公正・適格な賦課に努める。
広報活動の充実等により収入率の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。

【効果】

安定した財政基盤の確保。
適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

公平・公正・適格な賦課と捕捉率の向上に向け
未申告者の解消。
庁内各種資料せん、国、県資料による課税の是認、否認。
訪問指導等を行う。
納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
租税教育の実施。
広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
口座振替の推進。
特別徴収事業所の推進を図る。

【一般財源増加理由】 事業統合(市民税費・徴税還付金を税務総務費へ統合)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	7,283	通年雇用臨時職員、申告相談対応臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	2,008	地方税電子化協会負担金
8	報償費	431	租税教育推進協議会で実施する税に関する作文募集に係る記念品	23	償還金、利子及び割引料	56,300	市税の還付金及び還付加算金
9	旅費	52	地方電子化協議会全国説明会旅費(東京)				
11	需用費	2,751	事務用品、図書、印刷製本及び物品修繕				
12	役務費	2,103	税のPR用広告料及び軽自動車申告書取扱手数料				
13	委託料	6,773	課税原票管理システム保守、税制改正に伴うシステム改修				
14	使用料及び賃借料	9,455	課税原票管理システム及びeL-TAX使用料				
上記の合計		87,156	職員の人件費合計	328,589	事業費総合計	415,745	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

課税確定までの間、臨時職員を雇用することにより超過勤務の削減と事務の平準化を図る。
確定申告会場において、従来のドットプリンターからレーザープリンターへ変更することにより事務の効率化を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	812	課税データ入力補助臨時賃金(4・5月分超過勤務の縮減、集中業務の疲労軽減、事務の平準化)
11	需用費	200	申告会場用レーザープリンターナー
合計		1,012	左記の特定財源 一般財源

予算書ページ	98
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010303100		
		部・課・係等	財政部 資産税課 家屋担当			
予算	2	2	2	旧	コード	010106200
				部・課・係等	総務部 資産税課 家屋担当	
款	2	総務費		総合	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
項	2	徴税費		計	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
目	2	賦課徴収費		画	基本施策	健全な自治体経営の推進
事業	0102470	資産税費			具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	73,516				1	73,515
前年度	67,904				1	67,903
増減額	5,612	0	0	0	0	5,612

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他税務関係雑入		1						

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適格な賦課。

【効果】

- ・財政基盤の安定。
- ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・H27年度の評価替えに向けて航空写真撮影を行い、路線図、状況類似ブロック図、標準宅地位置図を更新する。
- ・三郷地域において家屋特定調査(家屋外形図の整備、経年移動判読調査、滅失家屋及び評価漏れ家屋の把握)を実施する。

【一般財源増加理由】

・評価替えに係る基礎的な調査は、専門的な知識・技術を要するため業務委託により対応せざるを得なく、委託費が増額となった。また、当該業務の内容を補助対象とする国、県の補助事業がないため一般財源が増加した。

【一般財源増加理由】 H27年度の評価替えに向け、航空写真撮影・デジタルオルソを作成することが主原因。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	57	・固定資産評価審査委員報酬	19	負担金補助及び交付金	305	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修参加費
7	賃金	4,234	・家屋特定調査事務補助 ・納税通知書封入・発送事務	27	公課費	17	・公用車車検費用
9	旅費	426	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修旅費				
11	需用費	1,310	・当初納税通知書へ同封する課税案内の印刷製本 ・賦課資料の保管用ファイル				
12	役務費	209	・公用車車検、点検費用				
13	委託料	65,775	・航空写真撮影、デジタルオルソ作成 ・家屋特定調査				
14	使用料及び賃借料	1,183	・税務地図情報システム使用料 ・課税資料電子化ファイリング機器のリース・保守料				
上記の合計		73,516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	73,516	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・H27年度の評価替えに向け、航空写真撮影を行い路線図、状況類似ブロック図、標準宅地位置図を更新する。
- ・税務地図情報システム使用料について、Web版に変更になったことを契機に情報政策課から支出科目変更により増

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	20,844	・航空写真撮影、デジタルオルソ作成
14	使用料及び賃借料	540	・税務地図情報システム使用料
合計		21,384	左記の特定財源

予算書ページ	100
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	010304100
			部・課・係等	財政部 収納課 管理係
		旧	コード	010107100
			部・課・係等	総務部 収納課 管理担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点にたった行財政がなされるまち
	目	2	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102480	収納費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	68,584	0	40,000	0	2,500	26,084
前年度	82,435	0	60,000	0	2,600	19,835
増減額	13,851	0	20,000	0	100	6,249

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	督促手数料	2,500							
15	県民税徴収事務委託金	40,000								

【目的・効果】

【目的】

・「受益と負担」の関係における「負担」の不公平感を是正するため、市税納期内納付の勧奨(口座振替・コンビニ収納)及び滞納整理(差押等)を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。

【効果】

・滞納整理業務を執行することにより、納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・当初納付書発送時に口座振替勧奨チラシを同封、また放送スポット及びポスターなどにより啓発活動を行う。
- ・新規滞納者を増やさぬよう、コールセンターから初期未納者に対して架電を行い自主納付を促す。納付がない場合には、財産予告及び差押予告書を送り強く納付を促す。
- ・催告に応じない滞納者に対して実態調査及び財産調査を行ったうえで差押処分を執行する。
- ・長野県地方税滞納整理機構へ大口案件、困難案件を徴収移管する。

【一般財源増加理由】 県支出金(県民税徴収委託金)の減少(2,000千円)、コンビニ収納システム更新・収納システム改修事業の増(3,501千円)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,039	滞納整理顧問報酬	14	使用料及び賃借料	2,227	コピー機リース料、パフォーマンスチャージ料
7	賃金	27,434	収納嘱託員6名 非常勤嘱託職員5名(日給者4名、月給者1名)	18	備品購入費	1,451	電動契印機、コンビニ納付プリンタ
8	報償費	1,080	収納員車借上げ料	19	負担金補助及び交付金	8,921	日本経営協会等研修負担金、長野県地方税滞納整理機構負担金
9	旅費	534	日本経営協会・東京税務協会研修、県外臨戸(関東方面、長野県周辺)、講師旅費	27	公課費	36	公用車重量税
11	需要費	2,791	口座振替依頼書外印刷、事務用品、公用車等修繕				
12	役務費	16,079	コールセンター等電話料、窓口収納外金融機関手数料、車検、滞納処分手数料、不動産鑑定手数料、広告料				
13	委託料	6,992	コールセンター、コンビニ収納システム更新、収納システム改修				
上記の合計		68,584	職員の人件費合計	0	事業費総合計	68,584	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・外部評価委員からの意見として市税の口座振替推進があり、啓発活動費について計上する。
- ・コンビニ収納専用PCのOSが平成26年4月9日をもってサポート終了となる。またプリンターについても導入後5年経過したため更新する。
- ・収納システムより県外滞納者への郵便振替用紙に直接印刷出力できるようにシステム改修する。現状はデータをエクセルにて抽出加工したデータを差し込み印刷している。
- ・差押調書、分納誓約書等書類作成を迅速化するため電動契印機を購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需要費	216	口座振替啓発ポスター印刷
12	役務費	98	市税口座振替広報スポット料金(あづみ野FM)
13	委託料	2,053	コンビニ収納システム更新、収納システム改修
18	備品購入費	1,451	電動契印機・カーナビゲーション・コンビニ納付用プリンタ
合計		3,818	左記の特定財源

予算書ページ	62
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010305300
		部・課・係等	財政部 財産管理課 庁舎管理係	
		旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102070	本庁舎管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,861				94	25,767
前年度	27,204				94	27,110
増減額	1,343	0	0	0	0	1,343

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	20	電報電話料		10					94
	20	庁舎等自動販売機設置		84					

【目的・効果】

【目的】

・本庁舎に必要な光熱水費、通信運搬費、電気料、事務機器等の借上料、警備委託料などを計上し、本庁舎の管理運営を行う。
 ・本庁舎使用の県安曇野庁舎(政策部・財政部等)使用料と、維持管理経費の負担金を支出。[職員数、占有面積による按分負担]

【効果】

・本庁舎と県庁舎の併用により本庁機能を確保する。また、各種会議会場、協議説明会場が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・本庁事務に必要な光熱水費、コピー機等事務機器の使用料等を計上する。休日夜間は無人のため警備保障委託を行う。
 ・政策部・財政部等の事務所としている県安曇野庁舎の使用料、負担金(共益費)を計上。
 ・本庁勤務職員が使用する駐車場の賃借料を計上。

【参考:管理施設概要】

本庁舎...昭和40年築/鉄筋コンクリート造2階建て 714㎡ 県庁舎... 使用許可を受けている面積640.15㎡
 所属部署:総務部(47人)、企画財政部(31人)、会計局(13人)、監査委員会事務局(3人)、選挙管理委員会事務局(3人)、
 合計97人
 職員数は平成25年度の所属職員数で、県庁舎勤務職員を含む

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	3,516	新聞等消耗品900千円・暖房灯油195千円・施設修繕費150千円・電気、ガス、水道等の光熱水費2,251千円							
12	役務費	2,061	NTT電話料等2,040千円・マルチコピー21千円							
13	委託料	1,374	庁舎警備委託324千円・清掃業務491千円・ガラス床清掃295千円・自動ドア保守50千円・消防設備86千円							
14	使用料及び賃借料	17,194	コピー機借上464千円・コピー機使用料8,622千円・県庁舎使用料2,808千円・駐車場借上5,117千円							
19	負担金補助及び交付金	1,716	県安曇野庁舎共益費							
上記の合計		25,861	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,861	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

粗大ごみの処分・廃棄が予想されることから、廃棄に係る手数料を新たに見込む。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	80	不用物品等処分料
合計		80	左記の特定財源

予算書ページ	64
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010305300
		部・課・係等	財政部 財産管理課 庁舎管理係	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102080	公用車管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	43,728	国支出金	県支出金	市債	その他	42,228
前年度						0
増減額	43,728	0	0	0	1,500	42,228

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公有自動車損害賠償金	1,500							

【目的・効果】

【目的】

・本庁に配置している公用車の維持管理を行う。実施計画に基づき老朽した公用車の更新等を行う。[本庁管理公用車:18台]
 ・一元管理による使用の効率化と経費の節減をすすめていく。

【効果】

・車両の共有化を進め、効率的な利用と配車の実施。
 ・老朽車両の維持管理経費の節減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・公用車(共用車)の計画的な更新を開始する。
 ・公用車更新時の導入規格を統一し、小型化(軽自動車)・共通化(仕様・形状)を進める。

【前年度を上回った理由】

・公用車維持管理予算を一般管理費から分離し、新たな事業として計上したため。

【参考】

公用車管理台数 373台 (危機管理分団消防車45台・都市建設特殊車両30台・市バス6台含む)
 用途廃止車両 15台 (対象は初年度登録後20年以上経過車両や過走行車両とし、車検代等を予算から削減)
 更新購入予定 10台 (軽箱バン10台)、ワゴン車2台、ゴミ収集車1台

【一般財源増加理由】 26年度から公用車の計画的更新に着手するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	4,717	タイヤ等消耗品 511千円、燃料2,509千円、物品修繕費1,697千円				
12	役務費	9,585	公用車損害賠償任意保険8,464千円、車検等手数料652千円、自賠責469千円				
14	使用料賃借料	7,230	公用車リース料 1,584千円 高速道路使用料 5,696千円				
18	備品購入費	21,110	公用車更新 10台 12,661千円 ハイブリッド塵芥収集車8,448千円				
22	補償補填及び賠償金	900	公用車事故発生時の損害賠償金(保険金を充当)				
27	公課費	186	更新車両 継続車検車両の自動車重量税				
上記の合計		43,728	職員の人件費合計 0	事業費総合計	43,728	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・新本庁舎建設後の庁舎間移動公用車の減少を見込み、公用車更新を見合わせてきたが、老朽車両の故障の発生や修繕費が高んできているため、台数の削減と並行し計画的な更新を実施する。
 ・共用使用の公用車は購入を基本とし、小型・省燃費車化を進める。環境基本計画によるハイブリッド車(リース導入)購入も計画する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	21,110	公用車の更新購入費
合計		21,110	左記の特定財源

予算書ページ	78
--------	----

重点項目番号	1	新	コード	010305100
		部・課・係等	財政部 財産管理課 管財係	
旧		コード	010205100	
		部・課・係等	企画財政部 契約管財課 契約管財担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102270	本庁財産管理費		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
25,040	33,643	8,603	0	0	0	479
						1
						478
						9,081

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	総合賠償補償等保険金	1							479
	20	安曇野市土地開発公社臨時職員人件費負担金	478							

【目的・効果】

【目的】

- ・低・未利用地及び低・未利用施設を処分し、維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
- ・建築工事等を競争入札にかけられるため、他部署からの依頼を受けて適正な設計積算を行う。

【効果】

- ・遊休資産の処分を行い、効率的な財源管理を行うとともに、宅地の供給により、定住人口の増加を促す。
- ・建築コストの透明性・客観性を確保し、予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・老朽化し、使用していない建物の解体撤去を行い、更地にして競売に付す。
- ・「安曇野市公共建築工事積算基準」等に基づき、設計積算を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,186	臨時職員賃金	15	工事請負費	3,176	未利用施設維持撤去工事
08	報償費	400	設計謝礼	19	負担金補助及び交付金	285	財産管理・建築構造研修会負担金
09	旅費	247	建築構造別設計及び積算講習・公有財産の管理運営実務講習				
11	需用費	208	設計積算書籍及びテキスト代・市有財産管理用除草剤・草刈り刃・事務用品				
12	役務費	17,599	未利用地不動産鑑定・管理地樹木剪定及び伐採建物災害共済保険・総合賠償補償保険				
13	委託料	1,814	未利用地測量業務・市有地維持管理業務				
14	使用料及び賃借料	125	刊行物掲載情報利用料				
		25,040	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,040	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

組織改編により土地開発公社の事務執行に臨時職員が必要となった。(賃金1,186千円)
 毎年、県から貸与されている「長野県標準単価表」には、市販の刊行物に掲載されている価格情報が含まれているため、平成26年度よりその利用料金を負担するようになった。(125千円)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,186	土地開発公社の事務執行に伴う臨時職員賃金
14	使用料及び賃借料	125	県から貸与されている長野県標準単価表には市販の刊行物に掲載されている価格情報があるため適切な積算ができる。
合計		1,311	左記の特定財源

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010305200
		部・課・係等	財政部 財産管理課 施設経営担当	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010109100
		部・課・係等	総務部 行政改革推進室 行政担当	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	6	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102300	公共施設再配置計画		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	668	0	0	0	0	668
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	668	0	0	0	0	668

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

公共施設再配置計画の策定

【効果】

公共施設の課題を調査、分析することで、より効率的・効果的な維持・管理・運営方法及び施設配置を実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】

・現在、「公共施設配置等基本方針検討チーム」を庁内に設置し、公共施設再配置に向けた基本方針の検討を行っている。
 ・専門家による「公共施設評価専門委員会」を設置し、市の基本方針に対する評価並びに再配置計画実現のための方策、削減目標等について意見をいただき、公共施設再配置計画に反映していく。

【一般財源増加理由】 公共施設再配置計画策定にあたり、新たに公共施設評価専門委員会を新たに設置するため。(組織改編に伴い所管が変更となることから皆増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	375	公共施設評価専門委員報酬				
9	旅費	271	同上 旅費				
11	需用費	22	参考図書外				
上記の合計		668	職員の人件費合計	0	事業費総合計	668	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	82
--------	----

重点項目番号	1	新	コード	010305100
			部・課・係等	財政部 財産管理課 管財係
		旧	コード	010205100
			部・課・係等	企画財政部 契約管財課 契約管財担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	6	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102340	土地開発基金費		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,683				858	42,825
前年度	159,279				159,233	46
増減額	115,596	0	0	0	158,375	42,779

特定財源の内訳	款	16	土地開発基金利子	金額	858	合計金額	858
	金額						

【目的・効果】

【目的】

・土地開発基金保有地の処分。

【効果】

・土地開発基金保有地の処分を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業目的に沿って購入した土地について、各部署へ所管を移す。今年度は穂高南小学校駐車場用地を教育委員会所有地として処分する。

【一般財源増加理由】 前年度はしゃくなげ荘整備事業用地として4,826㎡158,653,840円に対し、今年度は穂高南小学校事業用地2,607㎡42,779,188円を計上し、公共施設整備基金繰り入れ充当がないため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	44	土地改良区負担金				
28	繰出金	859	基金運用益				
28	繰出金	42,780	穂高南小学校駐車場用地(3筆2,607㎡)				
上記の合計		43,683	職員の人件費合計	0	事業費総合計	43,683	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

穂高9365番1、同番3の土地2,607㎡は穂高南小学校来校者駐車場として土地開発基金で取得した土地であるが、現在取得目的どおり使用されているので、一般財源より取得費を繰り出し、土地開発基金に一旦繰り入れて当該土地を学校用地とし、繰り入れた金額を取り崩して一般財源に充てるものである。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
28	繰出金	42,780	土地開発基金保有地の処分
合計		42,780	左記の特定財源

市民生活部

予算書ページ	76
--------	----

重点項目番号	4-4	新	コード	010401200
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係	
重点項目番号	4-4	旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部総務課庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	2	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業		具体的な施策	市民生活相談の実施

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
856	0	856	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
856	0	856	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・市民生活での法的な解釈などを解決するため、弁護士との無料法律相談の機会を設け、問題解決を図る。

【効果】

- ・不動産、相続、金銭トラブルなどについて弁護士が面接し、法的な助言を直接的に得られる。
- ・法律の専門家が対応することで、早期の問題解決や疑問解消が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・弁護士会松本在住会と法律相談担当弁護士派遣契約を行い、相談会場へ弁護士の派遣を委託する。
 - ・相談は月2回開催し、会場は豊科交流学習センターと穂高支所大会議室を交互に利用する。
 - ・相談日は第1、第3木曜日とし、相談日の1週間前に電話予約を受けつける。
 - ・1回の相談者数は8名とし、相談時間は20分とする。
 - ・相談実施日、時間、会場は広報あつみの及び市のHPで市民の皆さまにお知らせする。

【参考:相談者数】

H21年度 89名、H22年度 92名、H23年度 91名、H24年度 93名 H25年度(12月末現在) 117名

【一般財源増加理由】		市民相談事業を新たに設けたため							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	856	長野県弁護士会松本在住会との弁護士派遣委託契約						
上記の合計		856	職員の人件費合計	0	事業費総合計	856	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	82
--------	----

重点項目番号	5-2	新	コード	010401100		
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係			
旧		コード	010203100			
		部・課・係等	企画財政部 まちづくり推進課 まちづくり推進担当			
予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	6	企画費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102350	まちづくり推進事業		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源			
本年度	143,609	国支出金	県支出金	市債	その他	18,216			
前年度	79,582	0	0	0	59,872	19,710			
増減額	64,027	0	460	0	65,061	1,494			
款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	ふるさとづくり基金利子	49	20	コミュニティ助成事業補助金	59,800	18	西穂高会館維持運営基金繰入金	387	125,393
18	ふるさとづくり基金繰入金	2,000	15	元気づくり支援金	460				
18	地域振興基金繰入金	62,684	16	西穂高会館維持運営基金利子	13				

【目的・効果】

【目的】

・まちづくりに全ての市民が関わり、対等な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化する。

【効果】

- ・市民による主体的なまちづくりを支援する行政の体制と仕組みが確立できる。
- ・市民に近い行政運営を図ることで、市民との協働が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域審議会に対し、「新市建設計画関係の変更」についての諮問及び答申を予定している。
 - ・平成25年度に策定された「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」及び、平成25年度に出された「協働のまちづくり推進に向けたシステムについて」の答申内容を踏まえ、協働推進事業等の具現化を計画的に進める。
 - ・区への未加入や、役員の成り手不足など様々な課題解決のため、区の課題解決に向けた仕組みづくりを構築する。
 - ・庁内組織間の横断的連携による行政情報等を共有し、区等交付金のあり方についても検討する。
 - ・市民活動センターの機能をより充実させるため、情報共有化及び団体相互の交流会等を企画し協働コーディネートを行う。
 - ・自治基本条例制定に向けた研究等を行う。
 - ・光城山の「桜」についてプロジェクトを設置し、桜等の植栽及び管理について、財産区、地元区及び関係団体、また、市民等による研究等を行う。
 - ・組織見直しに伴う業務移管により、有明会館・西穂高会館・離山会館の3施設については穂高総合支所から引継ぎ、指定管理制度による維持管理を引継ぎ行う。
- 【有明会館】 指定管理者（JAあづみ農協） ・ 期間（平成26年4月1日から平成31年3月31日まで）（更新）
 【西穂高会館】 指定管理者（JAあづみ農協） ・ 期間（平成26年4月1日から平成31年3月31日まで）（更新）
 【離山会館】 指定管理者（離山会館管理委員会） ・ 期間（平成21年4月1日から平成31年3月31日まで）

【一般財源増加理由】 新規事業のSAKURA PJ 有識者謝礼300千円、自治基本条例研究者謝礼200千円、区長等出演広告料600千円

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,575	地域審議会委員報酬	16	原材料費	307	SAKURAプロジェクト苗木
08	報償費	4,465	市区長会理事会及び各地域区長会区長出席謝礼、市民活動センターコーディネート謝礼、まちづくりフォーラム講師等謝礼他	18	備品購入費	137	SAKURAプロジェクト備品
09	旅費	187	協働のまちづくり推進職員研修及び、区長会先進事例等の視察研修同行職員旅費	19	負担金補助及び交付金	123,430	コミュニティ助成事業補助金、つながり広がる地域づくり事業補助金、地域力向上事業補助金、地区集会施設建設補助金、区等交付金他
11	需用費	6,888	暮らしのガイドブック印刷製本費、協働推進事業(ポストイット、ロール紙他)各地域区長会と市長との懇談録	25	積立金	64	ふるさとづくり事業基金利子 50,000円 西穂高会館維持運営基金利子 14,000円
12	役務費	777	あづみ野FMへの協働推進広告並びに、市民活動センターインターネット通信料及び電話料				
13	委託料	5,623	地域審議会議事録作成委託、大学連携委託研究、アルファ花街道委託事業他				
14	使用料及び賃借料	156	市民活動センター・PC・機、印刷機借上げ料				
上記の合計		143,609	職員の人件費合計 0	事業費総合計		143,609	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・協働に対する理解と人材育成を図るため、区民コース等に対応できる地域リーダー、協働コーディネーターの育成及び養成講座への講師謝礼を計上しました。
- ・市民参画による協働をより一層進めたいため、平成25年度に策定した「協働のまちづくり推進基本方針及び行動計画」等を踏まえ、自治基本条例に造詣が深い有識者への謝礼を計上し、自治体の最高規範である「自治基本条例」制定に向けた準備を行います。
- ・老木化した光城山の「桜」について財産区、地元区及び関係団体、また、市民等と協働して、その植栽及び管理等を図るため、専門分野の講師謝礼を計上し、プロジェクトでの研究を行うとともに、合併10周年を迎える平成27年度の桜の植樹に向けた準備を行います。
- ・協働への理解と啓発を図るため、区長等出演による地域づくり活動等宣伝広告料を計上しました。
- ・「協働」を一層進めたいため、区は市と対等な「パートナー」という位置づけの下、地域が抱える様々な課題を区全体で解決ができる仕組みづくりを通じた「地域力向上」が重要であることから、区全体で「地域力向上」に取り組む「区」に対して補助金による支援を行う。
- ・西穂高会館の消防設備点検不良箇所改修工事費及び水道メーター口径変更工事費の1/2を負担する。
 【消防設備工事】 自動火災報知設備・感知器設備取替工事等 505,780円 ÷ 1/2 = 252,890円
 【水道メーター口径変更工事】 現在50口径を13口径に取替える。262,500円 ÷ 1/2 = 131,250円

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	100	地域リーダー育成講座講師謝礼 10,000円×5回 協働コーディネーター養成講座講師謝礼10,000円×5回
08	報償費	300	SAKURAプロジェクト専門講師謝礼(桜、土壌、動植物) 100,000円×3人
08	報償費	200	自治基本条例研究者謝礼 50,000円×4人
12	役務費	600	協働への理解と啓発を図るため、区長等出演による地域づくり活動等宣伝広告料を計上(あづみ野FM)
19	負担金補助及び交付金	6,388	区全体で「地域力向上」に取り組む「区」に対して支援を実施する(補助金上限枠1区 20万円 3年以内 30区分) 6,000千円 西穂高会館の消防設備点検不良箇所改修工事費負担金(地元折半 1/2) 388千円
合計		7,588	左記の特定財源

予算書ページ	88
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010401200
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010302400
		部・課・係等	市民環境部 生活環境課 交通防犯係	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	8	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102390	交通安全対策費		具体的な施策	交通安全対策の強化 / 防犯・交通安全施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,004					13,004
前年度	9,626					9,626
増減額	3,378	0	0	0	0	3,378

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。
 ・総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者までの体系的かつ参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故の防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。
【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

1.「高齢者の交通事故防止」を重点課題とし、関係機関、団体と連携した広報啓発活動、交通安全運動を推進する。
 2.体験型の高齢者交通安全教室を展開するとともに、事故防止と公共交通の利用を促す「運転免許証自主返納支援事業」に継続して取り組む。
 3.スクエアード・ストレイト方式を用いた交通安全教室を開催し、幼児期からの交通安全意識の定着と実践的な交通安全教育の充実を図る。

【一般財源増加倍理由】 組織改正(本庁集約)に伴う交通安全協会育成事業関連事業の遂行に必要な臨時職員賃金、交通安全教室等の開催増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	525	交通指導員報酬	14	使用料及び賃借料	1,380	高齢者安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入
7	賃金	1,660	交通安全協会育成事業関連事務補助員	18	備品購入費	227	交通安全教室の指導用DVDソフト、交通安全啓発横断幕
8	報償費	295	交通安全推進協議会委員、高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	4,737	安曇野交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金、交通安全協会支部補助金
9	旅費	54	交通安全教育指導者研修会旅費	27	公課費	8	公用車自動車重量税
11	需用費	1,919	交通安全用品外				
12	役務費	72	公用車車検点検外				
13	委託料	2,127	運転業務委託、スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室の委託				
上記の合計		13,004	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,004	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・交通安全協会育成事業関連業務として組織改正(本庁集約)に伴う諸事務を補助する臨時職員の任用。
 ・保育園、幼稚園では理解力に応じた段階的な交通安全教室を実施。小中学校ではスクエアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)による交通安全教育を取り入れることにより、事故再現等による疑似体験を通して実践的な自転車教育指導に取り組む。
 ・市内2箇所の歩道橋へ視認効果の高い蛍光反射タイプの交通安全啓発用横断幕を掲出する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,660	交通安全協会育成事業関連事務補助員 / 1名
13	委託料	1,135	園外一般道路での歩行指導、スクエアード・ストレイト方式を取り入れた交通安全教室、自転車指導
18	備品購入費	98	交通安全啓発用横断幕
合計		2,893	左記の特定財源

予算書ページ	90
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010401200
		部・課・係等	市民生活部	地域づくり課 生活安全係
重点項目番号	4-3	旧	コード	010302400
		部・課・係等	市民環境部	生活環境課 交通防犯係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	9	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費		具体的な施策	防犯体制の充実 / 防犯・交通安全施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	85,608	国支出金	県支出金	市債	その他	53,718
前年度	88,879	1,650			280	86,949
増減額	3,271	0	0	0	29,960	33,231

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	地区防犯灯新設分担金	240							
14	道路改良費補助金	1,650								
18	公共施設整備基金繰入金	30,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・防犯対策を推進し、犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯の整備を進めるとともに、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
- ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指すため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
- ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1.防犯灯設置事業については、社会資本整備総合交付金事業(所管 / 建設課)の拡充要望により、通学路等へのLED防犯灯の新設を進める(補助対象事業費300万円 / 補助率55%)。
また、市内全域を対象とするLED化更新工事に着手し、環境負荷の低減と経費削減を図る。
- 2.地域の安全を確保する為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯対策を推進する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	756	防犯指導員等謝礼				
11	需用費	42,586	防犯灯施設修繕費、防犯灯電気料				
13	委託料	735	監理業務委託				
15	工事請負費	38,285	防犯灯新設、防犯灯LED化更新工事				
19	負担金補助及び交付金	3,246	安曇野防犯協会連合会負担金、地域防犯協会支部補助金				
上記の合計		85,608	職員の人件費合計	0	事業費総合計	85,608	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・市内全域に設置されている蛍光灯等の防犯灯をLED防犯灯に更新することにより、環境負荷の低減と経費削減を図るとともに、防犯灯としての適正な明るさを確保し、安全で安心なまちづくりの形成を進める。
防犯灯設置事業LED化更新工事(LED化に伴う照明柱建替等工事 / 堀金地区LED化更新工事)
防犯灯設置事業堀金地区LED化更新工事監理業務委託

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	32,520	防犯灯LED化更新事業
合計		32,520	左記の特定財源

予算書ページ	246
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010401300
		部・課・係等	市民生活部 市民相談室	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010302400
		部・課・係等	市民環境部 生活環境課 交通防犯係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	4	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費		具体的な施策	市民生活相談の充実 / 消費者教育の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,013					3,013
前年度	4,597					4,597
増減額	1,584	0	0	0	0	1,584

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市消費生活センターの市民への周知を行うとともに、消費者問題に関する相談への対応や悪徳商法や架空請求などによる被害に遭わないために消費者への啓発を行う。
 ・消費生活講座や各種広報により、自主的で合理的な消費行動がとれる消費者意識の啓発や正しい知識の普及に努めるとともに、消費者教育・啓発活動団体の育成を図る。

【効果】 消費者トラブルに関する情報を迅速かつ広範囲に共有できる被害が起こりにくい消費生活社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1.「安曇野市消費生活センター」の周知と消費者教育を推進し、相談体制の充実に取り組む。
- 2.法律専門家との連携を図るとともに、弁護士による無料相談会の実施。
- 3.高齢者の消費者被害を未然に防止するため、地域包括支援センター等での出前講座を積極的に開催し、ヘルパーやケアマネージャー等高齢者に身近な介護支援専門員の方々を対象とした消費者被害の早期発見と具体的な対応に関する学習機会の充実に図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	2,443	消費生活相談員賃金				
8	報償費	45	弁護士による法律相談謝礼				
11	需用費	441	消費生活啓発用品・資料				
12	役務費	24	消費生活センター携帯電話料				
19	負担金補助及び交付金	60	消費者の会活動補助金				
上記の合計		3,013	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,013	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・消費者の被害予防出前講座(H24実績:19回 / 参加者数714人)で活用するための高齢者向け消費者力向上用冊子(1,000部)の購入。
 ・消費者生活センター周知啓発物品として昨年度(H25)整備した消費生活センター直通電話の番号を印刷したメモ帳(1,000個)の購入。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	246	消費者力向上用冊子、消費者生活センター周知啓発物品
合計		246	左記の特定財源

予算書ページ	102
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	010402100
			部・課・係等	市民生活部 市民課 市民担当
		旧	コード	010301100
			部・課・係等	市民環境部 市民課 市民係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	3	戸籍住民基本台帳費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	戸籍住民基本台帳費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳費		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
131,281	144,611	13,330	383	79		44,500
			489	81		44,800
			106	2	0	300
						86,319
						99,241
						12,922

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	戸籍住民基本台帳手数料	44,500							
14	中長期在留者住居地届出事務委託金	383								
15	人口動態調査委託金	79								

【目的・効果】

【目的】

行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備を行う。・戸籍事務関係:[平成25年3月末現在]・本籍数 39,972戸籍・本籍人口 99,236人・住民基本台帳事務関係:[平成25年3末日現在]・人口 99,262人 世帯数 37,801世帯・住民票、印鑑証明書発行用自動交付機(豊科・穂高・三郷の各支所設置)利用率[平成25年3月末現在]23.34%

【効果】

・住民に関する基礎資料を正確且つ統一的に整備することにより、住民の利便の増進、行政の合理化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・マイナンバー法施行に伴う法整備をふまえ、番号制度導入に向け必要な対応について調査・研究を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	1,615	戸籍等郵送請求に係る事務						
9	旅費	80	住民基本台帳法外改正に係る研修会出席旅費						
11	需要費	2,816	事務用品・印刷製本費・物品修繕費						
12	役務費	63	戸籍住民基本台帳関係送達確認用はがき代						
13	委託料	364	戸籍管理システム・身上照会システム保守管理委託						
14	使用料及び賃借料	348	コピー機借上げ料・使用料						
19	負担金補助及び交付金	37	県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金						
上記の合計		5,323	職員の人件費合計	125,958	事業費総合計		131,281	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

新	コード	010403200
	部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全係
旧	コード	010302100
	部・課・係等	市民環境部 生活環境課 環境保全係

重点項目番号	4-1
--------	-----

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	6	企画費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0102360	水資源対策費		具体的な施策	地下水の保全・涵養・適正利用
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,412					20,412
前年度	11,086					11,086
増減額	9,326	0	0	0	0	9,326

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】
 ・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。

【効果】
 ・地下水涵養により、安曇野地域の重要な地域資源を維持できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・涵養事業の運営と資金管理(協力金)を含めた水環境基本計画検討委員会を立ち上げ、水環境基本計画の策定に向けて検討を行う。
 ・転作田湛水の涵養モデル事業を推進し、涵養面積の拡大を図る。
 ・地下水位観測を実施する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	84	地下水採取審査委員会委員報酬		19	負担金及び交付金	6,125	安曇野市水資源対策協議会負担金、涵養負担金		
7	賃金	1,660	地下水保全条例施行に伴う届出事務及び涵養事務の臨時職員賃金							
8	報償費	1,156	地下水保全シンポジウム講師謝礼 水環境基本計画検討委員会委員報酬							
9	旅費	902	全国名水ワザミツ、地下水保全先進地視察研修職員旅費							
11	需用費	180	地下水保全シンポジウムポスター、チラシ印刷等							
12	役務費	25	地下水保全シンポジウム手話通訳							
13	委託料	10,280	地下水位観測調査業務委託、水環境基本計画策定コンサル業務委託							
上記の合計		20,412	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,412	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・水環境基本計画検討委員会を設置し、地下水涵養事業の運営と資金管理(協力金)を含めた水環境基本計画策定に関わる事業計上を行う。
 ・貴重な水資源を次世代へ引き継ぐため、地下水の保全に対し市民意識の向上を図ることを目的に地下水保全シンポジウムを開催する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	1,150	地下水保全シンポジウム講師謝礼、水環境基本計画検討委員会委員出席謝礼	
9	旅費	722	地下水保全シンポジウム講師実費弁償、水環境基本計画検討委員会アドバイザー実費弁償	
11	需用費	180	地下水保全シンポジウムポスター、チラシ印刷等	
12	役務費	25	地下水シンポジウム手話通訳	
13	委託料	5,689	水環境基本計画策定コンサル業務委託、地下水シンポジウム企画運営業務委託	
合計		7,766	左記の特定財源	

新	コード	010403200
	部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全係
旧	コード	010302100
	部・課・係等	市民環境部 生活環境課 環境保全係

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	4	霊園管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費		具体的な施策	市営霊園の管理と計画的整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
14,840	78,158	63,318	0	0	0	63,318
						2
						2
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	7,925	13	霊園事務手数料	4				
12	霊園管理料滞納繰越分	6	16	霊園施設整備基金利子	443					
13	霊園使用料	4,950	18	霊園整備基金繰入金	1,510					

【目的・効果】
【目的】
 ・市営霊園10箇所(アルプス・飯田・上沢・西浦・穂高・黒沢・堀金・下押野・荻原・みどりヶ原霊園)の管理と計画的な整備を行い、住環境を充実させる。
【効果】
 ・各家族化、少子高齢化等により霊園の需要が増加する中、市民ニーズに応えられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市営霊園(市内10箇所・3,670区画)の維持管理を実施する。
 ・明科荻原公園墓地(117区画)の販売を開始する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
8	報償費	32	霊園清掃等謝礼			25	積立金	4,294	霊園整備基金積立及び基金利子		
11	需用費	2,003	市営霊園の除草剤、小破修理、光熱水費等								
12	役務費	174	市営霊園のし尿汲取料、浄化槽法定検査手数料								
13	委託料	5,639	市営10霊園の管理清掃委託								
15	工事請負費	1,511	市営霊園補修工事等								
16	原材料費	87	市営10霊園の植木、肥料代								
23	還付金、利子及び割引料	1,100	返還聖地の使用料還付金								
上記の合計		14,840	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,840	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

新	コード	010403100
	部・課・係等	市民生活部 環境課 環境政策係
旧	コード	010302200
	部・課・係等	市民環境部 生活環境課 環境基本計画推進係

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		具体的な施策	自然環境の保全と再生

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
14,345	0	14,345	0	0	0	150
0	0	0	0	0	0	0
14,345	0	14,345	0	0	0	150
						14,195

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他刊行物頒布代	150							150

【目的・効果】
【目的】
 ・環境基本計画及び環境行動計画に基づき、市の環境をよりよくするための検討、施策実行、点検評価を行う。
【効果】
 ・自然と人々が共存・共栄する持続可能な社会を築き、市民の健康で豊かな生活を実現するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継ぐ。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「環境基本計画推進会議」「環境市民ネットワーク」の運営
 ・市民啓発環境イベント事業(環境フェア)の開催
 ・第二次環境行動計画の推進
 ・市版レッドデータブックの発行及び広報活動
 ・生物多様性安曇野市戦略の検討(アレチウリ駆除等)
 ・庁舎内省エネ実践事業(省エネのための緑のカーテンの普及等)

【一般財源増加理由】 環境衛生総務費事業からの移行新設及び安曇野市版レッドデータブック印刷製本費増(4,255千円)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,000	環境フェア講師謝礼 環境基本計画委員出席謝礼				
9	旅費	138	エネルギー管理講習 環境フェア講演会講師旅費				
11	需用費	4,834	環境フェア印刷製本費 安曇野市版レッドデータブック印刷製本費				
12	役務費	206	アレチウリ駆除に伴う傷害保険 環境フェア傷害保険				
13	委託料	6,389	環境行動計画推進業務等委託コンサル 環境フェアサポートコンサル				
14	使用料及び賃借料	713	電気自動車借り上げ料				
19	負担金補助及び交付金	65	エネルギー管理講習受講料環境保全活動補助金				
上記の合計		14,345	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,345	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・第二次環境行動計画推進に伴う事業計上を行う
 ・安曇野市版レッドデータブック周知に伴う事業計上を行う

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	185	環境行動プログラム講師謝礼、レッドデータブックシンポジウム講師謝礼
11	需用費	4,255	安曇野市版レッドデータブック印刷代
13	委託料	1,826	サポートコンサル委託料(自然まるわかり観察会、レッドデータブックシンポジウム)、温室効果ガス排出量推計業務委託料
合計		6,266	左記の特定財源 その他刊行物頒布代(150)

新	コード	010403200
	部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全係
旧	コード	010302100
	部・課・係等	市民環境部 生活環境課 環境保全係

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境に優しいエネルギーをつくるまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	環境に優しいエネルギーの導入
	事業	0104160	環境衛生総務費		具体的な施策	自然エネルギーの活用推進

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	336,518		136		7,455	328,927
前年度	222,782				7,285	215,497
増減額	113,736	0	136	0	170	113,430

特定財源の内訳	款	12	霊園管理料	金額	2,525	款	15	公衆浴場経営安定化事業補助金	金額	136	合計金額
		13	狂犬病予防注射済票交付手数料	金額	3,454						
		13	犬の登録手数料	金額	1,476						
										7,591	

【目的・効果】
【目的】
 ・自然エネルギーの活用等により、環境に優しいまちを創出する。
 ・公衆浴場、安曇野松筑広域環境施設組合の運営に補助・負担等を行い、公衆衛生の向上を図る。
【効果】
 ・地球温暖化の抑制、快適な住環境を確保することができる。
 ・経営の安定化、無料で火葬サービスを提供すること等により市民負担の軽減を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・環境審議会の開催。
 ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、注射済票を交付する。
 ・アメシロ駆除の薬剤を配布する。
 ・豊科駅前・新田公衆便所の管理を行う。
 ・太陽光発電システム設置補助金、雨水貯留施設設置補助金、太陽熱利用システム設置補助金を交付する。
 ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
 ・安曇野松筑広域環境施設組合の広域豊科火葬センター施設運営の負担を行う。
 ・広域豊科火葬センターを利用した市民に対し、無料で火葬センターを提供する。

【一般財源増加理由】 公衆浴場経営安定化助成(2,200千円)・安曇野松筑広域環境施設組合負担金(125,616千円)を事業統合したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	238	環境審議会委員報酬	19	負担金及び交付金	169,000	太陽光発電・雨水貯留施設・太陽熱利用システム設置補助金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金
8	報償費	150	空き家等検討講師謝礼	20	扶助費	560	火葬料
9	旅費	15	犬管理対策協議会研修会				
11	需用費	1,796	防除薬剤等(アメリカシロヒトリ、ハチ) 豊科駅前、新田公衆便所の光熱水費等				
12	役務費	20	保護犬等の治療代				
13	委託料	2,173	豊科駅前、新田公衆便所清掃委託、犬の登録管理狂犬病予防委託外				
15	工事請負費	486	公共施設への雨水貯留槽設置工事				
上記の合計		174,438	職員の人件費合計	162,080	事業費総合計	336,518	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 黒沢川桜病害虫防除及び除草委託(H26から観光課より所管替え)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	519	黒沢川桜病害虫防除及び除草委託
合計		519	左記の特定財源

新	コード	010403200
	部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全係
旧	コード	010302100
	部・課・係等	市民環境部 生活環境課 環境保全係

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共存するまち
	目	6	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104180	公害対策費		具体的な施策	公害対策の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,791					14,791
前年度	16,269					16,269
増減額	1,478	0	0	0	0	1,478

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、健康で快適な市民生活の保持を目指す。

【効果】

・公害に対する企業・市民意識の高揚を図るとともに、公害測定による常時監視により環境基準の達成状況を把握することで、公害対策を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公害調査の測定、畜産臭気測定、自動車騒音常時監視等の各種測定を実施する。
- ・臭気規制導入検討を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	306	三郷臭気モニター謝礼				
9	旅費	53	公害対策研修会旅費				
11	需用費	155	水質汚濁事故防止用油吸着マット外				
12	役務費	464	公害苦情処理検査外、公害測定機器保守点検				
13	委託料	13,813	公害調査定期測定、畜産臭気測定外				
上記の合計		14,791	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,791	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

放射線測定器、二オイセンサーの保守点検手数料(H26より環境衛生総務費から振替による)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	345	放射線測定器、二オイセンサーの保守点検手数料
合計		345	左記の特定財源

予算書ページ	190
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
旧		コード	010303100	
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総 合 計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	清掃総務費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104210	清掃費		具体的な施策	排出抑制

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	855,613				93,000	762,613
前年度	186,657				7,729	178,928
増減額	668,956	0	0	0	85,271	583,685

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	可燃ごみ処理手数料	93,000							

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。

【効果】

・ごみの適正な処理を行うにより、清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
- ・可燃ごみ証紙の管理事務
- ・可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬業務を委託する。
- ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
- ・市内一斉清掃を実施する。
- ・指定集積所の施設整備に対し補助を行う。
- ・穂高広域施設組合の運営に対し負担する。

【一般財源増加理由】 消費税増税分による増加がある。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,394	不法投棄監視連絡員出席謝礼				
11	需用費	1,029	一斉清掃用消耗品、不法投棄防止看板、清掃作業用品				
12	役務費	8,225	可燃ごみ袋出荷管理票印刷、管理集積所修繕、可燃ごみ証紙売り捌き手数料、ごみ袋版代				
13	委託料	179,524	不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬、可燃・不燃ごみ収集運搬、直営集積所管理、水質検査、犬猫収集処理				
19	負担金補助及び交付金	664,441	穂高広域施設組合負担金、指定集積所施設整備補助金				
上記の合計		855,613	職員の人件費合計	0	事業費総合計	855,613	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

穂高広域施設組合負担金(広域施設組合負担金を事業統合)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	662,441	穂高広域施設組合負担金
合計		662,441	左記の特定財源

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
重点項目番号	4	旧	コード	010303100
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	156,730				19,820	136,910
前年度	156,172				10,266	145,906
増減額	558	0	0	0	9,554	8,996

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	16,910							
20	手作り石けん・BDF販売代	270								
20	再商品合理化処理拠出金配分金	2,640								

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。

【効果】

・ごみの減量化による行政経費の軽減と、資源化再利用により環境負荷が軽減される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資源物分別指導事業
- ・ごみ・資源物収集カレンダー及び、ごみの出し方手引き(改訂版)の全戸配布
- ・資源物収集運搬・保管・処理業務の委託
- ・緑のリサイクル事業の委託
- ・廃食用油回収と石けん・BDFへの加工業務委託
- ・生ごみ処理機等の導入補助事業

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	講習会講師謝礼	27	公課費	45	タウンビバー重量税
9	旅費	14	職員旅費				
11	需用費	4,714	資源物分別用品、廃食用油精製用品、公用車燃料、電気料、ごみカレンダー印刷、ごみの出し方手引き作成、物品修繕費				
12	役務費	214	ごみフリーダイヤル電話料、タウンビバー車検・自賠責保険				
13	委託料	148,743	資源物収集運搬・保管業務委託、容器包装リサイクル協会負担金				
14	使用料及び賃借料	70	重機借上げ料				
19	負担金補助及び交付金	2,900	生ごみ処理機器等購入補助金				
上記の合計		156,730	職員の人件費合計	0	事業費総合計	156,730	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・ごみの出し方手引き(改訂版)の作成、全戸配布

23年3月に発行した手引きは3年度経過しているが、25年度、使用済小型家電の回収を開始したことで、分別に関する説明内容が大幅に変更となっており、早急な改訂が必要となったため。(全戸配布分40,000部 + 転入者・再交付分4,000部 × 3年 = 52,000部)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,798	家庭ごみ・資源物 出し方の手引き(改訂版)の作成 (全戸配布)
合計		1,798	左記の特定財源 資源売却代

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
重点項目番号	4	旧	コード	010303100
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104230	三郷最終処分場		具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,188					14,188
前年度	11,503					11,503
増減額	2,685	0	0	0	0	2,685

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 名称:三郷一般廃棄物最終処分場 竣工:平成9年3月 施設構成:埋立処分地4,000㎡(埋立面積)、23,000m³(埋立容量)・浸出処理施設
 【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。
 【効果】 ごみ処理の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。
 ・埋立て有効期間が、平成26年9月30日までとなり、地元区との更なる埋立期間延長の交渉が必要となる。(32年度中に埋立完了予定)

【一般財源増加理由】 処分場維持管理マニュアルによる中間覆土作業(5,141千円)の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,098	施設機械老朽化による施設修繕				
12	役務費	48	電話料				
13	委託料	12,040	不燃物等埋立作業委託、水質検査委託費				
14	使用料及び賃借料	2	監視井戸借地料				
上記の合計		14,188	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,188	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	194
--------	-----

新	コード	010404100
	部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当
旧	コード	010303100
	部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんがい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,989				185	17,804
前年度	17,337				177	17,160
増減額	652	0	0	0	8	644

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	リサイクルセンター再生品販売	185							

【目的・効果】

【施設の概要】 豊科RC H17年 S造平屋 937㎡ 穂高RC S54 S造平屋 252㎡ 明科SY H11 木造平屋 66㎡
 【目的】 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
 【効果】 ・指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行うことにより、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展が図れる。
 ・市民のライフスタイルの多様化に対応することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・3箇所の施設に受入指導員を配置し、管理運営を行う。
 ・受け入れた資源物の運搬業務を委託する。
 ・26年度から、使用済小型家電の回収拠点として、豊科・穂高リサイクルセンターで定期的な回収を始める。(新たな経費負担なく実施)

【一般財源増加理由】 施設利用者・受け入れ資源物の量ともに増加しており、資源物運搬業務委託の台数を増したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	896	環境学習会講師謝礼 受け入れ指導員・リサイクル工房指導員謝礼				
11	需用費	986	自転車修理消耗品 灯油代 施設修繕費 光熱水費				
12	役務費	172	電話料 フォークリフト特定検査 指導員傷害保険料				
13	委託料	15,935	受け入れ指導業務委託 受け入れ資源物運搬業務				
上記の合計		17,989	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,989	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	194
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
重点項目番号	4	旧	コード	010303100
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104250	穂高じんかい処理場		具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	758					758
前年度	1,469					1,469
増減額	711	0	0	0	0	711

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【施設の概要】 名称:小岩岳不燃物処理場 埋立開始:昭和63年1月 埋立地面積:2,350㎡ 埋立容量: 11,750m³
【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。
【効果】 ごみ処理の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	21	処分場管理用品(除草剤他)							
13	委託料	545	処分場内、周辺の地下水水質検査							
14	使用料及び賃借料	135	ごみ埋立整地用の重機借上料							
16	原材料費	57	ごみ埋立整地用土砂							
上記の合計		758	職員の人件費合計	0	事業費総合計	758	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計		0	左記の特定財源						

予算書ページ	194
--------	-----

新	コード	010404100
	部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当
旧	コード	010303100
	部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104260	雑排水処理事業		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,052				1,466	21,586
前年度	23,328				3	23,325
増減額	276	0	0	0	1,463	1,739

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	雑排水処理場敷地使用料	1,466							

【目的・効果】

【目的】

・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し適正に処分することで、生活排水による河川等の汚濁を防止する。

【効果】

・汲取り助成により定期的な清掃を確保し、汚泥の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
- ・生活雑排水汚泥の処理を委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	21,584	生活雑排水汚泥運搬・保管業務 生活雑排水汚泥処理委託 生活雑排水汚泥汲取り業務				
14	使用料及び賃借料	4	借地料				
22	補償補填及び賠償金	1,464	湯浅産業敷地賃料				
上記の合計		23,052	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,052	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	196
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
旧		コード	010303100	
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104270	穂高雑排水処理場		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,145				70	13,075
前年度	11,575				70	11,505
増減額	1,570	0	0	0	0	1,570

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	70							

【目的・効果】
【施設の概要】 穂高有明4878-1 S54年建築 RC造 2階建 1,441㎡
【目的】
 ・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥を受け入れ、処理を行う。
【効果】
 ・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・処理場の管理・運営を委託する。
 ・定期的に処理槽の清掃を行う。
 ・施設の計画的な修繕を行う。

〔一般財源増加倍理由〕 ばっ気槽の清掃業務を計画したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	5,707	管理用消耗品 灯油代 光熱水費 スクリーンポンプ他施設修繕費				
12	役務費	57	電話料 ほか				
13	委託料	7,346	ばっ気槽・貯留槽・沈殿槽の清掃業務委託 管理作業委託 ほか				
14	使用料及び賃借料	35	除雪機械借上げ				
上記の合計		13,145	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,145	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・スクリーンポンプ修繕
 経年劣化によりユニット(主軸・玉軸受・メカニカルシール・メカボックス他)交換を行う。
 ・ばっ気槽清掃業務
 汚泥・砂等の堆積が進んでおり、十分なばっ気・攪拌が行えないため清掃を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,097	スクリーンポンプ修繕 (型式:NFG-C-20M) 1台
13	委託料	1,361	ばっ気槽清掃業務 槽容量 23.9㎡
合計		2,458	左記の特定財源

予算書ページ	196
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
旧		コード	010303100	
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104280	柏原団地浄化槽施設管理		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,872					2,872
前年度	3,288					3,288
増減額	416	0	0	0	0	416

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 穂高柏原2806-40 S53年建設 RC造 2階建 126㎡

【目的】

・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。

【効果】

・施設の適正な管理を行うことで、灌漑に影響のない安定した水質の排水が確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・槽の清掃を行う。
- ・設備機器の修繕を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,974	消耗品 光熱水費 施設修繕費(調整槽ポンプ交換他)				
13	委託料	807	槽清掃業務 機械設備維持管理				
19	負担金補助 及び交付金	91	水質検査負担金				
上記の合計		2,872	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,872	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

経年劣化による第1調整槽ポンプ交換、動力制御盤の修繕を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,091	第1調整槽ポンプ交換・動力制御盤修繕
合計		1,091	左記の特定財源

予算書ページ	196
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当	
旧		コード	010303100	
		部・課・係等	市民環境部 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	廃棄物対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104290	廃棄物対策費		具体的な施策	環境美化運動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,771				19,552	4,219
前年度	87,258				19,423	67,835
増減額	63,487	0	0	0	129	63,616

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	一般廃棄物許可申請等手数料	142							
16	地域振興基金利子	12,404								
18	地域振興基金繰入金	7,006								

【目的・効果】

【目的】

- ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働による生活環境の保全を図る。
- ・廃棄物処理施設等の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。

【効果】

- ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展と、ごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・5地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで、地域活動を支援する。
- ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理や、ごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。
- ・廃棄物処理施設の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	605	環境部長会議出席謝礼						
9	旅費	214	職員旅費 弁護士相談 廃棄物処理施設技術管理者講習						
11	需用費	284	環境調査用品 物品修繕費						
12	役務費	740	環境調査・検査料 測定機器定期検査料						
13	委託料	2,402	環境調査委託料 運転代行						
19	負担金補助及び交付金	19,526	廃棄物処理施設技術管理者講習受講料 環境活動交付金						
上記の合計		23,771	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,771	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・職員1名に廃棄物処理施設技術管理者の資格を取得させるため、講習を受講する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
9	旅費	165	県外旅費 宿泊費(11日)	
19	負担金補助及び交付金	116	廃棄物処理施設技術管理者講習受講料	
合計		281	左記の特定財源	

予算書ページ	64
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010405100
		部・課・係等	市民生活部 豊科支所地域課 地域担当	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102090	豊科支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
47,655	43,733	3,922	0	0	0	2,191
			0	0	0	2,103
			0	0	0	88
						45,464
						41,630
						3,834

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報電話料	1	20	その他雑入	2,026				
20	庁舎等自動販売機設置	162								
20	公衆電話料	2								

【目的・効果】
【目的】
 ・豊科庁舎を適正に管理する。
【効果】
 ・適正管理を図ることにより、経費節減が図られる。
 ・市民の皆様にご快適にご利用していただける。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成27年5月の新本庁舎完成を控え、完成後は豊科庁舎は取壊し予定のため、修繕費等は必要最小限に抑えるなど、無駄な経費の削減に努める。
【参考:管理施設概要】
 豊科支所...昭和33年築 / 鉄骨造2階建て 3,818㎡ / 所属部署:都市建設部(63人)、上下水道部(48人)、市民税課(18人)、資産税課(18人)、収納課(35人)、東部包括支援センター(6人)、支所(29人)、組合(4人) 合計221人
 公用車台数:50台

【一般財源増加理由】 前年度まで別事業(地域振興事業)の、あづみ野祭り補助金(4,000千円)を盛り込んだため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	8,081	臨時職員賃金(5人)	27	公課費	128	公用車の重量税
8	報償費	148	支所等整備検討市民会議出席謝礼・地区行事関係				
11	需用費	21,594	事務用消耗品、公用車燃料費、庁舎修繕費、光熱水費及び公用車修繕費等				
12	役務費	4,531	豊科庁舎電話料及び公用車車検費用等				
13	委託料	2,376	豊科庁舎清掃業務委託、金庫の警備保障業務委託等				
14	使用料及び賃借料	6,797	公用車及び職員駐車場の借地料				
19	負担金補助及び交付金	4,000	あづみ野祭り実行委員会への補助金				
上記の合計		47,655	職員の人件費合計	0	事業費総合計	47,655	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	010405100	市民生活部豊科支所地域課 地域担当	予算書ページ	356
		部・課・係等	部・課・係等				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110385	豊科公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	431,520	国支出金	県支出金	市債	その他	62,343
前年度	51,382			368,400	777	49,725
増減額	380,138	0	0	368,400	△ 880	12,618

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	620	20	公民館コピーサービス料	120				
20	公民館自動販売機電気料	36	21	豊科公民館整備事業	368,400					
20	公民館公衆電話料	1								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・豊科公民館の耐震補強及び大規模改修を行い、より安全かつ機能的な文化の拠点施設としてゆく。

【効果】

- ・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。
- ・市唯一の劇場ホールを持つ当館をリニューアルすることで一層の利活用を図り教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・大規模改修工事を踏まえた公民館機能・施設管理の推進。
 - ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
 - ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
 - ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
 - ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 - ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託
- (豊科公民館耐震補強・大規模改修工事をH26・27年度で予定するため。)

【一般財源増加理由】 大規模改修工事実施のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	100	ホール貸館業務	19	負担金補助・交付金	4	防火管理者協議会
11	需用費	5,091	公民館光熱水費、修繕費等	27	公課費	9	公用車重量税
12	役務費	448	防火対象物定期点検外				
13	委託料	37,492	シルバー人材公民館貸館業務・清掃業務委託、ホール舞台・照明・空調等保守管理、大規模改修工事設計監理外				
14	使用料・賃借料	111	コピー使用料				
15	工事請負費	388,081	工事費				
18	備品購入費	184	コピー機の買換え				
上記の合計		431,520	職員の人件費合計	0	事業費総合計	431,520	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

●豊科公民館耐震補強・大規模改修工事

昭和42年に建設された豊科公民館の耐震性を高めながら、消防法、建築基準法などに適合しない部分を改修し、適法としていくことで利用者の安全性を第一義に、引続き地域の文化の拠点施設として一層の利活用を願い、施設機能の向上とともにユニバーサル対応にも留意した充実化を図るものとする。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	420,604	
合計		420,604	左記の特定財源 旧合併特例債(368,400)

予算書ページ	356
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010405100
		部・課・係等	市民生活部豊科支所地域課 地域担当	
旧		コード	011002100	
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
5,253	4,991				24	5,229
262	262	0	0	0	6	268

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館講座受講料	24							24

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・球技大会、文化祭など多くのスタッフや動員を要する催事については、当事者となる参加者、出展者が主体的に取り組むしくみをより推進していくものとする。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

文化祭参加者増を見込んでの参加賞(71千円増)、貸館対応時の備品及び展示用備品の充実化(273千円)など

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,478	館長報酬				
08	報償費	1,552	地区公民館対抗球技大会運営協力者謝礼・記念品、運動会参加賞他				
11	需用費	491	文化祭・運動会プログラム用紙、競技用品外				
12	役務費	194	公民館総合補償保険掛金				
13	委託料	265	文化祭・菊花展会場設営・撤去業務委託等				
18	備品購入費	273	公民館貸館対応備品、展示用備品				
上記の合計		5,253	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,253	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・パソコンから取込んだデータを表示、投影しながら行う会議・説明会等が主体になってきている中で、その要請に応えるための備品を新たに購入する。また展示用パネルのポールが不足し、文化祭で関係団体から苦情があり購入するもの。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	273	プロジェクター、ワイヤレスマイク、展示用ポール
合計		273	左記の特定財源

予算書ページ	66
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102110	穂高支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
51,091	50,819	272	0	0	0	241
						241
						272

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20		電報電話料	1							241
		庁舎等自動販売機設置	240							

【目的・効果】

【目的】

穂高庁舎維持管理に伴う総括管理費
市民が快適に利用できる環境を維持する。

【効果】

光熱水費の削減による経費節減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高支所、市民活動センター、及び所管施設(豊里・宮城土地・福武書庫)の維持管理、公用車の維持管理(17台)を行う。
- ・穂高支所内にある本庁部局への連絡調整
- ・借地等 庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)、 来庁者駐車場1777.34㎡(地権者1名) 公用車駐車場4,324㎡(地権者2名) 職員駐車場7112.64㎡(地権者6名)

【参考:管理施設概要】

穂高支所・・・昭和47年築 / 鉄筋コンクリート4階建て 3,087㎡ / 所属部署:市民環境部(44名)、商工観光部(27名)、健康福祉部高齢者介護課(21名)、企画財政部まちづくり推進課(2名)、支所(24名)

【一般財源増加理由】 消費税増税分 / 組織改編に伴い福武書庫の管理委託費が穂高財産管理費より移管のため増

節	節名称	金額(千円)	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	5,978	臨時職員賃金						
8	報償費	111	支所等整備検討市民会議出席謝礼・地区行事関係						
11	需用費	20,799	消耗品費・燃料費・灯油・施設物品修繕費・光熱水費・						
12	役務費	3,372	電話料・公用車車検手数料・自賠責保険料						
13	委託料	4,615	各種庁舎管理委託・福武書庫警備						
14	使用料及び賃借料	15,985	コピー機借上げ及び使用料・公用車等駐車場借地料						
27	公課費	231	公用車重量税						
上記の合計		51,091	職員の人件費合計	0	事業費総合計	51,091	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

組織改編に伴い、「穂高財産管理費」から福武書庫の警備委託料が当該事業に移管となった。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	389	福武書庫警備	
合計		389	左記の特定財源	

予算書ページ	68
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当	
旧		コード	010101100	
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102120	穂高支所等整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	20,831	国支出金	県支出金	市債	その他	6,612
前年度	2,520			13,500	719	2,520
増減額	18,311	0	0	13,500	719	4,092

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	庁舎建設基金繰入金	719							
2	庁舎建設事業	13,500								

【目的・効果】

【目的】

新本庁舎竣工に合わせ、老朽化した現穂高支所庁舎を規模縮小の上で改築する

【効果】

- ・市民が安全安心に利用できる施設となる。
- ・庁舎の規模縮小改築により、借り上げている3ヶ所の駐車場を返却できる(削減経費...年間10,715千円)

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
改築のための実施設計業務委託、地質調査業務委託、解体工事実施設計業務委託、及び仮設庁舎の改修工事実施設計、工事監理業務委託と移転改修工事を行う。
事業の実施にあたっては、合併特例債を活用することにより一般財源の負担軽減と経常経費の節減が可能となる。

【支所整備関係】

地質調査業務委託2,057,400円 ・本体実施設計業務委託9,665,200円 ・解体工事実施設計業務委託 ・2,678,400円

【穂高支所仮設庁舎改修関係】

実施設計業務委託540,000円 ・仮設工事施工監理業務委託410,400円 ・改修工事5,486,400円

【一般財源増加理由】						昨年度の実施項目は境界測量(委託料990千円)のみだったが、H26年度は整備が本格化し地質調査・設計監理・仮庁舎改修工事に着手するための増					
節	節名称	金額(千円)	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	2,058	改築地質調査業務委託								
		9,656	改築実施設計業務委託								
		2,679	支所解体工事実施設計業務委託								
		540	仮設庁舎改修工事実施設計業務委託								
		411	仮設庁舎改修工事監理業務委託								
15	工事請負費	5,487	仮設庁舎改修工事								
上記の合計		20,831	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,831	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成25年12月28日 12月議会定例会の市長所信表明で、穂高支所は現地建て替えを公表。
仮設庁舎は、市民活動センター。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	15,344	上記のとおり	
15	工事請負費	5,487		
合計		20,831	左記の特定財源 市債(旧合併特例債 13,500)、その他(庁舎建設基金繰入金 719)	

重点項目番号	3-2	新	コード	010406100	予算書ページ	358
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育課		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
事業	目	5	公民館費	画	基本施策	生涯学習の推進
	0110395	穂高公民館管理費			具体的な施策	生涯学習施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,106,487			1,025,200	52,378	28,909
前年度	607,051	102,000		462,000	500	42,551
増減額	499,436	102,000	0	563,200	51,878	13,642

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館使用料	550	21	スポーツ振興くじ助成金	51,600				
	20	自動販売機電気料	108		体育施設整備事業	926,600				
	20	コピーサービス料	120		防災機能強化事業	98,600				
										1,077,578

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
 ・穂高会館の耐震補強改修工事を実施し、市民が安全・安心して利用できる施設整備を図る。
【効果】
 ・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。
 ・当館をリニューアルすることで一層の利活用を図り教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高会館体育館棟の耐震補強改修工事及び非構造物耐震化工事を実施する。
 ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
 ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
 ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託

〔一般財源増加理由〕 穂高会館耐震補強等改修工事、非構造物耐震化工事実施による増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,858	管理用消耗品、燃料費、電気料、上・下水道料、物品修繕費	23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金
12	役務費	1,098	電話料、防火対象物定期点検費、レンタルマット、各種検査手数料他	27	公課費	9	公用車重量税
13	委託料	28,100	会館管理・受付業務、日常清掃業務、各種機器保守点検業務、耐震補強改修工事監理業務、他				
14	使用料及び賃借料	1,287	コピー機借上げ料及び使用料、会館駐車場借地料他				
15	工事請負費	1,059,025	耐震補強改修工事(体育館棟)、非構造物耐震化工事他				
18	備品購入費	10,101	メインコート用バスケットゴール、調理室備品				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会				
上記の合計		1,106,487	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,106,487	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 穂高会館非構造物耐震化工事
 学校施設の非構造部材の耐震化についてH25年8月に文部科学省から通知あり(200㎡以上の水平投影面積、6m以上の吊り天井を有する箇所が対象)。大規模改修工事にあわせ、穂高会館についても今回、効率的に行うもの。
 体育館メインコート用バスケットゴールの購入

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	111,899	
合計		111,899	左記の特定財源 全国防災事業債(98,600)、スポーツ振興くじ助成金(3,600)

予算書ページ	360
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育課		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,470				30	4,440
前年度	5,570				42	5,528
増減額	1,100	0	0	0	12	1,088

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館講座受講料	30							

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種公民館講座、球技大会、運動会等の開催により、子どもから高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	850	球技大会運営協力者謝礼、文化祭出展、球技大会・運動会景品他				
11	需用費	572	研修会資料代、消耗品費、球技大会用品、文化祭パンフレット他				
12	役務費	194	公民館総合保障掛け金				
13	委託料	355	文化祭運営・撤去業務、公民館講座マイクロ運転業務他				
14	使用料及び賃借料	21	公民館講座用				
上記の合計		4,470	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,470	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	68
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷支所地域課 地域担当	
重点項目番号	5-3	旧	コード	010101100
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	7章 経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	1節 経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	2 行政改革の推進
	事業	0102130	三郷支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	40,848	国支出金	県支出金	市債	その他	40,555
前年度	38,670				281	38,389
増減額	2,178	0	0	0	12	2,166

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報電話料		1	20	その他雑入	168			
20	庁舎等自動販売機設置		120							
20	公衆電話料		4							

【目的・効果】

【目的】

・三郷庁舎の維持管理、運用及び地域振興事業の補助を行う。

【効果】

- ・市民及び職員が安心して快適に利用できる施設となる。
- ・三郷地域の行政の拠点施設としての機能を維持する。
- ・地域の活性化につながると共に、市民のふれあいの場をつくることことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・三郷支所庁舎を維持・管理し、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える。(清掃、空調等保守点検の実施他)
 - ・「三郷支所等整備基本計画」を策定するため「三郷支所等整備検討市民会議」を開催する。
 - ・支所配置分公用車の管理を行う。(管理台数10台(うちH26車検4台)、新本庁舎移行に向けH26車検切れ車1台廃車で前年度比1台減)
 - ・燃料費、光熱費が単価増により増額しているが、クールビズ・ウォームビズやこまめな消灯等により引き続き節電・節約に取り組む。
 - ・地域の活性化と市民のふれあいの場として開催される、「ふるさと夏祭り」について補助を行う。

【参考:管理施設概要】

三郷支所...昭和55年築 / 3階建て4,318㎡ / 所属部署:農林部(51人)、情報政策課(6人)、支所(26人)

【一般財源増加理由】 燃料費、光熱水費の単価の増額、消費税の改定による影響

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,201	税務、会計業務・電話交換・郵便業務・ボイラー運転等臨時賃金	27	公課費	58	公用車重量税
8	報償費	132	支所整備検討市民会議出席謝礼・地区行事関係				
11	需用費	19,600	庁舎管理用消耗品・紙代・トナー代・公用車用消耗品・庁舎暖房用燃料代・公用車燃料代・修繕費・光熱水費				
12	役務費	1,946	電話料・公用車車検手数料・公用車自賠責保険				
13	委託料	7,615	庁舎清掃・各種設備等保守・ごみ処理・除雪				
14	使用料及び賃借料	4,796	印刷機等・除雪用車両・テレビ受信料・庁舎敷地等借地料				
19	負担金補助及び交付金	1,500	ふるさと夏祭り補助金				
上記の合計		40,848	職員の人件費合計	0	事業費総合計	40,848	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	70
--------	----

新	コード	010407100
	部・課・係等	市民生活部 三郷支所地域課 地域担当
旧	コード	010101100
	部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)

重点項目番号	5-3
--------	-----

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	7章 経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	1節 経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	2 行政改革の推進
	事業	0102140	三郷支所等整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,820	2,606				10,214
前年度	7,780	1,537				6,243
増減額	5,040	1,069	0	0	0	3,971

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	2,606							

【目的・効果】

【目的】

・「三郷支所等整備検討市民会議」により策定される「三郷支所等整備基本計画」に基づいて、支所を複合施設として整備するとともに
三郷公民館及び保健センターの耐震補強を行う。

【効果】

・複合施設とすることにより施設の有効活用が可能となり、公民館と支所が連携した住民サービスを提供することができる。
・耐震補強及び改修により、利用者の安全安心と快適な利用につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
三郷公民館及び保健センター棟について、平成25年度に実施した耐震診断により耐震補強及び改修のための実施設計を行う。

【一般財源増加理由】 年次計画で進められている事業の2年度目で、実施設計を委託するため、昨年度の耐震診断に比べ増加している。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	12,820	耐震補強及び改修実施設計委託料				
上記の合計		12,820	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,820	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	360
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷支所地域課 地域担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
11,104	10,326				526	10,578
増減額	778	0	0	0	526	252

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	400	20	公民館コピーサービス料	96				
	20	公民館自動販売機電気料	24							
	20	公民館公衆電話料	6							

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
公共施設が集中している地帯に位置する特色から、大人から子どもまで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として、安心して使いやすい清潔な施設の維持管理を行う。

- ・破損箇所、改善要望があった箇所の修繕を行い利用環境の整備を図る。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。

【一般財源増加理由】 展示パネル等備品購入による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,333	光熱水費、修繕等費				
12	役務費	209	電話料、防火対象物点検				
13	委託料	4,098	保守点検、シルバー人材センター公民館管理・清掃				
14	使用料及び賃借料	2,963	コピー機使用料、公民館敷地借地料				
18	備品購入費	497	展示パネル				
19	負担金補助金及び交付金	4	防火管理者協議会				
上記の合計		11,104	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,104	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	362
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010407100
		部・課・係等	市民生活部	三郷支所地域課 地域担当
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会	社会教育課 社会教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,129	5,345	216	0	0	0	60
						5,069
						5,345
						276

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館講座受講料	60							60

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	1,257	地区公民館対抗スポーツ大会協力者謝礼・大会記念品、三郷祭記念品				
11	需用費	528	事務用品、地区公民館対抗スポーツ大会・三郷祭昼食代、三郷祭プログラム印刷				
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金				
13	委託料	297	文化産業展パネル運搬設置委託				
14	使用料及び賃借料	329	文化産業展机等、芸能発表会照明借上				
18	備品購入費	46	運動会横断幕				
上記の合計		5,129	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,129	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	新	コード	010408100	予算書ページ	70
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当			
予算	款	2	総務費	総	基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	項	1	総務管理費		合計	主要施策
	目	1	一般管理費	画	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102150	堀金支所費		具体的な施策	業務の効率化

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	25,977				162	25,815
前年度	23,704				165	23,539
増減額	2,273	0	0	0	3	2,276

特定財源の内訳	款	20	電報電話料	金額	1	合計金額
		20	庁舎等自動販売機設置	金額	160	
		20	公衆電話料	金額	1	
					162	

【目的・効果】
【目的】
 堀金支所庁舎の維持管理を行う。
【効果】
 市民から見て分かりやすく、無駄なく良く管理され、満足した対応ができる場所と感じてもらえる庁舎となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・堀金支所を維持・管理し、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える
 ・支所業務を円滑に遂行するための臨時職員の配置(電話交換1人・事務補助2人)
 ・支所整備等検討市民会議の開催
 ・支所配置分公用車を管理(管理台数7台(うちH26車検5台)、新本庁舎移行に向けH26車検切れ車1台廃車で前年度比1台減)
【参考:管理施設概要】
 堀金支所...平成14年築 / 3階建て4,358㎡ / 所属部署:危機管理室(11人)、議会事務局(6人)、支所(19人)
 別館...昭和58年築 / 平屋286㎡ / 用途:大会議室

[一般財源増加理由] 主に、前年度人事課計上の臨時職員1人分賃金(1318千円増)/電気料値上げ分(1151千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,906	臨時職員賃金				
8	報償	69	支所等整備検討市民会議出席謝礼・地区行事関係				
11	需用費	10,647	事務用品・公用車燃料・来客用茶葉・庁舎修繕費・電気料・上下水道料・物品修繕費				
12	役務費	2,222	庁舎電話料・公用車車検手数料・公用車法定点検手数料・マットモップレンタル料・自賠責保険料				
13	委託料	6,357	庁舎内設備点検委託料・清掃業務委託料・除雪業務委託料				
14	使用料及び賃借料	2,698	印刷機借り上げ料・庁内便器洗浄器具レンタル料・PC・機使用料				
27	公課費	78	公用車自動車重量税				
上記の合計		25,977	職員の人件費合計		事業費総合計	25,977	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	新	コード	010408100	予算書ページ	70
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	業務の効率化
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102160	堀金支所等施設整備事業	画	具体的な施策	本庁舎等の建設

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,085	233				18,852
前年度	0					0
増減額	19,085	233	0	0	0	18,852

単位:千円

特定財源の内訳	款	14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	金額	233	合計金額	
							233

【目的・効果】
【目的】
 「堀金支所等整備基本計画」に基づいて、支所庁舎等を、支所・図書館・公民館等を備えた複合施設として整備を図っていく。支所及び別館の実施設計を行い、次年度以降に改修工事等を行っていく。支所の別館は、調理実習室として整備を図る。公民館講堂は残し、他の部分は取り壊しをする。この場合耐震診断を行い、その結果を受け、実施設計、次に耐震・補強等改修を行う。取り壊しをした公民館の跡地は駐車場として整備をしていく。
【効果】
 複合施設等として整備することにより地域住民の交流学習等の拠点となり、また、施設の有効活用にもつながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・堀金公民館講堂の耐震診断業務
 ・堀金支所庁舎等の改修に伴う実施設計業務

[一般財源増加理由]								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	19,085	堀金公民館講堂耐震診断委託料(3,921千円) 堀金支所庁舎改修実施計画委託料(15,164千円)					
上記の合計		19,085	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,085	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・堀金支所庁舎等の跡利用について、支所等整備検討市民会議からの報告書や地域審議会からの提言書を踏まえ、堀金支所庁舎等を支所・公民館・図書館等を備えた複合施設として整備を図る。別館の利用についても一体的な施設として整備していく。公民館については、講堂部分を除いて他は取り壊しをし、跡地を駐車場に整備していく。公民館講堂については、耐震診断を行い、耐震・補強等改修を行っていく。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	19,085	堀金公民館講堂耐震診断、堀金支所庁舎等改修実施設計	
合計		19,085	左記の特定財源	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金(233千円)

予算書ページ	362
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010408100
		部・課・係等	市民生活部 堀金支所地域課 地域担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通して学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	8,014	国支出金	県支出金	市債	その他	7,593
前年度	7,824					7,493
増減額	190	0	0	0	90	100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	13	公民館使用料	300	20	公民館コピーサービス料	84				421
	20	公民館自動販売機電気料	36							
	20	公民館公衆電話料	1							

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託

【一般財源増加理由】 講堂自動ドア破損に伴う修繕実施のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,399	管理消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	379	電話料、モップクリーニング、防火対象物定期点検他				
13	委託料	3,418	警備業務、自動ドア保守点検業務、消防用設備等点検業務、清掃業務、受付業務、印刷機保守他				
14	使用料及び賃借料	543	印刷機・複合機借上料及び使用料				
18	備品購入費	262	貸出備品(ワイヤレスアンプ一式)				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費				
27	公課費	9	公用車自動車重量税				
上記の合計		8,014	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,014	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	364
--------	-----

重点項目番号	3-2	
	新	コード 010408100 部・課・係等 市民生活部 堀金支所地域課 地域担当
予算	旧	コード 011002100 部・課・係等 教育委員会 社会教育課 社会教育係
	款	10 教育費
	項	5 社会教育費
	目	5 公民館費
事業	0110420	堀金公民館事業

総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	主要施策	生涯を通して学びあうまち
	基本施策	生涯学習の推進
	具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
4,673	4,804				30	4,643
増減額	131	0	0	0	0	131

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館講座受講料	30							

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	堀金公民館長報酬				
8	報償費	1,462	文化祭・スポーツ大会協力者謝礼、公民館講座講師謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品、運動会景品他				
11	需用費	456	公民館事業消耗品、スポーツ大会用品他				
12	役務費	216	公民館総合保障制度掛金、クリーニング代				
13	委託料	61	一周駅伝大会等バス運転業務、スポーツ大会花火打ち上げ				
上記の合計		4,673	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,673	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	70
--------	----

重点項目番号	5-3	新	コード	010409100
		部・課・係等	市民生活部明科支所地域課地域担当	
旧		コード	010101100	
		部・課・係等	総務部 総務課 庶務係(総務)	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	庶務係(総務)		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102170	明科支所費		具体的な施策	業務の効率化・公共施設の有効的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	38,413	国支出金	県支出金	市債	その他	30,099
前年度	26,110				64	26,046
増減額	12,303	0	0	0	8,250	4,053

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報電話料	1							
20	庁舎等自動販売機設置	227								
20	県水産試験場用地借地料	8,086								

【目的・効果】

【目的】

経費削減と事務事業の効率化を図り健全財政を維持し、市民から信頼を得られる市民サービスの提供する
市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現と「効果的で持続可能な安曇野市の運営」を目指す

【効果】

市民志向のサービスの充実と提供、及び行政財産等の適切な維持管理が図れる

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・複合施設(支所・公民館)及び旧明科公民館の庁舎を維持管理し、市民が利用しやすい環境を整える
 ・職員の働きやすい環境・動線を整えることにより事務の効率化を図り、お待たせしない市民サービスを提供する
 ・地元住民と協働し旧篠ノ井線廃線敷きを有効活用、及び市有地の管理業務の一部委託(急傾斜地等の除草や伐採等作業)
 ・土地賃借契約事務の他、転貸となっている賃借契約について、直接契約になる方向で地権者及び関係機関と調整する
 ・支所配置分公用車の管理(台数6台(うちH26車検5台)、新本庁舎移行に向けH26車検切れ車1台廃車で前年度比2台減)

【参考:管理施設概要】

複合施設...平成25年築/鉄筋コンクリート造2階建て2,568.28㎡(うち講堂337.8㎡)/所属部署:支所(20人)、公民館(4人)
 旧公民館...昭和52年築/鉄筋コンクリート造2階建て1,658.71㎡(うち講堂333.24㎡)/所属部署:教育委員会(43人) 別棟で資料館(倉庫等に使用)

【一般財源増加理由】 複合施設完成に伴う保守委託料等維持管理経費の増/組織改編に伴う事業の一部統合による増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	2,848	臨時職員(電話交換・防災無線放送等1名、税務会計・電話交換・窓口業務等1名)	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金(旧公民館分)
8	報償費	36	地区行事関係	27	公課費	151	公用車重量税
11	需用費	15,015	事務用消耗品外・公用車燃料・旧公民館灯油・来客用等お茶・施設修繕・光熱水費・公用車修理				
12	役務費	2,647	電話料・手数料(車検・庁舎管理・公用車保険料)				
13	委託料	8,956	宿日直委託・保守点検(庁舎・空調・清掃・設備等)市有地管理のための伐採・除草作業等				
14	使用料及び手数料	8,682	庁舎機等借り上げ料・コピー機使用料・テレビ受信料 県水産試験場用地等借地料				
18	備品購入費	74	大型バスナビゲーション				
上記の合計		38,413	職員の人件費合計	0	事業費総合計	38,413	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・新体制による職員減に伴う事業系一般廃棄物収集運搬処分業務
- ・中低木施肥及び、黒松の剪定
- ・市有地内にある樹木が大きくなり、管理ができなくなってため、伐採・処理作業を委託する
- ・支所で管理していた市有地内の除草・伐採等は支所に対応していたが、H26年度から支所職員が減るため作業を委託する
- ・組織改編に伴い、「明科財産管理費」事業の一部(廃線敷・市有地の管理)を当該事業に統合

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	55	消耗品費...24千円(除草剤等、草刈り機替刃)/燃料費...31千円(防災倉庫灯油等) (「明科財産管理費」より統合分)
13	委託料	141	事業系一般廃棄物収集運搬処分業務/中低木施肥/黒松の剪定/
13	委託料	1,109	廃線敷管理/市有地管理/市有地内の除草・伐採等作業(「明科財産管理費」より統合分)
14	借上料	8,400	水産試験場外 (「明科財産管理費」より統合分)
合計		9,705	左記の特定財源 県水産試験場用地借地料 8,086千円

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010409100
		部・課・係等	市民生活部 明科支所地域課 地域担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010802100
		部・課・係等	上下水道部 上水道課 管理係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	7	飲料水供給費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104190	飲料水供給費		具体的な施策	上水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,773				154	1,619
前年度	806				154	652
増減額	967	0	0	0	0	967

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	飲料水供給施設使用料	154							

【目的・効果】

【目的】

山間地への飲料水供給施設で、金井沢地区へ安全で安心な飲料水供給を行う。
(平成25年12月現在 給水対象戸数 7戸)

【効果】

水道は欠くことができない重要なライフラインであり、常に安心・安全・安定的な水質で供給することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・引き続き安全・安定した供給を確保するため、ろ過膜洗浄及び施設点検業務委託等を行う。

【一般財源増加倍理由】主に、配水池清掃工・取水堰堤清掃工(238千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	389	電気料						
12	役務費	39	電話料(テレメーター)						
13	委託料	1,345	施設維持管理委託料 ろ過膜洗浄及び施設点検業務委託料						
上記の合計		1,773	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,773	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	366
--------	-----

重点項目番号	3-2		新	コード	010409100	
			部・課・係等	市民生活部・明科支所地域課・地域担当		
予算	款	10	教育費	旧	コード	011002100
	項	5	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	
目	5	公民館費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
事業	0110425	明科公民館管理費	主要施策	生涯を通して学びあうまち		
			基本施策	生涯学習の推進		
			具体的な施策	生涯学習施設の整備		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,517				755	2,762
前年度	2,756				671	2,085
増減額	761	0	0	0	84	677

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	550							
20	公民館公衆電話料	1								
20	公民館コピーサービス料	204								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・新施設の良さを活かし、市民へ気持ちの良いサービスを提供し、情報発信の拠点の場となること。

【効果】

- ・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。
- ・新設備を使用したイベント、講座などを開催することにより、多くの利用者が見込める。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・新施設の使用規定(内規。作成済)に沿った利用方法の周知を徹底し、破損個所を発生させないよう管理する。
 - ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
 - ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
 - ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
 - ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託
 - ・利用者の使用日誌の記帳により、光熱(水)費の経費節減に努める。

【一般財源増加理由】 前年度は新公民館の管理を宿日直者対応で実施する方針で当初予算削減となったが、不可能であることから本年度は当初予算に計上した。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	595	PPCペーパー、印刷機マスター、インク・清掃用品・施設、物品修理費						
12	役務費	304	電話料・ピアノ調律・公用車車検、自賠責保険料						
13	委託料	2,131	施設管理(貸館)						
14	使用料及び賃借料	480	コピー機、印刷機リース料・コピー機使用料						
27	公課費	7	公用車車検に伴う重量税						
上記の合計		3,517	職員の人件費合計	0	事業費総合計		3,517	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	366
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	010409100
		部・課・係等	市民生活部・明科支所地域課・地域担当	
		旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通して学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,899				40	3,859
前年度	4,095				40	4,055
増減額	196	0	0	0	0	196

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館講座受講料	40							

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「明科いいまちつくりうかい!!(市民有志と地域課・公民館で組織する会)」の活動に伴い、明科地域の活性化の支援体制を作る。

- ・明科地域の運動会、文化祭を市民との協力のもと行い、参加者の生の声を現場で多数収集し、次年度に活かす。
- ・これまで公民館活動と関わりの薄かった世代(10代、20代)との協力体制をつくり、地域活動を行う。
- ・講座を開催し、参加者による自主的な活動で継続できるサークルをつくれるよう支援する。
- ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
- ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
- ・地区公民館役員会議を定期的に開催し情報の提供及び共有を図る。

10									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	2,478	公民館長報酬						
8	報償費	872	文化祭、球技大会協力者謝礼・文化祭、球技大会記念品・運動会景品・サポート委員謝金						
11	需用費	233	公民館事業用消耗品・球技大会、運動会用品・球技大会協力者贈						
12	役務費	194	公民館総合保障制度加入金						
13	委託料	122	講座に伴うバス運転委託料						
上記の合計		3,899	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,899	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

福祉部

予算書ページ	116
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010401100
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 福祉総務担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費		具体的な施策	地域福祉活動の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	478,890	国支出金	県支出金	市債	その他	462,532
前年度	471,420		13,837		1,580	456,003
増減額	7,470	0	0	0	941	6,529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民生委員活動委託金	12,630	20	社会福祉雑入	80				16,358
	15	民生委員協議会委託金	1,207							
	16	福祉基金利子	2,441							

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と外部提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・心配ごと相談、婚活事業といった市民の日常的問題、課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

- ・こういった事業を実施することで、いわゆる現代社会の弱者の立場にある人の安全や安心を確保し、これらの人たちが生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・本事業は上記目的を達成するため、以下各節の主な内容に記載するとおり多岐にわたっている。具体的な事業内容は各節の内容のとおり。
- ・積立金が増加しているが、これは、条例改正により今回から福祉基金積立金の利子を計上したため。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	231	民生委員推薦会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	121,801	全国・県民児協負担金、社会福祉主事資格認定講座受講料、社会福祉協議会地域福祉推進事業補助、地区民児協補助及び交付金
8	報償費	18,927	福祉委員報償	25	積立金	2,442	福祉基金積立金利子
9	旅費	323	社会福祉主事資格認定講座、民児協視察研修				
11	需用費	408	事務用品、災害時避難行動要支援者名簿用事務用品				
12	役務費	198	F Mラジオ広告料,ｸﾘｰﾝﾝｸﾞ代				
13	委託料	12,701	心配ごと相談、戦没者追悼式会場設営、婚活事業、大型バス運行				
14	使用料及び賃借料	945	災害時要援護者台帳保守				
上記の合計		157,976	職員の人件費合計	320,914	事業費総合計	478,890	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・災害対策基本法の改正により、災害時避難行動要支援者名簿を作成しこれを地域の自主防災組織ほか関係機関に外部提供することが新たに市の業務と位置付けられたことを受け、当該名簿の内容確認等のために該当者へ郵送による確認を行う。
- ・今まで安曇野市社会福祉協議会に結婚相談事業を委託していたが、福祉的意味合いが強く婚姻につながりにくかったため、積極的に出会いの場や自己啓発の場を創っていたため、安曇野市商工会に婚活事業を委託する。
- ・福祉事業の広報手段として、FMラジオを利用する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	195	F M放送広告料
13	委託料	2,000	婚活事業委託料
合計		2,195	左記の特定財源

新	コード	010501100
	部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当
旧	コード	010401100
	部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 福祉総務担当

予算書ページ	116
--------	-----

重点項目番号	2
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
589,894	575,620	14,274	0	215,495	0	2,040
				208,405		1,800
				7,090		240
						372,359
						365,415
						6,944

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	15	福祉医療費給付事業補助金	215,495							217,535
	20	福祉医療費貸付金元金収入	2,040							
		(一般財源の内、消費税増税分)	100,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・乳幼児等、障害者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
- ・低所得者で医療費の負担が大きい方のために貸付制度がある。

【効果】

- ・子育て世帯、障害児者、1人親世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・受給資格者に対し、保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
- ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプト毎500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(償還払い)
- ・該当者の増加により、予算額が増えている。

【一般財源増加理由】 障害者手帳取得者が増加傾向にあり、給付金支払額の増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	43	事務用消耗品				
12	役務費	47,385	医療機関事務手数料				
13	委託料	5,346	国保連合会審査集計事務委託料				
20	扶助費	535,080	受給者に対する給付金				
21	貸付金	2,040	貸付制度利用者貸付金				
上記の合計		589,894	職員の人件費合計	0	事業費総合計	589,894	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

新規事業はありません

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	118
--------	-----

新	コード	01050100
	部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当
旧	コード	010401100
	部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 福祉総務担当

重点項目番号	2
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103030	臨時福祉給付金給付事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	270,766	270,766	0	0	0	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	270,766	270,766	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	臨時福祉給付金給付事業補助金	250,000							
14	臨時福祉給付金給付事業事務費補助金	20,766								

【目的・効果】
【目的】
 ・消費税率の引上げに際し、低所得者に対し臨時的な給付措置を行う。
【効果】
 ・低所得者への影響を緩和し、影響の低減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・対象世帯からの申請に対し、審査決定し、給付金を支払う。【全額国庫負担】
 基本分対象者数 20,000人
 加算分対象者数 10,000人
 支給額 基本分1人当たり 10,000円
 加算分1人当たり 5,000円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	職員手当	2,070	職員5名分 時間外手当	20	扶助費	250,000	給付金
07	賃金	3,871	申請受付・処理事務臨時職員賃金【6か月の短期雇用】				
11	需用費	1,220	事務用品、申請用封筒・支払通知書・リーフレット等印刷費				
12	役務費	5,620	申請書等郵送料、口座振込手数料				
13	委託料	7,560	電子システム構築業務委託料				
14	借上料・使用料	325	コピー複合機レンタル料				
15	工事請負費(単独)	100	電話引き込み工事				
上記の合計		270,766	職員の人件費合計 0	事業費総合計	270,766	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
【導入経過】
 平成25年10月1日閣議決定「消費税率及び地方消費税率の引き上げとそれに伴う対応について」で、低所得者に対する「簡素な給付措置」を講ずることを決定し、それに基づき実施することになった。
【概要】
 低所得者(市民税非課税者(課税者に扶養されている者、生活保護費受給者を除く))に対し、10,000円を給付する。また、老齢年金、障害者年金等の受給者には5,000円を上乗せして給付するもの。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
03	職員手当	2,070	職員5名分 時間外手当
07	賃金	3,871	申請受付・処理事務臨時職員賃金【6か月の短期雇用】
11	需用費	1,220	事務用品、申請用封筒・支払通知書・リーフレット等印刷費
12	役務費	5,620	申請書等郵送料、口座振込手数料
13	委託料	7,560	電子システム構築業務委託料
14	借上料・使用料	325	コピー複合機レンタル料
15	工事請負費(単独)	100	電話引き込み工事
20	扶助費	250,000	給付金
合計		270,766	左記の特定財源 臨時福祉給付金給付事業補助金(250,000)、臨時福祉給付金給付事業事務費補助金(22,024)

予算書ページ	128
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501200
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402100
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103130	老人福祉総務費		具体的な施策	生きがいづくりと社会参加の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	255,111	国支出金	県支出金	市債	その他	248,792
前年度	248,206		2,345		4,340	241,521
増減額	6,905	0	0	0	366	7,271

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	老人クラブ活動助成事業補助金	2,345							
20	市町村特別対策広報等事業補助金	3,974								

【目的・効果】

【目的】

高齢者福祉事業を実施する上での総務的な事業の実施及び連携が必要な各団体等への支援

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・職員の人件費
- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会への運営補助金交付。
- ・社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助。
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合への負担金支出。
- ・老人大学の委託方式による開催。
- ・福祉バスの運行委託。
- ・70歳以上の在宅高齢者に対し、市内7か所の保養施設の無料入浴券を4枚交付。
- ・在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給。

【一般財源増加理由】 職員人件費及びシルバー人材センターへの補助金の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	28	福祉有償運送協議会出席謝礼				
11	需用費	672	事務用品、参考図書費、ガイドブック印刷費、保養施設無料入浴券印刷				
13	委託料	9,746	老人大学開催委託費、福祉バス運行委託費				
14	使用料及び賃借料	506	コピー機借上料及び使用料				
19	負担金補助及び交付金	42,896	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、福祉センター運営補助、松塩安筑一部事務組合負担金				
20	扶助費	51,125	保養施設入浴券交付事業、介護慰労金支給、外出支援事業タクシー料金扶助。				
上記の合計		104,973	職員の人件費合計	150,138	事業費総合計	255,111	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	130
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501200
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402100
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103140	在宅福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	45,519	国支出金	県支出金	市債	その他	32,908
前年度	80,874		1,605		14,070	65,199
増減額	35,355	0	14	0	3,078	32,291

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	高齢者にやさしい住宅改良促進推進事業補助金	1,575	20	配食サービス利用料	8,705	
15	緊急宿泊支援事業補助金	44	20	生活管理指導利用料	364		
20	緊急通報システム利用料	1,698	20	軽度生活援助利用料	225		

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を支援することを目的とした事業。

【効果】

- ・在宅高齢者の健康増進につながるにより、施設生活に頼らない在宅の生活の継続が期待できる。
- ・家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・配食サービス、緊急通報サービス等高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。
- ・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業に対しての補助金交付。
- ・88歳、100歳、男女各最高齢者に対し、祝品を支給。
- ・要介護高齢者が在宅で暮らしやすくするために住宅を改良する際の補助金を交付。(対象者は、所得制限あり)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	600	健康体操指導員派遣事業の講師謝礼					
11	需用費	331	事務用品、返信用封筒印刷代、緊急通報装置修理代					
12	役務費	8	最高齢者祝状筆耕料					
13	委託料	30,435	配食サービス事業、緊急通報システム他各種在宅福祉サービス業務委託料					
18	備品購入費	447	貸出用緊急通報装置購入費					
19	負担金補助及び交付金	9,350	高齢者生きがいと健康づくり事業補助金、健康長寿のまちづくり推進事業補助金。					
20	扶助費	4,348	高齢者祝品、緊急宿泊支援事業、訪問理美容扶助費。					
上記の合計		45,519	職員の人件費合計	0	事業費総合計	45,519	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	130
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501200		
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係			
予 算	款	3	民生費	総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項目	1	社会福祉費	合計	主要施策	認め合い支えあえるまち
事業	目	2	老人福祉費	画	基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	87,448	国支出金	県支出金	市債	その他	74,776
前年度	87,450				12,672	74,778
増減額	2	0	0	0	0	2

単位:千円

特定財源の内訳	金額		款	金額		款	金額		合計金額
	金額	金額		金額	金額				
12	老人入所措置費個人負担金	12,672							12,672

【目的・効果】
【目的】
 心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に措置制度により入所させ、養護することを目的とする。
【効果】
 施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための訓練、支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・養護が必要な高齢者を、市が措置費を支払い養護老人ホーム入所措置を行う。また利用者からは、所得に応じて負担金を徴収する。
 ・入所に際しての判定会議を開催する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	68	老人ホーム入所判定委員会出席謝礼					
11	需用費	5	ケースファイル購入費					
20	扶助費	87,375	養護老人ホーム措置費用					
上記の合計		87,448	職員の人件費合計	0	事業費総合計	87,448	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	132
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501200
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402100
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		具体的な施策	福祉施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	65,274	国支出金	県支出金	市債	その他	46,886
前年度	24,766				12,100	12,666
増減額	40,508	0	0	0	6,288	34,220

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高老人保健センター利用料	12,000	20	豊科ふれあいホール自販機電気料	45				
13	豊科ふれあいホール使用料	252	20	豊科ふれあいホール公衆電話料	1					
20	老人保健センター売上等	100	20	福祉施設等利用料	5,990					

【目的・効果】

【目的】

要介護高齢者の在宅生活を支えるため介護保険施設であるデイサービスセンターを運営し、高齢者の健康・福祉増進や交流を活発にするため、福祉センターや低額で利用できる温泉入浴施設等を管理、運営する。

【効果】

デーサービスセンターは、要介護者へ安定した介護保険サービスの提供ができ、福祉センター等では、高齢者の健康・福祉の増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

所管する主な施設

- ・デイサービスセンター 5施設 豊科、穂高、三郷、堀金、明科。 介護保険施設。指定管理者制度により管理。
- ・穂高地域福祉センター …… 老人福祉センター、デイサービスセンター、児童館の複合施設 平成4年設置 合計2,317㎡ 老人福祉センターのH24年度延利用者数は24,565人。当課では老人福祉センターを指定管理者制度により管理。
- ・三郷福祉センター …… 平成6年設置 福祉センター部分は1240.95㎡ H24年度延利用者数 11,415人。指定管理者制度により管理。
- ・穂高老人保健センター …… 入浴施設 浴室部昭和50年建て(144.00㎡)、休憩室部平成10年建て(252.36㎡) 平成24年度延利用者数 66,635人。指定管理者制度により管理。
- ・今年度の主な修繕等 三郷デイサービスセンターのバスリフト取替設置。穂高老人福祉センター自動扉修繕。

【一般財源増加理由】 係で所管する他の高齢者福祉施設を当該事業に統合したため。消費税上昇による光熱水費等管理経費の増額に伴う指定管理料増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,106	穂高地域福祉センター自動扉修繕。ふれあいホール灯油代。その他小破修繕。				
12	役務費	65	ふれあいホール建物検査及びピアノ調律				
13	委託料	49,722	穂高老人保健センター穂高老人福祉センター、三郷福祉センター、屋内ゲートボール場指定管理委託料。				
14	使用料及び賃借料	6,695	穂高老人保健センター、三郷福祉センター施設用地借地料。穂高老人保健センター排水処理施設使用料。				
17	公有財産購入費	4,018	三郷デイサービスセンターバスリフト取替による購入				
18	備品購入費	23	ふれあいホールガステーブル購入				
19	負担金補助及び交付金	3,645	温泉使用料負担金				
上記の合計		65,274	職員の人件費合計	0	事業費総合計	65,274	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	170
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010501100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当	
		旧	コード	010401100
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 福祉総務担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	4	災害救助費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500					500
前年度	500					500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・自己の居住の用に供する家屋における火災の罹災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。

【効果】

・罹災者の福祉の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達したとき 50千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達したとき 30千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
20	扶助費	500	火災の罹災者に対する見舞金及び弔慰金				
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

新規事業はありません

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	118
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当	
旧	コード	0100401200		
部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当			

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103040	障害者支援センター費		具体的な施策	自立と就労への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
57,168	56,369	799	2,963	3,031		1,410
			2,237	2,642		
			726	389	0	1,410
						49,764
						51,490
						1,726

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	2,963	20	障害者就労支援センター指定管理者納付金	900				
15	地域福祉総合助成金	1,549	20	障害者活動支援センター指定管理者納付金	510					
15	地域生活支援事業補助金	1,482								

【目的・効果】

【目的】

・生活介護:安定した生活を営むことができるよう、食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。

・B型事業所:通所により、就労や生産活動の機会を提供する。一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。

・地域活動支援センター:通所により、地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会の交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進を図る。

【効果】・障害者のニーズに即した適切なサービス提供ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、堀金かえでの家、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家の指定管理委託
 ・施設の修繕

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,050	施設修繕費				
13	委託料	56,118	穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家の指定管理委託料				
上記の合計		57,168	職員の人件費合計	0	事業費総合計	57,168	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	118
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	0100401200
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当	

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103050	障害者支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,145,591	568,496	283,676			293,419
前年度	1,075,439	526,915	262,797			285,727
増減額	70,152	41,581	20,879	0	0	7,692

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	自立支援医療負担金	15,500	15	自立支援給付費負担金	269,119		(一般財源の内、消費税増税分)	100,000		
14	障害児施設措置費(給付費)負担金	13,614	15	障害児施設措置費(給付費)負担金	6,807					

【目的・効果】

【目的】

障害者・障害児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法等に基づき、障害福祉サービス等の利用者等に対して必要な給付をおこなう。

【効果】

障害者・障害児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【給付内容】

- ・介護給付費(居宅介護、短期入所、重度訪問介護、行動援護、施設入所支援等)
- ・訓練等給付費(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、機能訓練等)
- ・補装具費
- ・自立支援医療費(更生医療・育成医療)、療養介護医療費

【費用負担】

基準額に対して 国:1/2 県:1/4 市:1/4

【一般財源増加理由】 障害福祉サービスは近年(平成17年度以降)、障害者に対する支援制度の充実が図られたことにより、利用者が年々増加し、これに伴いサービスの提供等にかかる費用が増加している。また、障害者総合支援法の施行(平成25年4月)により、難病患者等もサービスの対象となるなど、当面は利用者が増加していくものと考えられる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,027	相談支援専門員 障害程度区分認定調査員	20	扶助費	1,135,087	厚生医療、療養介護医療、育成医療の給付費 障害福祉サービスの給付費
8	報償費	615	育成医療の審査に係る医師に支払う謝礼 障害福祉運営委員会の出席者の謝礼				
9	旅費	111	県外の施設に入所している方の認定調査に係る旅費 (兵庫県施設他)				
11	需用費	134	ケースファイル、参考図書、医師意見書返信用封筒 利用者向けパンフレット、書籍追録				
12	役務費	2,490	障害認定区分申請に係る医師意見書 給付費の審査に係る国保連の手数料				
14	使用料及び賃借料	648	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
19	負担金補助及び交付金	2,479	障害者相談支援従事者現任及び新任研修負担金 障害程度区分認定の審査に係る広域連合負担金				
上記の合計		1,145,591	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,145,591	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	120
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当	
重点項目番号	2	旧	コード	0100401200
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業		具体的な施策	相談支援体制の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,336	7,560	4,224	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

- ・障害を有する(疑われる)子どもの早期発見・早期支援を行う。
 - ・乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援と情報管理を行う。
 - ・支援に必要な情報が共有できるネットワークを構築する。
- 【効果】
- ・障害の早期発見により、適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・保護者、本人、関係機関からの個別相談に継続した支援を実施する。
- ・教育相談員を臨時職員として常駐化することにより巡回相談の充実を図る。
- ・作業療法士による、「遊びの教室」への協力。
- ・ネットワーク構築に向けた他部署との調整

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100	後援会講師謝礼				
09	旅費	112	研修旅費				
11	需用費	181	消耗品費:療育検査用紙				
12	役務費	144	電話料				
13	委託料	220	巡回相談医師、作業療法士委託料				
18	備品購入費	300	収納庫				
19	負担金補助及び交付金	15	研修参加負担金				
上記の合計		1,072	職員の人件費合計	2,264	事業費総合計	3,336	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	122
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	0100401200
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,808	24,424	12,212			41,172
前年度	74,395	22,057	11,029			41,309
増減額	3,413	2,367	1,183	0	0	137

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	地域生活支援事業補助金	12,212								

【目的・効果】

【目的】

障害者総合支援法に基づき、障害者・障害児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。

【効果】

障害者・障害児の基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

理解促進研修啓発事業、自発的活動支援事業、相談支援事業、成年後見制度利用支援事業、成年後見制度法人後見支援事業、意思疎通支援事業、手話奉仕員養成研修事業、移動支援事業、地域活動支援センター機能強化事業等

【費用負担】

基準額に対して 国:1/2 県:1/4 市:1/4

(統合補助金として位置づけられており、国の予算額を人口及び事業実施割合等で市町村に配分する。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	94	理解促進研修・啓発事業(コミュニケーション教室)の講師謝礼、及び手話通訳者・要約筆記者の謝礼				
9	旅費	24	手話通訳士特殊健康診断に係る旅費				
11	需用費	6	理解促進研修・啓発事業(コミュニケーション教室)に係るOHC用のロール紙、筆談用のペンなどの消耗品				
12	役務費	1,567	手話通訳士の特殊健康診断料、損害保険料、筆耕翻訳速記料(手話通訳士の派遣に係る費用)				
13	委託料	48,916	障害者相談支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴事業、手話通訳奉仕員養成講座事業				
19	負担金補助及び補助金	3,695	社会参加支援事業、自動車改造事業、自動車運転免許取得助成事業、自発的活動支援事業、成年後見支援センター事業への補助金				
20	扶助費	23,506	身体障害者日常生活用具の給付、成年後見制度の利用に係る費用の給付、地域活動支援センターの利用に係る費用の給付				
上記の合計		77,808	職員の人件費合計	0	事業費総合計	77,808	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	122
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	0100401200
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当	

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103080	精神障害者居宅生活支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,997	357	178			9,462
前年度	9,097	261	130			8,706
増減額	900	96	48	0	0	756

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	357							
15	地域生活支援事業補助金	178								

【目的・効果】

【目的】

在宅の精神障害者の社会復帰の促進及び精神障害者を抱える家族の精神的な負担の軽減を目的としている。

【効果】

在宅の精神障害者の社会復帰及び精神障害者を抱える家族の精神的な負担軽減に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域活動支援センター「ひめこぶしの家」の指定管理委託
 回復途上にある在宅の精神障害者に対して、軽易な作業及び地域や仲間との交流等の場を提供することにより自立した社会生活の促進を図る。
 ・精神障害者家族教室の開催
 精神障害者を抱える家族を対象に、「障害者本人への接し方」「薬の作用による害」「家族自身の心の癖」等の内容の講座を通じて、精神障害者への理解を深め、家族の精神的な負担の軽減や同じ悩みを持つ者同士の意見交換や情報の共有化を図り、支援の充実につなげていく。

【一般財源増加理由】 「ひめこぶしの家」の指定管理期間の更新(5年)にあたり、人件費等の事業費の見直しを行った結果、委託料が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報償費	50	精神障害者家族教室の講師謝礼 精神障害者家族教室視察受入れ先への謝礼				
11	需用費	10	精神障害者家族教室の開催に係る消耗品				
13	委託料	9,937	精神障害者家族教室視察に係るバスの運行委託 ひめこぶしの家指定管理委託				
上記の合計		9,997	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,997	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	124
--------	-----

新	コード	010502100
	部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当
旧	コード	0100401200
	部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 障害福祉担当

重点項目番号	2
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103090	障害者福祉総務費		具体的な施策	障害者福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	136,843	40,407	5,343			91,093
前年度	138,572	40,495	6,082			91,995
増減額	1,729	88	739	0	0	902

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	特別障害者手当負担金	40,407							
15	地域福祉総合助成金	4,934								
15	特別児童扶養手当事務委託費	409								

【目的・効果】

【目的】

・障害者等の誰もが生きがいをもって生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施する。

【効果】

・団体に補助することにより、障害者が個人活動だけではなく、目的を共にした団体で、その活動を通じて社会参加できる環境づくりができる。
・自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービス(タイムケア事業、外出支援事業、透析通院支援等)ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・れんげの家、やまびこ学園への運営補助の為の委託。
- ・障害者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会等)への補助金の交付。
- ・障害者の外出を支援する、外出支援事業、希望の旅事業、ふれあいバスの旅事業への補助。
- ・障害者の生活に扶助する、タイムケア事業、特別障害者・児福祉手当、重度心身障害者・児福祉金、透析通院支援の実施。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	38	登録手話通訳者・要約筆記者現任研修会講師謝礼				
09	旅費	17	県外研修会旅費				
11	需用費	569	消耗品費:特別児童扶養手当事務消耗品 施設修繕費:身体障害者会館修理費				
12	役務費	221	市が行う講演会などへの手話通訳等派遣費				
13	委託料	15,333	れんげの家運営委託料、やまびこ学園運営委託料、豊科身体障害者会館指定管理委託料				
19	負担金補助及び交付金	12,983	身体障害者療護施設さらの里建設負担金、障害者住宅等整備補助金、重症心身障害児者支援事業補助金				
20	扶助費	103,154	特別障害者・障害児福祉手当、重度心身障害児・者福祉金、透析患者通院支援				
上記の合計		132,315	職員の人件費合計	4,528	事業費総合計	136,843	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	164
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課	生活支援担当
重点項目番号	4	旧	コード	010401300
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課	生活保護担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	991,173	国支出金	県支出金	市債	その他	290,502
前年度	1,009,249	693,202	12,742		6,100	297,205
増減額	18,076	11,648	1,425	0	1,700	6,703

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	生活保護費国庫負担金	681,054	15	住宅手当等緊急特別措置事業補助金	2,767				
14	生活保護適正実施推進事業補助金	500	20	生活保護支援貸付金元金収入	1,800					
15	生活保護費県負担金	8,550	20	返還金及び徴収金	6,000					

【目的・効果】

【目的】

・生活困窮者の生活の維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。

【効果】

- ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
- ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。
- ・生活困窮者(離職者等一定の条件を満たす場合に限る)のうち、家賃が支払えない方に対し、住宅支援給付を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,128	臨時職員賃金2人分	21	貸付金	1,800	生活保護支援貸付金
8	報償費	608	講師謝礼、囑託医手当(2人分)				
9	旅費	164	職員研修、扶養調査等職員旅費				
11	需用費	224	参考図書、消耗品				
12	役務費	1,203	郵便料、電話料、審査支払手数料				
13	委託料	652	レセプト点検委託ほか				
20	扶助費	917,126	生活保護扶助費、住宅手当(住宅支援給付)				
上記の合計		924,905	職員の人件費合計	66,268	事業費総合計	991,173	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	166
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課	生活支援担当
旧		コード	010401300	
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課	生活保護担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	78,595	国支出金	県支出金	市債	その他	
		41,327	2,358		1,136	33,774
前年度	73,175	42,509	3,403		1,172	26,091
増減額	5,420	1,182	1,045	0	36	7,683

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	自立支援給付費負担金	4,716	20	共同作業センター電気料	500					
14	生活保護費国庫負担金	36,611	20	社会就労センター自販機電気料	216					

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として施設の維持管理運営費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工資が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・(株)まるたか、(株)安曇野漬物、(株)小宮山製菓、ニチコン(株)の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。(豊科)
- ・(株)日本エフディ、安曇野本多、穂高観光食品、小宮山製菓の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。(三郷)
- ・フジゲン(株)、スリーヤーン、サンエパーほか8社から1年を通して安定的な仕事を確保する。(明科)
- ・利用者の確保(定員:30名)と一般就労への支援を行う。(H25.12月現在の利用者:28名)(豊科、三郷)
- ・利用者の確保(定員:40名)と一般就労への支援を行う。(H25.12月現在の利用者:36名)(明科)
- ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
- ・施設(社会就労センター)の維持管理及び施設運営ほかを行う。
- ・穂高社会就労センターの業務を民間事業者へ委託する。

【一般財源増加理由】 事業費増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	30,888	指導員(13名)、事務員(4名)賃金・一時金・通勤手当	15	工事請負費	130	廃ダンボール物置シャッター取付工事費
8	報償費	78	取引企業お礼	19	負担金補助及び交付金	358	県及び中信地区協議会負担金 安曇野市防火管理者協議会負担金
9	旅費	372	所長普通旅費 指導員(13名)・事務員(4名)費用弁償				
11	需用費	9,225	消耗品費・灯油代・光熱水費(電気代)・施設修繕費・物品修繕費				
12	役務費	1,431	電話料・施設賠償責任保険料				
13	委託料	17,531	穂高社会就労センター業務委託、施設警備委託				
14	使用料及び賃借料	694	コピー機借上げ、フォークリフト借上げ、借地料				
上記の合計		60,707	職員の人件費合計	17,888	事業費総合計	78,595	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・穂高社会就労センター業務の委託を行う。
 ・現在の廃ダンボール物置は、老朽化しているうえ、ダンボールの出し入れ口が開放状態にあり、防火防犯(危機管理)上不安があるため、入口に鍵付きシャッターを取り付ける工事を実施し、防火防犯に備える。(明科)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	14,472	穂高社会就労センター業務委託
15	工事請負費	130	廃ダンボール物置シャッター取付工事(明科)
合計		14,602	左記の特定財源 生活保護費国庫負担金(10,110)

予算書ページ	168
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当	
旧		コード	010401300	
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 生活保護担当	

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103530	豊科社会就労センター 事業費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,689	国支出金	県支出金	市債	その他	561
前年度	10,674				10,128	546
増減額	15	0	0	0	0	15

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	社会就労センター作業工賃	9,600							
20	社会就労センター作業受託	528								

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・(株)まるたか、(株)安曇野漬物、(株)小宮山製菓、ニチコン(株)の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。
 「安定した仕事の確保=安定した工賃の確保」を目指して、取引企業と連絡を密にして情報を得る。
 ・利用者の確保(定員:30名)と一般就労への支援を行う。(H25.12月現在の利用者:28名)
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
 ・生活弱者の福利厚生事業(旅行・懇親会・大掃除ほか)を行う。

【一般財源増加理由】 福利厚生事業でのバス運転手の宿泊代(13千円)を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	53	作業用消耗品 洗剤・消毒液・うがい薬ほか				
12	役務費	10,128	利用者工賃及び受託金				
13	委託料	58	大型バス運行業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	450	利用者福利厚生事業補助金				
上記の合計		10,689	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,689	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	170
--------	-----

新	コード	010502200
	部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当
旧	コード	010401300
	部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 生活保護担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103540	穂高社会就労センター 事業費		具体的な施策	生活保護制度の適用
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54					54
前年度	16,226				15,600	626
増減額	16,172	0	0	0	15,600	572

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。
【効果】
 ・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所 = 社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と労働の対価として工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・上記目的の達成のため民間企業のノウハウと発想を生かして、より効果のある運営ができるよう業務を民間に委託する。穂高社会就労センターに係る経費については、委託料などを社会就労センター管理費(0121010)に計上。

[一般財源増加理由]

節	節名称	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	54 機械器具等修繕				
上記の合計						
	54	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	170
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当	
重点項目番号	4	旧	コード	010401300
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 生活保護担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103550	三郷社会就労センター事業費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,655	13,847	1,192	0	0	0	1,200
						8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	社会就労センター作業工費	12,000							

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・(株)日本エフディ、安曇野本多、穂高観光食品、小宮山製菓の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。
 「安定した仕事の確保=安定した工賃の確保」を目指して、取引企業と連絡を密にして情報を得る。
 ・利用者の確保(定員:30名)と一般就労への支援を行う。(H25.12月現在の利用者:28名)
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
 ・生活弱者の福利厚生事業(旅行・懇親会・大掃除ほか)を行う。

【一般財源増加理由】 福利厚生事業でのバス運転手の宿泊代(13千円)を計上したため、消耗品は減額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	74	作業用消耗品 洗剤・消毒液・うがい薬ほか				
12	役務費	12,072	利用者工賃及び受託金				
13	委託料	59	荷物運搬業務ほか委託料 大型バス運行業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	450	利用者福利厚生事業補助金				
上記の合計		12,655	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,655	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	170
--------	-----

新	コード	010502200
	部・課・係等	福祉部 福祉課 明科社会就労センター
旧	コード	010401300
	部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 明科社会就労センター

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103560	明科社会就労センター 事業費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,300	23,450	7,150	0	0	0	8,190
						1,040

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	社会就労センター作業工賃	12,000							
20	社会就労センター作業受託金	600								

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・フジゲン(株)、スリーヤーン、サンエバーほか取引企業8社から1年を通して安定的な仕事を確保する。
 「安定した仕事の確保=安定した工賃の確保」を目指して、取引企業と連絡を密にして情報を得る。
 ・利用者の確保(定員:40名)と一般就労への支援を行う。(H25.12月現在の利用者:36名)
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
 ・生活弱者の福利厚生事業(旅行・クリスマス会・大掃除ほか)を行う。

【一般財源増加理由】主として備品(特注ゴムシート)購入費(168千円増)、荷物運搬業務委託(884千円増)、運転業務(16千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	115	作業用消耗品 洗剤・消毒液・うがい薬ほか				
12	役務費	12,600	利用者工賃及び受託金				
13	委託料	1,819	荷物運搬業務ほか委託料 大型バス運行業務委託料				
14	使用料及び賃借料	998	荷物運搬用自動車借上げ料				
18	備品購入費	168	作業台用ゴムシート(特注)				
19	負担金補助及び交付金	600	利用者福利厚生事業補助金				
上記の合計		16,300	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,300	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・作業台用ゴムシート(特注)は、3~5年程度で交換が必要となるため、20枚の内10枚を交換する。
 ・現在使用中のゴムシートは、平成21年度から使用しているもので、劣化の大きいシートから交換していく。
 【特注理由】フジゲン業務(磨き・清掃)専用の作業台に合わせているため、特注のゴムシートとなっている。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	168	作業台用ゴムシート(特注)
合計		168	左記の特定財源

重点項目番号	3-1	新	コード	010503100
			部・課・係等	福祉部・子ども支援課・児童係
		旧	コード	010403100
			部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業		具体的な施策	相談事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,752	14,967	5,546		2	8,237
前年度	25,545	13,383	4,754		2	7,406
増減額	3,207	1,584	792	0	0	831

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	母子生活支援施設入所者負担金	2	14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	665	
14	母子生活支援施設入所国庫負担金	11,050	15	母子生活支援施設入所県費負担金	5,525		
14	母子家庭自立支援給付金事業補助金	3,252	15	母子家庭等日常生活支援事業補助金	21		

【目的・効果】

【目的】

・DV被害者及びひとり親家庭への相談及び支援を行うことにより、安心で安全な生活ができる環境づくりを行う。

【効果】

・相談を行うことにより、重篤な事件を未然に防ぐ。

・安心で安全な生活環境を提供することにより、母子家庭等のひとり親家庭の早期自立ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・配偶者からの暴力に関するDV相談及び保護、自立に向けての支援

・ひとり親家庭の自立に関する相談及び支援

〔一般財源増加理由〕 母子生活支援施設入所措置費(3,168千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,885	女性相談・母子自立支援員賃金				
09	旅費	63	県外DV避難移送支援旅費、女性相談員研修参加旅費				
11	需用費	150	事務用品、緊急避難施設光熱水費				
12	役務費	123	携帯電話料				
19	負担金補助及び交付金	15	母子自立支援員及び婦人相談員連絡協議会負担金 母子福祉会主催事業参加負担金				
20	扶助費	26,516	母子自立支援施設入所措置費、母子家庭高等技能訓練促進費、DV避難時緊急対策費用				
上記の合計		28,752	職員の人件費合計	0	事業費総合計	28,752	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-1	新	コード	010503100
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・児童係	
旧		コード	010403100	
		部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・児童係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	2,102,957	国支出金	県支出金	市債	その他	
		1,259,053	255,014		66	588,824
前年度	2,121,541	1,264,984	253,057		601	602,899
増減額	18,584	5,931	1,957	0	535	14,075

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	児童扶養手当国庫負担金	112,155	14	保育緊急確保事業国庫補助金	2,938	15	児童福祉施設入所負担金判定委託金	6	
14	児童扶養手当国庫負担金精算分	1	14	子育て世帯臨時特別給付金給付事務費補助金	205	20	児童手当過年度精算金	65	65	
14	児童手当国庫負担金	1,143,753	15	児童手当県費負担金	252,070	20	児童扶養手当過年度返納金	1	1	
14	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	15	保育緊急確保事業県費補助金	2,938		(一般財源の内、消費税増税分)	160,000	160,000	

【目的・効果】

【目的】

- ・児童虐待防止、虐待の早期発見と要保護児童対策の強化をはかる。
- ・児童手当、児童扶養手当を支給することにより子育て世代への経済的支援を行う。

【効果】

- ・虐待防止及び虐待を早期に発見することにより、要保護児童の安全確保ができる。
- ・児童手当等の支給により経済的支援が充実され、よりよい子育て環境が維持できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童相談所等の関係機関と連携した家庭児童相談事業の実施。
- ・児童手当法及び児童扶養手当法に基づく手当の支給。
- ・子ども子育て新制度施行に向けての、事業計画の策定。

【一般財源増加理由】 子ども・子育て支援事業計画策定委託料(4,072千円増)ファミリーサポート事業からの移管(4,904千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	9,960	家庭児童相談員、児童係事務非常勤職員賃金				
08	報償費	588	児童館・児童クラブ運営委員会、次世代育成支援推進協議会、穂高地域児童館建設検討会、子ども・子育て会議 出席者例				
09	旅費	51	要保護児童県外移送支援旅費、家庭指導相談員研修参加旅費				
11	需用費	642	事務用品、参考図書、子育て支援ガイドブック印刷製本				
13	委託料	8,976	子ども・子育て支援事業計画策定委託料 ファミリーサポート事業委託料				
19	負担金補助及び交付金	56	虐待防止研修会参加負担金 家庭児童相談員連絡協議会負担金				
20	扶助費	1,984,913	児童手当、児童扶養手当、子育て支援ショートステイ				
上記の合計		2,005,186	職員の人件費合計	97,771	事業費総合計	2,102,957	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

子ども・子育て支援事業計画策定事業
平成27年度施行の「子ども・子育て新制度」に向けた、5カ年計画の策定業務の実施。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	6,167	子ども・子育て支援事業計画策定委託料
合計		6,167	左記の特定財源

予算書ページ	140
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010503100
			部・課・係等	福祉部・子ども支援課・児童係
		旧	コード	010403100
			部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,175					11,175
前年度	10,350					10,350
増減額	825	0	0	0	0	825

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・小規模公園の整備を行うことにより、児童の安全な遊び場の確保を図る。
- ・利用状況の把握を行うことにより、小規模公園の整備方針を策定し、公園管理の一元化を図る。

【効果】

- ・危険遊具の計画的な更新により、児童の遊び場としての安全が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成24年度からの6カ年計画により、安全点検の結果危険な遊具の更新工事を実施する。
- ・小規模公園の利用状況を把握するための調査を実施する。
- ・利用状況調査結果集約及び小規模公園台帳の整備を行う。

〔一般財源増加倍由〕 利用状況調査用消耗品(52千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	773	小規模公園利用状況調査員賃金(短期雇用 3か月、2人)				
11	需用費	52	小規模公園利用状況調査用消耗品				
13	委託料	350	更新工事設計管理委託料				
15	工事請負費	10,000	小規模公園遊具更新工事				
上記の合計		11,175	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,175	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・小規模公園の利用状況を把握するため調査を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
07	賃金	773	小規模公園利用状況調査員賃金(短期雇用 3か月、2人)
11	需用費	52	小規模公園利用状況調査用消耗品(上質紙、ラミネートフィルム、マジック)
合計		825	左記の特定財源

予算書ページ	140
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010503100
			部・課・係等	福祉部・子ども支援課・児童係
		旧	コード	010403100
			部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・児童係

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103250	子育て世帯臨時特例給付金事業		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	138,286	138,286	0	0	0	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	138,286	138,286	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子育て世帯臨時特例給付金事業補助金	133,400							
14	子育て世帯臨時特例給付金給付事務費補助金	4,886								

【目的・効果】

【目的】

・消費税率の引上げに際し、臨時的な給付措置を行う。

【効果】

・子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・対象世帯からの申請に対し、審査決定し、給付金を支払う。【全額国庫負担】

対象世帯 8,470世帯
 対象児童数 13,337人
 支給額 児童1人当たり 10,000円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	職員手当	552	職員4名分 時間外手当				
07	賃金	424	申請受付・処理事務臨時職員賃金[3か月の短期雇用]				
11	需用費	900	事務用品、申請用封筒・支払通知書・リーフレット等印刷費				
12	役務費	1,930	申請書等郵送料、口座振込手数料				
13	委託料	1,080	電子システム構築業務委託料				
20	扶助費	133,400	臨時特例給付金				
上記の合計		138,286	職員の人件費合計	0	事業費総合計	138,286	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

【導入経過】

平成25年12月5日閣議決定 「好循環実現のための経済対策」第2章 「低所得者・子育て世帯への影響緩和、駆け込み需要及び反動減の緩和」

【概要】

消費税の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として子育て世帯に対する臨時特例給付を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
03	職員手当	552	職員4名分 時間外手当
07	賃金	424	申請受付・処理事務臨時職員賃金[3か月の短期雇用]
11	需用費	900	事務用品、申請用封筒・支払通知書・リーフレット等印刷費
12	役務費	1,930	申請書等郵送料、口座振込手数料
13	委託料	1,080	電子システム構築業務委託料
20	扶助費	133,400	臨時特例給付金
合計		138,286	左記の特定財源 子育て世帯臨時特例給付金事業補助金(133,400)、子育て世帯臨時特例給付金給付事務費補助金(4,886)

予算書ページ	140
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010503100
			部・課・係等	福祉部・子ども支援課・児童係
		旧	コード	010403100
			部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	児童館費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103260	児童館運営費	具体的な施策	児童福祉サービスの充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	169,496	18,015	2,651		32,412	116,418
前年度	168,064	19,432			32,233	116,399
増減額	1,432	1,417	2,651	0	179	19

特定財源の内訳	款	12	児童クラブ負担金	金額	32,410	款	14	保育緊急確保事業国庫補助金	金額	2,651	合計金額
		12	児童クラブ負担金滞納繰越分	金額	1		14	児童健全育成事業補助金	金額	15,364	
		13	児童クラブ利用者負担金督促手数料	金額	1		15	保育緊急確保事業県費補助金	金額	2,651	
										53,078	

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業を行うことによる子育て支援の充実と、放課後の児童の安全な居場所の確保を図る。

【効果】

- ・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の母親の交流が図れる。
- ・児童クラブ事業を充実することにより、安心して働ける環境づくりができる。
- ・全館指定管理を行うことにより、提供するサービスの均一化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内9児童館、10児童クラブを指定管理制度による指定管理委託。

【一般財源増加理由】 指定管理事業者における人件費のベースアップによる増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	研修会講師謝礼				
11	需用費	35	プール用消毒剤				
13	委託料	167,513	指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地及び案内看板設置用地借地料				
15	工事請負費	1,440	案内看板設置、児童館遊具更新工事				
上記の合計		169,496	職員の人件費合計	0	事業費総合計	169,496	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	142
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010503200
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当	
旧		コード	010403300	
		部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・施設整備係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	2	児童館費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103270	児童館整備事業		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
101,547	4,734	96,813	0	0	0	54,000
						4,000
						734
						46,813

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	福祉基金繰入金	54,000							

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るために児童館を整備し、より効率化した施設になるよう環境整備を行う。

【効果】

・施設増築により、分散していた児童クラブを集約でき、長期預かりの要望にも対応が可能となる。

・駐車場配置を見直し、余剰財産を処分することでより効果的な施設運営ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

三郷児童館増築工事

・既存児童館に児童クラブ室棟(現予定:255㎡ 児童クラブ室3・トイレ・玄関)を増築する。年度前半までH25から引き続きの実施設計を行い、工事発注に併せて施工監理業務を委託する。

豊科児童館用地選定及び測量事業

・豊科地域児童館建設検討報告書に基づき、建設候補地選定及び用地交渉、地形測量を行う。

【一般財源増加理由】 三郷児童館建設工事(85,939千円)増加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	144	児童館教材費等				
12	役務費	191	建築確認手数料、中間検査手数料、完了検査手数料				
13	委託料	7,560	豊科児童館建設に伴う地形・用地測量業務				
13	委託料	5,804	三郷児童館実施設計業務、工事監理業務				
15	工事請負費	85,939	児童館建設工事外				
18	備品購入費	1,909	施設備品購入				
上記の合計		101,547	職員の人件費合計	0	事業費総合計	101,547	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・三郷児童館増築工事 A=255㎡

・豊科児童館用地測量業務

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	101,547	
合計		101,547	左記の特定財源 福祉基金54,000千円

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503200	予算書ページ	142
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当			
予算	款	3	民生費	合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
事業	0103280	公立保育園総務費	目	3	基本施策	1 子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,205,374	国支出金	県支出金	市債	その他	525,297
前年度	1,554,246	3,249	13,484		668,240	869,273
増減額	348,872	37	8,554	0	13,487	343,976

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	保育所使用料他	48,241		その他	10,423		
14	保育緊急確保事業国庫補助金他	3,286					

【目的・効果】

【目的】

- ・安心安全の育児ができる環境を整えるため、保育所の適正管理運営を行う。
- ・保育士研修の実施と適正配置を行う。

【効果】

- ・未満児保育、時間外保育、障害児保育等の特殊保育を行い、またそれに適した施設等保育環境を整備することで、多様化する保育ニーズに対応することができる。
- ・研修により保育士の資質を向上させ、さらに適正数の保育士配置を行うことで安心で安全な保育を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・18保育園の保育運営事務を行う。
- ・18保育園の保育施設管理を行う。
- ・未満児保育、延長保育、障害児保育、一時預かり保育、病児病後児保育などの特別保育事業を実施する。
- ・保育所勤務の非常勤職員管理事務を行う。
- ・よりよい保育サービスを提供するため、保育士資質向上事業を行う。
- ・認可外保育施設児童処遇向上事業を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,300	校医報酬	14	使用料及び賃借料	13,337	コピー機外借上料、印刷機外借上料、園児送迎タクシー外、保育園用地
07	賃金	578,226	臨時職員賃金、臨時賃金(保育園代替職員)	19	負担金補助及び交付金	6,776	職員研修外、保育対策等促進事業、病児病後児保育事業
08	報償費	10,028	子育て講演会、保育士資質向上研修会、歯科衛生士検診謝礼、保育協力員、保育に関する審議会、保育所入所支援委員会、給食委託業務審査委員会謝礼				
09	旅費	670	職員旅費、非常勤職員自家用車公務使用料、保育士資質向上研修会、保育に関する審議会				
11	需用費	1,292	参考図書代、保育士被服代、保育園ガイド外				
12	役務費	724	電話代、ぎょう虫検査、ピアノ調律、賠償、賠償保険料以下				
13	委託料	13,506	子ども子育て支援新制度管理システム構築業務、				
上記の合計		626,859	職員の人件費合計			578,515	事業費総合計
						1,205,374	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

子ども子育て支援新制度管理システム構築業務委託

- ・子ども子育て支援新制度の本格施行にあたり、支給認定事務・確認事務などを円滑に実施するため電子システムを構築する。
- ・保育・住基・税務システムとの連携を行う。
- ・未就学児の学校教育、保育、子育て支援の量の見込みを一元的に管理する。
- ・国が構築する全国総合システムとの連動が想定されている。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	5,336	子ども子育て新制度に伴うシステム改修
合計		5,336	左記の特定財源 安心こども基金事業補助金(5,336)

予算書ページ	144
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010503200
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当	
旧		コード	010403300	
		部・課・係等	健康福祉部・児童保育課・施設整備係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103290	公立保育園整備費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	936,390	国支出金	県支出金	市債	その他	42,690
前年度	364,434			813,700	80,000	15,634
増減額	571,956	0	0	268,800	80,000	27,056

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	福祉基金繰入金	80,000							
21	保育所建設事業	414,600								
21	施設整備事業債	399,100								

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るため老朽・狭隘化した園舎を改築し、未満児室・延長保育室を設置充実して保育環境整備を行う。

【効果】

・施設更新により、保育環境と耐震性能、防犯性能の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

三郷南部保育園建設事業

・H25から引き続き建設工事を実施し年度内に竣工する予定。施設完成に併せ、施設備品の更新を行う。借地契約している旧園舎跡地については土地復旧工事を行い、土地所有者へ返還する。

アルプス保育園建設事業

・H25中に実施設計を完了し、H26前半に工事着手する。

明科南保育園建設事業・三郷北部保育園建設事業

・建設用地の選定、用地・周辺道路等の測量を実施する。

豊科保育園大規模改修事業

・H27に実施するリニューアル工事の実施設計業務を行う。

〔一般財源増加理由〕 三郷南部保育園建設工事債務負担行為(373,647千円)、アルプス保育園造成工事債務負担行為(37,351千円)等の増加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,685	臨時職員賃金	14	使用料及び賃借料	869	仮設駐車場等借地料
9	旅費	51	普通旅費	15	工事請負費	857,876	園舎建設工事費、現園舎解体工事費、敷地造成・周辺道路工事費
11	需用費	8,410	保育園建設関係事業事務用品 給食用食器・保育教材外	18	備品購入費	22,620	施設備品購入費
12	役務費	240	完了検査手数料、土壌診断手数料 中間検査手数料、開発行為許可手数料	19	負担金	263	下水道加入者負担金
12	役務費	87	ピアノ等移動手数料	22	補償補填及び賠償金	1,461	園舎借地期間延長に伴う補償料
13	委託料	24,657	しゅん工式会場設営委託料、農地復旧設計委託料、用地・敷地造成、周辺道路測量設計委託料				
13	委託料	18,171	保育園建設設計監理委託料				
上記の合計		936,390	職員の人件費合計 0	事業費総合計	936,390	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・明科南保育園建設事業・三郷北部保育園建設事業(用地測量等)

・豊科保育園大規模改修事業(実施設計)

・アルプス保育園建設事業:建築主体工事・機械設備工事・電気設備工事

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	506,610	
合計		506,610	左記の特定財源 保育所建設事業233,200千円 施設整備事業債208,200千円 福祉基金30,000千円

予算書ページ	146
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503200
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103300	私立保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	70,648	国支出金	県支出金	市債	その他	18,672
前年度	73,580	16,976	8,438		26,562	19,245
増減額	2,932	6	487	0	1,866	573

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	保育児童保育料	26,562							
14	保育所運営費負担金他	16,976								
15	保育所運営費負担金他	8,438								

【目的・効果】

【目的】

・年々保育需要が増えているため、保育事業継続のため民間保育所(細萱保育園)の運営費を負担する。

【効果】

・増加する保育ニーズ(未満児保育・土曜保育等)に対応した場の提供を拡大することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・民間保育所への保育所運営費負担金の交付事業
- ・民間保育所への特別保育事業に対する補助金交付事業(障害児保育・1歳児保育・長時間保育)

【一般財源増加理由】 保育単価(支弁額)改定に伴う負担金の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	70,648	細萱保育園児童保育負担金、私立保育所特別保育事業補助金				
上記の合計							
		70,648	職員の人件費合計	0	事業費総合計	70,648	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	146
--------	-----

重点項目番号	3 - 1
--------	-------

新	コード	010503200
	部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当
旧	コード	010403200
	部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103310	公立保育園施設管理費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,039					25,039
前年度	0					0
増減額	25,039	0	0	0	0	25,039

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・18保育園の保育施設管理(施設修繕、遊具修繕、エアコン等器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、遊具更新、必要工事等)を行う。

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,397	施設修繕費、物品修繕費				
12	役務費	2,853	手数料等				
13	委託料	10,517	管理委託料、事務事業委託料				
15	工事請負費	8,272	工事請負費				
上記の合計		25,039	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,039	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	146
--------	-----

新	コード	010503200
	部・課・係等	福祉部・子ども支援課・保育担当
旧	コード	010403200
	部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係

重点項目番号	3 - 1
--------	-------

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103320	公立保育園給食施設費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
302,918	0	302,918	0	0	0	18,672
						284,246
						0
						284,246

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安心安全な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・保育園給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・保育園給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
 Aグループ 西穂高保育園・北穂高保育園・穂高保育園
 Bグループ 有明の森保育園・有明あおぞら保育園・堀金保育園
 Cグループ 三郷東部保育園・三郷西部保育園・三郷南部保育園・三郷北部保育園
 Dグループ 豊科保育園・豊科南部保育園・つつみ保育園・アルプス保育園
 Eグループ 南穂高保育園・上川手保育園・明科南保育園・明科北保育園
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウィルス検査等の実施。
 ・老朽した備品の整備

〔一般財源増加理由〕 公立保育園総務費から分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	172,387	食器、調理用品購入 器具修理 給食材料購入				
12	役務費	1,123	衛生検査等				
13	委託料	125,947	給食調理業務委託、給食室消毒委託				
18	備品購入費	3,461	冷凍庫、釜 等の購入				

上記の合計	302,918	職員の人件費合計	0	事業費総合計	302,918	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	146
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503201
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・豊科保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103330	豊科保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,189					7,189
前年度	0					0
増減額	7,189	0	0	0	0	7,189

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:150名 園児数:118名
 未満時保育:10名 障害児加配保育:1名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,989	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	139	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	343	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理、昇降機メンテナンス				
14	使用料	60	コピー機使用料				
18	備品購入費	628	園児用椅子、書庫、ワイヤレスマイク				
上記の合計		7,189	職員の人件費合計	事業費総合計		7,189	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	148
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503202
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・豊科南部保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103340	豊科南部保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,239	0	6,239	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
6,239	0	6,239	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:130名 園児数:128名
 未満時保育:20名 障害児加配保育:5名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,171	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	185	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	221	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理				
14	使用料	103	コピー・印刷機使用料				
18	備品購入費	529	園児用椅子、テーブル				
上記の合計		6,239	職員の人件費合計	事業費総合計	6,239	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	148
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503203
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・南穂高保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103350	南穂高保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,898					5,898
前年度	0					0
増減額	5,898	0	0	0	0	5,898

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
5898

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:160名 園児数:160名
未満時保育:25名 障害児加配保育:1名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,565	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	198	電話料、機器調整、厨房内清掃、卒園証書筆耕料				
13	委託料	27	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理				
14	使用料	46	コピー機使用料				
18	備品購入費	32	紙芝居用棚				
上記の合計		5,898	職員の人件費合計	事業費総合計	5,898	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	150
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503204
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・たつみ保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103360	たつみ保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,801					4,801
前年度	0					0
増減額	4,801	0	0	0	0	4,801

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:105名 園児数:72名
 未満時保育:12名 障害児加配保育:2名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,124	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	154	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	158	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理				
14	使用料	33	コピー機使用料				
18	備品購入費	302	マット、跳び箱、踏切り板、園児用椅子、テーブル				
上記の合計		4,801	職員の人件費合計	事業費総合計		4,801	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	150
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503205
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・アルプス保育園	
		旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103370	アルプス保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,725	0	4,725	0	0	0	0
						4,725

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:120名 園児数:65名

未満時保育:10名 障害児加配保育:1名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,269	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	127	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	270	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理				
14	使用料	29	コピー機使用料				
上記の合計		4,725	職員の人件費合計	事業費総合計		4,725	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	152
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503206
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・上川手保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103380	上川手保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,413					4,413
前年度	0					0
増減額	4,413	0	0	0	0	4,413

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:80名 園児数:69名
 未満時保育:10名 障害児加配保育:1名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,977	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	169	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	16	産廃収集運搬処理				
14	使用料	27	コピー・印刷機使用料				
18	備品購入費	194	避難用お出かけ車				
上記の合計		4,413	職員の人件費合計	事業費総合計		4,413	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503207
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・有明の森保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103390	有明の森保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,487	0	6,487	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
6,487	0	6,487	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:160名 園児数:130名
 未満時保育:18名 障害児加配保育:3名

【一般財源増加倍由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,969	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	267	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	98	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬				
14	使用料	72	コピー機使用料				
18	備品購入費	51	おもちゃ交換台				
上記の合計		6,487	職員の人件費合計	事業費総合計	6,487	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503208
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・有明あおぞら保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103400	有明あおぞら保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,292					6,292
前年度	0					0
増減額	6,292	0	0	0	0	6,292

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:160名 園児数:130名
 未満時保育:21名 障害児加配保育:8名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,805	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	274	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	39	産廃収集運搬				
14	使用料	121	コピー機使用料、有線テレビ使用料				
18	備品購入費	23	カラー豊				
上記の合計		6,292	職員の人件費合計	事業費総合計		6,292	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	154
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503209
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・西穂高保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103410	西穂高保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,700	0	8,700	0	0	0	0
						8,700

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:250名 園児数:220名
 未満時保育:32名 障害児加配保育:5名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	8,110	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	221	電話料、機器調整、厨房内排気清掃、卒園証書筆耕料				
13	委託料	111	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬				
14	使用料	120	コピー機使用料				
18	備品購入費	108	玉入れ、ベンチ				
上記の合計		8,700	職員の人件費合計	事業費総合計		8,700	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	156
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503210
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・北穂高保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103420	北穂高保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,673	0	3,673	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
3,673	0	3,673	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:90名 園児数:64名

未満時保育:10名 障害児加配保育:1名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,398	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	123	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	55	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬				
14	使用料	46	コピー機使用料				
18	備品購入費	21	乳児用ラック椅子				
上記の合計		3,673	職員の人件費合計	事業費総合計	3,673	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	156
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503211
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・穂高保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103430	穂高保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,359	0	8,359	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
8,359	0	8,359	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:180名 園児数:181名
 未満時保育:26名 障害児加配保育:10名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	7,283	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	282	電話料、機器調整、雨樋・高所窓清掃、卒園証書筆耕料				
13	委託料	117	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬				
14	使用料	67	コピー機使用料				
18	備品購入費	580	折りたたみテーブル				
上記の合計		8,359	職員の人件費合計	事業費総合計	8,359	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	158
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503215
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・三郷西部保育園	
重点項目番号	3 - 1	旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103440	三郷西部保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,569					3,569
前年度	0					0
増減額	3,569	0	0	0	0	3,569

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:70名 園児数:61名
 未満時保育:10名 障害児加配保育:0名

【一般財源増加倍由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	36	子育て講演会講師謝礼、西部菜園使用謝礼				
11	需用費	3,329	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	99	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	39	グリストラップ清掃				
14	使用料	41	コピー機使用料				
18	備品購入費	25	園児用椅子				
上記の合計		3,569	職員の人件費合計	事業費総合計		3,569	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	158
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503213
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・三郷南部保育園	
		旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103450	三郷南部保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,575					5,575
前年度	0					0
増減額	5,575	0	0	0	0	5,575

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:130名 園児数:113名
 未満時保育:15名 障害児加配保育:1名

[一般財源増加理由] 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,254	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	163	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	78	グリストラップ清掃				
14	使用料	50	コピー機使用料				
上記の合計		5,575	職員の人件費合計		事業費総合計	5,575	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503214
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・三郷東部保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103460	三郷東部保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,551					6,551
前年度	0					0
増減額	6,551	0	0	0	0	6,551

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:170名 園児数:154名
 未満時保育:21名 障害児加配保育:3名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	6,010	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	124	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	156	樹木選定・草刈・防虫作業、グリストラップ清掃				
14	使用料	85	コピー機使用料				
18	備品購入費	146	おさんぽカ				
上記の合計		6,551	職員の人件費合計	事業費総合計	6,551	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503212
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・三郷北部保育園	
		旧	コード	010403200
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103470	三郷北部保育園費	画	具体的な施策	児童福祉サービスの充実

予算書ページ	160
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,997				5,997
前年度	0				0
増減額	5,997	0	0	0	5,997

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。
【効果】
・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
・コピー機使用料
・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)
定員:150名 園児数:112名
未満時保育:16名 障害児加配保育:1名

[一般財源増加倍由] 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,756	保育園用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	113	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	78	グリストラップ清掃				
14	使用料	20	コピー機使用料				
上記の合計		5,997	職員の人件費合計	事業費総合計		5,997	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	162
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503216
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・掘金保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103480	掘金保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
9,724	0	9,724	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
9,724	0	9,724	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:280名 園児数:251名
 未満時保育:29名 障害児加配保育:3名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	8,807	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	411	電話料、機器調整、雨樋清掃、卒園証書筆耕料				
13	委託料	94	グリストラップメンテナンス				
14	使用料	171	コピー・印刷機使用料、有線テレビ使用料				
18	備品購入費	211	園児用椅子、机、洗濯機				
上記の合計		9,724	職員の人件費合計	事業費総合計		9,724	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	162
--------	-----

重点項目番号	3 - 1		新	コード	010503218
				部・課・係等	福祉部・子ども支援課・明科南保育園
予算	款	3	旧	コード	010403200
	項	2		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係
	目	3			
事業		0103490	明科南保育園費		

総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	主要施策	3節 安心を支えるまち
	基本施策	1 子育て支援の充実
	具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,122					6,122
前年度	0					0
増減額	6,122	0	0	0	0	6,122

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:130名 園児数:102名
 未満時保育:6名 障害児加配保育:1名

[一般財源増加理由] 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼						
11	需用費	5,383	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品雑業修繕						
12	役務費	211	電話料、機器調整、高所ガラス清掃、卒園証書筆耕料						
13	委託料	258	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理						
14	使用料	240	厨房機器借上げ料、コピー機使用料						
上記の合計		6,122	職員の人件費合計		事業費総合計	6,122	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	164
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	新	コード	010503217
		部・課・係等	福祉部・子ども支援課・明科北保育園	
旧		コード	010403200	
		部・課・係等	健康福祉部 児童保育課 保育係	

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103500	明科北保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,295					5,295
前年度	0					0
増減額	5,295	0	0	0	0	5,295

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、園庭樹木剪定等の施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理、アメシロ防除等業務
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

施設概要(H25.4.1時点)

定員:90名 園児数:72名
 未満時保育:20名 障害児加配保育:2名

【一般財源増加理由】 公立保育園総務費から各保育園費を分割したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,472	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、消防設備消耗品、灯油、光熱水費、施設・物品修繕				
12	役務費	181	電話料、機器調整、高窓清掃、卒園証書筆耕料				
13	委託料	163	樹木選定・草刈・防虫作業、産廃収集運搬処理				
14	使用料	68	コピー機使用料				
18	備品購入費	381	園児用椅子、テーブル、プレイバルーン、物置				
上記の合計		5,295	職員の人件費合計	事業費総合計		5,295	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

保健医療部

予算書ページ	126
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010401100
		部・課・係等	健康福祉部 社会福祉課 福祉総務担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103110	穂高健康支援センター管理費		具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,186				172	33,014
前年度	30,766				92	30,674
増減額	2,420	0	0	0	80	2,340

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高健康支援センター使用料	20							
20	雑入	152								

【目的・効果】

【目的】

・各種健診や予防活動及び福祉部の大半の事業を行う拠点としての穂高健康支援センターを効率的に管理する。

【効果】

・今年度から健康推進課が管理することにより、平成27年度以降に向けた、健康長寿を見据えたセンター管理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・穂高健康支援センターの効率な管理
 ただし、光熱水費、消費税の増により、一般財源の額は増になっている。
 ・現健康福祉部に所属する車両の管理をする。(本庁舎完成を見据えて、現保有車67台のうち、車検時に6台を廃車する。)

【一般財源増加理由】 主に電気料の増加(1,381千円増 値上げと消費税増)、車検台数の増加(11台増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	20,052	用紙等事務用品、公用車燃料費、施設修繕費、光熱水費、封筒印刷費、公用車修繕費				
12	役務費	6,180	電話料、光回線使用料、公用車車検等手数料、公用車自賠責保険料、				
13	委託料	3,055	施設清掃、除雪、電気設備保守管理、消防設備点検 各委託				
14	使用料及び賃借料	3,188	コピー機借上げ料及び使用料				
18	備品購入費	241	外構用草刈機(自走式)				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者負担金				
27	公課費	466	公用車重量税				
上記の合計		33,186	職員の人件費合計	0	事業費総合計	33,186	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・穂高健康支援センターの外構を効率よく管理するため、自走式草刈機を1台購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	132
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当	
旧		コード	010404305	
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 明科保健センター係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103170	明科総合福祉センター管理費		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	19,761	国支出金	県支出金	市債	その他	9,633
前年度	18,952				8,428	10,524
増減額	809	0	0	0	1,700	891

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	総合福祉センター使用料	1							
20	明科総合福祉センター管理費等徴収金	8,567								
20	福祉施設等利用料	1,560								

【目的・効果】

【目的】

保健福祉活動の拠点として、住民が予防活動を安全・快適に利用できるように施設管理を実施する。

【効果】

各種検診や予防活動時に事故や不具合がなく効果的な活動ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・来庁者の安全を確保するため、施設設備の保守点検業務を実施し不具合箇所の指摘に早期対応する。
- ・建物定期検査で指摘された施設内外の整備状況を再調査し、今後の対応を検討する。
- ・予防活動を効果的に実施するために、安全に使用できない物は整理して環境を整える。

【施設概要】

総合福祉センター「あいりす」内 / 平成12年築 / 鉄骨一部2階建て3,177㎡ / 職員数:5人 / 特記事項:保健センター以外に「社協明科支所」「社協東部ヘルパーステーション」「明科デイサービスセンター」(指定管理:社協)「障害者共同作業所」(指定管理:社協)「安曇野東部訪問看護ステーション」(城西財団)があり、施設管理している。なお、各団体に維持管理経費の一部を面積割で負担いただいている。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	14,731	燃料費(灯油)及び光熱水費				
12	役務費	313	電話料及び手数料(汚泥採取、フロアマット等)				
13	委託料	4,428	電気設備保安管理委託料等				
14	使用料及び賃借料	243	コピー機のリース、保守、使用料及びあずみのテレビ受信料				
18	備品購入費	42	両面スチールホワイトボード購入代金				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金				
上記の合計		19,761	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,761	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・非常用自家発電設備の経年劣化に伴うエンジンオイル、オイルエレメント、軽油の入替等を行う。
- ・施設の地下ピット内部の湧水について長年建物定期調査で指摘されてきたため、H25に調査し防水処理を実施したところ、一部にその効果が検証されたことから、H26に他の地下ピット内を調査し再検証する。また建物外回り(犬走りインターロッキング、アスファルト外)の不陸、亀裂も悪化しているため、掘削調査等も行い原因を解明し、今後施設を維持していくための改修工事の可否・方法・時期等を判断する。

節	金額(千円)	主な内容
11	116	・非常用自家発電設備修繕整備115,560
13	308	・ピット内部漏水・地盤掘削調査委託料307,476
合計	424	左記の特定財源

予算書ページ	172
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係	
旧		コード	010404100	
		部・課・係等	健康福祉部健康推進課健康推進係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費		具体的な施策	地域医療体制・救急医療体制・産期医療の充実

297286

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
296,574	298,175	1,601	0	0	0	302
						275
						577
						296,299
						297,598
						1,299

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	小倉診療所貸付料	275							275

【目的・効果】

【目的】

休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。
松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。
災害時医療救護所装備品の整備を進める。

【効果】

地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。
災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
病院群輪番制病院運営事業について、松本市へ負担金を支払う。
松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。
災害時医療救護所装備品を購入し整備を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	40,175	保健師・管理栄養士ほか賃金	19	負担金補助及び交付金	23,229	病院群輪番制負担金、出産子育て安心ネットワーク協議会負担金ほか
8	報償費	638	健康長寿・献血等記念品、協議会委員等出席謝礼				
11	需用費	2,486	関係図書購入、成人等検診こよみほか印刷				
12	役務費	320	医療等総合賠償保険				
13	委託料	6,806	在宅(休日)当番医制事業委託				
14	使用料及び賃借料	110	小倉診療所借地料				
18	備品購入費	1,324	災害時医療救護所装備品を購入				
上記の合計		75,088	職員の人件費合計	221,486	事業費総合計	296,574	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

現在の医療救護所においては災害発生時の停電および夜間への対応装備が全く整っていないことから、装備品の整備を進める。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	15	防災資機材として、防水シート購入
18	備品購入費	1,324	災害時医療救護所装備品を購入
合計		1,339	左記の特定財源

予算書ページ	172
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係	
		旧	コード	010404100
		部・課・係等	健康福祉部健康推進課健康推進係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康推進員費		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,273					2,273
前年度	2,252					2,252
増減額	21	0	0	0	0	21

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 健康づくり推進員は担当地区内における健康増進の推進者として活動を推進する。
【効果】
 地域レベルで、健康づくりのための知識の普及・啓発に関わる者の育成が進む。
 検診受診率の向上が望める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 地域活動時の講師謝礼、大会・研修会参加推進員出席謝礼の支給。
 他市町村への研修会実施のためバス運行委託料を一日分増額。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,145	講師、推進員出席謝礼				
11	需用費	34	地区活動材料費				
13	委託料	94	研修会参加バス運行運転手委託				
上記の合計		2,273	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,273	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 先進地(他市)の活動状況などを研修して当市活動の参考とするため、推進員役員、および職員により赴くためのバス運行委託料を一日分増額した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	94	県大会・松本支部大会への参加、市研修会の実施
合計		94	左記の特定財源

予算書ページ	174
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701300	
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当		
予算	款	4	衛生費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費	主要施策	穏やかに暮らせるまち
事業	目	1	保健衛生総務費	基本施策	健康づくりの推進
	0104030	豊科保健センター費	具体的な施策	各種健診などの充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	9,247	国支出金	県支出金	市債	その他	8,206
前年度	21,882				935	20,947
増減額	12,635	0	0	0	106	12,741

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	保健センター使用料		57							1,041
		20	障害者活動支援センター電気料	984						

【目的・効果】
【目的】
 地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の維持管理
【効果】
 各種検診や予防活動時に事故や不具合がなく効果的な活動ができる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する **効果**
 ・施設の維持管理を行う。(各種保守点検の確実な実施、衛生管理など)
 ・自動水板栓の故障箇所を修理する。
 ・27年度に健康支援センターへの集約が予定されているため、施設内の書類及び物品等の整理を行いスムーズに移行できるようにする。
 ・消耗品、燃料費、委託料については消費税増税のため増額となる
【施設概要】
 複合施設「サントピア豊科」内豊科保健センター / 平成5年築 / 鉄骨2階建て 延床面積1,232.92㎡ / 職員数:8人 / 特記事項:電気料金について安曇野市社会福祉協議会と按分(社協分27.2%)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	20	豊科保健センター他除草謝礼(穂高悠生寮)				
11	需用費	5,468	保健センター消耗品・灯油代・施設修理費・光熱水費他				
12	役務費	283	電話料その他手数料				
13	委託料	3,285	警備保障他メンテナンス料・シルバー人材センター委託料・除雪費用・粗大ごみ処分料				
14	使用料及び賃借料	191	コピー機借上げ料及び使用料				
上記の合計		9,247	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,247	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	174
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当	
旧		コード	010404303	
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 三郷保健センター係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104040	三郷保健センター費		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,599	2,387	212	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の維持管理
 【効果】
 各種検診や予防活動時に事故や不具合がなく効果的な活動ができる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の維持管理を行う。(各種保守点検の確実な実施、衛生管理など)
 ・27年度に健康支援センターへの集約が予定されているため、施設内の書類及び物品等の整理を行いスムーズに移行できるようにする。
 ・燃料費、委託料に関しては、定期的なものであり使用数量等は通常どおりを見込むが消費税増税のため増額となる。
 【施設概要】
 昭和56年築 / 鉄骨平屋661㎡ / 職員数:6人 /

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,622	光熱水費、燃料費、施設管理用品の購入、施設修繕費				
12	役務費	284	電話料、シーツ等のクリーニング、リサイクル料金				
13	委託料	549	警備保障、自動ドア点検、消防設備点検、床暖房点検、トイレ清掃業務、カーペット清掃の委託、粗大ごみ処分料				
14	使用料及び賃借料	144	コピー機使用料				
上記の合計		2,599	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,599	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ 174

重点項目番号	2-1	新	コード	010701300		
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当			
予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費	総合計画	主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費	総合計画	基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104050	堀金保健センター費	総合計画	具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,106	7,184	78	0	0	0	610
						595
						93

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	合計金額
	13	4	20	79	610
	20	30			
	20	497			

【目的・効果】

【目的】

保健福祉活動の拠点として、住民が予防活動を安全・快適に利用できるように施設管理を実施する。

【効果】

各種検診や予防活動時に事故や不具合がなく効果的な活動ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の維持管理を行う。(各種保守点検、衛生管理など)また、隔年で実施している建築物等建物調査を実施する。
 ・平成3年建設以来初めての施設修繕を行う。
 (保健センター集団指導室の置替え 総合福祉センター消火栓用非常自家発電機バッテリー液の交換)
 ・現在使用できなくなっている備品等の一般廃棄物の処分を行う。
 【施設概要】
 ・総合福祉センター「堀金憩いの里うらら」内/平成3年築/鉄骨1階建て549.36㎡/職員数:5人
 ・特記事項/別館 総合福祉センター管理棟部分/平成11年築/鉄骨1階建て438.2㎡/用途:管理棟及びロビー
 他に「デイサービスセンター」「かえでの里」(指定管理:社協)「老人福祉センター」(所有地:社協)が一体の建物となっている社協に、電気料・灯油代(10~3月分)コピー代(半額)を負担いただいている。

【一般財源増加理由】主に、消費税の変更

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,808	灯油代、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	248	電話料外、建物定期調査費				
13	委託料	2,732	警備保障外、廃棄物処理料				
14	使用料及び賃借料	318	コピー機借上料、コピー機使用料				
上記の合計		7,106	職員の人件費合計 0	事業費総合計	7,106	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・施設修繕(保健センター集団指導室の置替え 総合福祉センター消火栓用非常自家発電機バッテリー液交換)を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	196	施設修繕費(保健センター集団指導室置替え、消火栓用非常自家発電機バッテリー液交換)
合計		196	左記の特定財源 なし

予算書ページ	176
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係	
		旧	コード	010404100
		部・課・係等	健康福祉部健康推進課健康推進係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	2	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業		具体的な施策	予防活動の充実

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	219,940					219,940
前年度	224,357					224,357
増減額	4,417	0	0	0	0	4,417

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としています。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知をおこなう。
 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	125	予防接種予診票封入作業臨時職員				
9	旅費	17	研修会参加				
11	需用費	735	医薬材料費、封筒印刷ほか				
13	委託料	218,796	個別予防接種委託料				
20	扶助費	267	予防接種扶助(生活保護者など)				
上記の合計		219,940	職員の人件費合計	0	事業費総合計	219,940	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	176
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
旧		コード	010404200	
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	2	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	保健事業		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	86,642	国支出金	県支出金	市債	その他	74,677
前年度	85,028	5,667	5,955		10,310	63,096
増減額	1,614	4,697	2,160	0	3,110	11,581

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	14	がん検診推進事業補助金	970	20	その他衛生費雑入	100				11,965
	15	保健事業補助金	3,795							
	20	健康診査徴収金	7,100							

【目的・効果】

【目的】

市民の健康増進を図る。また生活習慣病の発症予防、重症化予防を図り、若年の死亡や生活習慣病による障害を予防する。

【効果】

- ・医療費、介護費などの社会保障費の増加の抑制を行う。
- ・食、運動、歯科保健など市民の健康の保持増進を行う。
- ・心の健康づくりを推進し、自殺対策、精神保健対策を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・個別の保健指導は特定健診実施後、重症化予防のため、リスクの高い対象者から実施。
- ・健康増進事業に基づく健康診査や衛生教育、訪問、教室などを実施。また、がんなどの検診は受診体制を見直し、受診率向上を目指す。
- ・教育、相談は運動、栄養、歯科保健など幅広く行う。
- ・精神保健で支援が必要なケースが増えているため、自殺予防も含め、市民への啓発強化、関連機関と連携しての相談・個別対応を行う。
- ・がん検診推進事業の補助対象年齢が子宮、乳房ともに5学年から1学年になったため、国庫補助額が減少した。
- ・平成24年度から不妊治療費の助成を保険薬局分も対象とし、所得制限も外したため、申請者が急増した。

【一般財源増加理由】 国庫補助(4,697千円収入減)、検診委託料(392千円増)、不妊治療助成(3,400千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	105	食育推進会議委員会報酬	14	使用料及び賃借料	59	穂高保健センターコピー借上料等
7	賃金	1,063	成人検診時の看護師・歯科衛生士等賃金	18	備品購入費	22	大腸検診用冷凍庫
8	報償費	885	講演会講師謝礼、歯科検診医師謝礼、委員会出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	5,028	研修会負担金、不妊治療助成金
9	旅費	66	研修会等職員旅費	20	扶助費	60	女性がん検診助成
11	需用費	3,617	検診用封筒、チラシ等作成費、医薬材料、保健指導用消耗品、検診用消耗品等				
12	役務費	975	検診クーポン券、結果等郵送料				
13	委託料	74,762	検診通知作成費、検診委託料、訪問指導委託料				
上記の合計	86,642	職員の人件費合計	0	事業費総合計	86,642	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・歯科口腔保健条例策定に向け、歯科医師会等と定期的な会議を開催。また、歯科保健の現状や課題等をまとめた事業計画書を作成する。

・『ワンコイン、ツーコインで検診を受けよう』をキャッチフレーズに検診自己負担金を500円、1000円にする。特に65歳未満で死亡者が多い胃がん、乳がん、肺がんの減少のため、胃がんは500円(前年度国保、70歳以上は500円、それ以外は1,000円)、マンモグラフィ1,000円(前年度節目年齢は無料、それ以外は2,500円)、肺がんCT1,000円(前年度国保1,000円、それ以外は2,000円)とし、受診者増を目指すとともに、受診者の不公平感を減らす。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	140	歯科口腔保健について歯科医師会とうちあわせ会議、出席謝礼
11	需用費	584	歯科口腔保健について事業計画書の作成
13	委託料	29,078	(上記該当検診委託料)胃、肺がんCT、マンモグラフィ
合計	29,802	左記の特定財源	(該当検診自己負担金)4,150千円 個人負担金減により2,450千円の歳入減

予算書ページ	178
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010404200
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	2	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104080	新興感染症対策事業		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	276					276
前年度	300					300
増減額	24	0	0	0	0	24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 新型インフルエンザ等新興感染症への対策
【効果】
 新型インフルエンザ等新興感染症による健康被害を最小限にし、感染拡大を防ぐ

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・消毒薬やマスクなどの備蓄について、消費期限のあるものは需要のある課に払い出し新たに購入する。
 ・必要物品については、市で委嘱している「新型インフルエンザ対策医療検討委員会」で確認して行く。
 ・市の「新型インフルエンザ行動計画」策定や「予防接種」「医療体制」のマニュアル策定が求められているため、委員会での検討を継続する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	276	消毒薬、ガウン等医薬品の購入								
上記の合計		276	職員の人件費合計	0	事業費総合計	276	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	178
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
重点項目番号	3-1	旧	コード	010404200
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	予防費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,084					20,084
前年度	21,700					21,700
増減額	1,616	0	0	0	0	1,616

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・すべての子どもが成長発達し、よい生活習慣を身につけるための支援をする。

【効果】

- ・保護者が子供の月齢に応じた生活リズムや栄養、歯科口腔保健等が理解できる。
- ・健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等につながる。
- ・育児に対する不安を軽減し、産後うつや虐待等の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・近年、若年妊婦やシングルマザーなどの社会的基盤の弱い世帯も増加しているため、母子手帳交付時は専門職による面接や相談を行い、出産後の背景などを確認する。
 ・乳幼児健診や教室など、年間計画を作成し実施する。
 ・個別指導は生活リズムや発達だけでなく、栄養や歯科口腔等幅広く行う。
 ・フォローが必要な子どもに対しては個別相談・訪問を行うほか、専門医によるクリニック、遊びの教室などにつなげる。
 ・保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連絡をしながら対応する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,398	母子健診・相談事業時の看護師等の臨時賃金				
8	報償費	10,373	母子健診・相談事業時の医師、歯科医師等の謝礼				
9	旅費	160	職員研修旅費				
11	需用費	3,390	検診、フッ化物洗口、教室用の医薬品・事務用品、パンフレット作成費				
13	委託料	696	フッ化物洗口薬剤師調剤委託、療育相談委託				
19	負担金補助及び交付金	67	発達検査職員研修負担金				
上記の合計		20,084	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,084	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	180
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010404200
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健康やかにらせるまち
	目	2	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104100	原子力災害対策費		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
618	214	404	0	0	0	0
618	214	404				

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 原子力災害発生時に、特に40歳以下の市民の甲状腺がん発症予防のために、安定ヨウ素剤を備蓄する。
【効果】
 原子力災害発生時、甲状腺がん予防の措置を早急にとることができる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する年齢に応じて服用薬(散剤・丸剤)や服用量が異なるため、その分包や保管、薬剤廃棄などを安曇野薬剤師会に委託している。
 使用方法については国からの正式な指針は示されないが、周辺自治体の状況を参考に『災害時医療救護活動マニュアル検討委員会』で検討していく。
 ・6歳以下の子供用には乳糖を混ぜたヨウ化カリウム(散剤)を使用する。(消費期限1年)
 ・7歳以上は3年間の有効期限のある丸剤を使用するが、その期限は25年度末までなので、26年度は丸剤購入費用が増加する。
 ・また26年度は25年度末までの丸剤等の廃棄処分料が発生する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	618	薬剤師会での安定ヨウ素剤の分包、保管管理委託				
上記の合計 618 職員の人件費合計 0 事業費総合計 618 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	180
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
旧		コード	010404200	
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	91,405					91,405
前年度	91,402					91,402
増減額	3	0	0	0	0	3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・妊婦中、医療機関での継続した健康管理を行う。
- ・医療機関での乳児健診を行い、発達発育のチェックを行う。

【効果】

- ・妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。
- ・乳児疾病異常を早期発見し、早期治療に結びつける。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する
 (妊婦一般健康診査受診券...妊娠届時に計23枚発行する妊婦健診用のクーポン券。妊婦健診時に受診券を使用し、医療機関は補助以外を本人に請求する。国保連合会では医療機関から提出された受診券をもとに各自自治体へ請求する。この事業は長野県内で行われているため、里帰り分娩等で県外で受診した場合は、対象者は一旦支払をしてもらい、補助対象となる金額を償還払いしている。)

- ・消費税増加により受診券印刷費が増額

【一般財源増加理由】印刷費(3千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	86	妊婦・乳児一般健康診査の受診券印刷費				
13	委託料	89,496	妊婦・乳児一般健康診査の事務委託、医師等による検診委託料				
20	扶助費	1,823	里帰り出産等、県外での受診に対する助成				
上記の合計		91,405	職員の人件費合計	0	事業費総合計	91,405	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

なし

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	182
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
重点項目番号	3-1	旧	コード	010404200
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104120	妊産婦・新生児訪問指導事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,320	999	999			1,322
前年度	3,214	1,550				1,664
増減額	106	551	999	0	0	342

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	助金	保育緊急確保事業国庫補助金		999								1,998
		保育緊急確保事業県費補助金		999								

【目的・効果】

【目的】

- ・若年、高齢出産やハイリスクの妊婦等を対象とし、訪問を行う。
- ・新生児を対象として個別訪問を実施し、子供と母親の状況を把握する。

【効果】

- ・出産育児に対する不安を軽減し、安心安全な出産ができるよう支援する。
- ・子供の発達を支援するとともに育児に対する不安を軽減し、虐待の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・妊婦訪問の実施。主にハイリスク妊婦を対象として市の保健師が行う。
- ・新生児訪問の実施。出生届が出されてからできるだけ早期に全員訪問指導を行う。訪問者は、母子の環境(初産、社会的背景、母の状況など)に応じて市の保健師が在宅の助産師に委託する。

- ・新生児訪問用体重計が25年度の検定で不備を指摘されたため、新規購入が必要
- ・消費税増加により訪問用パンフレット作成費が増額

【一般財源増加理由】 備品購入費(80千円増)、訪問用パンフレット作成費(26千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	640	指導用のパンフレット作成費、発達チェック用品購入費等				
13	委託料	2,600	助産師訪問指導委託料				
18	備品購入費	80	新生児体重測定用ベビースケール購入費				
上記の合計		3,320	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,320	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

なし

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	182
--------	-----

重点項目番号	3-1	新	コード	010701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係	
重点項目番号	3-1	旧	コード	010404200
		部・課・係等	健康福祉部 健康推進課 保健予防担当	

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,406	1,700	850		800	1,056
前年度	4,406	1,700	850		1,000	856
増減額	0	0	0	0	200	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	養育医療国庫補助金	1,700							
15	養育医療県補助金	850								
20	未熟児養育医療費徴収金	800								

【目的・効果】

【目的】

未熟児の養育医療費を給付する

【効果】

未熟児の保護者の経済的負担が軽減される

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の給付を行い、経済的負担の軽減を図る。(25年度より県から移譲された事業)
 ・具体的手法...対象となった乳児の保護者は市の窓口で医師の意見書や世帯所得状況などを提出する。市は世帯の所得状況や診療報酬支払基金から提出された内容を確認し、所得に応じて保護者に自己負担を徴収するとともに、基金等に支払する。自己負担額を除いて国1/2、県市1/4の事業。

・所得階層に応じた自己負担額が少ないため、その他財源が減

保護者からの徴収金減(200千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	6	養育医療審査支払事務手数料				
20	扶助費	4,400	保険診療報酬による医療給付費				
上記の合計		4,406	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,406	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	2-1	新	コード	010701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係	
		旧	コード	010404100
		部・課・係等	健康福祉部健康推進課健康推進係	

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	8	診療所費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		具体的な施策	地域医療体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
21,952	22,104	152	0	1,513	0	11,019
				1,555		11,019
				42	0	0
						110

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13		夜間急病センター診療手数料	10,869							12,532
		夜間急病センターその他手数料	150							
	15	小児初期救急医療体制整備補助金	1,513							

【目的・効果】

【目的】

地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担い市民の安心意識の向上を目指す。

【効果】

二次救急医療への負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 医師報酬、看護師・医療事務者賃金の休日勤務単価の増額を計上。
 医薬品等消費税加算分計上

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	12,384	診療医報酬				
7	賃金	4,828	看護師ほか				
8	報償費	63	運営委員会				
11	需用費	1,450	医薬品ほか運営雑品				
12	役務費	334	クリーニング代ほか				
13	委託料	1,611	医療事務ほか				
14	使用料及び賃借料	1,282	医師会館借り上げ				
上記の合計		21,952	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,952	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	134
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	0103180	介護保険対策費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,171,181		307			1,170,874
前年度	1,094,018		303			1,093,715
増減額	77,163	0	4	0	0	77,159

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	介護保険事業費補助金	307							

【目的・効果】

【目的】

- ・介護が必要な高齢者が必要な時に必要なサービスを受けられるよう、居宅サービス・施設サービスの量的確保を図る等介護保険事業の充実を図る。
 - ・住み慣れた地域で生活を続けるために必要な地域密着型サービス事業所等介護サービスの基盤整備を計画的に行う。
 - ・社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担軽減措置事業。
- 【効果】・サービスが必要になった時、必要なサービス提供を受けることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険特別会計への操出金増加は、平成27年度の介護保険制度改正に伴うシステム改修費及び高齢化の進行に伴い介護サービス利用者増加による給付費増による。
- ・社会福祉法人が利用者負担の1/4を軽減し、法人の軽減額に対し、市が1/2以内で補助する。(通所介護、ショートステイ、特別養護老人ホーム利用者対象)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,703	賦課徴収事務臨時職員				
19	負担金補助及び交付金	410	社会福祉法人等利用者負担額助成				
28	操出金	1,169,068	介護保険特別会計操出金(事務費分、給付費分)				
上記の合計		1,171,181	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,171,181	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	134
--------	-----

重点項目番号	2	新	コード	010702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402100
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103190	在宅介護福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,257					30,257
前年度	0					0
増減額	30,257	0	0	0	0	30,257

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援を目的とする。

【効果】

当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険特別会計で実施する地域支援事業に対する一般会計からの繰出金の支出。
- ・家族介護者を支援するため家庭介護用品購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。
- ・認知症の予防及び早期発見につなげるための検査を業者に委託して行う。

【一般財源増加理由】 在宅福祉事業を、在宅福祉事業と在宅介護福祉事業に分離したことによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	140	地域包括ケア推進会議委員出席謝礼				
11	需用費	397	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費、事務用品。				
13	委託料	670	認知症検査(ファイブコグ検査)委託料				
19	負担金補助及び交付金	4	権利擁護実務担当者研修会参加費				
20	扶助費	11,006	家庭介護用品購入助成費				
28	繰出金	18,040	地域支援事業分についての介護保険特別会計への繰出金				
上記の合計		30,257	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,257	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	128
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部	国保年金課 国保年金担当
		旧	コード	010301200
		部・課・係等	市民環境部	市民課 国保年金担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103120	国保会計繰出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
444,715	447,504	2,789	27,500	208,000	0	0
			30,000	210,000	0	0
			2,500	2,000	0	0
						1,711

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	14	保険基盤安定負担金	27,500							235,500
		保険基盤安定負担金	208,000							

【目的・効果】
 [目的]
 ・国民健康保険事業の健全・安定的な運営
 [効果]
 ・国民健康保険事業へ法令等で定められた額を繰出すことにより、国保加入者の負担を軽減することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

[一般財源増加理由]

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	444,715	国保特別会計への繰出金				

上記の合計	444,715	職員の人件費合計	0	事業費総合計	444,715	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	134
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当			
予算	款	3	民生費	総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	計画	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	老人福祉費	計画	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103200	後期高齢者医療事業	計画	具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,134,013		150,278		300	983,435
前年度	1,070,176		138,603		0	931,573
増減額	63,837	0	11,675	0	300	51,862

特定財源の内訳	款	金額		款	金額	款	金額		合計金額
		細節名称	金額				細節名称	金額	
	15	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	150,278						150,578
	20	市町村特別対策広報等事業	300						

【目的・効果】

【目的】

- ・後期高齢者医療療養給付費の安定的な給付を確保する。
- ・保険料率の改定等制度改正時に、迅速に被保険者へ周知をするため。

【効果】

- ・医療費等に対する安定的な給付と後期高齢者医療広域連合の健全な運営が図れる。
- ・被保険者へ制度の周知が迅速に図れるとともに、窓口等における説明時の資料として活用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・広域連合指示により決められた月に執行する。(療養給付費:原則毎月15日支払)
- ・6月・9月・12月に後期高齢者特別会計へ繰出しを行う。(基盤安定繰出金及び事務費繰出金)
- ・後期高齢者健診分については事業完了後国保会計へ繰出し(1月)
- ・保険料率改定等制度改正等の周知をするため、広報用パンフレットを作成し、被保険者への説明資料として活用する。

【一般財源増加理由】 広域連合の指示額が昨年より増加した為(負担金:療養給付費 及び 繰出金:保険基盤安定事業負担金、事務費負担金)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	897,041	療養給付費の支払い				
28	繰出金	236,972	後期高齢者特別会計への繰出し (内後期高齢者健診分:5,564千円については、国民健康保険特別会計へ繰出し)				
上記の合計		1,134,013	職員の人件費合計 0 事業費総合計			1,134,013	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	136
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当	
		旧	コード	010301200
		部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	国民年金事務費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103210	国民年金事務費		具体的な施策	国民年金事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	70,071	16,813				53,258
前年度	57,208	16,000				41,208
増減額	12,863	813	0	0	0	12,050

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国民年金事務費委託金	16,813							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民年金制度の運営と啓発を図る。
【効果】
 ・市が国民年金資格の取得喪失等の届出受付業務を行うことで、国民年金被保険者の利便性が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各総合支所の窓口で国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【一般財源増加理由】 一般職人件費8人が10人になったことによる増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	397	啓発用パンフレット購入				
13	委託料	814	国民年金システム改修費用				
14	使用料	1,024	コピー機使用料				
上記の合計	2,235	職員の人件費合計	67,836	事業費総合計	70,071	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主要内容
合計	0	左記の特定財源	

農林部

予算書ページ	204
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係	
		旧	コード	010501100
		部・課・係等	農林部農政課庶務担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106030	農業総務費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	199,330		630			198,700
前年度	229,675		875			228,800
増減額	30,345	0	245	0	0	30,100

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域農業マスタープラン作成事業補助金		630								630

【目的・効果】
 【目的】
 農業振興事業関係の事務的経費
 【効果】
 農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 人件費、農家組合長謝礼、委員出席謝礼、旅費、需用費(事務消耗品、参考図書、食糧費、印刷製本)、公用車管理、コピー機管理

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	2,741	農家組合長謝礼、農業農村振興計画推進委員会出席謝礼、人・農地プラン検討会等出席謝礼						
9	旅費	104	職員出張旅費						
11	需用費	1,602	農業振興関係参考図書・事務用品購入、会議賄い費、農業農村振興基本計画画増刷、公用車修繕						
12	役務費	183	公用車車検費用						
13	委託料	80	研修用の車両運行業務委託						
14	使用料及び賃借料	2,310	事務室コピー機使用料、公用車借上料						
27	公課費	15	公用車重量税						
上記の合計		7,035	職員の人件費合計	192,295	事業費総合計		199,330	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	204
--------	-----

新	コード	010801100
	部・課・係等	農林部農政課農業政策係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
934	1,470	536	0	0	0	0
						6
						6
						1,464
						536

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	農振関係証明手数料	6							

【目的・効果】

【目的】

農業振興地域の整備に関する法律と安曇野市農業振興地域整備計画に基づき、安曇野市の優良農地を保全する。

【効果】

安曇野市農業振興地域整備促進協議会および同地域協議会の効率的な運営と適正な計画変更を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農業振興地域の整備に関する法律に基づく市農振整備計画の変更手続き(年2回)
- ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会設置条例に基づく協議会の運営

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	196	協議会の委員報酬				
8	報償費	553	地域協議会の委員出席謝礼				
11	需用費	185	事務用品購入				
上記の合計		934	職員の人件費合計	0	事業費総合計	934	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801200										
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当											
予算	款	6	項	1	目	3	事業	0106060	農林水産業費	農業費	農業振興費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
													主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
													基本施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
													具体的な施策	農家所得向上・環境にやさしい農業技術の向上

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
14,250	15,084	834	0	638	0	0
			0	542	0	0
			0	96	0	0
						930

特定財源の内訳	款	15	環境保全型農業直接交付金		金額	638	合計金額
			金額	638			
							638

【目的・効果】

【目的】

・農家所得の向上と、環境にやさしい農業技術向上に向けた検証事業を实践する為、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。

【効果】

・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を实践する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市農業再生協議会の取組みでは、雑草稲の撲滅検証事業や外来種(マルババルコウ)の駆除対策周知事業に取組み、農業所得の向上や環境の保全に取組む。その他、米の新品種「風さやか」のPR支援事業、果樹では「シノホッパ」「シノブッチ」等の小りんごの栽培検証事業を市内の農業高校とタイアップして実践する。また、畜産農家から発生する「畜産悪臭対策」についても「乳酸菌液」の製造等にも取組む。
 ・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、レンゲ田による化学肥料の低減など、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	47	環境にやさしい農業技術の指導を頂く為、東京農業大学の専門教授を訪ねる。				
11	需用費	20	事務用品(紙代等)				
19	交付金	14,183	市農業再生協議会への交付金12,905千円 環境保全型農業直接支援対策交付金1,278千円				
上記の合計		14,250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,250	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 0

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当	
重点項目番号	1	旧	コード	010501300
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興係	

予算	款	6	農林水産業費	総 計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
	事業	0106070	水田農業振興事業		具体的な施策	米の安定生産と需給調整

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,407	0	19,867	0	0	16,540
前年度	35,212	0	18,987	0	0	16,225
増減額	1,195	0	880	0	0	315

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	経営所得安定対策事務費	19,867							

【目的・効果】

【目的】

・米の1等米比率を高いレベルで維持する為、いもち病対策支援(稲苗箱施薬剤購入補助)を実施し、米の産地として有利販売を支援する。

・経営所得安定対策事務費は、米の生産調整等に要する事務費を市が受け、市農業再生協議会へ交付する事業。

【効果】

・米の高品質と物量の大きさから、大手小売店から引き合いがあり、「安曇野こしひかり」のパッケージで全国へ供給提供されている。

・米の生産調整が取組め、米の価格急落には及んでいない。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・米の高品質安定を目標に、昨年同様「稲苗箱施薬剤」購入助成を実施する。1kgあたり600円の定額補助。

・補助対象薬剤は、条件として、「魚毒性AまたはB」で優れたもの。かつ、稲いもち病に対する農薬成分が入った資材が条件となる。

・米の生産調整事務については、国の方針から5年間は実施するとされていることから、26年度においても従来通りの事務を執る。

【一般財源増加理由】

消耗品で、26年度支所業務集約から、農業振興地域整備促進費で盛られていたGISプリンター消耗品を、転作現地確認業務に使う図面作成に当てる為、事業替えによる予算増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	339	米の作付けおよび転作による現地確認用プリンターの必要消耗品				
19	補助金	16,200	稲苗箱施薬剤購入補助(1kgあたり600円定額)				
19	交付金	19,868	国からの事務交付金(経営所得安定対策事業交付金)				
上記の合計		36,407	職員の人件費合計	0	事業費総合計	36,407	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 0

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801200
			部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当
		旧	コード	010501300
			部・課・係等	農林部 農政課 生産振興係

予算	款	6	農林水産業費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		具体的な施策	市振興作物支援・果樹そ菜振興支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
29,986	32,076	2,090	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市振興作物(6品目:玉ねぎ、ジュース用トマト、アスパラ、黒豆、スイートコーン、白ネギ)の生産拡大を図り、産地化し市場での有利販売に繋げる。
- ・果樹では、新しい化苗の導入促進を図り、労働力の低減と果実生産量の拡大を支援する。
- ・そ菜では、JAで構築する「そ菜価格安定共助」に賛同し、農家が安定した経営が維持できるよう支援する。

【効果】

- ・玉ねぎの生産については、堀取り機など機械導入もあり、拡大傾向となっているが、他の5品目においては、横ばいまたは減少傾向となっている。
- ・新しい化苗の台木(M9)購入補助事業は、24年度の新事業でもあり予算枠の6割の進捗。今後もJA部会等を通じた農家PRが必要。
- ・そ菜価格安定共助制度では、従来通りJA規約に定めた通りの算出に寄り負担金を支出。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・25年度に発生した「凍霜被害・降雹被害」では、果樹を中心に甚大な被害を被った。このことを踏まえ農家の自己防衛手段の一つとして「果樹共済」への加入促進が挙げられる。そこで、現状45%(面積率)の加入率から10%増加(55%)の加入率を目標に、農家が負担する共済掛金を20%から33.3%(1/3)に増率し、来年度の加入促進を図る。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	52	玉ねぎ先進地(富山県南砺市)視察 全国わさび品評会(鳥根県)				
11	需用費	35	事務消耗品(紙代等)				
19	負担金	4,217	JAあづみ・JA松本ハイランドそ菜価格安定共助制度負担金				
19	補助金	25,682	市振興作物(6品目)生産拡大支援補助18,018,000円・果樹共済掛金補助金4,803,500円・りんご新しい化育成・台木購入補助1,900,000円・農業用廃プラ・廃農業回収補助960,000円				
上記の合計		29,986	職員の人件費合計	0	事業費総合計	29,986	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 0

新	コード	010801400
	部・課・係等	農林部農政課マーケティング係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

予算書ページ	208
--------	-----

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106090	女性研修センター運営事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,509				745	764
前年度	1,441				745	696
増減額	68	0	0	0	0	68

特定財源の内訳	款	13	女性研修センター使用料	金額	742	合計金額
	20	諸収入電話料()	金額	3		
					745	

【目的・効果】

・施設概要 平成10年設置 敷地345㎡ 建物122㎡ 豆腐、味噌、ジュース、ソース等の加工

【目的】 女性の交流、情報交換の場の提供、市内農産物を使用した地産地消の推進

【効果】 1年を通じて、市内で収穫された農産物を、安曇野に住む女性グループが中心となり当施設を利用し加工することにより、地産地消を進める。また、農産物の加工講習会の開催により、シソジュースなど新しい食文化の提案や味噌、七夕まんじゅう、おやき作りなど安曇野の食文化の伝承にもひと役かっている。この施設は女性の交流・情報交換の場を作ると同時に、近年は女性グループに混じって男性の利用も増えてきている。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・運営委員会を中心に研修センターの効率の良い運営を進めるとともに、新しい利用者の発靴を図る。

【一般財源増加理由】 前年度実績と消費税増による光熱水費の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	105	委員出席謝礼				
11	需用費	1,131	消耗品・光熱水費				
12	役務費	96	廃棄物処理				
13	委託料	177	運営委員会委託費等				
上記の合計		1,509	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,509	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	208
--------	-----

新	コード	010801400
	部・課・係等	農林部農政課マーケティング係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

重点項目番号	2-3
--------	-----

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,345	12,263	4,082	0	3,333	0	0
						13,012
						12,263
						749

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県支出金	3,333							3,333

【目的・効果】

・【目的】 地元の農産物を都市圏の消費者に向けた、販売と情報発信の機会を作り、地域農家の活性化の糧とする。

・【効果】 玉ねぎ祭り等に参加する組織も増えてきている。産直センターを通してアンテナショップ等に供給する農家・野菜等も増えている。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 中信4市の名古屋でのイベントのための負担金、それに伴う参加団体の旅費を見込んだ。負担金1,500千円 旅費179千円
 市内事業者への6次産業化ネットワーク交付金を計上 国 県 市 事業者へ 3,333千円

名古屋における中信4市のイベント(農産物、加工品、製造品、観光PR等)の実施
 産直センターにおけるアンテナショップ、都市圏でのイベント等の安曇野市農産物のPRの支援
 松本山雅のホームゲームにおける安曇野市dayにおける安曇野産農産物等のPRの実施
 農業再生協議会販売促進部会への交付金の計上
 市内水産業事業者への6次産業化ネットワーク活動交付金を計上

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	274	松本山雅安曇野市day景品等				
9	旅費	606	従来の販促イベントに名古屋市のイベント参加旅費(職員及び参加団体分)の計上				
11	需用費	104	地域イベント消耗品等				
12	役務費	111	イベント等資材運搬費				
13	委託料	3,100	・米消費拡大委託(生活改善グループ等) ・産直センター運営委託(市外PR宣伝等)				
19	負担金補助及び交付金	12,150	中信4市名古屋イベント負担金・地域イベント補助金・再生協議会販促部門交付金				
上記の合計		16,345	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,345	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・国庫補助金による「6次産業化ネットワーク活動交付金」(株)辰巳が国へ提出した国庫補助事業の国直接補助の受け皿となる。
 ・中信4市の名古屋での物品販売及び観光イベントの実施

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金	1,500	中信4市名古屋イベント負担金
19	交付金	3,333	6次産業化ネットワーク活動交付金
合計		4,833	左記の特定財源 県交付金 3,333千円

予算書ページ	210
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング係	
重点項目番号	1	旧	コード	010501100
		部・課・係等	農林部農政課庶務担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	71,303	国支出金	県支出金	市債	その他	63,698
前年度	17,869				6,551	11,318
増減額	53,434	0	0	0	1,054	52,380

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	基金利子	10							
18	基金繰入金	1,400								
20	各施設使用料	6,195								

【目的・効果】

・該当施設 豊科旬彩市、Vif穂高、穂高農産物加工所、こねこねハウス、みさとミルク、サラダ市、掘金物産センター、掘金農産物処理加工施設、明科農産加工施設、あかしな夢市場
 【目的】 農産物直売所、加工施設、体験施設を設置することにより、地域の農家の活性化、情報交換の場を提供するとともに、地産地消の推進と訪れる観光客等への安曇野の農産物・農産加工品の情報発信
 【効果】 指定管理者により管理運営されている市内の直売所、加工施設の維持管理について適正に管理されている。また、地域農産物の地産地消が進められるとともに観光客等にも安曇野の農産物の良さが発信されている。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 それぞれの施設の円滑な運営のための施設・備品の修繕費を計上
 特にVif穂高については、長年懸案であった手狭な店舗の増床に向けた工事を実施する。一期工事として事務所の増築とイベント広場への下屋の設置、二期工事として既存事務所の店舗への改装。(工事費・施工管理委託業務費を計上)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,580	施設及び物品の修繕費				
12	役務費	22	工事完了検査手数料				
13	委託料	10,526	工事管理委託料と指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	5,499	所管施設用地の借り上げ料				
15	工事請負費	50,325	Vif穂高店舗増床工事				
25	積立金	2,351	基金積立金等				
上記の合計		71,303	職員の人件費合計 0	事業費総合計	71,303	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

Vif穂高の事務所棟の増築工事、イベント広場の下屋建設工事、旧事務所の店舗への増床工事を実施する。
 25年度実施予定であったが工事実施建物が、国庫補助対象建物であったため、国との調整に時間がかかり年度内事業として完了が見込めなかったため、26年の債務負担事業として一部(事務所増築とイベント広場の下屋設置工事)を実施するものである。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,805	Vif穂高施工管理委託料
15	工事請負費	49,605	Vif穂高店舗増床工事
合計		51,410	左記の特定財源 施設利用料 2,290千円

予算書ページ	210
--------	-----

新	コード	010801100
	部・課・係等	農林部農政課農業政策係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,240				2,889	6,351
前年度	10,317				2,889	7,428
増減額	1,077	0	0	0	0	1,077

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市民農園利用料	389							
20	三郷やすらぎ空間施設利用料	2,500								

【目的・効果】

【目的】

市民農園や農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。

【効果】

効果的で適正な施設管理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市民農園(市内10ヵ所)の管理
- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:株農家ふるや)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- ・小倉多目的研修センターの指定管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	548	施設小破修繕費				
13	委託料	3,939	指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,900	借地料				
15	工事請負費	800	やすらぎ空間施設暖房施設改修工事				
19	負担金	53	県グリーンツーリズム協議会負担金				
上記の合計		9,240	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,240	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

新	コード	010801100
	部・課・係等	農林部農政課農業政策係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
37,335	41,724	4,389	0	0	0	10,608
						26,727
						35,367
						8,640

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	16	安曇野の里利子	4	20	安曇野の里施設利用料	5,290				10,608
	16	安曇野の里運営基金利子	24							
	18	安曇野の里基金繰入金	5,290							

【目的・効果】

【目的】

安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、市内の学童や市民に農業に親しむ機会を与えとともに、都市と農村の交流促進を図る。

【効果】

適正な施設管理と運営ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施
- ・湧水探索路改修(L=386m)に向けた用地調査を実施する。

【施設の概要】

豊科安曇野の里自然活用村施設(指定管理者:(社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)
 ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート3階建、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,071	小破修繕				
12	役務費	637	湧水探索路用地の土地分筆と不動産鑑定				
13	委託料	15,396	指定管理料、工事設計監理業務				
14	使用料及び賃借料	4,204	借地料				
15	工事請負費	10,708	エアコン取替、浴室・脱衣所改修、自動ドア改修				
25	積立金	5,319	整備基金・利子積立				
上記の合計		37,335	職員の人件費合計	0	事業費総合計	37,335	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・平成7年に建設された安曇野の里湧水探索路の遊歩道(木橋)は老朽化が進み、利用者の通行に危険な状況で、改修の必要がある。また、当該地は借地であるが、今後は用地を取得して適正な管理をしていく必要がある。そこで社会資本整備交付金事業を活用し整備を進めることとなった。
- ・平成26年度は、用地測量と不動産鑑定を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	637	湧水探索路改修用地の土地分筆と不動産鑑定
合計		637	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801100
			部・課・係等	農林部農政課農業政策係
		旧	コード	010501100
			部・課・係等	農林部農政課庶務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	50,440	国支出金	県支出金	市債	その他	8,771
前年度	85,966				42,825	43,141
増減額	35,526	0	0	0	1,156	34,370

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	三郷農林漁業体験実習館基金利子	99							
18	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	20,960								
20	農林漁業体験実習館利用料	20,610								

【目的・効果】

【目的】

ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。

【効果】

適正な施設管理と運営ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者:(株)ファインビュー室山)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
4	需用費	600	小破修繕				
13	委託料	1,296	工事設計監理業務				
15	工事請負費	27,834	源泉ポンプ改修、浴室改修				
25	積立金	20,710	整備基金・利子積立				
上記の合計		50,440	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50,440	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

なし

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

新	コード	010801100
	部・課・係等	農林部農政課農業政策係
旧	コード	010501100
	部・課・係等	農林部農政課庶務担当

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	82,962				77,009	5,953
前年度	107,889				102,257	5,632
増減額	24,927	0	0	0	25,248	321

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	堀金観光開発基金利子	222							
18	堀金観光開発基金繰入金	20,257								
20	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								

【目的・効果】

【目的】

ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。

【効果】

適正な施設管理と運営ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

ほりで一ゆ四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、バターゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、マレットゴルフ場(指定管理者:堀金マレットゴルフ協会)

【一般財源増加理由】 堀金マレットゴルフ場の施設修繕および原材料支給(321千円増)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
4	需用費	150	堀金マレットゴルフ場小破修繕				
13	委託料	4,160	堀金マレットゴルフ場指定管理料、工事設計監理業務				
14	使用料及び賃借料	3,631	借地料				
15	工事請負費	18,097	カーペット張替、給水装置改修、非常放送設備改修、消火設備改修、高圧ケーブル改修				
16	原材料費	171	堀金マレットゴルフ場整備資材				
25	積立金	56,753	整備基金・利子積立				
上記の合計		82,962	職員の人件費合計	0	事業費総合計	82,962	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

なし

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	214
--------	-----

重点項目番号	1-2	新	コード	010801300					
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当						
予算	款	6	項	1	目	6	旧	コード	010501400
							部・課・係等	農林部農政課集落支援係	
		農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成			
		農業費		画	主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち			
		農村集落支援費			基本施策	農業・農村の振興			
		事業		0106160	担い手支援事業	具体的な施策 農業生産活動と農村での生活の維持			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	299,462	国支出金	県支出金	市債	その他	71,082
前年度	77,422					71,657
増減額	222,040	0	222,615	0	0	575

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	15	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	2,380	15	強い農業づくり交付金	210,000				228,380
		農地利用集積事業補助金	6,000							
		経営体育成事業補助金	10,000							

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
 ・農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・担い手が栽培する水田転作の基幹作物への国からの交付金は十分な補償とは言えないため、市独自の助成金を交付する。
 ・担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。
 ・市農業再生協議会が実施する事業に対し、交付金を交付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	17	担い手育成等研修旅費				
11	需用費	50	事業推進資料				
19	負担金補助及び交付金	299,395	水田転作基幹作物助成金、機械等施設整備補助金、市農業再生協議会交付金、穀類乾燥調製施設整備交付金				
上記の合計		299,462	職員の人件費合計	0	事業費総合計	299,462	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

集落営農組織の経営力を高めるため、国からの交付金「強い農業づくり交付金」を活用し、次の事業を実施する。

- 1 事業主体 : (農)安曇野北穂高農業生産組合
- 2 事業内容 : 穀類乾燥調製施設 1棟 900㎡ 機械設備一式
- 3 事業費 : 460,000,000円(概算)
- 4 補助金 : 210,000,000円(概算) 設置設備等により補助率1/2または1/3

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	210,000	穀類乾燥調製施設整備交付金
合計		210,000	左記の特定財源 強い農業づくり交付金(210,000)

予算書ページ	214
--------	-----

重点項目番号	1-2	新	コード	010801300
			部・課・係等	農林部農政課集落支援担当
		旧	コード	010501400
			部・課・係等	農林部農政課集落支援係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106170	後継者対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	39,807	国支出金	県支出金	市債	その他	16,407
前年度	24,199		18,000		900	5,299
増減額	15,608	0	4,500	0	0	11,108

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	新規就農者住宅使用料	900							
15	青年就農給付金(経営開始型)	22,500								

【目的・効果】

【目的】

・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。

・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国の青年就農給付金制度により支援する。

(1,500,000円×15名=22,500,000円)

・上記給付金の対象とならない親元就農者に対し、市独自の支援金を交付する。

(200,000円×30名=6,000,000円)

・耕作放棄地を解消し地域貢献に資する就農者に対し、市独自の支援金を交付する。

(200,000円×40名=8,000,000円)

【一般財源増加理由】 平成25年度に新設した「親元就農支援金交付事業(市単)」を拡充するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	80	新規就農者住宅関係修繕費				
19	負担金補助及び交付金	39,727	青年就農給付金(国)、親元就農支援金(市)、地域貢献就農者支援金(市)				
上記の合計		39,807	職員の人件費合計	0	事業費総合計	39,807	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

「地域貢献就農者支援金(市単)」を次のとおり新設し、現行の「親元就農支援金(市単)」との両輪施策により、優良農地を守りながら将来の安曇野市農業を担う農業者を確保・育成する。

1 対象者：耕作放棄地を解消する認定農業者

2 交付額：年額200,000円(最長5年間)

3 就農日及び年齢の制限：なし

4 所得要件：前年所得500万円未満

節	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	14,000 親元就農支援金、地域貢献就農者支援金
合計	14,000	左記の特定財源

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801300
			部・課・係等	農林部農政課集落支援担当
		旧	コード	010501400
			部・課・係等	農林部農政課集落支援係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53					53
前年度	388					388
増減額	335	0	0	0	0	335

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・耕作放棄地等の荒廃農地の解消・再生と併行し、新たな用途への活用を研究する。

【効果】

- ・健全な農地と景観を守るとともに、有害鳥獣による農作物等の被害防止にもつながる。
- ・新規就農者や規模拡大志向農業者により、農地の有効活用が図られる。
- ・農業以外の分野における産業振興につながる。(例:滞在型体験農場による観光振興)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・庁内の関係部署の連携(PT設立)により、荒廃農地活用の先進事例の調査を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	33					
11	需用費	20					
上記の合計		53	職員の人件費合計	0	事業費総合計	53	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801300
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当	
重点項目番号	1	旧	コード	010501400
		部・課・係等	農林部農政課集落支援係	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	17,790	国支出金	県支出金	市債	その他	6,460
前年度	17,438		11,045			6,393
増減額	352	0	285	0	0	67

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		15	中山間地域等直接支払交付金			11,200			
	15	中山間地域等直接支払推進交付金		130					11,330

【目的・効果】

【目的】

・農業生産条件の不利な中山間地域の農地・農村を守る。

【効果】

・集落協定の締結により、営農意欲と農業生産活動を継続できる。
 ・農業・農村の持つ多面的な機能を確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)により支援する。
 ・上記制度の対象とならない同様の集落は、市独自の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)により支援する。

【一般財源増加理由】 対象農地の増加見込みと推進事業に係る経費の増加

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	100	事務消耗品、現地確認等公用車燃料費						
14	使用料及び賃借料	170	コピー使用料						
19	負担金補助及び交付金	17,520	中山間地域等直接支払交付金 安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金						
上記の合計		17,790	職員の人件費合計	0	事業費総合計		17,790	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801300
			部・課・係等	農林部農政課集落支援担当
		旧	コード	010501400
			部・課・係等	農林部農政課集落支援係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
21,581	18,915	2,666	0	7,140	0	14,441
				6,105		12,810
				1,035	0	1,631

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	鳥獣被害防止総合対策交付金	7,140							7,140

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣による農作物等の被害を防止する。

【効果】

・営農意欲の減退を防ぎ、農業生産活動を継続できる。
 ・耕作放棄地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能にさせる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・国の補助制度を活用し、集落ぐるみの自力施工による獣害防護柵の設置資材を提供する。
 ・個々の農家等が設置する防護柵や鳥獣駆逐装置等に対し、市独自の補助金を交付する。
 ・西山山麓のサルによる被害防止対策として、モンキードック事業の実施を支援する。

【一般財源増加理由】 獣害防護柵の設置距離の増加及び緩衝帯整備に係る委託料の新設

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	33	先進事例調査旅費				
11	需用費	1,236	野鼠駆除薬剤、モンキードック関連消耗品				
13	委託料	1,254	モンキードック養成、獣害防護柵設置関連業務				
16	原材料費	14,480	獣害防護柵設置資材				
19	負担金補助及び交付金	4,578	野生鳥獣被害防止対策事業補助金、モンキードック維持管理補助金				
上記の合計		21,581	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,581	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

獣害防護柵の設置に必要な緩衝帯の整備は、松本広域鳥獣被害防止総合対策協議会が行う国庫補助事業(1/2は市の負担金)により実施するが、このたび設置を予定している地区(堀金田多井)では、立木を伐採した後の抜根・整地が必要な箇所があるため。
 (広域協議会が実施する補助事業は、木の伐採・除去以外は対象にならない。)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	864	緩衝帯整備事業整地等附帯業務委託
合計		864	左記の特定財源

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801200
			部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当
		旧	コード	010501300
			部・課・係等	農林部 農政課 生産振興係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	7	畜産業費		基本施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
	事業	0106210	畜産振興事業		具体的な施策	悪臭対策等

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,152	0	0	0	130	11,022
前年度	7,886	0	0	0	100	7,786
増減額	3,266	0	0	0	30	3,236

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	家畜防疫事業収入	130							

【目的・効果】

【目的】

・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。

【効果】

- ・畜産農家周辺に住む市民の方々の安心・安全な住環境づくり。
- ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・悪臭対策の拠点施設(三郷堆肥C)で実施する悪臭対策(臨時的な堆肥の受入や乳酸菌等)及び環境対策(モミガラ回収等)について支援する。(一般財源が増加した主な理由)
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師(3人)の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成26年度に実施予定の悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して、補助金制度を創設し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。

【一般財源増加理由】 畜産環境保全対策委託料の増による。(3,758千円の増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	368	地域住民等との悪臭問題に係る協議会の開催。(年7回程度)				
9	旅費	245	攪拌機更新に向けての視察(福島県)、肉牛共励会への対応、臭気対策等の研修会参加				
11	需要費	613	臨時的に対応するための防疫、消臭資材の購入、臭気測定関連の消耗品費の購入。				
12	役務費	31	二オイセンサーの点検費用。				
13	委託料	4,666	畜産環境保全対策委託(悪臭や環境問題に対応するための事業についての支援)				
19	負担金	2,485	家畜診療所運営負担金。研修会等参加負担金。				
19	補助金	2,744	畜産公害対策事業、予防注射接種事業、畜環リース事業				
上記の合計		11,152	職員の人件費合計 0	事業費総合計	11,152	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

(新規及び拡充)

・畜産環境保全対策委託・・・畜産悪臭に対応するための乳酸菌の製造や臨時的な堆肥の受入などに対応(拡充)。また、近年、苦情が増加しているモミガラの野焼きに対応するため、モミガラの回収を行う。(新規)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	4,666	畜産環境保全対策
合計		4,666	左記の特定財源 0

予算書ページ	218
--------	-----

新	コード	010801200
	部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当
旧	コード	010501300
	部・課・係等	農林部 農政課 生産振興係

重点項目番号	1
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	7	畜産業費		基本施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業		具体的な施策	良質な堆肥の製造及び販売

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,361	0	0	0	0	15,361
前年度	15,355	0	0	0	0	15,355
増減額	6	0	0	0	0	6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とし、優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させること。

【効果】

・近年は各種の試みにより、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良くなっており、顧客数も増加している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。

【一般財源増加理由】 委託料における消費税増税分(301千円の増)。なお、修繕費は芽出しの要素であるため、据え置きとした。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	3,000	施設及び物品の修繕費。(指定管理の協定により11件50万円以上の修繕費は市で負担)				
13	委託料	211	機械設備の定期的(年3回)なメンテナンス(点検)を行い、機械設備の状況を把握し、大きな修繕を未然に防ぐ。				
13	委託料	10,350	指定管理委託料。				
14	借地料	1,800	堆肥センター本体の借地料。				
上記の合計		15,361	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,361	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

特記事項なし。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 0

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当	
旧		コード	010501300	
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興係	

予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	4	水産業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	水産業振興費		基本施策	水産・特産の振興
	事業	0106360	水産業振興事業		具体的な施策	水産業に関わる振興事業

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185	0	0	0	0	185
前年度	343	0	0	0	0	343
増減額	158	0	0	0	0	158

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市内の水産資源を確保するため、犀川へのニジマス稚魚放流を支援する。

【効果】

・市内に釣りをを行う観光客等が訪れ、釣り券の販売量が増える。また、遠方からの客などは、市内の宿泊施設を利用し、早朝から楽しむなどの情報がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
ニジマス放流事業に伴う購入助成。

[一般財源増加理由]

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	補助金	185	水産資源拡大補助				
上記の合計		185	職員の人件費合計	0	事業費総合計	185	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 0

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
		旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	林業の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策		具体的な施策	森林の公益的機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,850		246			11,604
前年度	15,559		874			14,685
増減額	3,709	0	628	0	0	3,081

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	246							

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣を適正な生息数を確認し、農林水産業の被害軽減や人身被害の防止を図る。

【効果】

・市有害鳥獣対策協議会(農業委員会、安曇野市、猟友会、鳥獣保護員、農業協同組合、漁協、森林組合等の代表で組織)で、防止と捕獲面の総合的な被害対策の協議を行い、安曇野市鳥獣被害防止計画に基づき、安曇野市猟友会に委託し、野生鳥獣類の捕獲・個体数調整を行い、農林水産業に係る被害軽減が図られている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市有害鳥獣対策協議会(安曇野市農業再生協議会内に組織)において対策計画を策定し、捕獲対策については「安曇野市鳥獣被害防止計画」を策定する。
 ・市猟友会に委託し捕獲及び個体数調整を行う。
 誤捕獲放獣調査...サルの捕獲檻に、誤ってクマがかかった場合の放獣業務
 ・緩衝帯整備...里山と農地の境界周辺の山側を除間伐することにより視界が良好となり、野生獣類が出没防く業務
 ・野生小動物死体回収...公道等に於けるタヌキ等の小動物死体処理を、業者に委託する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	246	猿、熊等の追い払い用品 熊出没注意看板作成				
13	委託料	9,062	有害鳥獣捕獲費用、ツキノワグマ個体調整用務、緩衝帯整備に係る除伐作業、野生小動物死体回収用務				
14	使用料及び賃借料	32	捕獲檻設置に伴う借地料				
18	備品購入費	502	大型動物捕獲檻(3基)、くくりわな(20基)購入				
19	負担金補助及び交付金	2,008	猟友会及び集落捕獲隊等の従事者障害保険 有害鳥獣捕獲者支援補助金				
上記の合計		11,850	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,850	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	218
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
		旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業		具体的な施策	森林の多様な活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	92,334	国支出金	県支出金	市債	その他	88,226
前年度	71,997		1,000		2,772	68,225
増減額	20,337	0	0	0	336	20,001

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森のエネルギー推進事業補助金	1,000	16	浅川山林組合組合に関する基金利子		20	緑の金緑化交付金	1,500	4,108
	15	分収造林事業基金利子	10	18	一ノ沢山林組合に関する基金繰入	500				
	16	一ノ沢山林組合に関する基金利子	576	18	浅川山林組合に関する基金繰入	500				

【目的・効果】

【目的】

・森林の公益的機能や森林体験施設の維持・増進や多面的活用を図る。

【効果】

・二酸化炭素の排出抑制、水源涵養や山地災害防止等の事業を行い、市民の山歩き・森林浴などの保健休養の利用に活用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・里山再生計画策定に向け、検討委員会の開催を行う。
- ・森林体験施設等の指定管理施設(南小倉林業研修センター、天平の森)の運營業務を行う。
- ・ペレットストーブ導入者に、100,000円(上限)の助成を行う。
- ・緑の募金活動とその交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布の実施。
- ・長峰山森林体験交流センター指定管理者(公募)【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成26年度～平成30年度(5年間)

【増加理由】

- ・給料等の職員手当等の増加したため。
- ・長峰山周辺整備に係る工事請負費を計上したため。

【一般財源増加理由】 給料等の職員手当が増加した事と、長峰山周辺整備に係る工事請負費を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
2	給料	32,485	給料	13	委託料	16,604	里山再生計画策定業務、長峰山森林交流体験センター指定管理料等
3	職員手当等	13,359	職員手当等	15	工事請負費	6,935	長峰山山頂マレットゴルフ場整備、長峰山展望台危険防止工事
4	共済費	9,450	共済費	16	原材料費	1,614	緑の募金緑化苗木代、光城山登山道整備
8	報償費	1,048	森林巡視員、里山再生計画検討委員会、長峰山展望台周辺管理	18	備品購入費	279	レーザー樹高測定器、木材水分計
9	旅費	124	職員旅費(関東方面出張、県外研修等)	19	負担金補助及び交付金	6,597	黒沢・北沢山林組合負担金、松本地域森林林業振興会、緑の少年団補助、ペレットストーブ導入補助等
11	需用費	2,443	事務費、燃料費、天平の森施設修繕費、南小倉公民館ベランダ撤去工事、物品修繕等	25	積立金	611	分収造林事業・一ノ沢山林組合・浅川山林組合に係る基金利子
12	役務費	785	ペレットストーブ点検整備(10台)、堀金地区市有林災害保険				
上記の合計		92,334	職員の人件費合計	0	事業費総合計	92,334	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・南小倉林業研修センター(南小倉公民館)・・・木製ベランダ撤去修繕工事
- ・長峰山周辺整備・・・マレットゴルフ場整備、展望台危険防止工事(屋根雪止め設置)等

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,188	南小倉研修センター(南小倉公民館)木製ベランダ撤去修繕工事
15	工事請負費	6,935	長峰山山頂北側 マレットゴルフ場整備工事、長峰山展望台危険防止工事(屋根雪止め設置)等
合計		8,123	左記の特定財源

予算書ページ	220
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
		旧	コード	010502200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業		具体的な施策	森林の公益的機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
227,368	133,702	93,666	0	69,493	0	10
				60,704		10
				8,789		0
						84,877

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林健全化推進事業補助金	51,349	20	更新伐事業雑入	10				
15	森林造成事業補助金	16,543								
15	森林づくり推進支援金	1,601								

【目的・効果】

【目的】

・松くい虫による被害の拡大を防止し、健全な森林機能の保全を図る。

【効果】

- ・災害に強い森林として減災効果を高める
- ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・予防対策として薬剤散布や樹幹注入の実施
- ・被害木の伐倒駆除
- ・激害地における更新伐による広葉樹林への樹種転換

【一般財源増加理由】

補助対象外の事業費増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	655	松くい虫被害対策協議会関係				
9	旅費	460	松くい虫被害対策に係る先進地視察等				
11	需用費	1,212	貯木場養生シート				
12	役務費	360	松くい虫被害材試験研究製材費				
13	委託料	218,729	松くい虫被害による枯損木伐倒駆除、薬剤地上散布、無人ヘリ薬剤散布、環境調査、水質等安全調査等				
15	工事請負費	3,675	貯木場整備、搬入路路面補修等				
16	原材料費	2,277	松くい虫防除樹幹注入剤購入等				
上記の合計		227,368	職員の人件費合計	0	事業費総合計	227,368	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・貯木場の養生シート設置
- ・薬剤散布による環境影響・安全確認調査の実施
- ・調査測量設計業務委託

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,179	貯木場養生シート
13	委託料	3,176	薬剤散布による環境調査と安全確認調査
13	委託料	2,852	更新伐事業地の調査測量設計業務
合計		7,207	左記の特定財源

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
予算	款	6	農林水産業費	総合計画
	項	2	林業費	
目	1	林業振興費		
事業	0106250	市有林の造林及び管理		
		旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち	
		基本施策	林業の振興	
		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,580	13,828	1,248	0	1,442	0	1,281
				4,398		1,581
				2,956		300
						2,008

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	15	森林造成事業費補助金	1,442							2,723
	20	林業費雑入	1							
	20	森林の里親促進事業支援金	1,280							

【目的・効果】

【目的】

安曇野市森林整備計画に基づき造林(下刈り、除間伐、裾枝払い等)事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の推進を図り、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画に基づき造林を行う。
 ・下刈り、除間伐、裾枝払い等を行い、搬出間伐等を計画的に実施する。
 森林(もり)の里親促進事業の推進をする。
 ・まゆみ池(堀金)周辺の整備 … GE富士電機株
 ・烏川(堀金)周辺の整備 … 全農、マイパール長野
 ・学有林活動 … 堀金中学校、穂高西中学校

【一般財源増加理由】

補助事業減

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	12,580	下刈り、除間伐、裾枝払い等の作業委託、森林の里親事業、間伐材利活用製材費用等				
上記の合計		12,580	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,580	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
		旧	コード	010502200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業		具体的な施策	森林施業の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
41,434	40,711	723	0	4,875	5,544	6,480
						29,152
				669	0	465
						927

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
			金額	金額			金額	金額	
	12	森林総合研究所負担金		6,480					11,355
	15	森林整備地域活動支援事業交付金		3,375					
	15	森林づくり推進支援金		1,500					

【目的・効果】

【目的】

・水源林分収造林事業は、森林所有者と造林・保育を行う「独立法人 森林総合研究所」の2者で分収林契約を結び、裾枝払・除伐・保育等の森林の計画的な整備・維持管理が行った後、材の成育後の分収(販売)を図る事を目的に施業している。

【効果】

・水源林事業により、森林内の降雨や降雪等で、樹木の樹冠や森林土壌等を滞留し、河川への流出量や流出時間がコントロールされ、一部は地下地層へ浸透し地下水を形成する事ができる。また渇水時にも安定した地下水量が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・分収造林事業は、裾枝払・除伐・保育等を行ったのち除伐したのち、販売収益を分け合う森林業務で、木材生産を目的としている事から適正な森林管理が造林者(森林所有者)に求められている。事業費は、独立法人森林総合研究所の費用で施行されている。

・水源林造成事業 除伐作業 穂高地域(20ha)、堀金地域(30ha)

【増加理由】

・役務費に於ける造林事業で、消費税増税分が予算増加となった。

【一般財源増加理由】 県支出金の減額と消費税増額に伴う一般財源の負担増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	54	消耗品(チェンソー切断防止ズボン、スパイク長靴等)				
12	役務費	11,880	水源林造林事業費				
19	負担金補助及び交付金	29,500	地域活動支援事業、森林造成事業高上げ補助				

上記の合計	41,434	職員の人件費合計	0	事業費総合計	41,434	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
予算	款	6	農林水産業費	
	項	2	林業費	
目	1	林業振興費		総合計画
	事業	0106270	市単林道事業	
		旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち	
		基本施策	林業の振興	
		具体的な施策	森林の公益的機能の維持・増進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,827					32,827
前年度	29,806					29,806
増減額	3,021	0	0	0	0	3,021

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・近年のゲリラ豪雨の多発により、法面や路肩の崩壊や、路面洗掘による通行障害が発生している。また老木等による倒木や排水施設からの越水等の影響で林道通行止めが増加していることから、安全で安心した利用と通行の確保をする。

【効果】

・林道及び作業道において、路面・排水施設等の維持補修、土砂・倒木の撤去等を行う。また森林施業の効率化、生産性の向上や林業振興に資するため、林道等を良好に保つことで、安全で安心した通行確保と円滑な林業施業を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・林道(51路線)や作業道の管理と維持・補修を行う。
 ・安曇野市森林体験交流センター(天平の森)へ通じる林道長峰線の安全で円滑な通行を確保と、天平の森への誘客を図るための林道長峰線に部分拡幅工事や天平の森周辺に駐車場の検討及び整備を行う。

【増加理由】

・林道長峰線の部分拡幅工事と天平の森周辺の駐車場整備費等を計上したため。

【一般財源増加理由】 林道長峰線部分拡幅工事(4,000千円増)、天平の森周辺駐車場整備等(3,000千円増)による

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	150	消耗品(バリケード、カラーコーン等)						
13	委託料	12,500	刈払い、倒木処理作業、林道宮沢線(明科)登記事務委託業務、天平の森周辺整備の検討						
15	工事請負費	18,500	林道維持補修費、林道長峰線部分拡幅工事(8か所)、天平の森周辺整備						
16	原材料費	875	簡易水切横断板・砕石等購入						
17	公有財産購入費	759	林道城山線用地買収(未買収地)						
18	備品購入費	43	刈払機(1機)購入						
上記の合計		32,827	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,827	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・林道長峰線部分改良工事(8か所)
 ・林道城山線 未買収地購入

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	500	天平の森周辺駐車場整備に係る委託料	
15	工事請負費	6,500	林道長峰線部分拡幅(退避所)工事、天平の森周辺駐車場整備工事	
17	公有財産購入費	759	林道城山線用地買収(未買収地)	
18	備品購入費	433	刈り払い機購入	
合計		8,192	左記の特定財源	

予算書ページ	224
--------	-----

新	コード	010802100
	部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当
旧	コード	010502100
	部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106280	耕地総務費		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	241,778		8,979		1,217	231,582
前年度	282,674	0	8,979	0	1,329	272,366
増減額	40,896	0	0	0	112	40,784

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	農村環境改善センター維持管理分担金	1,080	20	中信平左岸土地改良区手数料	17				
15	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,836	20	高瀬川左岸水利運営費調整費	120					
15	地滑り防止施設管理委託金	143								

【目的・効果】

【目的】

・耕地事業全般にわたる経常的経費及び負担金・償還金支出

【効果】

・経常的な経費・負担金等をまとめて管理できるため、収入・支出の管理が容易

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地事業の庶務的経費(人件費・公用車維持費他)
- ・実施済みの市内ほ場整備事業等に伴う借入金の償還
- ・土地改良施設等の維持管理負担金
- ・三郷農村環境改善センターの指定管理

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	212	全土連等主催の研修会旅費	27	公課費	18	公用車重量税
11	需用費	778	公用車5台分のオイル・タイヤ、修繕費他				
12	役務費	170	公用車車検・点検手数料				
13	委託料	9,925	三郷農村環境センター指定管理委託料 市内農業水利組織の受益図作成業務				
14	使用料及び賃借料	2,760	三郷農村環境センター借地料				
18	備品購入費	1,622	三郷農村環境センター エアコン購入費他				
19	負担金補助及び交付金	144,224	実施済みの市内ほ場整備事業等の償還金 国営事業により造成された土地改良施設の維持管理負担金				
上記の合計		159,709	職員の人件費合計	82,069	事業費総合計	241,778	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・市内農業水利組織の受益図作成業務

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,171	市内の土地改良区や水利組合の受益農用地の情報をGISに入力することにより、パソコン画面で確認できるようにする。
合計		2,171	左記の特定財源

予算書ページ	224
--------	-----

重点項目番号	4-3		新	コード	010802100	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
			部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当			主要施策	次代へつなぐ
			旧	コード	010502100		基本施策	農業・農村の振興
			部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当			具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進
予算	款	6	農林水産業費		単位:千円			
	項	3	耕地費					
	目	1	耕地総務費					
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業					

当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	市債	その他					
本年度	2,506					2,506				
前年度	2,996					2,996				
増減額	490	0	0	0	0	490				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・長年の使用により用水路が老朽化し漏水が生じており早急な改修が必要とされその工事に対する積立金と改良区実施の事業の負担金。

【効果】

・計画的な水路整備により、農業用水の安定的な供給が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・青木花見地区外3地区の拋出金
 ・梓川土地改良区への建設負担金

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	2,506	青木花見地区外3地区の拋出金 梓川土地改良区への負担金				
上記の合計		2,506	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,506	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	224
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	010802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	
重点項目番号	4	旧	コード	010502100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	

予算	款	06	農林水産業費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	03	耕地費	合計	主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費	画	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,413	0	0	0	0	94,413
前年度	93,850	0	0	0	0	93,850
増減額	563	0	0	0	0	563

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理

【効果】
 ・施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野・松本行政事務組合の負担金
 ・広域排水事業に伴う借入金の償還
 ・県営事業施設の維持管理

【増加理由】
 安曇野・松本行政事務組合への負担金増額が見込まれるため

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
15	工事請負費	864	広域排水路沈砂池の堆積土砂搬出工事							
19	負担金補助及び交付金	78,549	国営広域排水事業の借入償還金							
19	負担金補助及び交付金	15,000	安曇野・松本行政事務組合負担金							
上記の合計		94,413	職員の人件費合計		事業費総合計	94,413	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・国営中信平二期事業負担金

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	78,549	国営広域排水事業の負担金に対する借入償還金
合計		78,549	左記の特定財源

予算書ページ	226
--------	-----

重点項目番号	4 - 3	新	コード	010802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	
		旧	コード	010502100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,952				183	47,769
前年度	51,522				124	51,398
増減額	3,570	0	0	0	59	3,629

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと・水と土保全基金利子	183							

【目的・効果】

【目的】

・地域から改修、修繕要望のある土地改良施設を整備し農業経営の安定と農村環境の保全を図る。

【効果】

・農業経営の安定化と農業用水の安定的な供給が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内一円の農業用排水路・農道の小規模補修・改修（市営事業分）
- ・用排水路・農道の維持管理に伴う各種資材（生コンクリート・水路二次製品）の支給
- ・用排水路・歩道等の管理委託。
- ・市内組織への市単土地改良事業補助金。

【一般財源増加理由】 主に市単土地改良事業補助金（11,000千円増）による。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	103	用排水路管理作業		19	負担金補助及び交付金	13,000	水路事業補助分	
11	需要費	469	事務用品、参考図書、コピーナ-						
12	役務費	118	登記手数料他						
13	委託料	4,140	水門、排水路管理、測量設計委託料他						
14	使用料及び賃借料	801	積算システムリース料、重機リース料						
15	工事請負費	26,000	用排水路改修工事他						
16	原材料費	3,321	水路補修材、路面補修用碎石						
上記の合計		47,952	職員の人件費合計	0	事業費総合計		47,952	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	226
--------	-----

重点項目番号	4 - 3	新	コード	010802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	
		旧	コード	010502100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
40,528	10,030	30,498	0	0	26,500	14,028
					9,000	1,030
					17,500	12,998

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市債		26,500						

【目的・効果】

【目的】

・県営各事業の調査、工事への建設負担金

【効果】

・計画的な事業実施、早期の事業完了を望める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・県営かんがい排水事業 拾ヶ堰地区 水路工、頭首工の修繕。
- ・県営農道保全対策事業 穂高地区 歩道設置、路面整備等。
- ・H26新規県営農道整備事業 安曇野地区事業計画書作成。(県営農道保全対策事業 穂高地区が完了したことによる継続の新規事業)
- ・H26新規県営かん排事業 勘左衛門・新田地区事業計画書作成。

【一般財源増加理由】 主に事業費の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	5,000	H26新規県営農道整備事業計画概要書作成業務				
19	建設負担金	878	事業割、H26新規事業地区事業負担金				
19	建設負担金	34,650	かんがい排水事業、農道整備事業負担金				
上記の合計		40,528	職員の人件費合計 0	事業費総合計	40,528	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・農道整備事業計画書作成 安曇野地区(継続事業 穂高地区完了による新規分)
- ・県営かん排事業事業計画作成 勘左衛門・新田地区

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金	750	事業負担金
合計		750	左記の特定財源 地方債(670)

予算書ページ	226
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802100
			部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当
		旧	コード	010502100
			部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
86,735	3,300	83,435	0	41,310	0	3,920
						41,505
						300
						41,205

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	耕地事業費分担金	3,920							
15	耕地費補助金	41,310								

【目的・効果】

【目的】

・農業用排水路の計画的な補修更新をし、施設の長寿命化を図る。

【効果】

・計画的な水路整備により、農業用水の安定的な供給が可能となり維持管理面において多大な労力や時間軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・水利施設整備事業 狐島地区外2地区の農業用排水路の改修工事
- ・農業基盤整備促進事業 安曇野3期地区の農道舗装工事

【一般財源増加理由】 主に工事請負費(75,300千円増)、委託料(7,730千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	300	事務用品外				
13	委託料	10,730	水利施設整備事業 狐島地区外5地区の測量設計費等				
15	工事請負費	75,300	水利施設整備事業 狐島地区外4地区の水路改修工事外				
19	負担金補助及び交付金	405	長土連事業割外				
上記の合計		86,735	職員の人件費合計	0	事業費総合計	86,735	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

農業基盤整備促進事業 安曇野3期地区

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	60	事業実施における事務用品
13	委託料	5,000	工事実施における測量設計委託
15	工事請負費	35,200	工事請負費
合計		40,260	左記の特定財源 県支出金(20,400)

予算書ページ	228
--------	-----

新	コード	010802100
	部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当
旧	コード	010502100
	部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
35,598	30,722	4,876	0	500	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	多面的機能支払推進交付金	500							500

【目的・効果】

【目的】

・区域内の農業用施設の維持管理及び良好な農村環境の保全活動を行う活動組織に対し、助言・補助や事務指導を行う

【効果】

・住民による共同作業により、地域内の環境が改善される
 ・水路・農道の維持補修や改修工事を行うことにより、農業用施設が整備され長寿命化が図られる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・活動費補助
- ・農道及び水路の維持管理活動への助言・補助
- ・農村環境保全のための活動への助言・補助
- ・水路・農道の維持補修や改修工事に対する指導・助言

【増加理由】

農地・水事業に取り組む活動組織が増加したため (H25年度 40組織 H26年度 44組織)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	21	研修会講師謝礼他	19	負担金補助及び交付金	34,083	活動支援補助金他
09	旅費	99	先進地研修視察				
11	需用費	520	事務用品他				
12	役務費	11	現地研修会開催時の仮設トイレ汲み取り料				
13	委託料	540	向上活動で実施する工事費査定委託料				
14	使用料及び賃借料	108	現地研修会で使用する工具リース料				
16	原材料費	216	現地研修会で使用する資材代				
上記の合計		35,598	職員の人件費合計	事業費総合計		35,598	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	228
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	
重点項目番号	1	旧	コード	010502100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当	

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	112,697	国支出金	県支出金	市債	その他	11,347
前年度	20,318		1,650	7,800	8,750	2,118
増減額	92,379	0	0	39,400	43,750	9,229

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	土地改良事業地元分担金	52,500							
15	団体営土地改良事業補助金	1,650								
21	農林債	47,200								

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業を実施し、営農の効率化を図る。

【効果】

ほ場が小区画から大区画になると同時に、点在していた農地を集約化することにより作業効率が向上し、担い手農家への集積が容易になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・区画整理工 28ha(5工事工区)
- ・上記工事に付帯する設計及び補償等

【一般財源増加倍理由】 国庫補助の増額による負担増(43,750千円増)、県営工事に付帯する工事関連の増額(3,000千円増)、下水道補償の増額(2,404千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	210	ほ場地区内土地利用調整委員報酬	22	補償金	2,972	施工区域内道路付替えによる下水道管撤去・新設補償
9	旅費	52	地権者交渉職員旅費				
11	需用費	697	県ほ事務用品(トナー他)、公用車燃料代				
13	委託料	1,089	農政システムメンテナンス・営農計画策定委託・境界測量・設計業務委託				
14	使用料及び賃借料	467	公用車リース料				
15	工事請負費	2,000	県ほ付帯工事				
19	負担金補助及び交付金	105,210	県営事業負担金・長土連負担金				
上記の合計		112,697	職員の人件費合計 0	事業費総合計		112,697	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

商工觀光部

予算書ページ	200
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
重点項目番号	1-1	旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	5	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105010	労働総務費		具体的な施策	勤労者の福利厚生の実現

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	67,287	国支出金	県支出金	市債	その他	7,287
前年度	91,472	0	0	0	84,000	7,472
増減額	24,185	0	0	0	24,000	185

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	20	勤労者資金元金	60,000							60,000

【目的・効果】

【目的】

安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済制度を推進する。

【効果】

勤労者の生活を安定させ、働きやすい環境を整備し生産性の向上を期待する。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市勤労者互助会及び松本職業安定協会へ負担金を交付することで当該団体の活動を支援する。
 ・勤労者の生活安定を支援するために、勤労者資金預託融資(協調融資)や、勤労者住宅建設資金利子補給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	使用料及び賃借料	137	労政関係施設に設置したAEDの借り上げ料				
19	負担金補助及び交付金	7,150	負担金:安曇野市勤労者互助会、松本職業安定協会 補助金:勤労者住宅建設資金利子補給、安曇野市労働者福祉協議会事業補助金				
21	貸付金	60,000	勤労者資金預託融資預託金				
上記の合計		67,287	職員の人件費合計	0	事業費総合計	67,287	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	200
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	5	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105020	労働対策振興事業		具体的な施策	就労支援の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,064	0	0	0	0	3,064
前年度	3,362	0	0	0	0	3,362
増減額	298	0	0	0	0	298

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

地域内の求職者の就職機会の向上を図るために、地域職業相談室を、松本公共職業安定所と共同で運営する。

【効果】

求職者の利便性と就業機会の拡大が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域職業相談室の管理運営
- ・安曇野市合同就職面接会の開催
- ・生活労働相談会の開催
- ・わかもの就職サポート相談会の開催

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,255	地域職業相談室光熱水費等				
12	役務費	320	地域職業相談室電話料外				
13	委託料	1,064	地域職業相談室警備保障委託、管内清掃業務委託、駐車場整理誘導業務委託他管理委託料、労働相談業務委託料				
14	使用料及び借り上げ料	267	合同就職面接会会場借り上げ料、コピー機使用料				
18	備品購入費	158	地域職業相談室事務用パソコン				
上記の合計		3,064	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,064	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	200
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	5	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105030	勤労者福祉センター管理		具体的な施策	勤労者の福利厚生の実現

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,995	0	0	0	0	1,995
前年度	786	0	0	0	0	786
増減額	1,209	0	0	0	0	1,209

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

勤労者の福利増進

【効果】

勤労者の福祉増進の場を提供することで、自己啓発や地域活動に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市穂高勤労者福祉センターを指定管理者に委託し貸館業務を行う。
- ・施設老朽化による建物の寿命を延命するため、予防的な修繕及び補修を行う。

【一般財源増加理由】 予防的な修繕及び補修を行うための経費 屋根塗装等修繕工事(1,199千円増)、指定管理料(10千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	50	施設小破修繕				
13	委託料	746	指定管理委託料				
15	工事請負費	1,199	屋根塗装補修及びトイレ改修工事				
上記の合計		1,995	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,995	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	232
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費		具体的な施策	商業への支援、経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	205,666	0	0	0	0	205,666
前年度	235,645	0	0	0	6,568	229,077
増減額	29,979	0	0	0	6,568	23,411

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

商工業の総合的な振興を図り、活力あるまちづくりを目指す。

【効果】

市内の経済活動全般に活気を生み出し活力あるまちづくりに寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・商工業振興審議会の開催
- ・安曇野市商工会に対する補助金交付

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	42	商工業振興審議会委員報酬		27	公課費	9	公用車車検費用	
9	旅費	318	商談、販路開拓に関する職員旅費等						
11	需用費	207	経済関係書籍等、公用車両の維持管理に係るもの。						
12	役務費	95	公用車両車検手数料等						
13	委託料	54	産業事情視察等バス運行業務委託料						
14	使用料及び賃借料	134	商工労政課事務室複写機借り上げ料						
19	負担金補助及び交付金	65,762	まつもと広域ものづくりフェア負担金、経営改善普及事業補助金、地域総合振興事業補助金						
上記の合計		66,621	職員の人件費合計	139,045	事業費総合計		205,666	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	232
--------	-----

重点項目番号	4-3	
	新	コード 010901100 部・課・係等 商工観光部・商工労政課・商業労政係
	旧	コード 010601100 部・課・係等 商工観光部・商工労政課・商業労政係
	予算	款 7 商工費 項 1 商工費 目 1 商工総務費 事業 0107020 JR・高速乗合バス利用対策事業

総合計画	基本方針	安全・安心・快適な街の形成
	主要施策	公共交通の整備
	基本施策	公共交通の利用促進
	具体的な施策	公共交通の利用促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,789	0	0	0	7,207	11,582
前年度	0	0	0	0	6,568	6,568
増減額	18,789	0	0	0	639	18,150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	市営駐車場使用料	3,081							
20	JR乗車券類等発売業務	4,126								

【目的・効果】

【目的】

市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅の管理運営と市営駐車場の管理運営を行う。

【効果】

駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化及び利用者の利便性の向上

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・JR営業線無人駅での乗車券類の発売
 - ・市内10駅に点在する駐輪場の管理
 - ・安曇野IC東駐車場の管理

【一般財源増加理由】 事務分掌上の位置づけを明確にするため、商工総務費から本事業を分離し新事業としたことによる皆増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,106	安曇野IC東駐車場自動精算機用消耗品、JR駅消耗品、簡易委託駅6駅分光熱水費他				
12	役務費	427	安曇野IC東駐車場自動精算機警備通信費、簡易委託駅6駅分電話料				
13	委託料	17,020	市営駐車場除草業務委託、駐輪場管理業務委託他管理委託料、安曇野IC東駐車場警備業務委託、簡易委託駅乗車券類発売業務委託				
14	使用料及び借り上げ料	236	JR営業線駐輪場借り上げ料				
上記の合計		18,789	職員の人件費合計 0	事業費総合計	18,789	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成25年度予算で当該事業に相当する商工総務費からの増額金額は 210千円
 ・需用費:簡易委託駅事務室の冬季分燃料費を増額した分及び消費税増税分で 192千円増
 ・役務費:安曇野IC東駐車場の警備回線通信費 18千円増
 同様に削減分は 委託料で 141千円減
 結果 69千円昨年度に比較して増額となった。
 H25年度当初予算額は下表のとおり

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	914	消耗品費 209、施設修繕費 100、光熱水費 605、
12	役務費	324	通信運搬費 324
13	委託料	17,161	管理委託料:1,683(安曇野IC東 97、JR簡易委託駅1,586) 事務事業委託 15,478(安曇野IC東駐車場 1,966、JR簡易委託駅 13,512)
14	使用料及び賃借料	236	駐輪場借地料(安曇追分駅以下4駅) 236
合計		18,635	左記の特定財源

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業		具体的な施策	商業への支援・商業空間の形成

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	65,415	20,400	0	0	30,403	14,612
前年度	14,678	0	0	0	181	14,497
増減額	50,737	20,400	0	0	30,222	115

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	まちづくり会館使用料	180	18	公共施設整備基金繰入金	30,000				
13	産業会館使用料	97	20	産業会館光熱水費	126					
14	都市再生整備計画事業	20,400								

【目的・効果】

【目的】

にぎわいあるまちづくりを目指すため、個性を生かした商店街や店舗づくりを支援する。

【効果】

商店街のにぎわいを創出し、個店への誘客を増やす。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・空き店舗等活用事業実施者への助成
- ・商談会、販路拡大展示会等への出展者に対する助成。
- ・都市再生整備事業を活用した、穂高駅通り商店街の基盤整備(街路灯のリニューアル)

【一般財源増加理由】 都市再生整備計画実施の工事請負費及び関連補償金(51,000千円増)

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,432	まちづくり会館、明科産業会館消耗品、光熱水費他						
12	役務費	183	まちづくり会館電話料、まちづくり会館設備点検手数料						
13	委託料	2,867	まちづくり会館、明科産業会館管理委託料						
14	使用料及び賃借料	276	まちづくり会館駐車場賃借料						
15	工事請負費	50,084	穂高駅通り街路灯リニューアル工事、まちづくり会館ロールスクリーン設置工事						
19	負担金補助及び交付金	9,573	防火管理者協議会負担金、商店街等支援事業補助金						
22	補償補填及び賠償金	1,000	穂高駅通り街路灯リニューアル工事支障電柱移転補償金						
上記の合計		65,415	職員の人件費合計	0	事業費総合計	65,415	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・都市再生整備計画を策定する中で、穂高駅周辺の既存商店街の空間整備を行い、来訪者の回遊性を高め、にぎわいの創出を目指す。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
15	工事請負費	50,000	穂高駅通り既存街路灯のリニューアル	
22	補償補填及び賠償金	1,000	中電柱移転補償金	
合計		51,000	左記の特定財源(社会資本整備交付金 20,400千円)(公共施設整備基金繰入金 30,000千円)	

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107040	緊急経済対策事業		具体的な施策	経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	75,000	0	0	0	0	75,000
前年度	63,452	0	3,452	0	0	60,000
増減額	11,548	0	3,452	0	0	15,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

市内建築関連産業の活性化と併せて市民の住環境の向上、熟年層の定住化を図るため、地域経済活性化住宅助成事業を継続実施する。

【効果】

住宅関連産業への受注を促し、地域経済を活性化させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する住宅改修工事、耐震化付帯工事及び新築住宅の取得に際し、工事実施者(施主)に補助金を交付する。

メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
補助内容	住宅の改修工事	耐震化付帯工事	新築住宅の取得
対象工事金額	工事金額 が20万円以上	耐震補強工事費以外の工事費が50万円以上あること	500万円以上
補助金額 <small>(計算で千円未満の端数が できた場合は切り捨て)</small>	対象工事金額 × 10%	対象工事金額 × 20%	50万円
補助上限金額	20万円	30万円	50万円

【一般財源増加理由】 この事業への要望が高いため、25年度の補正後の予算ベースとした。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	75,000	緊急経済対策住宅助成事業補助金				
上記の合計		75,000	職員の人件費合計	事業費総合計		75,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興係	
重点項目番号	1-1	旧	コード	010601200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興担当	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちづくり
	項	1	商工費		主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	2 工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業		具体的な施策	生産基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	101,548	国支出金	県支出金	市債	その他	101,548
前年度	81,836				63	81,773
増減額	19,712	0	0	0	63	19,775

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

目的

・企業誘致と既存企業の生産基盤の整備を支援する。

効果

・市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援をすることで、市外への移転を留まらせるだけでなく、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・外部評価にて企業支援の助成制度を拡充するようにとの意見を受けて、H26はさらに充実する。
 ・工業振興ビジョン見直し経費が皆増。

【一般財源増加理由】 上記に同じ

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	543	工業振興ビジョン検討委員会出席謝礼						
9	旅費	68	新製品新技術開発事業審査委員会旅費 8 工業振興ビジョン検討客員教授旅費 60						
11	需用費	410	工業振興関係消耗品 53 工業振興ビジョン印刷 357						
15	工事請負費	108	安曇野工業会緑化キャンペーン植樹事業						
19	負担金補助及び交付金	99,770	安曇野工業会へ人材育成セミナー開催の負担金 347 企業等支援助成事業補助金 99,423(+18,823)						
28	繰出金	649	産業団地造成事業特別会計						
上記の合計		101,548	職員の人件費合計	0	事業費総合計	101,548	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成21年度に安曇野市工業振興ビジョンを策定し、5年経過した平成26年度に見直しを行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	543	工業振興ビジョン検討委員会出席謝礼	
9	旅費	60	工業振興ビジョン検討客員教授旅費	
11	需用費	357	工業振興ビジョン印刷	
合計		960	左記の特定財源	

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興係	
予 算	款	7	商工費	
	項	1	商工費	
目	2	商工振興費		総合計画
	事業	0107060	市制度資金貸付事業	
		旧	コード	01060200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興担当	
		基本方針	5章	豊かな産業のあるまちの形成
		主要施策	2節	活力ある商工観光業を振興するまち
		基本施策	2	工業の振興
		具体的な施策	経営の安定化	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	954,038	国支出金	県支出金	市債	その他	49,038
前年度	959,417				905,000	54,417
増減額	5,379	0	0	0	0	5,379

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市制度資金元金	900,000							
20	制度資金保証料補給金返還金	5,000								

【目的・効果】

目的

市内企業等の経営安定化を図るため、市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫)に資金を貸し付け、それを担保に中小企業の運転、設備資金の貸し付けを行う。

効果

一般貸付よりも低利で貸し付け、県信用保証協会の保証料の補給と1年度に限り利子の最大1%分を補助することにより、経営の安定化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 制度資金保証料補給金
- 制度資金利子補給
- 制度資金預託金

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	54,038	制度資金保証料補給金 38,414 制度資金利子補給 15,624				
21	貸付金	900,000	預託金				
上記の合計		954,038	職員の人件費合計 0	事業費総合計	954,038	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	1-1	新	コード	010901300
		部・課・係等	商工観光部商工労政課産業連携推進係	
		旧	コード	010601100
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興担当	
予算	款	7	商工費	
	項	1	商工費	
	目	2	商工振興費	
	事業	0107070	産業連携推進事業	

総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	主要施策	安曇野モデル構築に取り組みまち
	基本施策	地域資源を活用した産業モデルへの取り組み
	具体的な施策	多種多様な連携構築の支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
10,854	0	10,854	0	0	0	0
						10,854

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

(目的)

地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存の категорияの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。

(効果)

異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋がることを期待する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

工業振興事業に含めていた事業部分の内、産業連携推進の事業を抜き出し新設した。昨年度と比較して増額となった事業は以下3項目。

- 1 コーディネーターの新設(食品関係担当)
- 2 外部プロデューサーの新設
- 3 補助制度(産業連携助成制度の新設)の創設

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	7,283	工業担当のコーディネーター加えて、食品担当のコーディネーターを設置						
8	報償費	675	産業連携を全体的に推進するプロデューサーを依頼、新設する補助金の審査委員会謝礼						
9	旅費	422	食品事業者を中心とした出展事業に伴う旅費 新設する補助金の審査委員の実費旅費						
11	需用費	53	コーディネーター事業用消耗品						
14	使用料及び賃借料	421	食品担当のコーディネーターが使用するレンタカー						
19	負担金補助及び交付金	2,000	H26年度から施行する「地域資源活用型連携推進事業補助金」に基づく、第2・3次産業事業者への補助金						
上記の合計		10,854	職員の人件費合計	0	事業費総合計		10,854	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

第1次総合計画後期基本計画で定めた「地域資源を活用した産業モデルへの取り組み」に基づく事業。具体的な施策「1 地域産業の有機的連携の推進」により設置した「安曇野市産業振興連携推進会議」(25.5.8告示)より、市長へ提案書が提出された。年度内に、連携会議の提案を基本として商工業振興審議会へ諮問し、答申を踏まえて、平成26年度から産業連携推進に向けた、新たな人員配置と助成制度を新設する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
7	賃金	3,419	食品担当コーディネーター1名賃金	
8	報償費	675	外部プロデューサー 600,000円 審査委員審査会 75,000円	
9	旅費	422	出展準備に伴う職員旅費 409,000円 審査委員実費旅費 13,000円	
14	使用料及び賃借料	236	食品担当コーディネーター用 レンタカー1台	
19	負担金補助及び交付金	2,000	「(仮称)地域資源活用型連携推進事業補助金交付要綱」に基づく補助金 1事業600万円限度。	
合計		6,752	左記の特定財源	

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	010902100	
		部・課・係等	商工観光部	観光交流促進課	ブランド推進担当
旧		コード	010603100		
		部・課・係等	商工観光部	安曇野ブランド推進室	ブランド推進担当

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光振興
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		具体的な施策	新たな観光戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,874				21	17,853
前年度	0					0
増減額	17,874	0	0	0	21	17,853

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	天蚕振興基金利子	21							

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の持つブランドイメージを活用し、商品・サービスのブランド化の構築を図る。

【効果】

- ・お土産等の商品開発により観光地としての魅力が高まり、来訪者の満足度が向上する。
- ・地域ブランド化により商品等の価値が高まり、新たな市場が開拓される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野の食の魅力を高める取り組みとして、安曇野やさいスイーツフェアの開催や、安曇野産りんごを使用したアップルパイをお土産として活かすための料理コンテストを開催する。
- ・メディア関係者の招聘やロケ支援を促進するための助成措置を新設する。
- ・天蚕振興のため、天蚕センターの指定管理や天蚕振興会への支援を行う。
- ・安曇野ブランド創出に取り組んでいる団体の支援を行う。
- ・合併10周年に向け、安曇野市のイメージを統一するため、基本となるデザインを作成する。(CⅠ事業)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	200	アップルパイコンテスト審査員謝礼等	25	積立金	22	天蚕振興基金利子
9	旅費	155	会議、視察等の旅費				
11	需用費	261	参考図書、新聞購読料等				
13	委託料	9,120	天蚕センター指定管理料、メディア・ロケ誘致推進委託費				
14	使用料	245	天蚕センター借地料				
15	工事請負費	4,018	天蚕センタートイレ改修費				
19	負担金補助及び交付金	3,853	プロジェクト団体・天蚕振興会補助				
上記の合計		17,874	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,874	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・メディア関係者を招聘しメディアへの安曇野市の露出を積極的に働きかける。あわせて、映画・テレビ番組等のロケ誘致を推進し、安曇野市のPR・認知向上を図るために、メディア等の媒体を活用する。
- ・安曇野産りんごを使用したアップルパイを、安曇野の新たなお土産の一つとするため、お土産としての商品化を前提とした「アップルパイ」コンテストを開催し、広く一般からアイデアを募集する。
- ・天蚕センターのトイレ施設が老朽化しており、また狭隘であるため、洋式化、バリアフリー化の改修を行い、来館者の利便性を向上させる。
- ・CⅠ事業を導入し、案内看板等での安曇野市のイメージ統一を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	180	アップルパイコンテスト賞金・審査謝礼
13	委託料	5,536	アップルパイコンテストチラシ作成料、メディア招聘・ロケ誘致推進委託、CⅠ事業関係業務
15	工事費	4,018	天蚕センタートイレ改修工事
合計		9,734	左記の特定財源

予算書ページ	238
--------	-----

重点項目番号	1 - 4	新	コード	010902200
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 観光交流促進係	
重点項目番号	1 - 4	旧	コード	010602100
		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光振興担当	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	交流促進事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,165	0	0	0	0	22,165
前年度						0
増減額	22,165	0	0	0	0	22,165

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・官民が一体となり既存イベントの魅力を更に高めるとともに、新たなイベントを戦略的・効果的に実施することにより、交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図る。

【効果】

・安曇野市の魅力を高め発信することにより、多くの誘客を図ることができる。
 ・交流人口が拡大することにより経済波及効果を生み出し、地域経済の活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・交流人口の拡大を図るため、「安曇野花火」「YOSAKOI安曇野」等を実施する。
- ・「信州安曇野あやめまつり」30周年記念イベント及び新たな交流人口拡大事業として「安曇野ハーフマラソン」を実施する。
- ・「松本山雅FC安曇野市day」や「駅からハイキング」等交流人口を拡大するための事業を支援する。

【一般財源増加理由】 新規事業につき増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	150	謝礼 駅からハイキング、センチュリーライド外				
11	需要費	215	印刷製本費 山雅安曇野市dayチラシ・ポスト				
19	負担金補助及び交付金	21,800	補助金 安曇野花火、信州安曇野あやめまつり、安曇野ハーフマラソン外				
上記の合計		22,165	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,165	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

安曇野ハーフマラソン
 ・平成27年5月の新本庁舎完成に伴い、雄大な北アルプスを背景に、安曇野の豊かな自然景観と堰や湧水を最大限にアピールできる新たな交流人口拡大事業として官民が一体となり「安曇野ハーフマラソン」を実施する。
 ハーフマラソンの開催は、安曇野の魅力を発信し、より多くの誘客を図り、経済波及効果はもとより、市民の地域に対する誇りを高めるとともに市民の一体感の醸成につながる。
 ・平成26年度はプレイベントとして10月に実施する。

節	金額(千円)	主な内容
19	8,000	負担金補助及び交付金 安曇野ハーフマラソン
合計	8,000	左記の特定財源

予算書ページ	238
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当	
重点項目番号	1-4	旧	コード	010602100
		部・課・係等	商工観光部・観光課・観光振興担当	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,103					44,103
前年度	99,329					99,329
増減額	55,226	0	0	0	0	55,226

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・安曇野の地域資源の活用とグリーンツーリズムを組入れた着地体験型旅行商品を造成することによって、来訪者の興味・関心、来訪目的(選択)の拡大を図る。
- ・二次交通の整備拡大を図る。

【効果】

- ・他の観光地との差別化から選択肢が広がる。来訪者満足度及び再来訪意向が向上する。
- ・来訪者のリピーター化が増加する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・観光施設宿泊施設における来訪者アンケート調査の実施(来訪者の実態把握)
- ・観光総合窓口として、観光情報の収集と提供を行う。
- ・地域資源の活用と、グリーンツーリズムを組入れた着地体験型旅行商品の造成。商品パンフレットの作成。
- ・観光協会の運営補助(人件費、協会事務所経費を含む)
- ・二次交通の整備(JR明科駅・まつもと空港への送迎を含む)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,653	臨時職員賃金 非常勤嘱託職員				
12	役務費	17	手数料等 クリーニング代、				
13	委託料	26,995	情報発信外委託 観光案内情報発信業務外				
14	使用料及び賃借料	2,016	コピー機使用料				
19	負担金補助及び交付金	13,422	観光推進組織補助金 観光協会事務所・人件費・二次交通・アートライン外				
上記の合計		44,103	職員の人件費合計 0	事業費総合計	44,103	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・文化芸術関係を本格的に観光資源として取入れるため、教育委員会で所管する アートライン事務局を所管する。
- ・平成26年度は、委託事業としてグリーンツーリズム(農業体験等)を活用した着地体験型旅行を商品化する。
- ・安曇野市内の主要な施設等への二次交通の整備を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	26,995	観光情報の発信、グリーンツーリズムを取入れた、着地体験型旅行商品の造成
19	補助金	4,400	アートライン(美術館など)を組入れた観光の推進、二次交通の整備(篠ノ井線対応)
合計		31,395	左記の特定財源

予算書ページ	238
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当	
旧		コード	010602100	
		部・課・係等	商工観光部・観光課・観光振興担当	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,649					29,649
前年度	99,329					99,329
増減額	69,680	0	0	0	0	69,680

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

安曇野暮らしツーリズム(市観光振興ビジョン)に関連する地域資源に関する情報や関係団体の取組みを集約し、その情報の発信を図る。

安曇野への注目と興味関心を促すため多様な媒体を活用し、「安曇野」の露出度を高める。

【効果】

来訪者の拡大に伴う地域活性化（観光関連事業者、農業関連事業者、その他産業への経済波及の拡大）

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・高速バス(新宿～白馬線)へのラッピングによる安曇野の広告宣伝実施。
- ・TV利用による首都圏ほかに向けた安曇野番組の放映。
- ・地域FMラジオ放送を使った東京での安曇野観光情報の発信。
- ・四季の安曇野ポスターの制作(H27年度用)。
- ・マスメディア、旅行エージェントに向けた広告宣伝と戦略的地域における営業活動外の委託。
- ・広域連携による誘客の拡大。周辺市町村との連携による安曇野の魅力向上。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	400	情報発信記念品	27	公課費	15	自動車重量税
9	旅費	681	普通旅費：情報発信職員旅費 観光振興イベント等旅費 実費弁償：ふるさと観光大使				
11	需要費	3,402	消耗品費：情報発信用品外 印刷製本費：総合観光パンフレット外				
12	役務費	9,905	通信運搬費：郵便料外 広告料：情報発信広告外 高速バスラッピング・TV制作				
13	委託料	8,627	広告宣伝観光客誘客委託 四季のポスター制作委託				
14	使用料及び賃借料	668	駐車場使用料外 イベント会場使用料				
19	負担金補助及び交付金	5,951	広域連携事業外負担金：日本アルプス観光連盟外				
上記の合計		29,649	職員の人件費合計 0	事業費総合計		29,649	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・地域FMラジオ放送を使った東京での安曇野観光情報の発信。
- ・名古屋の物産観光展での安曇野PR。(ふるさと観光大使の活用)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	934	地域FMの活用(東京における安曇野の観光情報発信)
12	役務費	700	ふるさと観光大使の活用
合計		1,634	左記の特定財源

予算書ページ	240
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係	
旧		コード	010602200	
		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光施設係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107120	観光拠点整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
181,079	0	181,079	45,200	0	0	125,000
						10,879

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	45,200							
18	公共施設整備基金繰入金	125,000								170,200

【目的・効果】

【目的】 先人達から受け継いできた自然を来訪者に伝え、安曇野市観光振興ビジョンが掲げる「安曇野暮らし」を推進するため、自然資源を生かした観光拠点の整備を行なう。

【効果】 観光拠点の整備及び拠点間を繋げることにより、市内での回遊性と来訪者の滞在時間の増加及び、満足度の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・山岳観光の拠点として、三郷スカイライン展望台周辺整備を平成27年度に施工するにあたり、実施設計書の作成を行なう。
 設計内容 展望台と公衆便所の再整備、駐車場の造成。

・都市再生整備計画事業による、平地での観光拠点整備事業を本年度より4年間計画で行なう。
 安曇野しゃくなげの湯周辺整備(平成29年度完成)の基本設計書作成と駐車場工事への着工。
 万水川散策道(平成27年度施工)の実施設計書作成。

【一般財源増加理由】 新規事業による皆増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	42,920	設計業務委託				
15	工事請負費	138,159	しゃくなげの湯周辺整備(電気設備、駐車場整備等)				
上記の合計		181,079	職員の人件費合計	0	事業費総合計	181,079	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・三郷スカイライン展望台周辺は、大滝山の登山口であると共に松本平一円のビューポイントであるが、展望台は老朽化が激しく来訪者の受入に適した状態とは言えない。そのため、来訪者の受入ができるよう基盤整備を行なうにあたり、実施設計書作成費用を計上。

・市内には自然資源が豊富にあるものの、資源が点在しており有効に活用されている状態とは言えない。そのため、既存の観光資源を積極的に活かした観光拠点整備が必要である。

安曇野しゃくなげの湯周辺整備費及び、万水川散策道の設計費用を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	42,920	設計書作成業務(三郷スカイライン展望台周辺整備、しゃくなげ荘周辺整備、万水川散策道整備)
15	工事請負費	138,159	しゃくなげ荘周辺整備(電気設備工事、駐車場付帯設備工事、駐車場舗装工事)
合計		181,079	左記の特定財源 都市再生整備計画事業(45,200千円) 公共施設整備基金繰入金(125,000千円)

予算書ページ	240
--------	-----

重点項目番号	1-3		新	コード	010902300
				部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係
予算	款	7	旧	コード	010602200
	項	1		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光施設係
目	3	観光費	総計画		
事業	0107130	しゃくなげの湯整備事業	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
			主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち	
			基本施策	観光の振興	
			具体的な施策	観光基盤の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	876,882	32,400	35,640	418,600	390,000	242
前年度	518,430	0	0	35,900	480,605	1,925
増減額	358,452	32,400	35,640	382,700	90,605	1,683

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地熱・地中熱等利用事業補助金	32,400	18	公共施設整備基金繰入金	320,000				
15	県産材供給体制整備事業補助金	19,440	18	福祉基金繰入金	70,000					
15	木造公共施設整備事業補助金	16,200	21	しゃくなげの湯整備事業	418,600					

【目的・効果】

【目的】 市民の癒しと健康づくりの場、並びに食事の提供による地域への流入人口の受入整備として、天然温泉を活用した安曇野しゃくなげの湯を建設する。

【効果】 西山山麓の観光拠点の中心施設として位置付けて、しゃくなげ荘周辺整備との複合的な整備を図ることにより、安曇野での満足度を高める事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・平成27年7月の施設営業開始に向けて、安曇野しゃくなげの湯の建設工事に着手する。

工事入札手続き 4月～5月
契約 6月
工事施工 7月～平成27年6月(機器調整期間を含む。)
営業開始 平成27年7月

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	192	建築確認中間検査手数料				
13	委託料	16,848	建築工事監理業務				
15	工事請負費	859,842	建築工事、さく井工事				
上記の合計		876,882	職員の人件費合計	0	事業費総合計	876,882	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	242
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係	
重点項目番号	1-4	旧	コード	010602200
		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光施設係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
24,731	20,172	4,559	0	0	0	7,390
						17,341
						10,283
						9,889
						2,893
						7,452

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	ふれあい体験館基金繰入金		6,000							7,390
			1,390							
20	ふれあい体験館外施設使用料									

【目的・効果】

【目的】貴重な資源である天然温泉を多くの人々が利用できるよう、既存温泉施設の維持管理を行ない安曇野の魅力を高める。

【効果】適切に維持管理された施設により、利用者の受け入れ態勢を強化することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・湯多里山の神、温泉健康館、足湯の維持管理を行なう。
- ・湯多里山の神は通常の維持管理のほか、年次計画により施設改修を行なうため、平成26年度は浴室回りの整備費用を計上。

湯多里山の神 建築(平成4年)、延床面積(300.44㎡)、構造(木造)、施設概要(公衆浴場、鉱場)
 温泉健康館 建築(昭和61年)、延床面積(452.86㎡)、構造(鉄筋コンクリート造)、施設概要(公衆浴場)

【一般財源増加理由】 主に、湯多里山の神改修による。(設計監理1,221千円、工事費16,092千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	30	鉱山保安会議				
11	需要費	964	湯多里山の神・温泉健康館修繕、足湯水道料・電気料				
12	役務費	48	レジオネラ菌検査手数料他				
13	委託料	1,963	湯多里山の神改修設計及び監理他				
14	使用料及び賃借料	160	温泉健康館駐車場借地料				
15	工事請負費	16,092	湯多里山の神維持工事				
19	負担金補助及び交付金	5,474	温泉健康館温泉利用負担金				
上記の合計		24,731	職員の人件費合計 0	事業費総合計		24,731	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・湯多里山の神の施設老朽化に伴い、施設の改修が求められている。年次計画により改修を進めることが必要であり、浴室内工事、浴室外工事、設備工事等を順次行なう。本年度は浴室内工事に伴う費用を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,221	湯多里山の神改修設計監理
15	工事請負費	16,092	湯多里山の神維持工事
合計		17,313	左記の特定財源 ふれあい体験館基金繰入金(6,000千円)、ふれあい体験館外施設使用料(1,390)

予算書ページ	242
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係	
重点項目番号	1-4	旧	コード	010602200
		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光施設係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
2,329	2,327					2,329
増減額	2	0	0	0	0	2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の往時の姿を来訪者が楽しめるよう、潮沢廃線敷の維持管理を行ない、来訪者の増加へと繋げる。

【効果】 貴重な観光資源として活用し、来訪者が歴史遺産に触れ、安曇野の歴史自然を感じるにより、安曇野での満足度を高める事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公衆便所の管理清掃を委託により行なう。
- ・三五山トンネルの門扉開閉を委託により行なう。
- ・三五山トンネル、漆久保トンネルの継続監視業務を委託により行なう。

【一般財源増加理由】 漆久保・三五山トンネル継続監視業務による。(151千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼				
11	需要費	413	潮公衆便所他電気料、水道料、下水道料				
12	役務費	150	トイレ汲取り手数料				
13	委託料	1,358	漆久保・三五山トンネル継続監視業務他				
14	使用料及び賃借料	54	仮設トイレ借上料				
16	原材料費	54	廃線敷整備用砂利				
上記の合計		2,329	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,329	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	244
--------	-----

重点項目番号	1-4	新	コード	010902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係	
旧		コード	010602200	
		部・課・係等	商工観光部 観光課 観光施設係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
60,746	35,597	25,149	0	0	0	1,097
						59,649
						34,500
						25,149

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	かじかの里キャンプ場使用料	50							
20	観光施設駐車場負担金	1,047								

【目的・効果】

【目的】 市民と来訪者が既存の観光施設を快適に利用できるよう、施設整備を行なう。

- 【効果】
- ・トイレと観光案内板の整備により、安曇野市のイメージアップを図ることができる。
 - ・統一したデザインの観光案内板を整備することにより、来訪者をスムーズに目的地まで案内することができる。
 - ・北アルプスの登山道整備により、登山者が安全で快適に登山を楽しむことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・かじかの里公園等観光課が所管する公園施設(8箇所)及び公衆便所(23箇所)の維持管理を行なう。
 - ・公衆トイレの快適性向上を図るため、一の沢公衆トイレを平成27年度に水洗化するための設計業務を委託する。
 - ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。26年度整備路線は燕岳登山ルートの内、中房川沿いの登山道を整備する。

【一般財源増加理由】 主に、一の沢トイレ水洗化設計(2,092千円新規)、北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金(4,750千円増)、特別会計繰出金(18,972千円新規)。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	1,881	登山道草刈り謝礼他		16	原材料費	180	明科駅前植栽用花苗他	
9	旅費	60	事業先進地視察		18	備品購入費	614	かじかの里公園除雪機他	
11	需要費	6,515	かじかの里公園維持修繕他		19	負担金補助及び交付金	5,559	北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金他	
12	役務費	1,198	中房公衆便所浄化槽清掃手数料他		28	繰出金	18,972	観光宿泊施設事業特別会計繰出金	
13	委託料	13,490	公衆便所等清掃委託他						
14	使用料及び賃借料	3,385	白鳥湖仮設トイレ借上料、観光施設用地借料他						
15	工事請負費	8,892	中房第二駐車場路面舗装他						
上記の合計		60,746	職員の人件費合計	0	事業費総合計	60,746	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・登山口公衆便所の多くは汲取り式で匂いが激しいため、処理方式の研究を行ない、設計書作成のため委託料を計上。
- ・北アルプスの登山道は、毎年各登山道ごとに山小屋や登山案内人が笹刈り等の整備を行なっているが、自然条件が厳しく崩落等により一部通行が困難な場所も発生している。このため通常の維持管理とは別に、北アルプス登山道等維持連絡協議会(構成員は国、山小屋、市)に於いて、特に整備の必要性が高い場所を重点整備路線として整備を行なう必要があるため負担金を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	2,502	一の沢トイレ水洗化設計、等々力家トイレ改修設計	
15	工事請負費	5,802	中房第二駐車場路面舗装	
28	繰出金	18,972	観光宿泊施設事業特別会計への繰出し	
合計		27,276	左記の特定財源	観光施設駐車場負担金(1,047)

都市建設部

重点項目番号	4-3	新	コード	011001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係	
旧		コード	010701100	
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108010	土木総務費		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	261,443				29,463
前年度	260,335				29,081
増減額	1,108	0	0	0	382

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用料	27,200	13	公共物占用料滞納繰越分	1				
13	道路占用料滞納繰越分	1	20	地図等交付代	60					
13	公共物占用料	2,200	20	その他雑収入	1					

【目的・効果】

【目的】

・利便性・安全性が確保された道路整備を進め、体系的な道路網の構築を図る。

【効果】

・国道や県道をはじめ幹線道路の整備を行うことで、人・モノ・情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・国道19号明科歩道整備の事業促進を図るため、地元との調整及び長野国道事務所との協議を進める。
- ・都市建設部の公用車を一元管理する。

【一般財源増加理由】 国道19号明科歩道整備の事業化に向けた地形測量業務増、都市建設部公用車一元管理による増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	886	各種同盟会 総会及び中央要望の職員旅費				
11	需用費	2,526	事務用品費及び公用車の修繕費				
12	役務費	1,503	公用車車検及び自賠責保険料				
13	委託料	3,221	国道19号明科歩道整備関連地形測量業務外				
14	使用料及び賃借料	340	コピー機のリース料及び使用料				
27	公課費	411	公用車の自動車重量税				
上記の合計		8,887	職員の人件費合計	252,556	事業費総合計	261,443	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・国道19号明科歩道整備の事業促進を図るため、勉強会や意見交換会、意向調査、国土交通省要望などを実施する。また、歩道整備に伴う「まちづくり」を進める検討資料とするため、地形測量業務、イメージ図作成業務を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,527	国道19号明科歩道整備関連地形測量業務
13	委託料	605	国道19号明科歩道整備関連イメージ図作成業務
13	委託料	89	国道19号明科歩道整備関連先進地視察バス運行委託
合計		3,221	左記の特定財源

予算書ページ	248
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係	
旧		コード	010701200	
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108020	地籍管理費		具体的な施策	生活道路の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67,751				432	67,319
前年度	88,431				684	87,747
増減額	20,680	0	0	0	252	20,428

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公図写等発行手数料	432							

【目的・効果】
【目的】
 ・国土調査法第21条の規定により調査成果の保管閲覧が定められており、成果である土地台帳及び地籍図(公図)を維持管理し、利用者に提供する。
【効果】
 ・土地台帳、地籍図(公図)を適正管理することにより、利用者のニーズに素早く応じることができる。また、本事業により補正更新する地図情報は、本市GISシステムの基礎として利用している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・土地台帳、公図を一体管理する地籍管理システムの新規構築事業を完了させる。(3年間で構築、最終年)
- ・亡失基準点(図根点)の設置復元を行う。
- ・土地台帳システムにおける、土地台帳及び公図の加除の実施。(異動データの構築、入力作業)
- ・道路、河川敷の境界立会事務。
- ・境界立会等で確認された相違箇所における地図の訂正。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	7,799	嘱託登記事務職員賃金								
11	需用費	334	参考図書、測量用杭等購入代金								
12	役務費	43	携帯電話料金、郵便切手代金								
13	委託料	59,425	土地台帳システム・公図修正業務委託料、地籍管理システム構築業務委託料・亡失基準点復元業務委託料								
14	使用料及び賃借料	150	スキャナー付複合コピー機借上料								
上記の合計		67,751	職員の人件費合計				事業費総合計	67,751	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	250
--------	-----

重点項目番号	4-3		新	コード	011001100		旧	コード	010701100	
				部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係			部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係	
予算	款	8	土木費		基本方針	安全・安心・快適なまちの形成				
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち				
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備				
	事業	0108040	道路橋梁総務費		具体的な施策	幹線道路の整備				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	480					480
前年度	500					500
増減額	20	0	0	0	0	20

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、国・県道をはじめとする幹線道路の整備促進を図る。
【効果】
 ・市内幹線道路の整備促進が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、要望活動により、事業を推進する。

【一般財源増加倍理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	480	道路関係同盟会等の負担金					
上記の合計		480	職員の人件費合計	0	事業費総合計		480	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	011001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係	
旧		コード	010701200	
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108050	道路橋梁管理費		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,269					14,269
前年度	14,781					14,781
増減額	512	0	0	0	0	512

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・道路法28条の規定により、道路台帳を適正に保守整備する。
【効果】
 ・旧町村ごと紙ベースであった道路台帳の電子統合によるシステム化で、道路台帳の利便性と事務効率の向上が図れるとともに、適切な道路管理事務の遂行ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地域の管理団体に協力を頂き、除草清掃等の市道管理を実施する。
 ・道路台帳システムにおける図面データ及び調書等の補正更新事業(現地測量、異動データの構築、入力作業)を実施し、適正迅速な道路管理のために定期的な補正更新を行う。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	271	市道除草清掃等手数料								
13	委託料	13,800	道路台帳、システム補正更新業務委託料								
14	使用料及び賃借料	198	道路用地ほか借地料								
上記の合計		14,269	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,269	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	011001300	予算書ページ	250	
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係				
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費				主要施策
	目	1	道路橋梁維持費			基本施策	道路の整備
	事業	0108060	道の駅維持管理			具体的な施策	幹線道路の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,516				21	27,495
前年度	4,364				24	4,340
増減額	23,152	0	0	0	3	23,155

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	道の駅公衆電話料金	21							21

【目的・効果】
【目的】
 ・休憩施設及びトイレ等を備えた「道の駅」を維持管理することで、道路利用者の利便性向上に寄与する。
【効果】
 ・「道の駅」は休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設であり、道路利用者に快適な休憩空間を提供するほか、農産物の販売等による地域振興や観光の振興など、多面的な効果が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の公衆トイレ及び情報交流室等の維持管理を委託実施する。
 ・(前年度比増加要因) 老朽化した公衆トイレの改修工事を実施するため。

【一般財源増加理由】 公衆トイレ、情報交流室改修工事費(21,000千円増)及び改修工事設計監理委託料(2,000千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,733	トイレトーパー石鹸等消耗品、施設小破修繕費、光熱水費				
12	役務費	23	公衆電話料金				
13	委託料	3,707	公衆トイレ情報交流室清掃業務委託料、トイレ改修設計監理委託料				
15	工事請負費	21,000	道の駅トイレ改修工事費外				
19	負担金補助及び交付金	53	関東道の駅連絡協議会負担金				
上記の合計		27,516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	27,516	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・近年公衆トイレの老朽化により利用者から苦情が増加しており、衛生面からも改修工事が急務である。また、現在は道の駅施設と、ほりがね物産センター施設それぞれの管理運営となっており、事務の効率化と利用者の利便性向上の観点から、一元管理を図る必要があり、行政評価外部評価においても管理運営方法改善の評価結果と判定を受けている。一元管理への移行のため、懸案となっているトイレの施設改修工事を実施する。
 ・改修概要: 内装改修、天井板交換、照明施設交換、便器交換(男性用10、女性用8、多目的1)等

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	23,000	道の駅トイレ改修事業
合計		23,000	左記の特定財源

予算書ページ	254
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011001100
			部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係
		旧	コード	010701100
			部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	災害に強いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108090	県営新設改良事業		具体的な施策	治水対策の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,500					18,500
前年度	23,000					23,000
増減額	4,500	0	0	0	0	4,500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・危険個所の防災工事を実施し、災害に強いまちづくりを進める。
 ・道路整備の促進を進め、体系的な道路網の構築を図る。
 【効果】
 ・県営事業に対し市が一部負担することで、危険箇所の改善及び道路整備の促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備、県単道路改良事業の県営事業に対し、事業費の一部を負担する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	18,500	県営事業地元負担金						

上記の合計	18,500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,500	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	011001100	予算書ページ	256	
			部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係			
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費				
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進	
	事業	0108130	河川総務費		具体的な施策	治水対策の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	712				492	220
前年度	964				492	472
増減額	252	0	0	0	0	252

単位:千円

特定財源の内訳	款	13	取水占用料	金額	492	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。
 【効果】
 ・市内河川の整備促進が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、要望活動により事業を推進する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	712	河川関係同盟会等の負担金					
上記の合計		712	職員の人件費合計	0	事業費総合計		712	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	011001300		
			旧	コード	010701200		
				部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係		
				部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当		
予算	款	8	土木費		総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費			主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費			基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108140	河川管理費		画	具体的な施策	治水対策の充実
						単位:千円	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	465					465
前年度	465					465
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・河川用地の除草等を実施し、出水等の災害に備えると共に、安全快適な河川環境を利用者に提供する。
【効果】
 ・安全快適な河川環境の確保が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地域の管理団体に協力を頂き、除草清掃等の河川管理を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容		
12	役務費	465	河川除草清掃等手数料						
上記の合計		465	職員の人件費合計			0	事業費総合計	465	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主要内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	250
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	
		旧	コード	010702200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108030	建設機械管理費		具体的な施策	除雪対策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,999					5,999
前年度	6,388					6,388
増減額	389	0	0	0	0	389

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・冬季における道路の通行機能を適正に確保し、市民生活と経済活動を停滞させないように、市道歩道の除雪及び排雪・凍結防止剤の散布等を実施する。

除雪用機械19台の適正管理

【効果】

・市民生活及び経済活動を支える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・除雪車両の適正な管理を実施し、除雪・融雪作業を実施する。

【一般財源増加理由】 建設機械車検費用増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	4,190	重機消耗品・燃料・修繕費				
12	役務費	1,695	法定特定自主点検・車検手数料・自賠責保険				
27	公課費	114	重機重量税				
上記の合計		5,999	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,999	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	252
--------	-----

新	コード	011002200
	部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当
旧	コード	010702200
	部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

重点項目番号	4-3
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁		基本施策	道路の整備
	事業	0108070	道路橋梁維持費		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	285,553				38,000	247,553
前年度	235,877				183,000	52,877
増減額	49,676	0	0	0	145,000	194,676

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	道路復旧費原因者負担金	38,000							

【目的・効果】

【目的】

・道路橋梁等の道路施設を、適切に維持管理し、安全で快適な道路環境を利用者に提供する。
 道路舗装路面の修繕・未舗装砂利道の路面修繕・道路路肩の修繕、除草清掃・道路側溝暗渠の修繕清掃・現道舗装整備
 橋梁及び道路施設の維持修繕・道路補修用資材の調達・舗装維持管理計画の策定

【効果】

・市民が安全に安心して利用できる道路施設を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域要望による道路施設補修工事の実施。
- ・緊急性の高い道路施設補修工事の実施
- ・上下水道敷設後の仮復旧箇所における舗装本復旧の実施。

【一般財源増加理由】 道路維持工事(32,500千円増)、水道事業路面復旧工事(10,000千円増)、舗装維持管理計画策定委託(4,428千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,712	臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	44	中房線道路愛護会負担金
11	需用費	3,045	道路維持消耗品、道路施設修繕費、道路施設電気料				
12	役務費	80	合材袋等廃棄処理手数料				
13	委託料	8,428	道路維持作業委託、舗装維持管理計画策定業務委託				
14	使用料及び賃借料	244	機械借上料				
15	工事請負費	268,000	道路維持工事費				
16	原材料費	4,000	工事用原材料				
上記の合計		285,553	職員の人件費合計 0	事業費総合計		285,553	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

舗装維持管理計画(路面性状調査 管理目標(水準)の設定 舗装劣化予測の検討 補修事業費及び工法の検討)を策定し、適切な時期に計画的な修繕を実施することで安全性の確保、コスト削減、予算の平準化を図る

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	4,428	舗装維持管理計画策定
合計		4,428	左記の特定財源

予算書ページ	252
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010702200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108080	除雪対策費		具体的な施策	除雪対策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,310					54,310
前年度	52,662					52,662
増減額	1,648	0	0	0	0	1,648

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・冬季における道路の通行機能を適正に確保し、市民生活と経済活動を停滞させないように、主要な市道歩道の除雪及び排雪・凍結防止剤の散布等の実施する。

市道除雪、排雪作業業務・凍結防止剤散布業務・凍結防止剤の調達・除雪基地の管理

【効果】

・市民生活及び経済活動を支える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市道の除雪・凍結剤散布作業等の委託
- ・凍結防止剤の購入
- ・除雪ドーザーの借上げ

【一般財源増加理由】 凍結防止剤購入(876千円増)、機械借上料(223千円増)及び備品購入費(545千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	7,543	凍結防止剤購入				
12	役務費	212	除雪ボランティア保険				
13	委託料	43,003	除雪業務委託・凍結防止剤散布業務委託				
14	使用料及び賃借料	3,007	除雪ドーザー借上料				
18	備品購入費	545	小型除雪機				
上記の合計		54,310	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,310	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

地区要望により小型除雪機を購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	545	小型除雪機
合計		545	左記の特定財源

予算書ページ	254
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002100			
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当				
予算	8	2	2	土木費	総計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
						主要施策	利便性の高いまち
事業	0108100	市道新設改良事業		基本施策	道路の整備	具体的な施策	生活道路の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	806,005			366,300	323,000	116,705
前年度	737,965			352,400	500,000	114,435
増減額	68,040	0	0	13,900	177,000	231,140

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	18	公共施設整備基金繰入金		323,000					689,300
	21	市道新設改良事業		351,300					
	21	体育施設整備事業		15,000					

【目的・効果】
【目的】
 ・安全で安心な生活環境の構築のため、利便性・安全性が確保された道路整備を進めるとともに、人に優しい道づくりを推進し、体系的な道路網を構築する。
【効果】
 ・生活道路の整備により、地域住民の利便性と安全性が高まる。
 ・地域間を結ぶ重要路線や新庁舎建設関連路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活道路 30路線の整備
 ・合併特例債対象路線 5路線の整備
 ・JR所有地、市道認定路線の借地解消(豊科1級17号線豊科駅北・明科4090号線明科駅南)
 ・市有地売却関連穂高2354号線改良事業(旧穂高有線放送)
 一般財源が前年が上回った理由
 ・基金繰入金の減
 ・合併特例債事業割合の減

【一般財源増加理由】		基金繰入金及び合併特例債事業割合の減による							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	賃金	200	臨時職員賃金		17	公有財産購入費	107,700	道路拡幅部の用地買収費	
9	旅費	187	不在地主用地交渉、研修旅費及び日当		19	負担金補助及び交付金	550	研修会負担金、ラウンドアバウト普及促進協議会負担金	
11	需用費	1,460	測量用品及び工事事務用品、物品修繕費		22	補償補填及び賠償金	252,090	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償、営業補償等	
12	役務費	1,768	携帯電話料、測量機器検査手数料、不動産鑑定料						
13	委託料	65,000	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査						
14	使用料及び賃借料	3,850	積算システム、コピー機使用料						
15	工事請負費	373,200	道路改良工事費						
上記の合計		806,005	職員の人件費合計	0	事業費総合計	806,005	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・JR所有地が市道に認定されており、毎年賃借料を納入していたが、交渉により払下げの承諾が得られたため、道路用地として取得したい。
 (JR大糸線豊科駅北 豊科4961-2 87㎡ JR篠ノ井線明科駅南 明科中川手2740-4 58㎡)
 ・旧穂高有線放送敷地売却に伴い穂高2354号線(穂高人権教育集会所～有線放送間)の道路整備を実施したい。L=50m
 道路工事にて、合併浄化槽・自転車置場・樹木撤去

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	2,695	JR所有地、市道認定路線借地解消の用地測量	
17	公有財産購入費	2,325	JR所有地、市道認定路線借地解消の用地買収費	
	一式	8,000	旧穂高有線放送敷地売却に伴う穂高2354号線改良事業	
合計		13,020	左記の特定財源	

重点項目番号		4-3		新		コード	011002100		予算書ページ	254
						部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当			
						コード	10702100			
				旧		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当			

予算	款	8	土木費			総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成		
	項	2	道路橋梁費				主要施策	利便性の高いまち		
	目	2	道路橋梁新設改良費				基本施策	道路の整備		
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業				具体的な施策	幹線道路の整備		

当初予算額		特定財源				一般財源		合計金額
		国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	380,000	209,000		153,800		17,200		362,800
前年度	349,000	191,950		24,000		133,050		
増減額	31,000	17,050	0	129,800	0	115,850		

特定財源の内訳	款	14	道路改良事業補助金	金額	209,000	款	21	特定交通安全事業	金額	13,300	合計金額
		21	道路整備事業	金額	140,500						

【目的・効果】
【目的】
 ・安全で安心な生活環境の構築と、中心市街地及び商業圏域へのアクセスの利便性を図るべく、人に優しい道づくりを推進し、体系的な道路網を構築する。
【効果】
 ・市内幹線道路の拡幅改良や歩道等安全施設の整備、橋梁長寿命化修繕計画による橋梁の修繕により、歩行者と車両の安全を確保するとともに、渋滞の解消等快適な道路環境が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科1級26号線改良工事(豊科吉野) ・豊科2029号線道路改良工事(豊科踏入)
 ・豊科北部209号線改良工事(豊科寺所) ・豊科2025号線道路改良工事(豊科新田・細萱)
 ・豊科1級16号線歩道設置工事(豊科寺所) ・穂高1級14号線道路改良工事(穂高島新田)
 ・穂高1級15号線歩道設置工事(穂高立足) ・明科5080号線道路改良工事(明科潮)
 ・橋梁長寿命化修繕工事(北村1号橋2号橋・すずらん橋・前川橋・龍門橋・赤沢橋)
 ・穂高1級6号線道路改良工事(穂高本郷)
 ・三郷1級5号線道路改良工事(三郷上長尾)
 ・グリーンベルト設置工事(市内各地域)
 ・豊科1345号線道路改良工事(豊科新田) 庁舎関連の道路整備と通学路の早期安全確保を図りたい。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	80,000	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査								
15	工事請負費	167,000	道路改良工事費、歩道設置工事費、グリーンベルト工事費								
17	公有財産購入費	80,000	道路拡幅部の用地買収費								
22	補償補填及び賠償金	53,000	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償								
上記の合計 380,000 職員の人件費合計 0 事業費総合計 380,000 OK											

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・豊科2025号線(新田・細萱)
 新庁舎建設に伴い通行車両の増加が危惧される路線で、周辺に保育園、小学校、中学校があり、通学路に指定されているため、歩道の整備により通行の安全を確保したい。
 ・穂高1級14号線(島新田)
 安曇追分駅に隣接する路線で、穂高北小学校への通学や安曇追分駅への通勤通学に利用されているため、歩道の整備により歩行者の安全を確保したい。

節	節名称	金額(千円)	主な内容		
13	委託料	20,000	測量設計 豊科2025号線 L=280m 穂高1級14号線 L=290m		
合計 20,000 左記の特定財源 道路橋梁事業補助金(11,000) 市債(8,100)					

予算書ページ	256
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	
		旧	コード	010702200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	3	交通安全施設費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0108120	交通安全施設整備費		具体的な施策	防犯・交通安全の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,620					27,620
前年度	25,750					25,750
増減額	1,870	0	0	0	0	1,870

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通量の多い幹線市道及び、日常利用度の高い生活道路の、交通上の安全確保を図り、安全な道路環境を市民に提供する。
 ・カーブミラー整備・ガードレール、防護柵整備・警戒標識整備・路面標示(ゾーン30)、区画線整備・視線誘導、路肩カラー舗装整備
【効果】
 ・市民が安全に安心して利用できる道路環境を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域要望による交通安全施設の補修工事の実施。
 ・緊急性の高い交通安全施設の新設補修工事の実施

【一般財源増加理由】交通安全施設整備費(5,870千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,620	道路反射鏡緊急修繕				
15	工事費	26,000	交通安全施設整備工事				

上記の合計	27,620	職員の人件費合計	0	事業費総合計	27,620	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	256
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	10702100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108150	河川改修事業		具体的な施策	河川改修事業

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,000					14,000
前年度	11,000					11,000
増減額	3,000	0	0	0	0	3,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・準用河川、普通河川の未整備区間や老朽化等により被災の恐れのある区間について河川の改修を行い、市民の安全安心を確保する。

【効果】

・河川の越水や崩壊を防止することにより、市民の安全確保と財産の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・こはら沢改修 L = 150m
- ・大井戸川改修 L = 300m

【一般財源増加理由】 大井戸川測量設計の増による(4,000千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	4,000	測量設計				
15	工事請負費	10,000	改修工事費				
上記の合計		14,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・大井戸川河川改修
常盤橋改修事業関連整備として、地元等々力町区長より改修要望書の提出あり。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	4,000	河川改修測量設計 L = 300m
合計		4,000	左記の特定財源

予算書ページ	256
--------	-----

新	コード	011002200
	部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当
旧	コード	010702200
	部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

重点項目番号	4-3
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項目	3	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108160	河川維持費		具体的な施策	治山対策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,259					19,259
前年度	11,894					11,894
増減額	7,365	0	0	0	0	7,365

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・準用及び普通河川を適切に管理することにより、出水時の災害に備え、安全快適な河川環境を市民に提供する。
- ・老朽化した水防倉庫の改築、維持管理・水防資材の確保・河川構造物の小規模工事・河川内除草、支障木の撤去

【効果】

- ・市民が安全に安心して利用できる河川環境を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・緊急性の高い河川施設の補修工事の実施。
- ・河川内の除草、支障木の撤去等の維持管理
- ・老朽化した水防倉庫の改築の実施

【一般財源増加理由】 水防倉庫改築(7,760円千増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	273	水防資材、水防倉庫電気料				
12	役務費	287	排水ポンプ保守点検費、確認申請手数料				
13	委託料	1,050	河川維持管理委託、水防倉庫設計管理				
14	使用料及び賃借料	48	回線使用料				
15	工事請負費	16,279	河川維持工事費、水防倉庫改築費				
16	原材料費	490	水防原材料				
18	備品購入費	832	水防倉庫備品購入				
上記の合計		19,259	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,259	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

老朽化した水防倉庫を改修する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	9,875	水防倉庫改築事業
合計		9,875	左記の特定財源

予算書ページ	378
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011002100
			部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当
		旧	コード	10702100
			部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木施設災害復旧費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路災害復旧費		基本施策	道路の整備
	事業	0111010	道路災害復旧事業		具体的な施策	生活道路の整備

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,000	4,669				5,331
前年度	0					0
増減額	10,000	4,669	0	0	0	5,331

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	14	公共土木施設災害復旧事業負担金		4,669					4,669

【目的・効果】
【目的】
 ・梅雨前線や台風等の豪雨により被災した道路を復旧する。
【効果】
 ・市民生活の基盤となる、道路の早期復旧により市民生活が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 災害復旧に係る測量設計、工事費

【一般財源増加理由】 迅速な復旧の対応を図るため当初予算より計上したため

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	2,000	災害復旧工事測量設計						
15	工事請負費	8,000	災害復旧工事						
上記の合計		10,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計		10,000	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 災害復旧に係る測量設計、工事費

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	2,000	災害復旧工事測量設計	
15	工事請負費	8,000	災害復旧工事	
合計		10,000	左記の特定財源	公共土木施設災害復旧事業負担金(4,669千円)

重点項目番号	4-3	新	コード	011003100	総計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 計画係			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち	
予算	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 1 都市計画総務費	旧	コード	010703100	基本方針	秩序あるまちづくりの推進
				部・課・係等	都市建設部 都市計画課 計画係		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

予算書ページ	258
--------	-----

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	203,591	3,810	4,335		39,823	155,623
前年度	185,751	3,750	6,778		45,748	129,475
増減額	17,840	60	2,443	0	5,925	26,148

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	39,763	20	都市計画図等交付台	60				
14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	3,810								
15	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	4,335								

【目的・効果】
【目的】
 ・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。
【効果】
 ・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成25年度に実施した都市計画基礎調査の結果を踏まえ、土地利用に関する現況・推移を勘案して、必要に応じて土地利用基本計画の見直しを図るための検証業務を行う。
 ・今後の道路整備の重点化を図るため、国道・県道を含めた安曇野市の総合的な道路整備計画を策定する。
 ・安曇野市都市計画基本図(1/2,500)を基に、安曇野市DMデータの縮小編纂版地図(1/10,000)を作成する。
 ・安曇野インター東約6haの土地の有効利用について検討するため、その土地の持つポテンシャルの整理を行い、有効な土地利用の基本方針を作成する。
 ・市耐震改修促進計画に基づき、住宅所有者の申出により耐震診断士を無料で派遣し住宅の地震に対する安全性を診断する。(簡易耐震診断 100件 精密耐震診断 80件) また、耐震診断の結果より、効果のある耐震補強工事をする住宅所有者の申出により補助を行う。(補助額 工事費の1/2 最高60万円 15件)

【一般財源増加理由】 実施計画に基づき実施。土地利用等の課題の方向性等の解決に向けて行う事業を増としたため。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	487	都市計画審議会委員 土地利用審議会委員						
8	報償費	484	制度評価委員会委員						
9	旅費	1,169	職員旅費及び土地利用審議会・都市計画審議会・制度評価委員会委員旅費						
11	需用費	1,219	道路整備推進計画概要版印刷						
13	委託料	30,486	道路整備推進計画策定業務・土地利用制度適正化推進業務委託・耐震診断業務						
14	使用料及び賃借料	356	制度評価委員会都内会場使用料						
19	負担金補助及び交付金	9,651	都市計画協会外負担金 耐震補強工事補助金						
上記の合計		43,852	職員の人件費合計	159,739	事業費総合計	203,591	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・都市計画基礎調査の結果を踏まえ、土地利用に関する現況・推移を勘案して、必要に応じて土地利用基本計画等の見直しを図るための検証業務を行う。
 ・農地転用等で市民要望が多い1/10,000の地図を作成する。
 ・請願が採択されている安曇野インター東の土地の有効利用について、市土地利用計画や昨今の経済情勢を踏まえ、各種産業面に係る経営的観点からポテンシャルの整理・解析を行い、市として有効な土地利用の基本方針を作成する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	14,830	必要に応じ、土地利用基本計画等の見直しを図るための検証業務を委託	
13	委託料	5,951	1/10,000の地図を作成	
13	委託料	3,726	安曇野インター東の土地の有効利用について、市としての基本方針を作成するための業務を委託	
合計		24,507	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3		新	コード	011003200		予算書ページ	262
	款	8	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係				
予算	項	4	旧	コード	010703200			
	目	2	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係				
事業	0108210	街路整備事業		総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成		
				画	主要施策	風土に根ざした魅力あるまち		
					基本施策	秩序あるまちづくりの推進		
					具体的な施策	市街地の整備		

当初予算額		特定財源				一般財源	単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	133,676	25,200			30,000	78,476	
前年度	8,220					8,220	
増減額	125,456	25,200	0	0	30,000	70,256	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	25,200							
	18	公共施設整備基金繰入金	30,000						55,200	

【目的・効果】
【目的】
 来訪者の回遊性・居住者の利便性を高める空間整備を行い、良好な自然環境を活用した活力あるまちづくりを目指す。
【効果】
 来訪者が安曇野の自然を体感できる拠点施設、幹線道路の整備を図ることで、観光による交流人口の増加を拡大させ、また市民が生活する上での快適性につながり、人口減少による影響を軽減することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・設計業務 都市計画道路吉野線 W=12m L=450m (市単独事業)
 穂高駅前広場 A=2400㎡ (都市再生整備計画事業)
 市道穂高2級22号線 W=16m L=100m (都市再生整備計画事業)
 ・工事 穂高駅前広場整備 A=2400㎡ (都市再生整備計画事業)
 市道穂高2級22号線 W=16m L=100m (都市再生整備計画事業)
 新庁舎前右折レーン設置工事

【一般財源増加理由】		吉野線の事業実施に向けた実施設計他委託料、都市再生整備計画事業の新規取組、新庁舎前右折レーン設置工事費の増による								
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	20	事務費							
13	委託料	32,456	吉野線道路測量設計、補償調査、用地調査							
15	工事請負費	98,200	穂高駅前広場整備工事、市道穂高2級22号線整備工事、新庁舎前右折レーン設置工事							
22	補償補填及び賠償金	3,000	NTT電線補償							
上記の合計		133,676	職員の人件費合計	0	事業費総合計	133,676	OK			

【上記のうち、新規事業(導入経過や概要)】
 穂高駅前広場、市道穂高2級22号線の整備を都市再生整備計画事業により実施。平成27年度までの2か年で整備する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	7,000	測量設計委託料	
15	工事請負費	56,000	穂高駅前広場整備工事、市道穂高2級22号線歩道、側溝整備及び舗装工事	
合計		63,000	左記の特定財源	都市再生整備計画事業交付金25,200千円

重点項目番号	4-3	新	コード	011003300	都市建設部 都市計画課 公園緑地係	予算書ページ	262
		旧	コード	010703300			
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	3	公園事業費			基本施策	住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		画	具体的な施策	公園の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	145,864	28,000		18,000	7,676	92,188
前年度	123,300	27,500		24,700	7,971	63,129
増減額	22,564	500	0	6,700	295	29,059

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	13	豊科南部総合公園テニスコート使用料	5,655	13	都市公園使用料	5	20	常念ふれあい公園太陽光発電売買	30	53,676
	13	碌山公園使用料	1,678	14	社会資本整備総合交付金	20,000	21	都市公園事業	18,000	
	13	室山アグリパーク施設使用料	308	14	都市再生整備計画事業	8,000				

【目的・効果】
【目的】
 市内公園の多くは造成から年数が経過するとともに、公園施設の老朽化が進行しており利用者の安全安心を図るため、公園施設の更新や修繕が必要となってきた。このためパトロール等により不具合箇所を把握し、計画的に公園施設の維持管理を進める。
【効果】
 公園が地域住民の憩い・交流・レクリエーション等の場所となり、住環境の快適性を向上させることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・都市公園、その他公園緑地の日常の維持管理を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
 ・都市公園、その他公園緑地の破損箇所の修繕を発注する。
 ・都市公園安全安心緊急対策総合支援事業、都市再生整備計画事業により老朽化した公園施設の更新、バリアフリー化を図る。

【一般財源増加理由】 施設修繕費(7,953千円増)、工事請負費(都市再生整備計画事業18,000千円増、市単3,338千円増)、原材料費(注意喚起看板等3,161千円増)の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	三郷文化公園のリンゴの木の手入れ	18	備品購入費	603	テニスコートネット更新、物置
11	需用費	23,263	公園維持に関わる消耗品、施設修繕費、光熱水費	19	負担金補助及び交付金	112	賦課金
12	役務費	432	南部総合公園、碌山公園研成のホール電話料、その他公園の汲取り料	23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金
13	委託料	47,419	公園維持管理委託料外				
14	使用料及び賃借料	7,594	公園敷地賃借料				
15	工事請負費	65,900	都市公園安全安心対策緊急総合整備事業、都市再生整備計画事業による公園施設の更新等				
16	原材料費	481	公園注意看板等				
上記の合計		145,864	職員の人件費合計 0	事業費総合計		145,864	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 都市再生整備計画事業による公園整備。
 児童遊園、農村公園、その他公園の遊具の定期点検。
 都市公園の遊具点検は、公園の長寿命化計画の中で平成25年度に点検が行われているが、児童遊園、農村公園、その他公園は未実施のため、事故の未然防止を図るために実施し、修繕等を計画的に行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,046	児童遊園、農村公園、その他公園の遊具の定期点検
	一式	20,000	穂高公園トイレ改修事業
合計		22,046	左記の特定財源 社会整備総合交付金 8,000千円

予算書ページ	266
--------	-----

重点項目番号	4-3		新	コード	011003200			
	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係						
旧	コード	010703200						
	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係						
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	4	都市計画費			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち	
	目	4	都市下水道事業費			基本施策	秩序あるまちづくりの推進	
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			具体的な施策	市街地の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	950					950
前年度	450					450
増減額	500	0	0	0	0	500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

安曇野市の都市下水道は年々都市化が進むなかで重要度を増しており、市街地の環境整備のために適正な維持管理を進める。

【効果】

市街地の良好な環境を保つことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
豊科地域の成相及び新田都市下水道は農業用水との用排兼用水路であり、地元の「新田農事組合」に委託して適正な維持管理を図る。
経年劣化により漏水が生じ、沿線農地の農作物の作付に支障が出ているため、対策を実施する。

【一般財源増加理由】		漏水対策工事請負費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	150	水路修繕費								
13	委託料	300	成相及び新田都市下水道管理委託料								
15	工事請負費	500	漏水対策工事								
上記の合計		950	職員の人件費合計	0	事業費総合計	950	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	011003200		予算書ページ	266
	予算	款	8	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係			
	項	4	旧	コード	010703200			
	目	4	部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち		
					基本施策	秩序あるまちづくりの推進		
					具体的な施策	市街地の整備		

当初予算額		特定財源				一般財源	単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	6,600					6,600	
前年度	3,000					3,000	
増減額	3,600	0	0	0	0	3,600	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 安曇野市の市街地は農地が混在しているおり、市街地排水路は農業用水路と兼用している場合が多く、老朽化に伴って改修の必要性が生じてきているためこれを改修する。
【効果】
 農業用水路と兼用しているため、昨今の集中豪雨により中心市街地水路の越水が頻発しており、老朽化等により流下能力の低下した水路の改修を行うことにより、災害を未然に防止できる。

工事場所 豊科成相地区 BF500 L=50m
 豊科吉野地区 BF500 L=230m
 豊科下鳥羽地区 BF500型 L=20m
 市街地の排水を早急に整備し、災害を未然に防止する。

【一般財源増加理由】		工事個所の増による									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
15	工事費	6,600	水路改修工事費								
上記の合計		6,600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,600	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 下鳥羽地区の水路改修 L=100m

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
15	工事請負費	1,000	工事請負費	
合計		1,000	左記の特定財源	

予算書ページ	260
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011004100
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 建築景観係	
		旧	コード	010704100
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 建築景観係	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	景観の保全・育成
	事業	0108190	景観整備事業		具体的な施策	環境と景観に配慮したまちづくり

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,676				50	5,626
前年度	7,600				1	7,599
増減額	1,924	0	0	0	49	1,973

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	屋外広告物許可手数料	50							

【目的・効果】

【目的】

- ・景観条例、屋外広告物条例の運用を、適正に実施する。
- ・景観づくり住民協定の活動支援を行い、景観に関し住民が自ら行う活動を活発にする。

【効果】

- ・安曇野市景観計画「山岳と田園の育むよさを大切に、暮らしやすさをみんなで共感できるまち」が実現できる。
- ・違反広告物を撲滅し、新設・更新時における広告物を規制することにより、美しい街並み形成ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・景観、屋外広告物に関し、窓口において適切な案内と指導を行い、景観計画に適合するかの判断に迷う場合は、景観審議会や景観アドバイザーの意見を聴く。
 - ・補助制度により景観づくり住民協定の活動支援を行い、新たな住民協定の立上げに向け地域協議を行う。
 - ・屋外広告物の定期パトロールや定点観測を行い、違反広告物除去や広告物の監視・指導を行う。
 - ・機会を捉え、景観条例や屋外広告物条例の制度の周知を行う。
 - ・景観や屋外広告物等に関する研修に参加し、景観まちづくりに係る人材を育成する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	252	景観審議会委員報酬				
7	賃金	1,691	臨時職員賃金				
8	報償費	224	景観づくり住民協定連絡協議会 総会・役員会出席謝礼 景観アドバイザー会議出席謝礼				
9	旅費	108	景観まちづくり研修参加旅費1名 景観関係研修参加旅費2名				
11	需用費	80	事務消耗品				
19	負担記補助及び交付金	3,321	景観づくり住民協定 組織運営・活動費の補助金				
上記の合計		5,676	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,676	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	262
--------	-----

新	コード	011004200
	部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 開発調整係
旧	コード	010704200
	部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 開発調整係

重点項目番号	4-3
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	環境をまもり、安全・安心なまちづくり
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	436					436
前年度	433					433
増減額	3	0	0	0	0	3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を推進する。

【効果】

- ・安曇野の自然環境や景観を維持しながら、計画的に活力あるまちづくりを推進する制度が確立される。
- ・暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市の基盤づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資料等により、市民や開発事業者に対し分かりやすく丁寧な説明をする。
- ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。
- ・条例等の運用にあたっての問題点・課題を抽出し、関係部局と協議し改善を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	41	職員研修旅費				
11	需用費	200	書籍類、事務用品 参考図書購入費及びそれに伴う消費税増税分等				
19	負担金補助及び交付金	195	職員研修負担金 職員研修宿泊 法的トラブル防止知識習得のための研修への内容変更による。				
上記の合計		436	職員の人件費合計	0	事業費総合計	436	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	266
--------	-----

重点項目番号	4-3	新	コード	011004300
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 住宅係	
旧		コード	010704300	
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 住宅係	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	5	住宅費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	住宅管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費		具体的な施策	公営住宅の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
21,040	13,378	7,662	1,140	0	0	19,900
						0
						0
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	13	公営住宅使用料	15,958	13	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分		20	太陽発電売電等	216	21,040
	13	公営住宅駐車場使用料	3,195	13	公営住宅滞納督促手数料		20	公営住宅等一時使用料	10	
	13	公営住宅使用料滞納繰越分	1	14	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	1,140	20	市営住宅工事費負担金	518	

【目的・効果】

【目的】

安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14箇所、特定公共賃貸住宅2箇所の統括管理を行う。

【効果】

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸することで、セーフティネットの役割を持ち、市民生活安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入居の募集、入居決定、入居・退去の立ち合いを実施する。
- ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
- ・住宅使用料の算定、納付通知の発送、住宅使用料の徴収・収納管理を実施する。
- ・公営住宅等長寿命化計画を策定する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	126	市営住宅管理人謝礼	19	負担金補助及び交付金	2,378	合併浄化槽負担金、職員研修負担金、下水道事業受益者負担金
9	旅費	42	公営住宅整備事業担当者研修会参加旅費				
11	需用費	10,865	消耗品、施設修繕費、電気料				
12	役務費	611	遊具点検、火災保険料				
13	委託料	3,592	管理委託料、公営住宅等長寿命化計画策定業務委託				
15	工事請負費	3,400	市営住宅改修工事、合併浄化槽撤去				
16	原材料費	26	市営住宅敷地用碎石				
上記の合計		21,040	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,040	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・「公営住宅等長寿命化計画」を策定し、公営住宅のストックに対し予防保全的な維持管理を推進することにより、長寿命化を図りライフサイクルコストを軽減する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,280	公営住宅等長寿命化計画策定業務委託
合計			
		2,280	左記の特定財源 公営住宅等ストック総合改善事業補助金(1,140) 公営住宅使用料(1,140)

上下水道部

重点項目番号	1	新	コード	011101100		予算書ページ	198
		部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当				
予算	款	4	衛生費	合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
					項	3	水道費
事業	0104300	公営企業支出金	画	基本施策	健全な自治体経営の推進		
				具体的な施策	健全な財政運営		

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	654,562	国支出金	県支出金	市債	その他	59,362
前年度	574,562			515,200		59,362
増減額	80,000	0	0	80,000	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 水道は欠くことができない重要なライフラインであり、常に安心・安全・安定的な水質で、かつ適正な価格で持続的に供給できるよう効率的な管理体制・配水体系の確立を目指す。
【効果】
 市内水源が全て地下水になることにより、常に安心・安全・安定的な水質で供給することができるだけでなく、今後、5地域の水道事業を統合することで経営・管理の一体化による効率的な運用により財政的運営基盤の強化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市水道事業第1次拡張事業として、豊科地域真々部配水池の改修工事、JR横断推進工事、送水管工事をを行い野沢ポンプ場への送水準備と、三郷地域では、ポンプ場・調整池・中継ポンプ室・小倉高区配水池の建設、黒沢川の送水管河床横過工事を実施することにより、豊科から三郷小倉までの送水ラインを完成させる。又、中央監視システムとの運転調整を実施し、平成27年度8月末をめどに水源の切り替えを予定している。
 ・中央監視制御設備事業として、5地域に散在する31箇所の水源施設、50箇所余りの配水施設それぞれで行っている運転制御管理を中央監視制御できるよう統合する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	59,362	光ニュータウン関連水道事業負担金 下水道工事関連水道事業負担金								
24	投資及び出資金	595,200	安曇野市水道事業第1次拡張事業 中央監視制御設備整備事業								
上記の合計		654,562	職員の人件費合計	0	事業費総合計	654,562	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

予算書ページ	186
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	011103100	
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当		
重点項目番号	4	旧	コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当		

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	環境衛生		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		具体的な施策	下水道の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,016	4,050	3,783			10,183
前年度	18,016	4,050	3,783			10,183
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国庫支出金		4,050						
15	県支出金		3,783							

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業計画区域外での水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上を目指す。
【効果】
 ・生活環境の向上、公共用水域の水質改善につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道事業区域外での合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付する。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	18,016	合併浄化槽設置補助金等				
上記の合計		18,016	職員の人件費合計		事業費総合計	18,016	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	266
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	01113200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備係
旧		コード	010803200	
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	都市下水路事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108260	環境整備排水路整備事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	300					300
前年度	300					300
増減額		0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・穂高地域の環境整備排水路の放流先である大井戸川の環境保全を図る。
 【効果】
 ・公共用水域の水質改善

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・環境整備排水路の放流先である大井戸川の清掃委託を行う。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	300	大井戸川河川清掃委託				

上記の合計 300 職員の人件費合計 事業費総合計 300 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	266
--------	-----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
旧		コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	8	土木費	下水道事業	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108270	下水道事業		具体的な施策	下水道の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,039,171					2,039,171
前年度	2,048,530					2,048,530
増減額	9,359	0	0	0	0	9,359

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業の健全な財政運営を図る。
【効果】
 ・下水道事業へ法令等で定められた額を繰出すことにより、利用者の負担を軽減することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・適切な時期に繰出しを行う。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	2,039,171	下水道会計、農業集落排水会計への繰出金				

上記の合計	2,039,171	職員の人件費合計		事業費総合計	2,039,171	OK
-------	-----------	----------	--	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
旧		コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	8	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	4	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	環境衛生		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108280	下水道促進事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	190					190
前年度	190					190
増減額		0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・穂高有明別荘地域の排水を穂高川へ放流するための南部・北部排水路の維持管理費の一部を負担し、生活環境の向上を目指す。

【効果】

・公共用水域の水質改善

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・安曇野市山麓排水事業組合に対し維持管理費の一部を負担する。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	190	安曇野市山麓排水事業組合負担金				
上記の合計		190	職員の人件費合計	事業費総合計		190	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

会計課

重点項目番号	5	新	コード	011201100	予算書ページ	76
			部・課・係等	会計局会計課 出納係		
		旧	コード	010901100		
			部・課・係等	会計局会計課 出納係		

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	4	会計管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102240	会計管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,219				1,155	3,064
前年度	4,190				1,155	3,035
増減額	29	0	0	0	0	29

特定財源の内訳	款	20	財務会計処理実費徴収	金額	1,154	合計金額
		20	会計雑入	金額	1	

【目的・効果】
【目的】
 ・市財務規則にのっとり、適正に市会計全般を処理する。
【効果】
 ・健全な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・現金及び物品等の出納事務
 ・伝票等の審査事務
 ・決算書の調製
 ・基金等の管理・運用

【一般財源増加理由】 会計課設置の大型金庫の保守点検、指定金融機関とのデータ伝送等に利用しているパソコンの更新を行うため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	56	職員研修旅費				
11	需用費	3,440	口座振込通知書、各種封筒、文書ファイル等				
12	役務費	453	振込手数料、大型金庫保守点検等				
14	使用料及び賃借料	78	指定金融機関とのデータ伝送サービス等				
18	備品購入費	112	パソコン更新、専用ソフトウェア購入				
19	負担金補助及び交付金	70	研修会負担金				
22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金				
上記の合計		4,219	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,219	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・会計課設置の大型金庫は、合併時に購入したものが今まで点検を実施していない。開閉ノブから異音の発生することもあり、今後定期的な保守点検を行い、大切に使用していく事が必要と考える。
 ・指定金融機関への振込データの伝送や残高照会のため、電話回線でつながった専用パソコンが1台あるが、OSがWin XPである。
 OSのサポートが終了のため新機種に更新したい。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	72	大型金庫保守点検
18	備品購入費	112	パソコン、専用ソフトウェア
合計		184	左記の特定財源 財務会計処理実費徴収 (1,154) 会計雑入 (1)

教育委員会 教育部

予算書ページ	278
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301100
		部・課・係等	教育部・学校教育課・教育総務係	
重点項目番号	3	旧	コード	011001100
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・教育総務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	
	事業	0110010	教育委員会費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,535					5,535
前年度	5,596					5,596
増減額	61	0	0	0	0	61

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・教育委員の活動に必要な経費を支出する。
【効果】
 ・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・教育委員4人の報酬の支出
 ・学校教職員初任者研修の実施
 ・関東地区都市教育長協議会総会への参加外、関係所緒会議への出席
 ・長野県都市教育委員会連絡協議会外の負担金支出

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,628	教育委員(4人)報酬				
08	報償費	50	学校教職員初任者研修会用謝礼、教育委員視察謝礼、教育委員会組織点検評価				
09	旅費	74	職員旅費、教育委員旅費				
10	交際費	24	教育委員長交際費外				
11	需用費	384	事務用品、参考図書代、会議賄い、教育要覧印刷代				
13	委託料	861	マイクロバス運転、会議録作成委託料				
19	負担金補助及び交付金	514	県教育委員会連絡協議会外、会議出席負担金				
上記の合計		5,535	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,535	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	278
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110015	事務局費	目	02	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	199,637	国支出金	1,240	市債	3,509	194,888
前年度	467,308	県支出金	791	その他	5	466,512
増減額	267,671	0	0	3,504	271,624	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	幼稚園就園奨励費	1,240	20	海外ホームステイ参加者負担金	1,500				4,749
	16	奨学金基金利子	9							
	18	人材育成基金繰入金	2,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・教育委員会事務局として必要な活動を進め、学校・家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを目指す。
【効果】
 ・学校教育の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・教育指導室に学習指導員を配置し、学校と連携指導を進めるとともに、教育相談員を配置し、各種教育相談事業を進める。
 ・学校での安全対策を図るため、防犯ブザー、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムを有効に活用する。
 ・教職員の健康診断事業及びカウンセリング事業の推進により、心身の健康増進事業を進める。
 ・学校行事への市バス・民間所有バス借上げにより、行事等に係る保護者負担の軽減を図る。
 ・市校長会外関係団体への負担金及び補助金の支出を行う。

[一般財源増加理由]											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	210	通学区審議委員			14	使用料及び賃借料	10,758	学校行事用バス借上料、図書館システム借上料、学校安全連絡網メール配信システム使用料		
07	賃金	11,119	教育指導員、学習指導員、教育相談員、一般事務者賃金			15	工事請負費	756	通学路標識設置外		
08	報償費	5,493	講演会講師謝礼、心身障害児就学相談調査員謝礼、教育相談員、小中学校管理医、結核対策委員、いじめ対策委員謝礼			19	負担金、補助金及び交付金	23,244	校長会負担金(国・県・市)、私立幼稚園就園補助金、各種大会出場補助金(学校)、私立高等学校運営費補助金		
09	旅費	6,799	職員旅費(研修会)、ホームステイ事業参加者旅費外			25	積立金	10	奨学金基金利子		
11	需用費	5,067	消耗品、燃料費(公用車)、印刷製本費、物品修繕費外			27	公課費	75	公用車重量税		
12	役務費	1,712	教育相談室電話料、携帯電話使用料、手数料、保険料外								
13	委託料	9,838	学校行事市バス運転委託料、結核健康診断精密検査、海外ホームステイアシスタント業務、教職員健康診断外								
上記の合計		75,081	職員の人件費合計	124,556	事業費総合計	199,637	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・学習指導員(1人)の配置
 ・海外ホームステイ事業
 海外での語学(英語)体験を通じて外国文化の理解を深め、国際感覚を養い、国際社会に対応できる人材の育成を図るため、海外ホームステイ事業を実施する。
 ・市内高校100周年事業
 穂高商業高等学校が創立100周年を向かえ、記念事業が開催される。記念事業に対し補助を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
7	賃金	2,304	学習指導員、安曇野市全体及び各学校の学習面を担当し支援する。	
9	旅費	6,668	ホームステイ事業参加者旅費外	
19	負担金、補助金及び交付金	1,000	創立100周年事業を行うための経費補助。	
合計		9,972	左記の特定財源	

予算書ページ	282
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業	画	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	134,540				
前年度	0				
増減額	134,540	0	0	0	0
					134,540

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・各学校に支援員外を配置することにより、不登校や心身障害児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導の充実をさせる。またスクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。

【効果】

・教諭の補助的な支援により、指導内容が広がるとともに、少人数による行きとどいた支援が可能となる。
 ・児童生徒の個々に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・特別支援学級支援員、障害児支援介助員、中間教室適応指導員、学習支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上、配置(任務及び人数と時間数)を決定。人選については校長会に依頼。

・スクールカウンセラーについては、県からの派遣で対応できない学校に市から派遣をし、全ての学校に配置できるようにしている。

・小中学校の実情や要望により障害児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。

・放課後学習室は全小学校で放課後に実施。校長会と連携し、指導者を派遣している。

【一般財源増加理由】 事業コードを新設し事務局費から分割したことによる増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	127,714	障害児支援員、特別支援学級補助員、少人数・学習支援員、中間教室指導員、不登校支援カウンセラー				
08	報償費	5,768	スクールカウンセラー、障害児等指導相談員、放課後学習室支援員謝礼				
09	旅費	1,058	臨床心理士、認定カウンセラー、作業療法士、言語聴覚士、学校心理士等謝礼				
上記の合計		134,540	職員の人件費合計	0	事業費総合計	134,540	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	282
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	スクールサポート事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,290					7,290
前年度	8,570	92				8,478
増減額	1,280	92	0	0	0	1,188

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・学校・地域・家庭が一体となって子ども達の「生きる力」を育む。
【効果】
 ・教職員の子どもと向かい合う時間の拡充。
 ・異世代間交流、地域の人々との交流により地域をより身近に感じられる。
 ・ボランティア活動をされる高齢者の方々の生活の充実。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校支援プログラムによるボランティアの派遣
 [学習支援活動] [子ども安全支援活動] [総合的な学習・読書支援活動] [環境整備支援活動]
 [課外活動・部活動支援活動]
 ・実行委員会による学校支援の企画事業評価
 ・地域教育協議会による学校評価、ボランティア事業の確認、普及啓発
 ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	6,681	コーディネーター・ボランティア養成講座講師、CAP講師、学習支援活動、立志塾、部活動外部指導者謝礼							
09	旅費	226	CAP講師等旅費							
11	需用費	68	事業用消耗品							
12	役務費	315	ボランティア保険料							
上記の合計		7,290	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,290	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	282
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110030	中間教室運営事業	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,975					6,975
前年度	7,371					7,371
増減額	396	0	0	0	0	396

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・不登校児童生徒が通い、学習指導やソーシャルスキルトレーニング、教育相談等を受けながら学校復帰を目指す。
【効果】
 ・不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。
 ・学習意欲を持たせ、学習の場を保障できる。
 ・通室仲間との人間関係づくりが登校意欲につながる。
 ・学校との連携により、学校登校者が増える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要等】
 ・けやきの家(中学生対象) 所在地:安曇野市豊科5731-1 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)2名配置
 ・ねむの木(小学生対象) 所在地:安曇野市豊科5228-12 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)1名配置

・けやきの家(中学生対象)、ねむの木(小学生対象)の運営を行うための経費を支出する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	6,301	けやきの家、ねむの木講師、臨時指導員賃金								
11	需用費	548	中間教室使用教材等消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費								
12	役務費	96	施設電話料								
14	使用料及び賃借料	30	あづみ野テレビ使用料								
上記の合計		6,975	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,975	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3-1	新	コード	011301300	予算書ページ	284
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	02	事務局費	具体的画	基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	スクールバス運行事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	58,591	国支出金	県支出金	市債	その他	58,591
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	58,591	0	0	0	0	58,591

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・遠距離通学となる児童について、スクールバスによる送迎を実施。
【効果】
 ・遠距離通学者の安全を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市所有バス及び業者所有バスにより、遠距離(基本として4km以上)に居住する児童・生徒の安全確保のためバスを運行する。
【運行経路】
 豊科南小学校 2経路、穂高北小学校 3経路、穂高西小学校 1経路、三郷小学校 1経路、明南小学校 2経路、明北小学校 2経路について運行

【一般財源増加理由】 平成26年度 スクールバス運行に係る経費を0144032スクールバス運行事業として事務局費から集約、委託車両入替による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,624	スクールバスに関する消耗品(通常及びタイヤ外)、軽油代、車検等に伴う修繕費				
12	役務費	472	車検代、3ヶ月点検代及び自賠責保険料外				
13	委託料	56,397	12路線運行に伴う運行委託料 市バス3台及び業者所有12台				
27	公課費	98	自動車重量税				

上記の合計	58,591	職員の人件費合計	0	事業費総合計	58,591	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	284	
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	総計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
					項	01	教育総務費
目	03	住宅管理費	事業	0110040	教職員住宅維持管理事業費	基本施策	学校教育の充実
						具体的な施策	学校施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,332				12,360	5,972
前年度	6,542				0	6,542
増減額	11,790	0	0	0	12,360	570

単位:千円

特定財源の内訳	款	16	教職員住宅使用料	金額	12,360	合計金額	
							12,360

【目的・効果】
【目的】
 ・教職員住宅101戸の保守・点検・修繕の施設管理を行う。
 ・教員住宅建設費の償還を行う。橋爪教職員住宅(平成28年度完了)、押野教員住宅(集合)(平成30年度終了)の2施設。
【効果】
 ・教職員の住環境の整備が図れる。
 ・入居率の向上

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (教職員住宅の状況) 豊科地域:23戸(細菅・田沢・踏入・吉野地区)、穂高地域:38戸(上原・橋爪・柏原・柏矢町)、
 (h26.1現在) 三郷地域:17戸(二木・下長尾・小倉)、堀金地域:9戸(上堀)、明科地域:14戸(宮本・上押野) 計101戸
 ・管理戸数の適正化として、老朽化等により賃貸に不適な施設の用途廃止を図り、26年度は、堀金教職員住宅9号を解体撤去予定。
 (昭和58年建築、木造・平屋 延べ面積A=39.74㎡ 1棟)
 ・保守・点検・修繕により住居環境を整える。
 ・消防設備等の点検
 ・教員住宅建設償還金対象:橋爪教員住宅及び押野教員住宅(集合)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,132	施設管理用消耗品、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費					
12	役務費	73	受水槽点検料、災害共済掛金					
13	委託料	841	消防施設点検料、測量業務委託料外					
15	工事請負費	1,972	住宅修繕工事					
16	原材料費	25	補修用材料費					
23	償還金、利子及び割引料	13,289	橋爪、上押野教育住宅償還金					
上記の合計		18,332	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,332	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301500	予算書ページ	286
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	4	給食センター費	画	基本施策	学校教育の充実
	0110045	給食センター総務費	具体的な施策		次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	158,446	国支出金	県支出金	市債	その他	158,446
前年度	157,842		2,949			154,893
増減額	604	0	2,949	0	0	3,553

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内4学校給食センターの運営を円滑に実施する。
【効果】
 ・人件費等学校給食全体監理に係る事業費目であり、円滑な事務処理が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内4学校給食センターの運営体制(26年度正規職員数:7人、臨時職員予定数:北部センター25人・堀金センター12人・中部センター20人・南部センター20人(計77人) その他県費栄養士:7名 (総人員:91人)
 ・学校給食費徴収方法の統一化を図るため、市簡易納付システムの使用ができる目途が立ったことにより、26年度に全体のシステム構築を図る。
 ・PCのWindows XPのサポート終了並びに新しいPCへの移行に伴い、現在使用している栄養管理ソフトが使用できなくなるため、センターにそれぞれ導入する。

[一般財源増加理由] 非常勤職員賃金(8,304千円増)、口座振替依頼書印刷費(243千円増)、封筒印刷費(44千円)、システム回線費(82千円増)、システム構築業務委託(782千円)、備品購入費(2,247千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	168	学校給食センター運営委員報酬	19	負担金補助及び交付金	17	学校栄養職員部会負担金
7	賃金	105,965	非常勤職員等賃金(給食調理、統一化システム関係業務)				
8	報償費	7	学校給食会計監査謝礼				
11	需用費	317	口座振替依頼書の印刷、放射線検査食材費他				
12	役務費	116	システム回線使用料、口座振替手数料				
13	委託料	782	簡易納付書システム構築業務委託				
18	備品購入費	2,247	システム構築用パソコン他、栄養管理ソフト				
上記の合計		109,619	職員の人件費合計	48,827	事業費総合計	158,446	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・予てからの課題であった学校給食費の徴収方法の統一化は、関係部署との協議を行った結果、市の簡易納付書システムの導入により対応できる目途が立ったため、27年度運用開始を目指し、26年度に4センター統括するシステムを中部センター内へ構築する。
 ・PCのWindows XPのサポート終了並びにPCの更新に伴い、現在使用している栄養管理ソフトが使用できなくなるため、ライセンス問題等を精査し、バージョンアップした栄養管理ソフトを各センターに導入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,196	口座システム入力作業賃金 (8h/1日×60日×3人分)
11	需用費	243	口座振替依頼書印刷代 200冊
12	役務費	82	システム回線費 初期費用 ・ 月額費用(7ヶ月分)
13	委託料	782	簡易納付書システム構築作業一式
18	備品購入費	2,247	簡易納付書システム構築に伴うノートパソコン等機器の購入、栄養管理ソフト(カロリーメイク)の購入
合計		4,550	左記の特定財源

重点項目番号	3		新	コード	011301500	旧	コード	011008100	予算書ページ	286
	部・課・係等	教育部 学校教育課 学校給食担当		部・課・係等	教育委員会 学校給食課 学校給食係					
予算	款	10	教育費		総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成			
	項	1	教育総務費			主要施策	郷土を担う人を			
	目	4	給食センター費			基本施策	学校教育の充実			
	事業	0110050	北部給食センター費			具体的な施策	次代を担う人づくりの推進			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,365					45,365
前年度	45,267					45,267
増減額	98	0	0	0		98

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・ 北部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・ 管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・ 食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

対象校: 穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西小学校、穂高東中学校、穂高西中学校、穂高幼稚園
 用地: 安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)
 施設概要: 鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡
 建築年: 平成24年1月31日(竣工)
 調理規模: 最大3,500食 (H25.4月現在: 3,200食、5校1園 114クラス分)
 公用車等: 配送車3台、軽乗用車1台
 付帯設備: 太陽光システム10kw
 ・ 学校給食提供に伴う施設及び環境整備 ・ 経常経費(電気料)の値上げ
 ・ 施設設備保証期間終了に伴う保守点検業務委託料の増加

【一般財源増加理由】 主に、電気料値上げ(1,800千円増)、保守点検委託物件の増加(712千円増)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	27,413	洗浄機・調理機器洗剤、調理用消耗品、作業着外、電気・上下水道料、厨房機器修繕費他				
12	役務費	1,546	保菌検査・食品微生物検査手数料、簡易水道検査手数料他				
13	委託料	15,030	電気設備、消防設備、施設警備、排水処理装置、機械設備、厨房機器、トイレ清掃業務他委託料				
14	使用料及び賃借料	244	コピー機使用料他				
18	備品購入費	1,072	破損等による食缶の不足分補充、フードプロセッサ購入				
27	公課費	60	自動車重量税				
上記の合計		45,365	職員の人件費合計	0	事業費総合計	45,365	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 新規導入による保証期間が終了するため、エコキュート、小荷物専用昇降機、自動ドア装置の保守業務を委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	703	エコキュート、小荷物専用昇降機、自動ドア装置の保守業務委託
合計		703	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301500	予算書ページ	288
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	教育総務費	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110055	堀金給食センター費	給食センター費	給食センター費	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,378					27,378
前年度	21,620					21,620
増減額	5,758	0	0	0	0	5,758

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・管内の学校に給食を提供できるよう、堀金学校給食センターの施設及び環境を維持、整備する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供。
 ・食育の推進、地産地消等。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 対象校:堀金小学校、堀金中学校
 用地:安曇野市堀金烏川3000番地(752㎡)
 施設概要:鉄骨造一階建て 延床面積752㎡
 建築年:平成17年3月23日(竣工)
 調理規模:最大1,000食 (H25.4月現在:1,000食、2校37クラス分)
 公用車等:コンテナ車1台、軽貨物車1台(配送業務は直営で実施)
 付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の環境維持、整備(修繕・工事請負)。 ・経常経費(電気料)の値上げ。
 ・トイレ清掃委託業務。
 ・カートイン冷蔵庫、スタッピングカート、L型台車購入。

【一般財源増加理由】 新規事業分(4,427千円増)、電気料値上げ(1,580千円増)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	17,444	運営消耗品費・燃料費・施設修繕費(フィルター交換修理)・光熱水費(電気料値上)・物品修繕				
12	役務費	895	通信運搬費・検査手数料他(保菌、食品微生物検査)・自賠責保険料(配送車、公用車)				
13	委託料	4,010	電気工作物保安他(機械設備保守点検業務・厨房機器保守点検業務)				
14	使用料及び賃借料	564	コピー機、印刷機借上げ料・コピー機パフォーマンス料				
15	工事請負費	1,545	冷蔵庫設置に伴うパーテーション修繕工事・食材受け取り口開口修繕工事				
18	備品購入費	2,882	カートイン冷蔵庫・スタッピングカート・L型台車				
27	公課費	38	自動車重量税				
上記の合計		27,378	職員の人件費合計	0	事業費総合計	27,378	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・他のセンターに比べ冷蔵庫の数が少ない。毎年保健福祉事務所の定期指導の中で整備するように求められている。食中毒を防止する 対策として冷蔵庫及び付帯備品の整備が必要。新設冷蔵庫壁パーテーション修繕工事、食材受け取り口開口修繕工事が伴う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	1,545	冷蔵庫設置に伴うパーテーション修繕工事、食材受け取り口開口修繕工事
18	備品購入費	2,882	カートイン冷蔵庫、スタッピングカート、L型台車
合計		4,427	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301500	予算書ページ	290
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費	画	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49,866				400	49,466
前年度	45,033				350	44,683
増減額	4,833	0	0	0	50	4,783

単位:千円

特定財源の内訳	款	20	ソーラー発電売電収入	金額	400	合計金額	400

【目的・効果】
【目的】
 ・ 中部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・ 管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・ 食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 対象校: 豊科北小学校、豊科東小学校、明北小学校、明南小学校、豊科北中学校、豊科南中学校、明科中学校
 用地: 安曇野市豊科穂高2661 1番地(3,278㎡)
 施設概要: 鉄骨造一部二階建て 延床面積1,951㎡
 建築年: 平成19年8月1日(竣工)
 調理規模: 最大3,000食 (H25.4月現在: 2,600食、7校 98クラス分)
 公用車等: 配送車3台、軽乗用車1台
 付帯設備: 太陽光システム90kw
 ・ 学校給食提供に伴う施設及び環境整備
 ・ 経常経費(電気料)の値上げ ・ 経常経費(電気料)の値上げ ・ 給食用食器の購入

【一般財源増加理由】 新規事業分(3,743千円増)、電気料値上げ(1,000千円増)による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	36,106	食器の購入、電気料の値上げ他				
12	役務費	1,660	オゾン水製造機乾燥剤交換手数料、簡易水道検査手数料				
13	委託料	11,808	トイレ清掃業務他				
14	使用料及び賃借料	210	コピー機使用料他				
27	公課費	82	自動車重量税				
上記の合計		49,866	職員の人件費合計	0	事業費総合計	49,866	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・ 給食用食器の購入 中部給食センター建設以来使用していた食器の摩耗及び変形により新しく購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	3,505	給食用食器(ボール): 5,400枚、給食用食器(スプーン): 2,800本
合計		3,505	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301500	予算書ページ	290
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,983				400	50,583
前年度	46,669				350	46,319
増減額	4,314	0	0	0	50	4,264

単位:千円

特定財源の内訳	款	20	ソーラー発電売電収入	400					合計金額
									400

【目的・効果】
【目的】
 ・ 南部学校給食センター管内の学校(3校)へ学校給食を安全に提供できるように、施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・ 南部学校給食センター管内の小・中学校へ安心・安全でおいしい給食の提供。
 ・ 食育の推進、地産地消の推進。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 対象校: 三郷小学校、豊科南小学校、三郷中学校
 用地: 安曇野市三郷明盛84 2番地(5,991.022,508㎡)
 施設概要: 鉄骨造一部二階建て 延床面積1,793.05㎡
 建築年: 平成19年7月25日(竣工)
 調理規模: 最大3,000食 (H25.4月現在: 2,600食、3校 82クラス分)
 公用車等: 配送車2台、軽貨物車1台
 付帯設備: 太陽光システム90kw
 ・ 学校給食提供に伴う施設及び環境の整備。(南部給食センター施設(厨房機器含)が、7年が経過するに伴い修繕箇所が出てきている。)
 ・ 経常経費(電気料、上下水道等)の値上げ。・消費税の値上げに伴う費用の増加。

【一般財源増加理由】 主に、施設修繕費(568千円増)、電気料他(753千円増)、備品購入費(2,893千円増)等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	34,278	施設修繕、光熱水費の値上げ他				
12	役務費	1,455	除外施設原水槽清掃作業、簡易水道検査他				
13	委託料	11,717	トイレ清掃業務他				
14	使用料及び賃貸料	590	給食費会計システム他				
18	備品購入費	2,893	電気回転釜購入				
27	公課費	50	公用車(配送車)重量税				
上記の合計		50,983	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50,983	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
【備品購入費】
 ・ 厨房機器の電気回転釜の購入。
 南部学校給食センターでは8台の電気回転釜を使用して調理をしているが、そのうち1台の電気回転釜が故障したため、購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	2,893	・電気回転釜 開口1550 [㍉] × 奥行1024 [㍉] × 高さ945 [㍉] (200%増用) × 1台。
合計		2,893	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	292
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	小学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,924					17,924
前年度	0					0
増減額	17,924	0	0	0	0	17,924

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 学校における児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期的に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。
【効果】
 ・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各小学校の学校医の先生による児童に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診及び就学時の検診の実施。
 ・児童の尿・心電図・血液・ぎょう虫検査の実施。

【一般財源増加理由】 事務局費及び小学校総務管理費から新事業として分割したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	8,248	小学校校医報酬				
07	賃金	191	就学時健康診断事務等臨時職員賃金				
08	報償費	2,164	就学時健康診断医師等謝礼、学校歯科医検診時補助員、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼				
11	需用費	349	知能検査用紙、ダニ検査用消耗品、保健記録カード印刷代				
12	役務費	6,972	尿・心電図・血液・ぎょう虫検査代、オゾンメーター点検代				
上記の合計		17,924	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,924	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	292
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110075	01	小学校総務管理費	計画	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	120,744				20	120,724
前年度	133,777				40	133,737
増減額	13,033	0	0	0	20	13,013

単位:千円

特定財源の内訳	款	20	小学校公衆電話料	金額	20	合計金額	20
	金額						

【目的・効果】
【目的】
 ・学校での安全な活動を図るため、必要な施設等の管理を行う。
【効果】
 ・学校生活を安全に送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
 ・各種施設の警備、点検保守を行う。
 ・各学校における図書館システムの管理保守を行う。
 ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
 ・老朽化が進んでいるピアノの改修及び新規購入。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	57,785	学校事務・図書館司書・庁務員賃金	18	備品購入費	7,458	校務用パソコン、音楽用クラドピアノ、業務用FAX、デジタル印刷機等購入費
08	報償費	660	卒業記念品代	19	負担金、補助金及び交付金	5,140	防火管理者負担金10校分、災害共済給付掛金
09	旅費	500	市費非常勤講師旅費(修学旅行・校外活動付き添い)、自家用車の公務使用(小学校10校)				
11	需用費	4,501	学校用消火器、小学校配分コピー用紙、図書館用リソグラフ・パネル・コードラベル印刷、設備修繕用消耗品、校用パソコン修繕費外				
12	役務費	1,989	小学校水質検査、樹木伐採、教室内科学物質標準検査、学校清掃業務、設備時計点検手数料外				
13	委託料	13,576	図書館システム保守、学校設備業務(学校警備、自家用電気工作物保守、消防用設備、地下カク、高架水槽・受水槽、エレベータ、プール施設)委託、不要薬品処理委託外				
14	使用料及び賃借料	29,135	校務・PC教室用パソコンリース、コピー印刷機リース料、学校用地・駐車場借地料				
上記の合計		120,744	職員の人件費合計	0	事業費総合計	120,744	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・卒業記念品の統一
 市からの卒業記念品について、各学校での選定から市校長会と協議し統一して「証書ホルダ-」とする。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	660	卒業記念品を「証書ホルダ-」として統一。
合計		660	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	294	
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	総計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
					項	02	小学校費
目	01	学校管理費	事業	0110080	豊科南小学校管理費	基本施策	学校教育の充実
						具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,884					12,884
前年度	12,918					12,918
増減額	34	0	0	0	0	34

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
 【効果】市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立豊科南小学校 所在地:安曇野市豊科2723 開校:昭和44年4月
 学校教育目標:自分を生きる子ども・豊かに生きる子ども・ともに生きる子ども
 児童数:686名 学級数:25(子ども病院内に院内学級設置) 教職員数:41名 (h25.5.1現在)
 通学区域:上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区
 スクールバスの運行:2経路

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】消費増税増税対応による経常経費の増											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	101	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	10,692	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,389	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	61	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	443	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	198	加湿器、クワ収納ボックス、三連スクリーン								
上記の合計		12,884	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,884	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	294	
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
							項
目	01	学校管理費	事業	0110085	豊科北小学校管理費	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	12,232	国支出金	県支出金	市債	その他	12,232
前年度	12,447					12,447
増減額	215	0	0	0	0	215

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立豊科北小学校 所在地:安曇野市豊科南穂高2692 開校:昭和46年4月
 学校教育目標:求める、きたえる、思いやる
 児童数:603名 学級数:21 教職員数:36名(H25.5.1現在)
 通学区域:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、徳治郎区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加倍理由】		消費税増税対応による経常経費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	70	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	10,381	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,148	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	451	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	128	ホワイトボード								
上記の合計		12,232	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,232	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	296	
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	総計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
							項
目	01	学校管理費	事業	0110090	豊科東小学校管理費	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	9,828	国支出金	県支出金	市債	その他	9,828
前年度	10,029					10,029
増減額	201	0	0	0	0	201

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立豊科東小学校 所在地:安曇野市豊科田沢5626 開校:昭和57年4月
 学校教育目標:知・徳・体のバランスのとれた健全な発達
 児童数:228名 学級数:11 教職員数:23名(H25.5.1現在)
 通学区域:アルプス区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、徳治郎区の一部、熊倉区の一部

各学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	135	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	8,146	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	932	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	341	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クッション使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	220	図書館書架、フロアキューブ								
上記の合計		9,828	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,828	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計		0	左記の特定財源						

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	298
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費	基本施策	学校教育の充実	
事業	0110095	穂高南小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,761					15,761
前年度	14,915					14,915
増減額	846	0	0	0	0	846

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立穂高南小学校 所在地:安曇野市穂高7217-1 開校:昭和43年4月
 学校教育目標:美しさあふれ ことばひびきあい 活力みなぎる学校
 児童数:548名 学級数:20 教職員数:38名 (H25.5.1現在)
 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区

 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加倍理由】		消費税増税対応による経常経費の増						
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	128	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等					
11	需用費	14,323	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費					
12	役務費	755	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等					
13	委託料	107	粗大ごみ処理料等					
14	使用料及び賃借料	196	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料					
18	備品購入費	252	ワイヤレスAP、発電機					
上記の合計		15,761	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,761	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	298
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110100	穂高北小学校管理費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,921					17,921
前年度	17,463					17,463
増減額	458	0	0	0	0	458

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立穂高北小学校 所在地:安曇野市穂高有明943 開校:昭和45年4月
 学校教育目標:輝く生命 ひろがる笑顔
 児童数:815名 学級数:30 教職員数:56名(H25.5.1現在)
 通級指導教室の県による設置:まなびの教室及びことばの教室 スクールバスの運行:3経路(有明・北穂高・狐島)
 通学区域:狐島区、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区
 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。地域学習として天蚕についての学習を進める。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】消費増税増税対応による経常経費の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	239	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等							
11	需用費	15,869	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費							
12	役務費	921	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等							
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等							
14	使用料及び賃借料	348	行用益裁借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料							
18	備品購入費	490	折りたたみ椅子、図書館書架、洗濯機							
上記の合計		17,921	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,921	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110105	穂高西小学校管理費	目	01	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	11,818	国支出金	県支出金	市債	その他	11,818
前年度	13,184					13,184
増減額	1,366	0	0	0	0	1,366

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立穂高西小学校 所在地:安曇野市穂高柏原2728 開校:昭和62年4月
 学校教育目標:広い心で、思いやりのある子・自ら気づき、進んでやる子・よく考え、粘り強い子
 児童数:454名 学級数:19 教職員数:37名(H25.5.1現在)
 通学区域:牧区、塚原区、久保田区、柏原区、柏矢町区 スクールバスの運行:1経路(牧)

 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加倍理由】消費税増税対応による経常経費の増、											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	150	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	10,387	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	762	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	276	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	187	会議テーブル								
19	負担金、補助金及び交付金	2	鳥川土地改良区負担金								
上記の合計		11,818	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,818	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計	0	左記の特定財源		

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110110	01	三郷小学校管理費	画	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	25,340	国支出金	県支出金	市債	その他	25,340
前年度	22,799					22,799
増減額	2,541	0	0	0	0	2,541

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立三郷小学校 所在地:所在地:安曇野市三郷明盛4742 開校:昭和45年4月
 学校教育目標:自ら学ぶ子ども(やる気)、心豊かな子ども(思いやり)、明るくたくましい子ども(健康)
 児童数:1,094名 学級数:38 教職員数:70名(H25.5.1現在) 通学区域:三郷全域 スクールバスの運行:1経路(小倉)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。
 校庭及び南庭の芝生管理と共に、有効な活用を図る。りんごの木オーナー制度を継続し実施する。

【一般財源増加理由】		消費税増税対応による経常経費の増、備品購入費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	228	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	18,781	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,653	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	1,404	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	777	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	2,493	加湿器、給食配膳台、児童用机・椅子								
19	負担金、補助金及び交付金	4	梓川土地改良区負担金								
上記の合計		25,340	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,340	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
児童机・椅子購入
 現在、木製の机・椅子を使用しているが、低学年には重く運びづらい。老朽化も進んでおり、ささくれ立ち児童がケガをしやすい。また、修繕が欠かせない状態。このため、3年次計画で低学年児童の机・椅子をスチール製のものに入れ替えを実施。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	854	児童用机・椅子の購入
合計		854	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	302
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110115	01	堀金小学校管理費	基本施策	学校教育の充実	
					目	01

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,897					13,897
前年度	14,462					14,462
増減額	565	0	0	0	0	565

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立堀金小学校 所在地:安曇野市堀金烏川3000 開校:明治19年4月
 学校教育目標:みつける・きたえる・思いやる
 児童数:637名 学級数:24 教職員数:42名(H25.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	70	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	12,325	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,026	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	270	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	206	行事用益裁借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
上記の合計		13,897	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,897	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	302
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	01	学校管理費	画	基本施策	学校教育の充実
	0110120	明南小学校管理費	具体的な施策		次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,846					9,846
前年度	9,816					9,816
増減額	30	0	0	0	0	30

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立明南小学校 所在:安曇野市明科中川手2694 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:夢をゆたかに 未来をになう子ども かしこく やさしく たくましく
 児童数:298名 学級数:14 教職員数:27名(H25.5.1現在)
 通学区域:明科区、町区、宮中区、大足区、光区(明科)、上押野区、下押野区
 スクールバスの運行:2経路(押野・大足)
 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】消費税増税による経常経費の増加											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	55	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	8,216	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	772	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	207	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	542	掃除用具庫、会議用机、FFファンヒーター、移動式ボード								
上記の合計		9,846	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,846	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	304
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	01	学校管理費	画	基本施策	学校教育の充実
	0110125	明北小学校管理費	具体的な施策		次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,348					7,348
前年度	6,970					6,970
増減額	378	0	0	0	0	378

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立明北小学校 所在地:安曇野市明科東川手823 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:自ら願いを持ち 他との関わりを大切にしながら 進んで実践していく子ども(豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども)
 児童数:124名 学級数:8 教職員数:20名(H25.5.1現在)
 通学区域:潮区、潮沢区、上生野区、荻原区、塩川原区、木戸区、南陸郷区 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)
 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】消費税増税による経常経費の増加、備品購入費の増											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	78	校内研究講演会等講師謝礼等								
11	需用費	5,612	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	708	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	217	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クシ-使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	679	図書館椅子、プールクリナー、加湿器、会議机								
上記の合計		7,348	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,348	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	304
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110130	02	教育振興費	計画	基本施策	学校教育の充実
事業			0110130	小学校教育振興費		単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	99,364	628	443			98,293
前年度	40,535	651	443			39,441
増減額	58,829	23	0	0	0	58,852

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	51							
	14	特別支援教育就学援助費補助金	577							
	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	443							
										1,071

【目的・効果】
【目的】
 小学校における児童の教育活動推進のため、必要な事業を行う。
【効果】
 ・教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施が図れる。
 ・小学校に、外国語指導助手(ALT)を配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・4年に1回の教科書改訂に伴う教科用図書の購入(平成27年度、教科用図書の改定に伴い新教科書使用)
 {平成26年度 - 採択、教師用図書及び指導書(上巻)購入 平成27年度 - 教師用図書及び指導書(下巻)購入
 ・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校傾向の実態把握のためのハイパーQUの実施。
 ・外国語指導助手(ALT)派遣事業の実施。(外国語指導助手(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うことを目的とする。)
 ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
 (教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【一般財源増加理由】 4年に1改訂となる指導書の購入、外国語指導助手委託料、学力検査等を小学校総務管理費から計上科目を修正したことによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,821	英語指導教員				
09	旅費	107	英語指導教員用				
11	需用費	31,018	教材用資料、教師用教科書・指導書、英語指導消耗品				
12	役務費	4,918	学力検査代等(CRT・QU検査)				
13	委託料	19,200	外国語指導助手派遣事業				
20	扶助費	39,300	要保護・準要保護児童就学援助費、特別支援教育就学援助費				
上記の合計		99,364	職員の人件費合計	0	事業費総合計	99,364	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 教師用教科書・指導書の購入(4年に1回)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	30,388	各教科用図書
11	需用費	436	人権・同和教育副読本としての「あけぼの」(高学年用)改定に伴う購入。
合計		30,824	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	306		
			部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成		
							項	02
				目	02	教育振興費	基本施策	学校教育の充実
	事業	0110135	豊科南小学校教育振興費	画	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,869					3,869
前年度	3,850					3,850
増減額	19	0	0	0	0	19

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,878	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	1,991	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		3,869	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,869	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	306
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110140	豊科北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,404					3,404
前年度	3,399					3,399
増減額	5	0	0	0	0	5

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,640	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	1,764	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		3,404	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,404	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	306
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110145	豊科東小学校教育振興費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,127					2,127
前年度	2,105					2,105
増減額	22	0	0	0	0	22

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	936	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	1,191	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		2,127	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,127	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3
--------	---

新	コード	011301300
	部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当
旧	コード	011001200
	部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110150	穂高南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,457					3,457
前年度	3,360					3,360
増減額	97	0	0	0	0	97

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,654	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	1,803	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		3,457	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,457	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】											
節	節名称	金額(千円)	主な内容								
合計		0	左記の特定財源								

予算書ページ	306
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110155	穂高北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,304					4,304
前年度	4,327					4,327
増減額	23	0	0	0	0	23

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,118	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	2,186	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		4,304	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,304	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
		旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110160	穂高西小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,056					3,056
前年度	2,952					2,952
増減額	104	0	0	0	0	104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,431	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。						
18	備品購入費	1,625	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。						
上記の合計		3,056	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,056	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	308
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費	画	基本施策	学校教育の充実
事業	0110165	三郷小学校教育振興費			具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,273					5,273
前年度	5,487					5,487
増減額	214	0	0	0	0	214

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,644	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	2,629	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		5,273	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,273	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号		3	新	コード	011301300	予算書ページ	308
			部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
			旧	コード	011001200		
			部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係			

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110170	堀金小学校教育振興費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	3,663	国支出金	県支出金	市債	その他	3,663
前年度	3,065					3,065
増減額	598	0	0	0	0	598

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,751	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。							
18	備品購入費	1,912	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。							
上記の合計		3,663	職員の人件費合計	0	事業費総合計		3,663	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
		旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110175	明南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	本年度	前年度
2,469	2,435					2,469	2,435
増減額	34	0	0	0	0	34	34

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,099	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,370	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		2,469	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,469	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
	0	左記の特定財源	

予算書ページ	308
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110180	明北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,826					1,826
前年度	2,006					2,006
増減額	180	0	0	0	0	180

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	724	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	1,102	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		1,826	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,826	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
		旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	512					512
前年度	0					0
増減額	512	0	0	0	0	512

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・通常学級に在籍し、学習障害や言語障害をもつ児童に対する通級による指導を行う。(穂高北小学校内に設置)

【効果】
 ・学習障害(まなびの教室)、言語障害(ことばの教室)の2教室を運営し、専門的な指導による個に応じた指導支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 設置校:穂高北小学校(県による設置)
 ・まなびの教室1 県費教員1名、補助指導員4名 ・ことばの教室1 県費教員1名

・各教室の指導に当たる補助指導員への賃金の支給
 ・各教室で教育活動を進めるために必要な消耗品、備品の整備を進める。

【一般財源増加理由】 小学校教育振興費から事業を新たに区分したことによるもの。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	299	ことばの教室、まなびの教室補助指導員賃金				
11	需用費	56	ことばの教室、まなびの教室教科教材				
18	備品購入費	157	ローマ字一覧表カラーロールシート、歯磨き模型、カラープリンター、漢字が楽しくなるセット外				
上記の合計		512	職員の人件費合計	0	事業費総合計	512	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	310
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
目	03	学校施設整備事業	事業	0110190	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	44,854	国支出金	県支出金	市債	その他	44,854
前年度	80,163					80,163
増減額	35,309	0	0	0	0	35,309

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・小学校10校の学校施設・設備の維持修繕を行う。
【効果】
 ・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕、改修により施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安心、安全な教育環境を整える。
 ・小学校10校の施設、設備損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事を行う。
 ・PCB廃棄物(三郷小学校保管分)の専門家による運搬・処理委託の実施
 ・小学校特殊建築物定期報告調査の実施(10校)

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	8,495	施設管理用消耗品、施設維持修繕費、作業用機械修繕費								
12	役務費	929	遊具点検及び小学校体育器具点検料								
13	委託料	17,889	シルバー委託料、特殊建物定期報告調査業務、施設台帳入力・図面更新、PCB廃棄物処理委託料、工事設計管理委託料								
14	使用料及び賃借料	246	作業用重機借上げ料								
15	工事請負費	17,192	学校維持改修工事費等								
16	原材料費	103	グラブ補修用土								
上記の合計		44,854	職員の人件費合計	0	事業費総合計	44,854	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	310
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110195	03	小学校施設改修事業	計画	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	240,157	国支出金	県支出金	市債	その他	9,967
前年度	0			33,100	159,000	0
増減額	240,157	38,090	0	33,100	159,000	9,967

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設整備事業補助金	38,090							
18	公共施設整備基金繰入金	159,000								
21	防災機能強化事業(非構造部材)	33,100								

【目的・効果】
【目的】
 ・小学校10校の学校施設について、老朽化対策としての改修工事を計画的に実施する。
 ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。
【効果】
 ・学校の学習環境整備を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができる。また、施設の長寿命化を図ることができる。
 ・天井や照明等の落下被害による児童等への致命的な事故を防止できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校水泳プール施設及び設備の老朽化による改修工事
 (穂高南小学校プール改築、豊科東小学校プール機械設備他改修)
 ・防災機能強化事業として、屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事の実施
 (豊科東小学校体育館、穂高北小学校講堂)

【一般財源増加理由】 主に新規事業(232,406千円)の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	21	消耗品費				
12	役務費	22	各種検査・手数料				
13	委託料	7,708	実施設計業務委託及び工事監理業務委託				
15	工事請負費	232,406	プール改築・設備他改修工事、体育館等の天井、照明器具ほか耐震化工事				
上記の合計		240,157	職員の人件費合計	0	事業費総合計	240,157	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 東日本大震災において天井や照明器具等の落下被害が多く、生徒が負傷する例もあったことから、文部科学省は致命的な事故が起こりやすい屋内運動場の天井、照明器具等の非構造部材の耐震化を推進した。当市は、学校施設環境改善交付金を受け、小学校10校の屋内運動場等の天井、照明器具ほか非構造部材の耐震化工事を平成31年度完了を目標に順次進めていく。学校プール施設・設備の老朽化に伴い、維持管理費の増加傾向が進む小学校のプールについて、維持管理費の縮減を図るように改修を進めていく。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	232,406	プール改築・設備他改修工事、小学校体育館等非構造部材耐震化工事
合計		232,406	左記の特定財源 学校施設環境改善交付金(38,090)、地方債[全国防災事業債](33,100)、その他(159,000)

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110200	中学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,897					9,897
前年度	0					0
増減額	9,897	0	0	0	0	9,897

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 学校における生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。
【効果】
 ・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各中学校の学校医による生徒に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診の検診の実施。
 ・生徒の尿・心電図・血液検査の実施。

【一般財源増加理由】 事務局費・中学校総務管理費から保健事業を集約し、事業を新設したことによるもの。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	5,036	中学校校医報酬				
08	報償費	295	学校歯科医検診時補助者、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼外				
11	需用費	197	ダニ検査用消耗品、聴診器、学校登山用品、保健記録カード印刷代				
12	役務費	4,156	生徒尿・心電図・血液検査代、オージオメーター定期検査代				
18	備品購入費	213	ハルスオキシメーター				
上記の合計		9,897	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,897	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	312
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
事業	0110205	01	中学校総務管理費	計画	基本施策	学校教育の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	94,064	国支出金	県支出金	市債	その他	50
前年度	88,938					50
増減額	5,126	0	0	0	0	5,126

特定財源の内訳	款	20	中学校公衆電話料	金額	50	合計金額	50
	金額						

【目的・効果】
【目的】
 ・学校での安全な活動を図るため、必要な施設等の管理を行う。
【効果】
 ・学校生活を安全に送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
 ・中学校事業として行う「登山(常念・燕)」事業への医師等の付添経費の支出。
 ・各種施設の警備、点検保守を行う。
 ・各学校における図書館システムの管理保守を行う。
 ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
 ・老朽化の進んでいるピアノのオーバ-ホール。
 ・学校管理備品(事務器具等)の購入・更新。

【一般財源増加理由】 事務局費から賃金(事務・司書・庁務員)の計上変更、パソコン借上げ料の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	40,450	学校事務・図書館司書・庁務員賃金	18	備品購入費	1,713	デジタル印刷機、校務用パソコン購入費
08	報償費	1,645	登山医師・看護師・ガイド謝礼、卒業記念品代	19	負担金、補助金及び交付金	2,792	防火管理者負担金7校分、災害共済給付掛金
09	旅費	700	市費非常勤講師旅費(修学旅行・校外活動付き添い)、自家用車の公務使用				
11	需用費	3,429	学校用消火器、中学校配分コピー用紙、図書館用フロッピーディスク、コピー用紙、印刷、設備修繕用消耗品、校用パソコン修繕費				
12	役務費	2,159	中学校水質検査、樹木伐採手数料、学校清掃、設備時計点検等手数料				
13	委託料	10,131	図書館システム保守、学校設備業務(学校警備、自家用電気工作物保守、消防用設備、地下タンク・高架水槽・受水槽、エレベータ、プール施設点検業務等委託料)				
14	使用料及び賃借料	31,045	校務・PC教室用パソコンリース、コピー・印刷機リース料、学校用地・駐車場用地借地料				
上記の合計		94,064	職員の人件費合計 0	事業費総合計	94,064	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・卒業記念品の統一
 市からの卒業記念品について、各学校での選定から市校長会と協議し統一して「証書フォルダ」とする。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	670	卒業記念品を「証書フォルダ」として統一。
合計		670	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110210	豊科南中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,414					11,414
前年度	11,071					11,071
増減額	343	0	0	0	0	343

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立豊科南中学校 所在地:安曇野市豊科1487 開校:昭和60年4月
 学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ
 生徒数:353名 学級数:14 教職員数:33名(H25.5.1現在)
 通学区域: 上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		消費税増税に伴う経常経費の増加									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	9,006	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,180	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	436	行事用益裁借上料、コピー機使用料、クッション使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	638	理科室椅子、渡り廊下用マット外								
上記の合計		11,414	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,414	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	316
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	01	学校管理費	具体的な施策	基本施策	学校教育の充実
	0110215	豊科北中学校管理費	次代を担う人づくりの推進			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,842					15,842
前年度	15,052					15,052
増減額	790	0	0	0	0	790

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立豊科北中学校 所在地:安曇野市豊科5558 開校:昭和60年4月
 学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ
 生徒数:448名 学級数:17 教職員数:42名(H25.5.1現在)
 通学区域:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、アルプス区、徳治郎区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、熊倉区の一部

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	13,170	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,180	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	107	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	352	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クック-使用料								
18	備品購入費	933	FFストーブ								
上記の合計		15,842	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,842	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110220	穂高東中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,560					18,560
前年度	18,318					18,318
増減額	242	0	0	0	0	242

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
（施設概要等） 安曇野市立穂高東中学校 所在地:安曇野市穂高5119-2 開校:平成13年4月
 学校教育目標:規則正しく生き生きとした生徒、何事にも粘り強い生徒、自分も人も大切にする生徒
 生徒数:537名 学級数:19 教職員数:41名(H25.5.1現在)
 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区(上原地区を除く)、狐島区、久保田区、柏原区、柏矢町区
 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。
 地域と密着し行っている「田舎のモータール」事業について、実行委員会と連携し行う。

【一般財源増加倍理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	450	校内研究講演会講師、学校保健委員会講師、田舎のモータール演奏者謝礼等								
11	需用費	15,817	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,181	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	531	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クッション使用料								
18	備品購入費	527	カーテン、美術室用椅子、ブックラック								
上記の合計		18,560	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,560	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	318
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110225	穂高西中学校管理費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,710					14,710
前年度	14,845					14,845
増減額	135	0	0	0	0	135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立穂高西中学校 所在地:安曇野市穂高有明9525 開校:平成13年4月
 学校教育目標:誠 誠なる人、明 明らかなる人、健 健やかなる人
 生徒数:461名 学級数:18 教職員数:42名(H25.5.1現在)
 通学区域:穂高区(上原地区)、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、高下区、新屋区、古厩区、立足区、牧区、塚原区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	100	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	12,846	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	975	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	491	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クッション使用料								
18	備品購入費	244	加湿器、コードレスドライパー、折りたたみ椅子								
上記の合計		14,710	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,710	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

予算書ページ	318
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110230	三郷中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,523					17,523
前年度	18,268		198			18,070
増減額	745	0	198	0	0	547

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立三郷中学校 所在地:安曇野市三郷明盛1885-1 開校:昭和27年4月
 学校教育目標:豊かな心を持ち、辛抱強く自分を鍛え、自ら学ぶ生徒になろう
 生徒数:570名 学級数:21 教職員数:50名(H25.5.1現在)
 通学区域:三郷全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	校内研究講演会、合唱コンクール、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	15,644	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,113	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	54	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	455	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クッション使用料								
18	備品購入費	157	会議用机								
上記の合計		17,523	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,523	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード 011301300 部・課・係等 教育部・学校教育課・学校庶務担当			旧	コード 011001200 部・課・係等 教育委員会・学校教育課・学校庶務係		予算書ページ	320
---------------	----------	----------	---	--	--	----------	--	--	---------------	------------

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110235	堀金中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額					特定財源			一般財源		
					国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	10,645									10,645
前年度	10,725									10,725
増減額	80	0	0	0	0	0	0	0		80

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

〔目的〕
次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

〔効果〕
市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
(施設概要等) 安曇野市立堀金中学校 所在地:安曇野市堀金烏川2126-1 開校:昭和22年4月
学校教育目標:高めあう学び、かわしあう挨拶、響きあう歌声、磨きあう清掃
生徒数:322名 学級数:12 教職員数:34名(H25.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	120	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	8,753	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,172	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	261	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	181	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、クッキー使用料								
18	備品購入費	158	応接椅子、校長用椅子外								
上記の合計											
		10,645	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,645	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容			
合計		0	左記の特定財源			

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	320
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110240	明科中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,554					10,554
前年度	10,529					10,529
増減額	25	0	0	0	0	25

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立明科中学校 所在地:安曇野市中川手2666 開校:昭和33年4月
 学校教育目標:感動する心、支え合う心、やり抜く心
 生徒数:244名 学級数:11 教職員数:28名(H25.5.1現在) 通学区域:明科全域
 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	8,584	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	794	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、クリーニング代等								
13	委託料	190	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	270	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、クック-使用料								
18	備品購入費	616	アルミ製担架、ロッカ-、美術室椅子、スポットライト								
上記の合計		10,554	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,554	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011001200
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,843	778	331			79,734
前年度	41,555	803	331			40,421
増減額	39,288	25	0	0	0	39,313

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	139				
	14	特別支援教育就学奨励費補助金	639				
	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	331				
							1,109

【目的・効果】
【目的】
 中学校における生徒の教育活動推進のため、必要な事業を行う。
【効果】
 ・教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施が図れる。
 ・中学校に、外国語指導助手(ALT)を配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校の実態把握のためのハイパーQUの実施。
 ・外国語指導助手(ALT)派遣事業の実施。
 ・英会話の学力向上のための課外授業の実施。
 ・要保護・準要保護生徒への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
 ・学校から通学距離6[※]以上の生徒に対して補助を行う。

【一般財源増加理由】 中学校総務管理費から、学力検査・外国語指導助手派遣事業等の経費について計上変更を行ったため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	81	あけぼの、中学校誌等				
12	役務費	3,267	学力検査等(CRT検査、ハイパーQU検査)				
13	委託料	34,944	外国語指導助手派遣				
19	負担金、補助金及び交付金	376	遠距離通学者補助金				
20	扶助費	42,175	要保護・準要保護生徒就学援助費、特別支援就学奨励費				
上記の合計		80,843	職員の人件費合計	0	事業費総合計	80,843	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	322
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
事業	0110250	豊科南中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,979					3,979
前年度	4,018					4,018
増減額	39	0	0	0	0	39

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加倍理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,845	教育活動を行うために必要な教材等								
18	備品購入費	2,134	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)								
上記の合計		3,979	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,979	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号		3		新	コード	011301300		予算書ページ	322
					部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
				旧	コード	011001200			
					部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係			
予算	款	10	教育費		総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成		
	項	03	中学校費			主要施策	郷土を担う人を育むまち		
	目	02	教育振興費			基本施策	学校教育の充実		
	事業	0110255	豊科北中学校教育振興費			具体的な施策	次代を担う人づくりの推進		

当初予算額		特定財源				一般財源	単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	4,912					4,912	
前年度	4,814					4,814	
増減額	98	0	0	0	0	98	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	2,339	教育活動を行うために必要な教材等								
18	備品購入費	2,573	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)								
上記の合計		4,912	職員の人件費合計	0		事業費総合計	4,912	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	322
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110260	穂高東中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,241					5,241
前年度	5,377					5,377
増減額	136	0	0	0	0	136

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	2,500	教育活動を行うために必要な教材等						
18	備品購入費	2,741	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)						
上記の合計		5,241	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,241	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	322
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110265	穂高西中学校教育振興費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,043					5,043
前年度	4,743					4,743
増減額	300	0	0	0	0	300

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,504	教育活動を行うために必要な教材等								
18	備品購入費	2,539	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)								
上記の合計		5,043	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,043	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	324
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費	画	基本施策	学校教育の充実
事業	0110270	三郷中学校教育振興費			具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,749					5,749
前年度	5,743					5,743
増減額	6	0	0	0	0	6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,753	教育活動を行うために必要な教材等								
18	備品購入費	2,996	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)								
上記の合計		5,749	職員の人件費合計	0	事業費総合計		5,749	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	324
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	02	教育振興費	具体的な施策	基本施策	学校教育の充実
	0110275	堀金中学校教育振興費	次代を担う人づくりの推進			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,889					3,889
前年度	3,728					3,728
増減額	161	0	0	0	0	161

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,834	教育活動を行うために必要な教材等								
18	備品購入費	2,055	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)								
上記の合計		3,889	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,889	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	324
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
旧		コード	011001200	
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校庶務係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110280	明科中学校教育振興費	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,262					3,262
前年度	3,216					3,216
増減額	46	0	0	0	0	46

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,460	教育活動を行うために必要な教材等							
18	備品購入費	1,802	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)							
上記の合計		3,262	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,262	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	324
			部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当		
予算	款	10	教育費	総 合 計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	目	03	学校施設整備事業		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		具体的な施策	学校施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,023					41,023
前年度	285,964	40,752		75,900	112,384	56,928
増減額	244,941	40,752	0	75,900	112,384	15,905

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・中学校7校の学校施設・設備の維持修繕を行う。
【効果】
 ・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕、改修により施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安心、安全な教育環境を整える。
 ・中学校7校の施設、設備等損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事を行う。
 ・中学校特殊建築物定期報告調査の実施(7校)

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	7,829	施設管理用消耗品、施設維持修繕費、作業用機械修繕費						
12	役務費	378	体育器具点検料						
13	委託料	3,943	シルバー委託料、特殊建物定期報告調査業務、改修等工事実施設計業務委託料						
14	使用料及び賃借料	185	作業用重機借上げ料						
15	工事請負費	28,454	学校維持改修工事等						
16	原材料費	234	グラウンド等用土						
上記の合計		41,023	職員の人件費合計	0	事業費総合計	41,023	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011301300	予算書ページ	326
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備事業	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110290	中学校施設改修事業	具体的な施策	学校施設の整備	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	68,501	19,030		38,100		11,371
前年度	0					0
増減額	68,501	19,030	0	38,100	0	11,371

単位:千円

特定財源の内訳	款	14	学校施設整備事業補助金	金額	19,030	款	21	防災機能強化事業(非構造部材)	金額	38,100	合計金額	57,130

【目的・効果】
【目的】
 ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。
【効果】
 ・天井や照明器具等の落下被害による生徒等への致命的な事故を防止できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・防災機能強化事業として、屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事の実施
 (豊科南中学校体育館、明科中学校体育館)

【一般財源増加理由】 主に新規事業(62,827千円)の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	42	参考図書等の購入				
13	委託料	11,327	非構造部材耐震化工事実施設計業務委託及び工事監理業務委託、学校トイレ改善工事実施設計業務委託				
15	工事請負費	57,132	非構造部材耐震化工事				
上記の合計							
	68,501	職員の人件費合計	0	事業費総合計	68,501	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 東日本大震災において天井や照明器具等の落下被害が多く、生徒が負傷する例もあったことから、文部科学省は致命的な事故が起こりやすい屋内運動場の天井、照明器具等の非構造部材の耐震化を推進した。当市は、学校施設環境改善交付金を受け、中学校7校の屋内運動場等の天井、照明器具ほか非構造部材の耐震化工事を平成30年度完了を目標に順次進めていく。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	工事ほか	62,827	中学校体育館等非構造部材耐震化工事及び設計監理業務
合計			
	62,827	左記の特定財源	学校施設環境改善交付金(19,030)、地方債[全国防災事業債](38,100)

重点項目番号	3-1	新	コード	011301300	予算書ページ	326
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
事業	目	01	幼稚園費	画	基本施策	学校教育の充実
	0110295	幼稚園運営費	具体的な施策		次代を担う人づくりの推進	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	61,099				29,550	31,549
前年度	57,616				31,441	26,175
増減額	3,483	0	0	0	1,891	5,374

単位:千円

特定財源の内訳	款	13	幼稚園使用料	金額	29,550	合計金額	
							29,550

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図る為、幼稚園の運営費を支出する。
【効果】
 ・幼稚園へ通園する園児に適切な幼児期の教育を受けさせる為、幼稚園が必要とする教材等の消耗品や備品等の購入、及び配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等、幼稚園運営に必要な支出を行うことにより園児が明るく健やかに成長できる様、幼児教育事業を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 穂高幼稚園は、安曇野市唯一の幼稚園であり、幼児が環境にかかわって幼稚園において展開する具体的な活動を通して発達を助長していく為の学校。定員は140名で安曇野市全域から現在130名の園児が通園。3歳児2クラス、4歳児2クラス、5歳児2クラス、計6クラスの編成となっている。
 幼稚園において必要となる、子育て支援の講演会・研究会・行事開催に係る経費、幼稚園運営に必要な需用費(教材等の消耗品・燃料費・光熱水費・施設修繕費等)、消火栓ホース(10年経過)の更新、園児椅子等購入などの管理・教育振興経費の支出を行う。
 老朽化が進んでいる施設の大規模改造・耐震補強工事については、H26.7月からH27.8月末に実施。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	482	内科・歯科・耳鼻科・眼科の各検診医師と薬剤師報酬等		14	使用料及び賃借料	247	コピー機使用料・印刷機備上料等
07	賃金	25,440	非常勤担任教諭・軽度発達障害児講師・養護教諭賃金等		18	備品購入費	1,024	消火栓ホース(2本)・4.5歳児用椅子
08	報償費	281	保護者向け講演会講師・園児向け講師・職員向け講師・子育て支援費・歯科指導歯科衛生士・卒園記念品等		19	負担金、補助金及び交付金	142	国公立幼稚園研究協議会、防火管理者協議会等
09	旅費	317	国公立幼稚園研究協議会等大会・巡回業務(家庭訪問・子ども病院等)・PTA事業(バス遠足・そりあそび)等					
11	需用費	5,466	保育教材、燃料費・光熱水費・修繕費等					
12	役務費	375	電話料・飲料水検査・プール検査大腸菌他・園児検尿蠕虫検査・職員保菌検査・ピアノ調律料・室内化学物質標準検査等					
13	委託料	1,039	消防設備点検・自家用電気工作物・非常用自家発電設備点検等					
上記の合計		34,813	職員の人件費合計	26,286	事業費総合計		61,099	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 園児椅子の更新=購入後25年が経過し、ささくれ立つ等老朽化が進んでいる為更新を図る

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	959	4.5歳園児用椅子
合計		959	左記の特定財源

重点項目番号	3-1	新	コード	011301300
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当	
重点項目番号	3-1	旧	コード	011001400
		部・課・係等	教育委員会・学校教育課・学校施設係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	幼稚園施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218,896	22,550			101,600	94,746
前年度	0					0
増減額	218,896	22,550	0	0	101,600	94,746

特定財源の内訳	款	14	学校施設整備事業補助金	金額	22,550	款	18	公共施設整備基金繰入金	金額	101,600	合計金額	
											124,150	

【目的・効果】
【目的】
 ・平成22年度の耐震診断結果による施設の耐震化並びに天井、照明器具等非構造部材の耐震化を実施する。
 ・教育環境改善、施設の長寿命化対策を実施する。
【効果】
 ・構造体の耐震補強に併せ、非構造部材の耐震化により災害に強い施設となる。園児等への致命的な事故を防止できる。
 ・大規模改造により施設の長寿命化と教育環境の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 期工事は、プレイルーム棟及び保育室棟、期工事は管理棟を行う。
 耐震補強 A=935㎡(期分A=668㎡、期分A=267㎡)
 耐震診断結果に基づき構造体の屋根裏・壁にフレス(筋違)を設置
 大規模改造 A=1129㎡(期分A=862㎡、期分A=267㎡)
 建築工事、電気・機械設備 一式
 非構造部材耐震化(天井材、ガラスほか) 一式
 仮設園舎設置 A=450㎡
 駐車場用地取得ほか 一式

【一般財源増加理由】 【実施計画番号28】新規事業のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	70	各種検査・点検料ほか				
13	委託料	5,444	測量業務、工事監理業務ほか				
15	工事請負費	199,066	改修工事ほか				
17	公有財産購入費	9,409	幼稚園駐車場用地の取得				
22	補償、補填及び賠償金	4,907	物件補償ほか				
上記の合計		218,896	職員の人件費合計	0	事業費総合計	218,896	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 穂高幼稚園は、昭和48年建設で築後40年経過しています。平成22年度の耐震診断結果から一部の構造を補強すれば利用が継続できると判断されたことを受け、文部科学省地震特措法第4次地震防災緊急事業5ヵ年計画に計上しました。法的に平成27年度までに耐震化を完了させなければならない。
 当市は、学校施設環境改善交付金を受け、施設の耐震化を進め、併せて施設全体の老朽化対策として、教育環境の改善並びに長寿命化のための大規模改造工事も進めていく。(平成26年度、27年度の2ヵ年で実施。完了予定は平成27年8月)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	工事請負他	204,099	耐震補強・大規模改造工事、外構工事、設計監理業務ほか
合計		204,099	左記の特定財源 学校施設環境改善交付金(22,550)、その他(101,600)

予算書ページ	244
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	3	観光費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0107170	自然交流センター		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,231					3,231
前年度	3,231					3,231
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・自然体験交流センターの施設管理・運営を行う。

【効果】

・恵まれた水と緑豊かな自然に包まれた当施設を利用してもらうことで、市民に自然とふれあう機会の場を提供でき、また市民同士の交流の場として活用してもらうことができる。
 ・市長の権限に属する事務の補助執行に関する規定による施設、「自然体験交流センター(せせらぎ)」

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市と指定管理団体である「せせらぎ」を愛する会との間に3年間(平成24年4月1日～平成27年3月31日)の基本協定を締結しており、指定管理料を支払う。

施設概要

・学習室、実習室、交流室、管理室のほか、屋外デッキを備える。
 ・通年、来場者・団体への施設貸館により文化教室、音楽教室等が開催されており、また、「せせらぎ」を愛する会の活動として自然観察会、特産わさび漬教室なども開催されている。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	3,231	指定管理料						
上記の合計				3,231	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,231	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3		新	コード	011302200	予算書ページ	258
			部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当			
予算	款	8	土木費	旧	コード	011002600	
	項	3	河川費	部・課・係等	教育委員会社会教育課スポーツ振興係		
目	1	河川費		総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
事業	0108170	水辺の楽校費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち		
				基本施策	スポーツ活動の推進		
				具体的な施策	生涯スポーツの推進		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,702					2,702
前年度	2,726					2,726
増減額	24	0	0	0	0	24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・現地の自然豊かな環境・景観を維持しつつ、当該施設の管理・整備を行う。

【効果】

- ・白鳥の飛来地であるとともに、美しい景観を備えた当施設にきていただくことで安曇野の自然を味わい、満喫してもらうことができる。
 - ・冬季にも使用できるマレットゴルフ場を維持管理することで、年間を通してスポーツできる場所を提供することができる。
- 市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程による施設(御宝田水のふるさと公園)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・マレットゴルフ場については、年間を通して「御宝田マレットゴルフクラブ」へ指定管理委託を行う。他の部分の管理(除草等)については、地元のボランティアグループとシルバー人材センターに随時依頼している。

施設概要

・犀川、穂高川、高瀬川の三川が合流する地点に平成15年に国土交通省により整備された「親水公園」で、御宝田水のふるさと公園として安曇野市が管理。マレットゴルフ場、グラウンド等があり、冬には白鳥も飛来することから四季を通して大勢の利用客でにぎわう施設となっている。

【一般財源増加倍理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	300	施設管理用品、燃料費、物品修繕費								
12	役務費	23	汲取り料、保険料								
13	委託料	2,245	公園整備委託料、指定管理委託料								
14	使用料及び賃借料	134	重機借上げ料								
上記の合計		2,702	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,702	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計	0	左記の特定財源		

予算書ページ	264
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011002600
		部・課・係等	教育委員会社会教育課スポーツ振興係	

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	3	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0108230	文化公園維持管理事業		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	16,714				1,203
前年度	21,246				1,336
増減額	4,532	0	0	0	133
					15,511
					19,910
					4,399

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	文化公園公衆電話料	3								

【目的・効果】

【目的】

・三郷文化公園内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

・屋内外の各種スポーツコート積極的に利用していただくことで、市民の健康増進や体育活動の活発化が推進できる。
市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程による施設(三郷文化公園)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

公園内の施設管理業務を行う。

・管理人配置(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理) ・施設修繕 ・自動ドア、電気設備等機械設備点検
・消耗品補充 等

施設概要

・屋外体育施設(グラウンド、照明設備、テニスコート、放送設備等)
・屋内体育施設(アリーナ、柔道場、剣道場、トレーニングルーム、会議室、ラウンジ、シャワー室、更衣室、トイレ、放送設備等)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	10,442	施設管理用品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	286	電話料、モップ交換外				
13	委託料	5,793	施設管理委託料、清掃業務等委託料				
14	使用料及び賃借料	183	ブルーヒーター借上料、コピー機等使用料				
23	償還金、利子及び割引料	10	使用料還付金				
上記の合計		16,714	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,714	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	330
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
旧		コード	011002100	
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費		具体的な施策	生涯学習推進体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	353,346				324	353,022
前年度	335,585		1,600		4	333,981
増減額	17,761	0	1,600	0	320	19,041

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学校開放施設使用料	1							
20	その他刊行物頒布代	323								

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市総合計画の基本理念にある『人と文化を育むまちの形成』を図るための、生涯学習推進計画に沿った施策を構築する。

【効果】

・社会教育委員の会や生涯学習推進市民会議の協議、検討をいただき、現代社会の課題や市民の学習ニーズに応える、より実効性のある生涯学習機会の充実や市民の生きがいづくりを図っていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・社会教育委員の活動に関する事務
- ・成人式実行委員会の企画運営による安曇野市成人式の挙行。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	266	社会教育委員報酬	14	使用料及び賃借料	2,152	成人式テント・イス借上料、社会教育課事務所コピー機借上料・使用料他
7	賃金	14,044	社会教育指導員賃金	19	負担金補助及び交付金	122	社会教育委員会連絡協議会負担金、連合婦人会補助金他
8	報償費	2,628	成人式記念品、生涯学習推進計画推進市民会議出席謝礼他	27	公課費	8	公用車車検重量税
9	旅費	88	社会教育委員大会等旅費、同行職員旅費				
11	需用費	1,319	社会教育課事務・事業用品、印刷機マスター・インク代他				
12	役務費	38	公用車車検代、自賠責保険料				
13	委託料	1,364	成人式会場設営委託他				
上記の合計		22,029	職員の人件費合計	331,317	事業費総合計	353,346	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,479		200			8,279
前年度	3,878					3,878
増減額	4,601	0	200	0	0	4,401

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域人権啓発活動活性化事業委託金	200							200

【目的・効果】

【目的】

・安曇野に即した地域学習推進事業の実施や社会教育団体の育成を行う。

【効果】

・安曇野検定等地域学習を推進することにより、市民が安曇野市の歴史・文化に理解を深めていくことができる。
 ・各学校と連携しながら市民対象の講座を実施していく中で、世代間の交流を深めるとともにさらなる学習機会の充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市民大学講座信州大学編および特別編の開催。
 - ・学校開放講座の開催。
 - ・インターバル速歩講座の開催。
 - ・日本語教室の開催。
 - ・芸術文化団体等への補助。
 - ・安曇野市全体の歴史・文化などを学ぶ講座の開催。
 - ・安曇野検定事業の実施。
- (インターバル速歩講座、安曇野検定事業等の予算を社会教育総務費、中央公民館費より生涯学習推進費へ移したため一般財源費が増加。)

【一般財源増加理由】 男女共同参画課と教育委員会の共催で人権講演会を開催し、隔年で予算計上を分担。H26年度は教育委員会で予算計上。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	1,274	市民大学講座信州大学編、学校開放講座他講師謝礼						
9	旅費	41	市民大学講座、スマートフォン講演会講師旅費						
11	需用費	1,409	市民大学講座、学校開放講座ポスター・チラシ印刷代 安曇野検定講座資料印刷代ほか						
12	役務費	1,080	市民大学講座(時勢講演会、人権講演会)						
13	委託料	3,298	インターバル速歩指導委託料、講座等バス運転委託料、学習資料編集委託。						
19	負担金補助及び交付金	1,377	芸術文化協会補助、囲碁将棋大会実行委員会補助等						
上記の合計		8,479	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,479	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・学習資料編集

平成23～25年度実施の安曇野検定準備講座を基に、安曇野のことをわかりやすく編集したテキストを作成し、市民に頒布する。

・安曇野検定

安曇野市のことをもっと知りたいという市民ニーズが多いことから、安曇野市を学ぶ講座および安曇野検定を実施する。
 また、これまでの検定受験者によびかけ、学習グループ発足や検定問題編集に關していただくことで、将来に向けた継続的で幅広い人材育成を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	499	検定準備講座謝礼、受験者記念品、学習資料編集会議委員出席謝礼	
11	需用費	1,244	検定準備講座関係印刷代、学習資料印刷代	
13	委託料	1,624	検定問題作成業務委託、学習資料編集業務委託	
合計		3,367	左記の特定財源	

予算書ページ	352
--------	-----

重点項目番号	6-4	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
重点項目番号	6-4	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	5	社会教育費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	社会教育総務費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,230		137			3,093
前年度	3,230		137			3,093
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	人権教育推進市町村事業補助金	137							

【目的・効果】

【目的】

・人権教育講座等啓発事業を実施する。

【効果】

・差別のない明るく住みよい社会の実現に向けた市民意識の醸成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域人権教育推進協議会を中心とした地区公民館単位の人権教育の推進。
- ・人権教育指導員、推進委員の学社連携事業への関りと学習。
- ・企業人権教育推進協議会の研修。
- ・人権教育講演会の実施。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,472	人権教育推進委員会出席謝礼、人権教育講座講師謝礼他				
9	旅費	50	研究会参加者旅費				
11	需用費	513	集会所管理用品、電気料他				
12	役務費	43	集会所汲み取り料、電話料他				
13	委託料	150	集会所消防用設備点検料				
19	負担金補助及び交付金	2	企業人権推進協議会負担金				
上記の合計		3,230	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,230	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100	予算書ページ	352
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費	画	具体的な施策	青少年育成環境の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,813				141	17,672
前年度	15,552	0	0	0	144	15,408
増減額	2,261	0	0	0	3	2,264

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年健全育成基金利子	24							
	16	人材育成基金	27							
	20	参加者負担金	90							

【目的・効果】
【目的】
 ・青少年が様々な体験を通して、人間性豊かな将来の地域、郷土を担う社会人となるための取り組みをし、地域の活性化につなげる。また、そのための環境整備を図る。
【効果】
 ・青少年に心の豊かさをもたらし、次代を担う大人への成長につながる。
 ・青少年の健全育成の環境を整えることで、犯罪や非行から守ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・青少年体験活動の活発化を図るため、事業の内容を検討する。
 ジュニアリーダー育成キャンプ1泊2日 2泊3日、集まれ！あづみっ子祭り半日 1日
- ・各地区の子ども会育成会の活動を支援し、子どもの身近な地区から体験活動の活発化を図る。
- ・市内の青少年健全育成団体等への活動補助。
- ・青少年育成センターの立上げを予定(10月から)している。(新規事業)
- ・青少年の健全な育成環境を構築するための活動を、市全体で行う。

【一般財源増加理由】 主として、青少年育成センター立上げ(新規事業分)。 青少年体験事業の経費増額。体験事業・育成センター事業保険料。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	70	青少年健全育成審議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	543	青少年体験活動費
7	賃金	2,353	子ども会育成会連合会事務及び青少年育成センター事務	19	負担金補助及び賃借料	8,411	地区子ども会育成会等補助金
8	報償費	3,095	青少年体験活動講師等謝礼 青少年育成センター育成委員謝礼	25	積立金	53	・青少年健全育成基金積立金 ・人材育成積立金
9	旅費	13	ジュニアリーダー研修旅費				
11	需用費	1,588	青少年体験活動等 青少年育成センター関係費				
12	役務費	248	青少年体験事業、青少年育成センター保険料				
13	委託料	1,439	・洞合公園管理委託料 ・体験事業等委託料				
上記の合計		17,813	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,813	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・青少年を犯罪や非行から守るために「青少年育成委員」を置き、巡回活動により青少年への声掛けの実施や、相談を相談員につなげる。
 ・近年問題となっているネットやスマホ等の使用について、講演会を開催したり街頭啓発により周知する。
 ・青少年にとって有害な社会環境を浄化し、健全な環境を構築する。
 ・犯罪や非行に対する相談に対応する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,176	青少年育成センターに寄せられる相談業務。センター事務。(ただし、子ども会育成会連合会事務を兼務。)
8	報償費	1,562	青少年育成委員巡回等謝礼。
11	需用費	458	青少年育成センター事務費。
12	役務費	69	青少年育成委員保険料。
合計		3,265	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
旧		コード	011002300	
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 子ども支援係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		具体的な施策	青少年や放課後児童の安全・安心な居場所の確保

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	10,330	1,543	1,543		7,244
前年度	10,152	1,993	1,994		6,165
増減額	178	450	451	0	1,079

特定財源の内訳	款	15	放課後子どもプラン補助金	金額	3,086	合計金額		
								3,086

【目的・効果】
【目的】
 ・社会全体の規範意識の低下や社会環境の変化などにより、家庭教育力が低下しているため、家庭教育の大切さを保護者に伝える。
 ・放課後の子どもが安全な居場所で、思い切り遊ぶことを目的に放課後子ども教室を開催する。
【効果】
 ・保護者が求める情報の提供や、具体的な家庭教育について発信することで、保護者が安心して子育てができる。
 ・放課後思い切り体を動かし、自分がやりたいことに挑戦し、普段遊べない友達と遊ぶことで、ストレスを発散し意欲の持てる子になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・情報誌「子育て、親育ちかわらばん ぼけっと」を発行し、情報を提供する。(配布先の拡大)
 ・就学前の子を持つ保護者対象に実施する講演会は託児を設け、保護者に安心して参加いただくため、託児専門機関へ委託したい。
 ・放課後子ども教室を市内全小学校で開催する。
 ・放課後の子ども居場所づくりの検討を図るため、放課後子どもプラン運営委員会において、先進地の視察を予定している。
 ・補助金の減(90万円)

[一般財源増加理由] ・放課後子ども教室、家庭教育支援チーム保険料(106千円増)、講演会参加者の乳幼児託児業務委託による。視察・研修バス運行費。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	8,236	・家庭教育支援チーム謝礼他 ・放課後子どもプラン運営委員会謝礼、教室スタッフ謝礼				
11	需用費	871	・放課後子ども教室用教材等 ・「かわらばん ぼけっと」の配布及び講演会用				
12	役務費	1,061	・放課後子ども教室参加者保険料 ・家庭教育支援チーム保険料				
13	委託料	162	・研修バス委託料 ・家庭教育講演会託児業務委託料				

上記の合計	10,330	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,330	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・家庭教育講演会託児業務
 託児のための人材確保に苦慮しているため30人ほどの子どもしか預かれず、委託により多くの保護者が参加できるような環境を整える。
 (約80人の乳幼児を託児予定)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	45	家庭教育支援チーム員保険料(傷害、賠償保険)
13	委託料	108	家庭教育講演会託児業務委託
合計		153	左記の特定財源

予算書ページ	368
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	011302100
		部・課・係等	教育部 生涯学習課 社会教育担当	
重点項目番号	3-2	旧	コード	011002100
		部・課・係等	教育委員会 社会教育課 社会教育係	

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	54,159				30,825
前年度	74,128				30,825
増減額	19,969	0	0	0	19,969

特定財源の内訳	款	18	地域振興基金繰入金	金額	30,825	合計金額	
	金額						
							30,825

【目的・効果】
【目的】
 ・社会教育法に基づき、市民の教養の向上、健康の増進を図り、文化振興、社会福祉増進に寄与した地域づくりの拠点となる公民館をめざして、事業を展開していく。
【効果】
 ・市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。
 ・地区公民館整備・活動にかかる費用の一部を補助することで、地域の学習環境向上が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市公民館大会の開催。
 ・安曇野市公民館報の発行。
 ・安曇野市総合芸術展の開催。
 ・地区公民館活動補助金交付。
 ・地区公民館建設補助金交付。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	158	公民館運営審議委員報酬						
8	報償費	2,240	公民館大会講師謝礼、公民館講座講師謝礼、公民館報編集委員報酬他						
9	旅費	132	公民館大会等館長・職員旅費						
11	需用費	1,250	文化祭ポスター、公民館報印刷代他						
12	役務費	30	公民館大会賞状筆耕料						
19	負担金補助及び交付金	50,349	公民館運営協議会負担金他、地区公民館活動補助金、地区公民館建設補助金						
上記の合計		54,159	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,159	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011302200	予算書ページ	372
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
事業	目	1	保健体育総務費	画	基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110440	社会体育総務費		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,524					23,524
前年度	17,599					17,599
増減額	5,925	0	0	0	0	5,925

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・「豊かな人生を実現する健康スポーツ都市 安曇野」に向け、市の生涯スポーツ推進事業を行う。

【効果】

- ・だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもを目標にスポーツに親しむ環境を提供することができる。
- ・各体育団体等への補助等支援をすることで、市民の運動に対する意識向上と団体育成に寄与できる。
- ・スポーツ施設整備計画を作成することで今後の社会体育施設整備の方針を明確化することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会による事業検討を行う。
- ・体育協会、スポーツ少年団等の社会体育団体への補助金支出。
- ・市民スポーツ祭の開催及び駅伝大会への参加。
- ・公式スポーツ施設整備計画を策定し、今後の施設整備の在り方を検討する。
- ・上位大会出場者への激励金を贈呈する。

【一般財源増加理由】 公式スポーツ施設整備計画策定業務委託費等の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,549	スポーツ推進委員、スポーツ推進審議会、公式スポーツ施設整備計画策定委員会	19	負担金補助及び交付金	11,215	各種大会負担金、体育協会・スポーツ少年団補助金
07	賃金	762	事務補助賃金				
08	報奨金	1,110	大会出場激励金				
09	旅費	50	普通旅費(大会、協議会)、費用弁償(大会、協議会)				
11	需用費	210	文具等、食料費、印刷製本費				
12	役務費	56	保険料				
13	委託料	7,572	バス運転委託料、市民スポーツ祭委託料、公式スポーツ施設整備計画策定委託				
上記の合計		23,524	職員の人件費合計 0	事業費総合計		23,524	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

公式スポーツ施設整備策定事業

安曇野市として市民が安全で快適にスポーツを行う環境を整備する一環として、安曇野市としてどんな公式スポーツ施設がふさわしいかを考え整備計画を策定するための委託費を計上する。

上位大会出場激励金

全国大会以上の大会に出場する個人、団体に激励金を贈呈する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	900	上位大会出場激励金
8	報償費	210	公式スポーツ施設整備計画策定委員会報酬
13	委託料	6,000	公式スポーツ施設整備計画策定事業
合計		7,110	左記の特定財源

重点項目番号	3	新	コード	011302200	予算書ページ	372
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
事業	目	1	保健体育総務費	画	基本施策	スポーツ活動の推進
	0110445	スポーツ振興事業費	具体的な施策		生涯スポーツの推進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,349				1,158	3,191
前年度	4,994				1,129	3,865
増減額	645	0	0	0	29	674

特定財源の内訳	款	20	スポーツ教室参加料	金額	520	合計金額
		20	スポーツ教室参加者傷害保険料	金額	638	

【目的・効果】

【目的】

成人等一般向けの教室に加え、幼児とその親、高齢者向けのスポーツ教室を実施する。

【効果】

- ・幼児を対象とした親子スポーツ教室を実施することで、親子ともどもスポーツに接する機会を提供できる。
- ・高齢者向けの教室を実施することで、運動する機会を提供でき且つ高齢者間での交流等活性化を促すことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・各種スポーツ教室、研修会の開催
- ・コーディネーショントレーニング普及活動。
- ・子ども駅伝大会の開催。
- ・松本山雅FCの試合へのエスコートキッズ参加。

実施教室内容(予定)

- ・幼児、親子対象:親子スポーツ教室
- ・高齢者対象:コーディネーション講座
- ・その他一般対象等:ニュースポーツ教室、安曇野ウォーキング、親子カヌー教室、トレーニングルーム初心者講習 外

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報償費	2,590	スポーツ教室等講師謝礼				
11	需用費	180	スポーツ教室用品外				
12	役務費	657	保険料				
13	委託料	917	バス運転委託料、コーディネーショントレーニング委託料				
22	補償補填及び賠償金	5	賠償金				
上記の合計		4,349	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,349	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	374
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011002600
		部・課・係等	教育委員会社会教育課スポーツ振興係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110450	社会体育施設管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	241,078			63,000	13,916
前年度	588,550			461,500	13,817
増減額	347,472	0	0	398,500	99
					164,162
					113,233
					50,929

特定財源の内訳	款	13	学校施設使用料	金額	2,580	款	20	社会体育施設公衆電話料	金額	9	合計金額
		13	社会体育施設使用料	金額	10,900						13,916
		20	社会体育施設自動販売機電気料	金額	427						

【目的・効果】

【目的】

・市内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

・屋内外の各種スポーツ施設を市民が積極的に利用することで、市民の健康増進やスポーツ活動の活発化が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

市内全ての社会体育施設の維持管理を行う。

- ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕や工事を行う。不足、老朽備品の更新修理を行う。
- ・管理人配置(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
- ・マレットゴルフ場の指定管理委託を行う。
- ・学校開放施設の適切な修繕を行う。

施設概要

豊科南社会体育館、勤労者スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、豊科県民運動広場、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷体育館、小倉グラウンド、堀金体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門洲運動広場、明科農村広場、南部多目的運動場、屋内ゲートボール場、梓橋運動場、各マレットゴルフ場 等

【一般財源増加理由】 H25は特定財源対応(地方債)のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,294	管理人賃金(堀金体育館)	18	備品購入費	1,755	体育器具
11	需用費	41,782	消耗品費、体育施設修繕費、光熱水費、物品修繕費	19	負担金補助及び交付金	30	防火管理者協議会負担金等
12	役務費	1,980	電話料外、モップ交換外、保険料	22	補償補填及び賠償金	10	補償金
13	委託料	33,483	施設管理業務委託料、事務事業委託料(水辺施設洪水対策業務)、設計監理委託料、指定管理委託料	23	償還金、利子及び割引料	50	還付金
14	使用料及び賃借料	9,771	コピー借上げ料、重機借上げ料、使用料、借地料	27	公課費	9	公用車重量税
15	工事請負費	147,171	体育施設改修工事外				
16	原材料費	1,743	施設修繕用原材料				
上記の合計		241,078	職員の人件費合計	0	事業費総合計	241,078	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

龍門洲公園運動広場グラウンド面整備工事
グラウンドの土入替等

堀金テニスコート人工芝張替え工事
傷んだ人工芝の補修張替え

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	11,980	
合計		11,980	左記の特定財源

予算書ページ	376
--------	-----

重点項目番号	3	新	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当	
重点項目番号	3	旧	コード	011002600
		部・課・係等	教育委員会社会教育課スポーツ振興係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	2	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110455	市民プール管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,863					30,863
前年度	26,256					26,256
増減額	4,607	0	0	0	0	4,607

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。
【効果】
 ・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。
 ・夏休み時の子どもたちに楽しみ場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・プール運営を維持するための施設修繕
 ・指定管理委託
 ・プール用地の借地料支払い

施設概要
 幼児用プール、中プール、スラダー、流水プール、売店 等

【一般財源が前年度より増加した理由】
 プールの老朽化による機械設備及びプール内等の施設修繕費増による。

【一般財源増加理由】 プールサイド遮熱シート修繕(8,098)実施のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	10,284	施設修繕費				
13	委託料	9,060	各種設備保守外、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	11,519	借地料				
上記の合計		30,863	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,863	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 プールサイド遮熱シート修繕
 老朽化したシートの更新と 起流ポンプ分解修繕等を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	8,098	
合計		8,098	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303100	予算書ページ	332
			部・課・係等	教育部・文化課・文化振興係		
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
					項	5
事業	0110310	1	社会教育総務費	画	基本施策	芸術文化活動の振興
					目	1
単位:千円						

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	139,328	国支出金	県支出金	市債	その他	611
前年度	96,800					138,717
増減額	42,528	0	0	0	5,119	91,681
					4,508	47,036

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	16	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	95							611
	16	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	16							
	18	名誉市民田淵行男顕彰基金繰入金	500							

【目的・効果】
【目的】
 ・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な芸術文化に親しむ機会を創出する。
【効果】
 ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
 ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・東京藝術大学との交流事業(中学生への楽器演奏指導事業・コンサート)、能楽教室、講演会等の開催。
 ・諸団体(信州安曇野新能実行委員会など)と協働による事業実施。
 ・補助金の交付。
 ・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日)。
 安曇野市豊科近代美術館 所在地:豊科4609番地3 開館年:平成4年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 田淵行男記念館 所在地:豊科南穂高5078番地2 開館年:平成2年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 飯沼飛行士記念館 所在地:豊科南穂高3888番地2 開館年:平成元年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 安曇野市穂高陶芸会館 所在地:穂高8414番地17 開館年:昭和58年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 臼井吉見文学館 所在地:堀金烏川2701番地 開館年:平成3年 指定管理者:「ほたるぶくろ」の会

【一般財源増加理由】 新たに指定管理施設となる穂高陶芸会館の委託料及び豊科近代美術館トイレ等の改修工事費を計上したことによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	172	博物館協議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	620	飯沼飛行士記念館借地料 他
7	賃金	1,737	臨時職員賃金	15	工事請負費	35,655	豊科近代美術館改修工事 他
8	報償費	1,867	藝大交流事業、能楽教室講師謝礼 他	18	備品購入費	432	田淵行男記念館展示用備品(写真プリント)
9	旅費	849	講師等実費弁償 他	19	負担金補助及び交付金	19,827	新能実行委員会、安曇野文化財団 安曇野文化刊行委員会 他
11	需用費	3,218	事業看板、ポスター・チラシ・プログラム印刷 指定管理施設修繕 他	25	積立金	113	博物館等における美術品取得及び特別展開催基金利子 田淵行男顕彰基金利子
12	役務費	1,439	講演会講演料 公用車点検・車検、保険料 他	27	公課費	17	公用車重量税
13	委託料	73,382	バス運転委託、豊科近代美術館改修工事設計監理業務委託、指定管理委託(豊科近代美術館以下5施設) 他				
上記の合計		139,328	職員の人件費合計	事業費総合計		139,328	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・前回更新時に指定管理者が選定されず直営で運営してきた穂高陶芸会館を、再度指定管理とする。H25.9月議会議決。
 ・施設が持つ機能を十分に発揮できるよう、また快適に利用していただけるよう豊科近代美術館トイレ等の改修工事を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	6,863	穂高陶芸会館指定管理料
	一式	37,428	豊科近代美術館トイレ改修工事 他
合計		44,291	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303100	予算書ページ	336
			部・課・係等	教育部・文化課・文化振興係		
		旧	コード	011009100		
			部・課・係等	教育委員会・文化課・文化振興係		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110315	高橋節郎記念美術館費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,104				2,306	42,798
前年度	24,666				1,604	23,062
増減額	20,438	0	0	0	702	19,736

特定財源の内訳	款	13	記念美術館使用料	金額	1,401	合計金額
		20	美術館グッズ等販売	金額	885	
		20	その他教育費雑入	金額	20	
					2,306	

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市名誉市民高橋節郎の芸術を顕彰し、後世に継承する。そのために必要な資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行う。
【効果】
 ・市民が芸術文化並びに名誉市民に親しむ機会を提供できる。
 ・観光振興に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設の概要】
 所在地:穂高北穂高408番地1 開館年:平成15年

・常設展・企画展、講座・学習会等の諸事業を通じて、高橋節郎の人と芸術を顕彰する。
 ・主屋・南の蔵を活用し、地元作家らの展覧会を開催する。
 ・高橋節郎の生誕百年にあたり、安曇野市(高橋節郎記念美術館・豊科近代美術館)、豊田市(豊田市美術館高橋節郎館)、長野県信濃美術館で実行委員会を組織し、巡回展を開催する。
 ・広く全国にそば猪口アートを公募し、展覧会を開催する。

【一般財源増加理由】 主に、本館及び主屋の大規模修繕による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	170	コピー機借上料・使用料、著作権使用料
7	賃金	4,147	臨時職員賃金	15	工事請負費	20,699	主屋差し茅工事、本館漏水対策工事 他
8	報償費	922	講座講師謝礼、公募展審査員謝礼、公募展報奨金 他	16	原材料費	15	庭園苗木
9	旅費	459	作品借用等に係る職員旅費 講師・審査員旅費 他	19	負担金補助及び交付金	160	日本博物館協会、安曇野アトライン推進協議会 他
11	需用費	5,090	事業用(展覧会・講座等)消耗品、館報等印刷 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	2,214	作品運搬料、電話料、広告料、保険料 他				
13	委託料	9,539	施設管理(清掃・保守)、大規模修繕設計監理 展示作業、印刷物デザイン・印刷業務 他				
上記の合計		45,104	職員の人件費合計	事業費総合計		45,104	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・本館の漏水(雨漏り)が認められるため、対策工事等を実施する。
 ・登録有形文化財でもある主屋の茅葺屋根の傷みが著しいので、平成26年度・27年度で差し茅工事を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	23,659	主屋差し茅工事、本館漏水対策工事 他
合計		23,659	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303300	予算書ページ	338
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	旧	コード	011009200
	項	05	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 文化課 文化財保護係	
目	01	社会教育総務費		総合計	基本方針	人と文化を育むまち
	事業		0110320	郷土博物館費	主要施策	文化を学び育むまち
				基本施策	芸術文化活動の振興	
				画	具体的な施策 歴史民俗資料の保存・活用	

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	22,226	国支出金	県支出金	市債	その他	418
前年度	50,756					21,808
増減額	28,530	0	0	0	150	50,488
						28,680

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	13	郷土博物館等使用料	240								418
	20	郷土博物館等コピーサービス料	1								
	20	その他刊行物頒布代	177								

【目的】
 豊科郷土博物館(豊科4289-8 S54開館)は、貞享義民記念館、穂高郷土資料館、文化財資料センター等と連携をとりながら、市の学芸活動の拠点となるよう事業展開を図る。
 各種講座等を開催し、市民に向けた郷土学習の推進を図るとともに、市内の小・中学校、高校との連携の機会を増やし、地域に親しまれる博物館を目指す。

【効果】
 安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・夏季特別展の開催
- ・秋季特別展の開催

(特別展の開催に際しては、市民、地域、市内の任意団体等、地元の小・中・高校からも協力をいただき、市民と共に創る博物館を目指し活動。)

- ・新市博物館基本構想策定を始める。

[一般財源増加理由]											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	1,689	博物館長報酬			14	使用料及び賃借料	258	モップリース コピー機外使用料		
7	賃金	8,692	学芸員2人・事務補助員2人賃金			18	備品購入費	234	三脚 サーキュレーター 書架外		
8	報償費	792	講座・講演会講師謝礼、相談者謝礼、記念品・土産基本構想策定委員出席謝礼			19	負担金補助及び交付金	47	博物館協議会外		
9	旅費	336	職員旅費、(研修会・企画展準備・視察等)、費用弁償(学芸員研修等)、実費弁償(講師等)			27	公課費	9	自動車重量税		
11	需用費	4,590	消耗品、燃料費、食糧費、小破修繕、光熱水費、物品修繕印刷製本(ポスターチラシ、展示パネル、年報等)								
12	役務費	1,020	通信運搬費、広告料、手数料、保険料他								
13	委託料	4,559	管理委託料(警備、消防設備、清掃等)、事務事業委託(煙蒸、看板製作、バス運行、博物館基本構想策定コンサル他)								
上記の合計		22,226	職員の人件費合計		事業費総合計		22,226	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・本年度から2年間(予定)をかけて「新市博物館基本構想策定」を始める。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	582	基本構想関連講演会(50) 基本構想策定委員会事前打合せ等(115) 基本構想策定委員出席謝礼(417)	
9	旅費	161	基本構想策定に係る職員旅費(35) 基本構想策定委員研修旅費(29) 基本構想策定委員実費弁償(97)	
11	食糧費	12	基本構想策定委員 昼食	
13	事務事業委託料	2,919	新市博物館基本構想策定業務(2,895) 視察バス運行(24)	
合計		3,674	左記の特定財源	

重点項目番号	3-2	新	コード	011303300	予算書ページ	340
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	旧	コード	011009200
	項	05	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 文化課 文化財保護係	
目	01		社会教育総務費	総合計	基本方針	人と文化を育むまち
	事業	0110325	文化財資料センター費	主要施策	文化を学び育むまち	
				基本施策	芸術文化活動の振興	
				具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,296					5,296
前年度	7,100					7,100
増減額	1,804	0	0	0	0	1,804

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的】
 豊科郷土博物館と連携し、学芸活動の中の資料収集・整理を中心とした活動を行う。また、古文書収集や埋蔵文化財調査の拠点施設でもあるため、保存活用ができるよう資料整理を進める。

【効果】
 旧穂高給食センターを改修し平成24年12月に開館した文化財資料センターは、約1年が経過。地道な作業であるが、各地域に分散していた歴史等の資料収集・整理が進みつつある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・各地域の歴史・民俗資料館の統廃合に係る資料整理
- ・旧町村所蔵の歴史・民俗資料の整理作業
- ・旧町村にある町村誌編纂に係る図面、写真資料等の資料整理、保存管理(デジタル化等)
- ・安曇野市内の古文書収集と整理作業(目録作成)

[一般財源増加理由]											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	2,580	資料整理作業員賃金 2人								
11	需用費	1,502	消耗品、燃料費、小破修繕、光熱水費、物品修繕								
12	役務費	211	電話料外								
13	委託料	268	管理委託料(警備保障・消防設備点検)								
14	使用料及び賃借料	361	複合機等リース、デジタル基本サービス料								
18	備品購入費	374	資料整理用ソフト								
上記の合計		5,296	職員の人件費合計		事業費総合計	5,296	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	3-2	新	コード	011303300	予算書ページ	340
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	旧	コード	011009200
	項	05	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 文化課 文化財保護係	
目	01	社会教育総務費		総合計	基本方針	人と文化を育むまち
	事業	0110330	郷土資料館費	計画	主要施策	文化を学び育むまち
				画	基本施策	芸術文化活動の振興
					具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,476				50	4,426
前年度	3,587				50	3,537
増減額	889	0	0	0	0	889

特定財源の内訳	款	13	郷土博物館等使用料	金額	50	合計金額	
							50

【目的】
豊科郷土博物館と連携をとりながら、郷土資料館所蔵の歴史・民俗資料の保存活用を行い、市民へ向けた郷土学習の推進を図る。

【効果】
安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高郷土資料館の管理運営(穂高有明7327 - 72 S47開館)
- ・豊科郷土博物館と連携を図り、市内小中学校への出前体験講座を実施する
- ・旧三郷・旧堀金の資料館に係る維持管理
- ・鐘の鳴る丘集会所の管理及び活用(穂高有明松尾寺公園内 穂高郷土資料館西 S55移転復元 安曇野市有形文化財)
- ・鐘の鳴る丘集会所耐震診断の実施

【一般財源増加理由】 郷土資料館費に、H26より、これまで社会教育課の所管であった鐘の鳴る丘集会所の管理が新たに加わった為

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,862	穂高郷土資料館管理				
8	報償費	295	体験学習協力者・資料館案内外				
11	需用費	804	資料館・鐘の鳴る丘集会所に係る消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕等				
12	役務費	161	通信運搬費、手数料等				
13	委託料	841	管理委託料(警備業務、消防設備点検等)、事務事業委託料(鐘の鳴る丘耐震診断)				
14	使用料及び賃借料	508	旧三郷資料館借地料				
19	負担金補助及び交付金	5	負担金				
上記の合計		4,476	職員の人件費合計		事業費総合計	4,476	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・「鐘の鳴る丘集会所」の管理が、社会教育課の所管から、文化課の所管となった。
- ・「鐘の鳴る丘集会所」の耐震診断を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	226	鐘の鳴る丘集会所 管理消耗品 灯油代 施設修繕 光熱水費
13	委託料	599	鐘の鳴る丘集会所 耐震診断(500) 清掃業務(47) 消防設備点検(52)
19	負担金補助金及び交付金	1	穂高山麓防犯組合費
合計		826	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303300	予算書ページ	342
			部・課・係等	教育部 文化課 博物館係		
		旧	コード	011009100		
			部・課・係等	教育委員会・文化課・文化振興係		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110335	貞享義民記念館事業		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,251				410	13,841
前年度	14,049				370	13,679
増減額	202	0	0	0	40	162

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	貞享義民記念館使用料	340							
	20	義民館グッズ売上金	70							
									410	

【目的・効果】
【目的】
 ・貞享義民に関する資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行い、郷土の歴史や民主主義の意義、人権尊重の精神を広く啓発する。
【効果】
 ・義民の精神を伝え、市民の人権学習の場となれる。
 ・安曇野市南部における文化芸術活動拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設の概要】
 所在地:三郷明盛3209番地 開館年:平成4年

- ・貞享義民の業績に係る資料等の常設展示。
- ・企画展の開催。
- ・古文書歴史講座、義民を訪ねる講座、貞享義民遺跡巡りなどの講座・学習会の開催。

【一般財源増加理由】 高圧機器など施設の修繕により増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	1,920	コピー機借上料・使用料・借地料
7	賃金	3,473	臨時職員賃金	16	原材料費	40	公園苗木
8	報償費	169	講師謝礼他	18	備品購入費	126	図書、移動式スロープ
9	旅費	12	職員旅費(講座随伴)	19	負担金補助及び交付金	35	日本博物館協会 他
11	需用費	3,342	管理・事業用品、リーフレット増刷 燃料、施設修繕、光熱水費 他				
12	役務費	318	電話料、雑誌等広告、モップ交換 他				
13	委託料	3,127	施設管理保守業務(清掃、保守、警備他)、バス運転				
上記の合計		14,251	職員の人件費合計	事業費総合計		14,251	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・経年劣化が著しい高圧機器など施設の修繕を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需要費	1,052	高圧機器他施設修繕
合計		1,052	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303200	予算書ページ	350
		部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係			
予算	款	10	教育費	旧	コード	011009200
	項	05	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 文化課 文化財保護係	
目	02	文化財保護費	総合計	基本方針	人と文化を育むまち	
	事業	0110355	文化財保護費	主要施策	文化を学び育むまち	
			基本施策	芸術文化活動の振興		
			画	具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,834		0		100	9,734
前年度	11,517		1,200		280	10,037
増減額	1,683	0	1,200	0	180	303

特定財源の内訳	款	20	町村誌頒布代	金額	100	合計金額	100

【目的】
 郷土の歴史的文化遺産や伝統文化、古文書などの保存・継承を目指す。
 現在、安曇野市内には国指定・登録の文化財をはじめ、多くの有形・無形の歴史的文化遺産や伝統文化が豊富に存在する。それら文化財を郷土の歴史・文化を学ぶ貴重な素材・資料として、有形文化財に関しては、保存管理を、無形文化財に関しては保存継承を進めるとともに、将来に向けて活用を図っていく。

【効果】
 文化財を活かし、地域の個性を高める、まちづくりにつながる。また、新たな文化を創造するうえでの基礎となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市内の古文書収集と整理作業(目録作成)を進め、安曇野市の歴史解明や将来の市誌編纂事業に繋げる。
 ・無形民俗文化財の保存伝承事業にたいする助成を行う。
 ・有形文化財(建造物)の修理方針作成を行う

[一般財源増加理由]							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	委員報酬	18	備品購入費	14	文化財保護関連書籍
7	賃金	4,770	臨時職員賃金(古文書整理作業 2人 文化財保護関連事務 1人)	19	負担金補助及び交付金	1,537	負担金(文化財保護協会)、補助金(無形民俗文化財伝承事業他)
8	報償費	1,617	謝礼(専門者相談 古文書調査等)、出席謝礼(文化財調査、等)				
9	旅費	203	普通旅費(職員研修)、費用弁償、実費弁償				
11	需用費	323	消耗品(事務標品、文化財保存用品)、印刷製本費(古文書目録)				
13	委託料	895	事務事業委託料(文化財調査等)				
15	工事請負費	422	文化財標柱設置				
上記の合計		9,834	職員の人件費合計	事業費総合計		9,834	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011303200	予算書ページ	350
		部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係			
予算	款	10	教育費	旧	コード	011009200
	項	05	社会教育費	部・課・係等	教育委員会 文化課 文化財保護係	
	目	02	社会教育総務費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまち
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業	主要施策	文化を学び育むまち	
				基本施策	芸術文化活動の振興	
				具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,570				604	5,966
前年度	6,382					6,382
増減額	188	0	0	0	604	416

特定財源の内訳	款	20	埋蔵文化財発掘調査委託料	金額	604	合計金額	604

【目的】
文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護及び保存活用を図る。

【効果】
埋蔵文化財を活用することにより、安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・文化財保護法に基づいて行政負担で試掘調査を実施する。
 ・これまで発掘調査を行い、出土遺物及び図面等が未整理の資料について、整理作業を進め、報告書作成を行う

[一般財源増加理由]								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,438	出土遺物整理作業員賃金 2人					
8	報償費	364	外部専門家に調査指導、報告書執筆等					
11	需用費	453	消耗品費(発掘調査・整理等用品)、印刷製本費(発掘調査報告書)					
13	委託料	990	事務事業委託(発掘調査関連測量 出土遺物分析・保存処理)					
14	使用料及び賃借料	951	借上料(試掘調査用重機借上料等)					
18	備品購入費	374	報告書作成用ソフト					
上記の合計		6,570	職員の人件費合計		事業費総合計	6,570	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011304100	予算書ページ	344	
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当				
予算	款	10	教育費	総計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
					項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費	事業	0110340	豊科交流学習センター費	基本施策	芸術文化活動の振興
						具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	28,247	国支出金	県支出金	市債	その他	26,802
前年度	27,394				1,445	25,849
増減額	853	0	0	0	100	953

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科交流学習センター使用料	1,025							1,445
	20	豊科交流学習センター講座受講料	305							
	20	その他教育費雑入(図書館交流課)	115							

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、さまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:豊科5609番地3 開館年:平成23年 愛称「きぼう」

・コンサート、展覧会、映画上映会などを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・多目的交流ホール等を利用する市民の活動を支援する。
 ・熊井啓記念館の展示替え、監督作品の上映を行い、名誉市民の顕彰を行う。

【一般財源増加理由】 主に、外トイレ洋式化工事、掲示板・案内板設置工事などによる

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,737	臨時職員賃金	15	工事請負費	1,024	外トイレ洋式化工事、掲示板・案内板設置工事 他
8	報償費	145	講師・出演者謝礼	16	原材料費	47	駐車場碎石
9	旅費	44	職員打合せ旅費 講師旅費	19	負担金補助 及び交付金	4	防火管理者協会
11	需用費	13,368	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	1,425	電話料、公演手数料、ピアノ調律、車検手数料				
13	委託料	9,217	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務、映画上映委託				
14	使用料及び賃借料	1,236	コピー機借上料・使用料、著作権使用料				
上記の合計		28,247	職員の人件費合計	事業費総合計		28,247	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・近代美術館バラ園への来園者ら高齢者の利用が多い外トイレの洋式化工事他を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	1,024	外トイレ洋式化工事、掲示板・案内板設置工事 他
合計		1,024	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011304100	予算書ページ	346
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
事業	目	1	社会教育総務費	具体的な施策	基本施策	芸術文化活動の振興
	0110345	穂高交流学习センター費	芸術文化施設の充実			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
38,112	30,698	7,414	0	0	0	3,304
						34,808
						27,704
						7,104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高交流学习センター使用料	2,520							
20	穂高交流学习センター講座受講料	714								
20	その他教育費雑入(図書館交流課)	70								

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、多目的交流ホール・展示ギャラリー・地域学習室などを活用してさまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:穂高6765番地2 開館年:平成21年 愛称「みらい」

・開館5周年記念コンサート、展覧会等を開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・新進音楽家演奏会並びにコンサートを開催し、市民が文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、若手音楽家の育成支援を図る。
 ・多目的交流ホール、展示ギャラリー等を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加理由】 監視カメラ設置工事、備品購入費等を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,640	臨時職員賃金	15	工事請負費	4,968	監視カメラ設置
8	報償費	2,200	講師・出演者謝礼 交流学习センター運営委員会出席謝礼 他	18	備品購入費	1,065	学習室備品(机・椅子)他
9	旅費	86	職員打合せ旅費 新進音楽家演奏会審査員旅費 他	19	負担金補助 及び交付金	34	安曇野スタイル2014 防火管理者協会
11	需用費	13,013	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他	27	公課費	8	自動車重量税
12	役務費	1,842	電話料、公演手数料、ピアノ調律、保険 他				
13	委託料	9,845	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務 他				
14	使用料及び賃借料	1,411	コピー機借上料・使用料、著作権使用料 他				
上記の合計		38,112	職員の人件費合計	事業費総合計		38,112	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・交流学习センター内での事件(圖書の盗難等)発生時に対応できるよう並びに抑止効果を期待し監視カメラを設置する。
 ・不足している学習室等の備品を補充する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	4,968	監視カメラ設置
18	備品購入費	1,065	学習室備品(机・椅子)他
合計		6,033	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	新	コード	011304100	予算書ページ	348
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
事業	目	1	生涯学習費	011002300	基本施策	芸術文化活動の振興
	0110348	明科交流学习施設費	具体的な施策		芸術文化施設の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,444	国支出金	県支出金	市債	その他	8,938
前年度	10,097				1,506	8,599
増減額	347	0	0	0	8	339

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学習館使用料	300							1,506
	20	その他教育費雑入	1							
	20	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,205							

【目的・効果】
【目的】
 ・市民の「交流の場」「学習の場」さらに「安曇野地域学習」の拠点として、様々な情報を発信するとともに、市民活動を支援する。
【効果】
 ・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き、創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・コンサート、講演会などを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・学習館を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加理由】 コンサート、講演会等開催経費新設。和室畳表替え。光熱水費(電気料)増額他

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,766	施設管理非常勤職員賃金				
8	報償費	154	講演会等謝礼、土産代				
11	需用費	4,407	施設管理(講演等)消耗品他、光熱水費、施設・物品修繕費				
12	役務費	532	電話料、床・カーペット・サッシクリーニング 他				
13	委託料	3,314	施設管理(清掃、保守)業務 夜間等シフト委託業務				
14	使用料及び賃借料	271	コピー機借り上げ料、安曇野テレビ利用料				
上記の合計		10,444	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,444	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・交流学习施設としての使用に変更し、文化芸術に触れる機会を設けるため、講演会等開催のための謝礼、講師土産代。
 ・事業用消耗品(チラシ用色上質紙、アンケート用鉛筆)
 ・開館10年を経過のため、高所のサッシ等クリーニングし、和室の畳の表替えを予定している。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	154	講演会、コンサート等謝礼、土産代
11	需用費	59	講演会等チラシ用色上質紙等、畳の表替え
12	役務費	314	施設内外まわりのサッシクリーニング
合計		527	左記の特定財源

予算書ページ	348
--------	-----

重点項目番号	3-2	新	コード	011304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当	
旧		コード	011009100	
		部・課・係等	教育委員会・文化課・文化振興係	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110350	交流学習センター費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,699					8,699
前年度	198,464			157,900		40,564
増減額	189,765	0	0	157,900	0	31,865

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学習センターの整備充実を図る。
【効果】
 ・三郷図書館が充実する。
 ・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 三郷交流学習センター及び図書館(三郷・堀金)の基本計画を策定する。
 ・現況と課題の整備
 ・基本方針の検討
 ・施設整備計画の検討外

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
9	旅費	9	先進地視察							
11	需要費	50	事務用品							
13	委託料	8,640	交流学習センター整備基本計画策定							
上記の合計		8,699	職員の人件費合計		事業費総合計	8,699	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・整備基本計画策定業務を委託

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
	一式	8,699	交流学習センター整備基本計画策定業務 他	
合計		8,699	左記の特定財源	

重点項目番号	3	新	コード	011304100	予算書ページ	368	
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育む	
							項
事業	0110435	図書館費	旧	コード	011009400	基本施策	生涯学習の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
本年度	143,416	国支出金	県支出金	市債	その他
前年度	132,180				44,491
増減額	11,236	0	0	0	595
					98,925
					87,094
					11,831

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	三郷図書館建設事業基金利子	1,370	20	図書館相互貸借送料	1				44,491
	20	図書カード発行手数料	20	20	市町村振興協会交付金	43,000				
	20	図書館コピー使用料等	100							

【目的・効果】

【目的】

- ・市民への質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指す。
- ・生涯学習の中核として市民の「学び」のニーズに応える。

【効果】

- ・市民に図書館資料を提供することにより、生涯学習の推進と人材育成に寄与できる。
- ・市民の憩いの場としての役割を担うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・図書館事業のPRを行い、図書館利用者の増加を図る。
- ・小中学校などの教育施設と連携し、人材育成を図る。
- ・図書館内の環境整備を行い、利用者の満足度の向上に努める。
- ・図書館資料の充実と情報提供サービスの拡充を図る。
- ・市民に喜ばれる図書館の運営方法の研究を行う。
- ・堀金図書館、三郷図書館の具体的な整備計画をまとめる。

【一般財源増加理由】 主に、待遇の見直しによる図書館長報酬並びに非常勤職員賃金(3,933千円増)、仮設三郷図書館設置関連経費(8,325千円増)の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,647	図書館長報酬2名分	14	使用料及び賃借料	15,807	図書館システムリース料、書誌データベース使用料他
07	賃金	63,443	非常勤職員賃金33名分	15	工事請負費	5,179	三郷図書館仮設工事費(文化体育館内に整備)
08	報償費	1,588	講演会、図書館講座講師謝礼	18	備品購入費	30,800	図書館環境整備用備品購入、図書購入費他
09	旅費	130	職員研修旅費、先進事例視察関係旅費	19	負担金補助及び交付金	109	図書館協会負担金、講座受講料
11	需用費	11,972	図書整備用品、雑誌、新聞購読料、利用案内・イベントチラシ等印刷費、	25	積立金	1,371	三郷図書館建設事業基金利子
12	役務費	1,186	電話・インターネット通信料他				
13	委託料	8,184	配本車運転委託料、図書館システム保守委託料他				
上記の合計		143,416	職員の人件費合計	0	事業費総合計	143,416	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・三郷公民館耐震補強工事に伴う仮設三郷図書館整備関連経費を計上

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	3,026	三郷所管移転関連委託(書架移動、内部情報系ネットワーク構築、図書館システム移転)
14	借上料	120	狭小な従前の三郷図書館内に保管不可能なため、段ボール箱に保管している図書を整理するための書架を仮設図書館内に借上げ設置
15	工事請負費	5,179	三郷文化体育館内に仮設三郷図書館を設置する
合計		8,325	左記の特定財源

監査委員事務局

予算書ページ	114
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	011500000
			部・課・係等	監査委員事務局
		旧	コード	011200000
			部・課・係等	監査委員事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	6	監査委員費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	監査委員費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102640	監査委員事務費		具体的な施策	健全な財政運営

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,835					26,835
前年度	26,796					26,796
増減額	39	0	0	0	0	39

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
0										

【目的・効果】
【目的】
 公平でより合理的・能率的な市の行政運営を確保する。
【効果】
 監査等を実施するなかで市行政運営の適法性、効率性、妥当性を検証し、よりよい方策を発見できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年間の監査計画を策定し、その後各実施計画の作成を行い、監査等を実施する。
 ・全国都市監査委員会総会等研修会へ参加し、知識取得と意識向上を図る。
 ・全国都市監査委員会負担金等団体への負担金を支払う。

【一般財源増加理由】 全国都市監査委員会総会等の開催都市が、前年より遠方になったことによる旅費の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,956	監査委員報酬				
9	旅費	638	全国都市監査委員会総会・東海地区都市監査委員会総会・三地区共催都市監査事務研修会旅費				
11	需要費	72	図書(地方財務)他 エイナーファイル・インデックス他				
13	委託料	35	住民監査請求陳述録取書作成委託				
19	負担金補助及び交付金	44	全国都市監査委員会負担金・東海地区都市監査委員会負担金等				
上記の合計						26,835	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

選挙管理委員会事務局

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局
		旧	コード	011300000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまつづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	1	選挙管理委員会費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務局		具体的な施策	市民参画の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,174	0	1	0	0	25,173
前年度	21,936	0	1	0	0	21,935
増減額	3,238	0	0	0	0	3,238

特定財源の内訳	款	15	在外選挙特別経費交付金	金額	1	合計金額	1

【目的・効果】

【目的】

公正、公平、中立な選挙事務を確保する。
選挙管理委員会事務 選挙人名簿の調製、選挙管理委員会定例会、臨時会を開催する。

【効果】

予定されている各種選挙の執行に当たり正確な執行を行うことができる。
研修会への参加により委員及び職員が、知識の習得をすることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
選挙管理委員会事務 選挙管理委員会 定例会(月1回) 臨時会(必要に応じ開催)の開催
選挙人名簿の調製 選挙人名簿(定時登録年4回、選挙時登録) 農業委員会委員選挙人名簿 在外選挙人名簿
選挙の執行管理 長野県知事選挙 長野県議会議員一般選挙 有明土地改良区総代選挙
穂高土地改良区総代選挙 新田堰土地改良区総代選挙

総会、研修会への参加

全国選挙管理委員会連合会、全国選挙管理委員会連合会北信越支部、県選挙管理委員会連合会、
長野県19市選挙管理委員会連合会、中信四市選挙管理委員会の開催する総会、研修会へ参加する。

【一般財源増加理由】 各種会議等の出席負担金の計上による増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
9	旅費	7	旅費				
11	需用費	56	参考図書				
13	委託料	24	プリンター保守				
14	使用料	600	コピー機使用料				
19	負担金	207	全国選管連合会負担金、全国選管連合会支部負担金、 県連合会負担金、19市連合会負担金、会議員負担金				
上記の合計		2,910	職員の人件費合計	22,264	事業費総合計	25,174	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局
		旧	コード	011300000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまつづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	2	明るい選挙推進		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		具体的な施策	市民参画の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	230					230
前年度	230					230
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 明るい選挙推進協議会の開催 明るい選挙推進ポスターコンクール作品募集（小学校、中学校、高等学校、一般）を行う。
 有権者が、普段から政治と選挙に関心を持てることができるよう活動する。
【効果】
 選挙や政治候補者に関心を持ってもらうことにより投票率の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 投票率向上にむけ、明るい選挙推進協議会の開催 明るい選挙推進県大会へ参加する。
 明るい選挙推進ポスターコンクール作品募集（小学校、中学校、高等学校、一般）作品の審査会の開催、県、全国のコンクールへの提出。
 優良作品の展示、参加賞の配布。
 知事選挙の選挙啓発を行う。
 県議会議員一般選挙の選挙啓発を計画する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	230	明るい選挙推進ポスターコンクール参加賞、推進協議会委員会議出席謝礼				
上記の合計		230	職員の人件費合計	0	事業費総合計	230	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	104
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	
		旧	コード	011300000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまつづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102520	有明土地改良区総代選挙費		具体的な施策	市民参画の推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	212				212	0
前年度	0					0
増減額	212	0	0	0	212	0

特定財源の内訳	款	20	有明土地改良区総代選挙執行経費委託金	金額	212	合計金額
					212	

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う総代選挙の執行管理
【効果】
 土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成27年3月31日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 5選挙区 (安曇野市穂高有明地域の4選挙区及び、松川村の1選挙区)
 総代数 50人
 選挙の告示により立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。立候補者が定数を超えた場合は、投票を行い選挙会に於いて当選人を決定し当選証書を付与する。

[一般財源増加理由]							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報酬	156	選挙長、選挙立会人の報酬				
11	需用費	40	当選証書等				
12	役務費	16	通知等郵送費				
上記の合計		212	職員の人件費合計	0	事業費総合計	212	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	104
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局
		旧	コード	011300000
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまつづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102530	穂高土地改良区総代選挙費		具体的な施策	市民参画の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67				67	0
前年度	0					0
増減額	67	0	0	0	67	0

特定財源の内訳	款	20	穂高土地改良区総代選挙執行経費委託金	金額	67	合計金額	
							67

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う総代選挙の執行管理

【効果】

土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理

任期 4年

任期満了日 平成26年9月25日

選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間

選挙区 1選挙区 (安曇野市穂高、穂高有明の地域)

総代数 30人

選挙の告示により立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。立候補者が定数を超えた場合は、投票を行い選挙会に於いて当選人を決定し当選証書を付与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報酬	39	選挙長、選挙立会人の報酬				
11	需用費	19	当選証書等				
12	役務費	9	通知等郵送費				
上記の合計		67	職員の人件費合計	0	事業費総合計	67	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	104
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	
重点項目番号	5-3	旧	コード	011300000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまつづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102540	新田郷土地改良区総代選挙費		具体的な施策	市民参画の推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78				78	0
前年度	0					0
増減額	78	0	0	0	78	0

特定財源の内訳	款	20	新田郷土地改良区総代選挙執行経費委託金	金額	78	合計金額
					78	

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う総代選挙の執行管理
【効果】
 土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成27年3月15日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 1選挙区 (安曇野市豊科及び高家の地域)、
 総代数 40人
 選挙の告示により立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。立候補者が定数を超えた場合は、投票を行い選挙会に於いて当選人を決定し当選証書を付与する。

[一般財源増加理由]							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報酬	39	選挙長、選挙立会人の報酬				
11	需用費	27	当選証書等				
12	役務費	12	通知等郵送費				
上記の合計		78	職員の人件費合計	0	事業費総合計	78	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000	予算書ページ	106
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局		
		旧	コード	011300000		
			部・課・係等	選挙管理委員会事務局		

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	4	県知事選挙費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102550	県知事選挙費		具体的な施策	市民参画の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,851		47,851			0
前年度	0					0
増減額	47,851	0	47,851	0	0	0

特定財源の内訳	款	15	県知事選挙委託金	金額	47,851	合計金額	47,851

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う長野県知事選挙の安曇野市投票区、開票区の執行管理、投票率向上に向けた取り組み
 正確な投開票事務のため事前準備・想定を行う。
【効果】
 正確な投票事務の遂行、正確、迅速な開票事務作業の実施。
 明るい選挙の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 知事選挙の執行管理

任期満了日 平成26年8月31日
 告示日 平成26年7月24日(想定)
 期日前投票 7月25日から8月9日(16日間)
 投開票日 8月10日(前回平成22年8月8日)

選挙人名簿の調製、正確な投開票事務処理を進める。個人演説会の公営、公営ポスター掲示板の作成、設置、保守、選挙公報の配布等選挙運動のための事務を行う。明るい選挙の推進のため選挙啓発を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	7,469	投票管理者等報酬	14	使用料及び賃借料	1,761	賃借料 使用料
3	職員手当	21,450	投票、開票事務時間外手当	18	備品購入費	516	備品購入費
7	賃金	2,976	臨時職員賃金				
8	報償費	100	ポスター掲示場設置に伴う謝礼				
11	需用費	2,128	事務用消耗品 啓発用品 食糧費 物品修繕費				
12	役務費	2,806	通信運搬費 手数料				
13	委託料	8,645	事務事業委託費 ポスター掲示場作成等委託 電算業務委託				
上記の合計		47,851	職員の人件費合計	0	事業費総合計	47,851	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	106
--------	-----

重点項目番号	5-3	新	コード	011600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	
重点項目番号	5-3	旧	コード	011300000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働のまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	5	県議会議員選挙費		基本施策	市民参画の推進
	事業	0102560	県議会議員選挙費		具体的な施策	市民参画の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
11,256	0	11,256	0	11,256	0	0
0	0	0	0	0	0	0
11,256	0	11,256	0	11,256	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県議会議員一般選挙委託金	11,256							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う県議会議員一般選挙執行管理
 平成27年4月に執行される選挙の事前準備
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。
 明るい選挙の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 県議会議員選挙の執行管理
 安曇野市選挙区 定数2人
 任期満了日 平成27年4月29日
 告示日 平成27年4月3日(想定)
 期日前投票 4月4日から4月11日(8日間)
 投票日 4月12日(前回平成23年4月10日)
 選挙長事務 立候補届事前審査、立候補受付事務の確認準備
 期日前投票及び当日の投票所の準備、開票所の設営準備、公営ポスター掲示場の作成、設置を行う。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
3	職員手当等	1,412	時間外勤務手当								
7	賃金	337	臨時職員賃金								
11	需用費	730	事務消耗品								
12	役務費	2,370	通信運搬費、手数料								
13	委託料	6,307	事務事業委託料 ポスター掲示場作成等委託料、電算業務委託								
18	備品購入費	100	備品購入費								
上記の合計		11,256	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,256	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

農業委員会事務局

予算書ページ	202
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	011700000
		部・課・係等	農業委員会事務局	
重点項目番号	1	旧	コード	011400000
		部・課・係等	農業委員会事務局	

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,256	9	7,239		83	70,925
前年度	81,814	9	8,564		75	73,166
増減額	3,558	0	1,325	0	8	2,241

特定財源の内訳	款	14	国有機地管理事務委託金	金額	9	款	20	農業投資価格評定謝金	金額	8	款		細節名称	金額	合計金額
		15	農業費負担金	7,239											
		20	県農業開発公社業務委託金等	75											
														7,331	

【目的・効果】

【目的】

- ・優良農地確保や効率的利用の実現にむけ、農地の保全と有効利用の促進を図る。
- ・農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。

【効果】

- ・農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農地法に基づく業務の遂行、農地法3条4条5条他の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務
- ・農家台帳整備管理、農業委員選挙人名簿の作成、標準作業料金決定、小作料情報の提供
- ・農用地流動化対策事業促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地の集積を支援
- ・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
- ・人・農地プランに積極的に関与し地域集落における課題解決に取り組む。また、農家の意向調査を実施しプラン策定に有効に活用する。
- ・地図情報システム(AiMAP)導入に伴う農地基本台帳システムのクライアントの追加及び県支出の農業委員会交付金の減額による一般財源の増。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	29,193	農業委員報酬	19	負担金補助及び交付金	2,755	県農業会議、松塩筑安曇負担金他
08	報償費	452	農作業労賃・機械作業料金改定委員会出席謝礼他				
09	旅費	151	農地法研修、東日本事務局研修会他				
11	需用費	1,365	事務用品、農作業労賃・機械作業料金協定表印刷代他				
12	役務費	214	郵便料金				
13	委託料	3,913	議事録作成委託、農家台帳データ更新作業委託他				
14	使用料及び賃借料	28	有料道路使用料他				
上記の合計		38,071	職員の人件費合計	40,185	事業費総合計	78,256	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	202
--------	-----

重点項目番号	1	新	コード	011700000
			部・課・係等	農業委員会事務局
		旧	コード	011400000
			部・課・係等	農業委員会事務局

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106020	農業者年金事業		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	428				358	70
前年度	518				448	70
増減額	90	0	0	0	90	0

特定財源の内訳	款	20	農業者年金事務費	金額	358	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。
【効果】
 ・農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年金への加入促進
 ・年金得喪事務

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	70	農業者年金会議出席謝礼				
11	需用費	210	事務用品、啓発資料印刷代他				
12	役務費	148	郵便料金				
上記の合計		428	職員の人件費合計	0	事業費総合計	428	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

公平委員会事務局

予算書ページ	114
--------	-----

新	コード	011800000
	部・課・係等	公平委員会事務局
旧	コード	011500000
	部・課・係等	公平委員会事務局

重点項目番号	5
--------	---

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	
	項	7	公平委員会費		主要施策	
	目	1	公平委員会費		基本施策	
	事業	0102650	公平委員会事務費		具体的な施策	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	474					474
前年度	475					475
増減額	1	0	0	0	0	1

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため。

【効果】

・不利益処分に関する不服申立制度の実効性の確保。
 ・措置要求制度の実効性の確保。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・年2回の委員会の開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における不服申立て、措置要求に関する取扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う。

【一般財源増加理由】

全国公平委員会連合会北信越支部総会が上田市で開催されるため、本年度の負担金が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	200	公平委員会委員報酬				
9	旅費	158	委員及び職員旅費				
11	需用費	12	地方公務員人事判定集の購入				
19	負担金補助金及び交付金	104	全国公平委員会連合会等負担金				
上記の合計		474	職員の人件費合計	0	事業費総合計	474	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

特別会計

同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

重点項目番号	5
--------	---

新	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係
旧	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共同参画係

予算	款	1	諸費	総 合 計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	事務諸費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	事務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0200010	事務費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	
69	57	12	1	0	0	68
						0
						57
						57

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
3	住宅新築資金等貸付元利金	68								

【目的・効果】

【目的】

・同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計を運営し、債権管理を適正に行うため。

【効果】

・債権管理、回収を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・予算書、決算書を他会計と共に作成する。
- ・納付書、支払通知、督促状等を送付する。
- ・個別のファイルを作成し返済経過、折衝記録を管理する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
9	旅費	5	債務関係者折衝等職員旅費						
11	需用費	53	事務用品、決算書・予算書印刷						
12	役務費	11	支払い通知・納付書等郵送料						
上記の合計		69	職員の人件費合計			0	事業費総合計	69	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5
--------	---

新	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係
旧	コード	010104100
	部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共同参画係

予算	款	2	諸支出金	総 合 計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	繰出金		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般会計繰出金		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0200050	一般会計繰出金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
765	675				764	1
増減額	90	0	0	0	90	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	住宅新築資金等貸付元利金	220				
3	住宅新築資金等貸付元利金滞納繰越	544					

【目的・効果】

【目的】

・同和地区住宅新築資金等貸付元利金の現年度分と滞納繰越金の会計年度内の収入を一般会計に繰り出す。

【効果】

・一般会計に繰り入れることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・現年度分住宅新築資金等貸付元利金の納入を促進する。(H26年度調定額 3件 746,713円)
- ・滞納繰越分住宅新築資金等貸付元利金の回収に努める。(H24年度末 滞納繰越額 32件 149,234,129円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	一般会計繰出金	765	一般会計繰出金				
上記の合計		765	職員の人件費合計	0	事業費総合計	765	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

国民健康保険特別会計

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	19
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	一般管理費	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100010	一般管理費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,948	0	0	0	9,948	0
前年度	10,622	0	0	0	10,622	0
増減額	674	0	0	0	674	0

特定財源の内訳	款	9	事務費繰入分	金額	9,948	合計金額	9,948
							9,948

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,951	臨時職員賃金				
9	旅費	27	全国都市国保事務研究協議会出席による旅費				
11	需用費	1,283	事務執行に伴う消耗品類購入、保健証等発送に伴う封筒印刷				
13	委託料	6,675	電算共同処理委託・電算システム改修委託				
14	使用料	12	有料道路使用料				
上記の合計		9,948	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,948	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	19
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	2	連合会負担金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100020	連合会負担金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,192	0	0	0	4,192	0
前年度	4,132	0	0	0	4,132	0
増減額	60	0	0	0	60	0

特定財源の内訳	款	9	事務費繰入分	金額	4,192	合計金額	4,192

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営。
【効果】
 ・負担金支払により事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4,192	国保連合会負担金				

上記の合計	4,192	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,192	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	19
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	2	賦課徴収費		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	賦課徴収費	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100040	賦課徴収費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,962	0	0	0	2,962	0
前年度	2,742	0	0	0	1,932	810
増減額	220	0	0	0	1,030	810

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	1,000							
9	事務費繰入分	1,962								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,656	事務執行に伴う消耗品類購入、公用車燃料費								
12	役務費	89	公用車定期点検代、自賠責保険料								
13	委託料	1,000	電算システム改修委託								
14	使用料	209	有料道路使用料、コンビニ収納システム使用料								
27	公課費	8	公用車自動車重量税								
上記の合計		2,962	職員の人件費合計	0	事業費総合計		2,962	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	21
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	3	運営協議会費		主要施策	安心を支えるまち	
	目	1	運営協議会費	画	基本施策	社会保障制度の充実	
事業	1100050	運営協議会費			具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	433	0	0	0	433	0
前年度	320	0	0	0	320	0
増減額	113	0	0	0	113	0

特定財源の内訳	款	9	事務費繰入分	金額	433	合計金額	433
							433

【目的・効果】
【目的】
 ・国保法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会運営のための事務経費。
【効果】
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	347	協議会・研修会出席委員報酬					
11	需用費	82	国保新聞購読料					
14	使用料	4	研修会出席による有料道路使用料					
上記の合計		433	職員の人件費合計	0	事業費総合計	433	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	21
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	4	趣旨普及費		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	趣旨普及費	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100060	趣旨普及費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,318	0	0	0	1,318	0
前年度	1,260	0	0	0	1,260	0
増減額	58	0	0	0	58	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	1,318							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
【効果】
 ・制度説明用のパンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。(保険証や高齢受給者証の一斉更新時や窓口においての説明用等)

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,318	啓発用パンフレット購入費								
上記の合計		1,318	職員の人件費合計	0	事業費総合計		1,318	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	23					
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当									
予 算	款	2	項	1	目	1	事業	1100071	一般被保険者療養給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
											療養諸費	主要施策
一般被保険者療養給付費	基本施策	社会保障制度の充実										
一般被保険者療養給付費	具体的な施策	国民健康保険事業の充実										

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,850,000	1,112,806	229,834	0	3,785,304	722,056
前年度	5,900,000	1,254,545	258,946	0	3,591,761	794,748
増減額	50,000	141,739	29,112	0	193,543	72,692

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	920,760	3	特別調整交付金		1	9	保健基盤安定事業(軽減・支援)	
3	療養給付費負担金(過年度分)	1	4	普通調整交付金	229,834	9	9	財政安定化支援事業	40,000	
3	普通調整交付金	192,044	6	前期高齢者交付金	2,901,785	9	9	基金繰入金	589,775	

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】																			
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容											
19	負担金	5,850,000	一般被保険者療養給付費																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">上記の合計</td> <td style="width:10%;">5,850,000</td> <td style="width:10%;">職員の人件費合計</td> <td style="width:10%;">0</td> <td style="width:10%;">事業費総合計</td> <td style="width:10%;">5,850,000</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">OK</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>										上記の合計	5,850,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,850,000		OK		
上記の合計	5,850,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,850,000		OK												

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	23			
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当							
予算	款	2	項	1	目	2	事業			
								1100081	退職被保険者等療養給付費	総合計
								療養諸費	主要施策	安心を支えるまち
								退職被保険者療養給付費	基本施策	社会保障制度の充実
								退職被保険者等療養給付費	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	610,000	国支出金	県支出金	市債	その他	
		0	0	0	583,500	26,500
前年度	576,000	0	0	0	564,249	11,751
増減額	34,000	0	0	0	19,251	14,749

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		合計金額
			金額	金額	
	5	退職者等療養交付金	583,499		
	5	退職者等療養交付金(過年度分)	1		583,500

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】		退職被保険者の医療費が増加のため							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金	610,000	退職被保険者療養給付費						
上記の合計		610,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	610,000	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計		0	左記の特定財源						

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	23
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	旧	コード	010301200			
	項	1	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当				
目	4	保険給付費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
事業	1100101	療養諸費		画	主要施策	安心を支えるまち		
		退職被保険者療養費			基本施策	社会保障制度の充実		
		退職被保険者等療養費			具体的な施策	国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,100	0	0	0	6,145	955
前年度	7,100	0	0	0	6,145	955
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	5	退職者等療養交付金	6,145	合計金額	6,145

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、審査ののち被保険者へ7割分の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	7,100	退職被保険者療養費				
上記の合計							
		7,100	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,100	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】						
節	節名称	金額(千円)	主な内容			
合計		0	左記の特定財源			

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	25
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当			
		旧	コード	010301200			
			部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
予算	款	2	保険給付費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費			主要施策	安心を支えるまち
	目	5	審査支払手数料			基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100111	審査支払手数料		画	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,579	0	0	0	0	20,579
前年度	20,579	0	0	0	0	20,579
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

- 【目的・効果】**
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】** また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

[一般財源増加理由]									
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	20,579	審査支払手数料						
上記の合計		20,579	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,579	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	25
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	旧	コード	010301200			
	項	2	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当				
目	1	保険給付費						
事業	1100121	高額療養費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成			
		一般被保険者高額療養費	画	主要施策	安心を支えるまち			
		一般被保険者高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実			
		一般被保険者高額療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	710,000	85,288	17,308	0	465,054	142,350
前年度	800,000	102,161	20,732	0	453,394	223,713
増減額	90,000	16,873	3,424	0	11,660	81,363

特定財源の内訳	款	3	療養給付費負担金	金額	62,169	款	6	前期高齢者交付金	金額	283,749	款	9	保険基盤安定事業(支援分)	金額	5,473	合計金額
															567,650	

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

- ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。
- ・被保険者からの申請により高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 - ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	710,000	一般被保険者高額療養費				
上記の合計		710,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	710,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	25	
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	2	項目	2	保険給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
							主要施策	安心を支えるまち
事業	1100131	2	目	2	退職被保険者高額療養費	画	基本施策	社会保障制度の充実
							具体的な施策	国民健康保険事業の充実
					退職被保険者等高額療養費			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,000	0	0	0	88,435	11,565
前年度	85,000	0	0	0	69,707	15,293
増減額	15,000	0	0	0	18,728	3,728

特定財源の内訳	款	5	退職等療養交付金	金額	88,435	合計金額	88,435

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	100,000	退職被保険者高額療養費					
上記の合計		100,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100,000	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	25
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	旧	コード	010301200			
	項	2		部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
目	3	保険給付費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
事業	1100135	高額療養費		画	主要施策	安心を支えるまち		
		一般被保険者高額介護合算療養費			基本施策	社会保障制度の充実		
		一般被保険者高額介護合算療養費			具体的な施策	国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	500	一般被保険者高額介護合算療養費					
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計		500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

新	コード	010703100		
	部・課・係等	保健医療部	国保年金課	国保年金担当
旧	コード	010301200		
	部・課・係等	市民環境部	市民課	国保年金担当

重点項目番号	4-3
--------	------------

予 算	款	2	保険給付費	総 合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	0	0	0	200
前年度	200	0	0	0	0	200
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	詳細名称	金額	款	詳細名称	金額	款	詳細名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	200	退職被保険者高額介護合算療養費				

上記の合計	200	職員の人件費合計	0	事業費総合計	200	OK
--------------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	27
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	旧	コード	010301200		
	項	3	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	1			総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	事業	1100141			画	主要施策	安心を支えるまち
						基本施策	社会保障制度の充実
						具体的な施策	国民健康保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	0	0	0	250
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	0	0	0	0

単位:千円

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、審査ののち遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金	250	一般被保険者移送費						

上記の合計	250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	250	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	27
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	旧	コード	010301200		
	項	3	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	2					
	事業	1100151					

総合計		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
		主要施策	安心を支えるまち	
		基本施策	社会保障制度の充実	
画		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	0	0	0	250
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、審査ののち遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金	250	退職被保険者移送費						
上記の合計		250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	250	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】				
節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	27		
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当						
予算	款	2	旧	コード	010301200		事業	1100161	出産育児一時金
	項	4	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当					
	目	1		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成			
				画	主要施策	安心を支えるまち			
					基本施策	社会保障制度の充実			
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,200	0	0	0	30,800	15,400
前年度	46,200	0	0	0	30,800	15,400
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	9	出産育児一時金	金額	30,800	合計金額	30,800

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	46,200	出産育児一時金				
上記の合計		46,200	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46,200	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当			
予算	款	2	保険給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	5	葬祭諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	葬祭費	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100171	葬祭費	画	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

予算書ページ	27
--------	----

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,900	0	0	0	0	3,900
前年度	3,900	0	0	0	0	3,900
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者の葬祭費用の軽減になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	3,900	葬祭費				
上記の合計		3,900	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,900	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	29
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	保険給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	6	精神諸費		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	精神給付金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	1100181	精神給付金	具体的な施策		国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,000	0	0	0	21,000	0
前年度	19,000	0	0	0	19,000	0
増減額	2,000	0	0	0	2,000	0

特定財源の内訳	款	9	精神給付金	金額	21,000	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	21,000	精神給付金					
上記の合計		21,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,000	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	29
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	後期高齢者支援金	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
					主要施策	安心を支えるまち	
事業	1100183	後期高齢者支援金	後期高齢者支援金等	画	基本施策	社会保障制度の充実	
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,361,283	493,630	101,257	0	95,562	670,834
前年度	1,343,562	474,458	97,324	0	127,000	644,780
増減額	17,721	19,172	3,933	0	31,438	26,054

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	後期高齢者医療費支援金負担金	405,030	5	退職者等療養交付金	95,562	
3	普通調整交付金	88,600					
4	普通調整交付金	101,257					
							690,449

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた支援金額を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

[一般財源増加理由] 後期高齢者数の増加と医療費の増加により、医療保険者として負担する支援金額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	1,361,283	後期高齢者支援金				

上記の合計	1,361,283	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,361,283	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100			
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	旧	コード	010301200			
				部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
項	目	1	事業	1100185	病床転換支援金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
						画	主要施策	安心を支えるまち
							基本施策	社会保障制度の充実
							具体的な施策	国民健康保険事業の充実

予算書ページ	29
--------	----

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	1	0	0	0	0
前年度	1	1	0	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	3	金額	1	款	金額	合計金額
	細節名称	病床転換支援金負担金				1	

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた病床転換支援金額を納入することにより維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成26年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	1	療養病床転換支援金					

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	29
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	後期高齢者支援金	旧	コード	010301200		
	項	1	後期高齢者支援金等	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	2	後期高齢者関係事務費拠出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
	事業	1100184	後期高齢者関係事務費拠出金	画	主要施策	安心を支えるまち		
					基本施策	社会保障制度の充実		
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	108	0	0	0	0	108
前年度	95	0	0	0	0	95
増減額	13	0	0	0	0	13

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた支援金額を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

[一般財源増加理由] 後期高齢者数の増加と医療費の増加により、医療保険者として負担する支援金額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	108	後期高齢者関係事務費				

上記の合計	108	職員の人件費合計	0	事業費総合計	108	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	29
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	後期高齢者支援金	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
					項	1	後期高齢者支援金等
目	2	後期高齢者関係事務費拠出金	画	基本施策	社会保障制度の充実		
				事業	1100189	病床転換支援金事務費拠出金	具体的な施策

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた病床転換支援金額を納入することにより維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成26年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金	1	療養病床転換事務費拠出金						

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100				
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	4	旧	コード	010301200				
				部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当				
項	目	1	事業	1100187	前期高齢者納付金等	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
						画	主要施策	安心を支えるまち	
							基本施策	社会保障制度の充実	
							具体的な施策	国民健康保険事業の充実	
事業		1100187	前期高齢者関係事務費拠出金		単位:千円				

予算書ページ	31
--------	----

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	108	0	0	0	0	108
前年度	92	0	0	0	0	92
増減額	16	0	0	0	0	16

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた前期高齢者納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金	108	前期高齢者関係事務費							
上記の合計		108	職員の人件費合計	0	事業費総合計	108	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計		0	左記の特定財源						

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	31
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	4	前期高齢者納付金等	旧	コード	010301200		
	項	1	前期高齢者納付金等	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	2	前期高齢者負担調整金					
	事業	1100188	前期高齢者負担調整金					

総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	主要施策	安心を支えるまち
	基本施策	社会保障制度の充実
	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	908	国支出金	県支出金	市債	その他	908
前年度	767	0	0	0	0	767
増減額	141	0	0	0	0	141

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた前期高齢者納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 前期高齢者数の増加と医療費の増加により、医療保険者として負担する納付金額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	908	前期高齢者負担金調整費				
上記の合計						908	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	31
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	5	老人保健拠出金	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
					主要施策	安心を支えるまち	
事業	1100191	老人保健医療費拠出金	老人保健拠出金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4	2	1	0	1	0
前年度	4	2	1	0	1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	老人保健医療費拠出金負担金	1	5	退職者等療養交付金	1	
3	普通調整交付金	1					
4	普通調整交付金	1					
							4

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた老人保健拠出金を納入することにより経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成26年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4	老人保健医療費拠出金					

上記の合計	4	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100	
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当		
予算	款	5	老人保健拠出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	老人保健拠出金	画	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	老人保健事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100211	老人保健事務費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

予算書ページ	31
--------	----

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53	0	0	0	0	53
前年度	61	0	0	0	0	61
増減額	8	0	0	0	0	8

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた老人保健事務費拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	53	老人保健事務費拠出金					
上記の合計		53	職員の人件費合計	0	事業費総合計	53	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	33
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	6	介護納付金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	介護納付金		主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	介護納付金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100221	介護納付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	560,692	218,669	44,855	0	27,681	269,487
前年度	549,156	214,169	43,932	0	27,681	263,374
増減額	11,536	4,500	923	0	0	6,113

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	介護納付金負担金	179,421	9	保険基盤安定事業(軽減分)	22,490				
3	普通調整交付金	39,248	9	保険基盤安定事業(支援分)	5,191					
4	普通調整交付金	44,855								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた介護納付金を納入することにより、介護保険制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 医療保険者として負担する介護納付金額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	560,692	介護納付金				
上記の合計 560,692 職員の人件費合計 0 事業費総合計 560,692 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	33
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	7	共同事業拠出金	旧	コード	010301200		
	項	1	共同事業拠出金	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	1	高額医療費拠出金					
	事業	1100231	共同事業医療費拠出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
				画	主要施策	安心を支えるまち		
					基本施策	社会保障制度の充実		
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	219,635	54,908	54,908	0	0	109,819
前年度	187,202	46,800	46,800	0	0	93,602
増減額	32,433	8,108	8,108	0	0	16,217

特定財源の内訳	款	3	高額療養費共同事業負担金	金額	54,908	合計金額
		4	高額療養費共同事業負担金	金額	54,908	109,816

【目的・効果】
【目的】
 ・高額な医療費(80万円以上)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い高額な医療費支払の均一を図る。
【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払いはさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

[一般財源増加理由] 高度な医療を行うことにより医療費の請求が高額となる件数が増え、支出増加となっているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	219,635	高額共同事業				

上記の合計	219,635	職員の人件費合計	0	事業費総合計	219,635	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	33
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	7	共同事業拠出金	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
					主要施策	安心を支えるまち	
事業	1100246	2	保険財政共同安定化事業拠出金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	817,442	0	0	0	721,645	95,797
前年度	803,231	0	0	0	772,708	30,523
増減額	14,211	0	0	0	51,063	65,274

特定財源の内訳	款	7	保険財政共同安定化事業交付金	金額	721,645	合計金額	721,645

【目的・効果】
【目的】
 ・高額な医療費(30万円～80万円)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い高額な医療費支払の均一を図る。
【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払いはさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 高度な医療を行うことにより医療費の請求が高額となる件数が増え、支出増加となっているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	817,442	保険財政共同安定化事業				

上記の合計	817,442	職員の人件費合計	0	事業費総合計	817,442	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	35						
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当										
予算	款	8	項	1	目	1	事業	1100249	特定健康診査等事業費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
											主要施策	安心を支えるまち	
											基本施策	社会保障制度の充実	
											具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	144,749	16,195	11,705	0	34,822	82,027
前年度	131,367	11,643	11,642	0	33,772	74,310
増減額	13,382	4,552	63	0	1,050	7,717

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
3	特定健康診査等負担金(過年度分)	1	9	事務費分	13,148	11	特定健診等個人負担金	5,850		
3	特別調整交付金	4,489	9	後期高齢者健診繰入金	5,564					

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳～74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を行う。
【効果】
 ・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見早期治療を促し、医療費の削減が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特定健康診査の実施(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
 ・保健師による特定保健指導の実施。
 ・特定健診受診によりハイリスク者に対する二次健診の実施。

【一般財源増加理由】 特定健診の受診啓発に係る費用が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,423	受診啓発用パンフレット・ポスター購入、健診通知等の封筒作成				
12	役務費	778	受診啓発広告(新聞・ラジオ)				
13	委託料	138,048	健診業務委託、人間ドック受診委託				
19	補助金	4,500	人間ドック等受診費用補助				

上記の合計	144,749	職員の人件費合計	0	事業費総合計	144,749	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・新聞・ラジオを使った特定健診受診啓発
 ・特定健診の未受診者に対し、電話による受診勧奨を実施。
 特定健診の受診率が思うように伸びないため、マスメディアを使った啓発と未受診者へ個別に勧奨することにより受診率の上昇を狙う。
 ・特定健診受診後の結果により、ハイリスク者に対してさらに詳細な健診を受けてもらう二次健診(頸部動脈エコー)を実施。頸動脈の狭窄状況を確認する。脳血管疾患の予防。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	778	受診啓発広告(新聞・ラジオ)
13	委託料	4,916	未受診者対策業務委託(電話による受診勧奨)、頸部動脈エコー検査業務委託
合計		5,694	左記の特定財源 国庫特別調整交付金・4,489千円

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	35
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	8	保健事業費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	保健事業費			主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保健事業費		画	基本施策	社会保障制度の充実
事業	1100250	保健事業費		具体的な施策		国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,254	0	2,300	0	10,914	4,040
前年度	20,039	0	2,345	0	11,002	6,692
増減額	2,785	0	45	0	88	2,652

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	4	特別調整交付金	2,300	11	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10				
9	事務費分	7,914								
11	高額療養費貸付金収入(現年度分)	2,990								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における国保被保険者の健康増進と健康に関する啓発。
【効果】
 ・啓発により健康意識の高まりにより、疾病予防効果が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	7,914	レセプト点検職員賃金								
8	報償費	3,740	健康世帯表彰記念品購入費								
11	需用費	600	健康づくり啓発用パンフレット作成								
12	役務費	1,310	医療費通知、医薬品差額通知郵送料								
13	委託料	690	医療費通知、医薬品差額通知作成業務委託料								
21	貸付金	3,000	高額療養費貸付金								
上記の合計		17,254	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,254	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

予算書ページ	37
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100	
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当	
		旧	コード	010301200	
			部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当	

予算	款	9	積立金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	積立金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	基金積立金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100261	基金積立金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000	0	0	0	0	50,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

単位:千円

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・基金への積立を行うことにより、急な資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な額を積み立てる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	50,000	基金積立金				
上記の合計		50,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	37
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	9	積立金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	積立金		主要施策	安心を支えるまち	
	目	2	基金積立金利子	画	基本施策	社会保障制度の充実	
事業	1100266	基金積立金利子			具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,496	0	0	0	4,495	1
前年度	3,339	0	0	0	3,338	1
増減額	1,157	0	0	0	1,157	0

特定財源の内訳	款	8	基金積立金利子	金額	4,495	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・基金への積立を行うことにより、急な資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・会計課から示された額を積み立てる。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	4,496	基金積立金利子					
上記の合計		4,496	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,496	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	37
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	10	公債費	旧	コード	010301200		単位:千円
	項	1	公債費	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当			
	目	1	一時借入金利子	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
	事業	1100275	一時借入金利子	画	主要施策	安心を支えるまち		
					基本施策	社会保障制度の充実		
					具体的な施策	国民健康保険事業の充実		

当初予算額		特定財源				一般財源	
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1	1	0	0	0	0	0	1
			0	0	0	0	1
			0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・一時借入れがあった場合円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要になった場合随時支払をする。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
23	利子	1	一時借入金利子								

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	11	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金利子及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	1	一般被保険者保険税還付金		基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,000	0	0	0	0	8,000
前年度	8,000	0	0	0	0	8,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	8,000	還付金				
上記の合計		8,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】							
節	節名称	金額(千円)	主な内容				
合計		0	左記の特定財源				

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39	
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	11	項	1	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
							目	2
事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金	旧	コード	010301200	画	基本施策	社会保障制度の充実
							部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	800	0	0	0	0	800
前年度	800	0	0	0	0	800
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	800	還付金							
上記の合計		800	職員の人件費合計	0	事業費総合計		800	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	11	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金利子及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち	
	目	3	一般被保険者還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	233	0	0	0	0	233
前年度	233	0	0	0	0	233
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付が加算対象となった場合に速やかに対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	233	還付加算金					

上記の合計	233	職員の人件費合計	0	事業費総合計	233	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39	
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	11	項	1	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
							目	4
事業	1100311	退職被保険者等還付加算金	画	基本施策	社会保障制度の充実	画	基本施策	社会保障制度の充実
							具体的な施策	国民健康保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付が加算対象となった場合に速やかに対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	100	還付加算金						

上記の合計	100	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	11	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金利子及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	5	療養給付費等交付金償還金	画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100321	療養給付費等交付金償還金	画	具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度交付金が超過していた場合に速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度交付金額が超過していた場合、支払基金からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	1	療養給付費等交付金償還金						

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	11	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金利子及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち	
	目	6	療養給付費償還金		基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100331	療養給付費償還金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	1	療養給付費償還金					

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39	
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	11	項	1	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
							目	7
事業	1100341	特定健康診査等負担金償還金	画	基本施策	社会保障制度の充実	画	基本施策	社会保障制度の充実
							具体的な施策	国民健康保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	1	特定健康診査等負担金償還金						

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010703100		予算書ページ	39
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	11	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金利子及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち	
事業	目	9	一般被保険者返納金還付金		基本施策	社会保障制度の充実	
	1100361	一般被保険者返納金還付金			具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35	0	0	0	0	35
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合随時執行する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	35	被保険者返納金還付金					
上記の合計		35	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3		新	コード	010703100		予算書ページ	41
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	12	予備費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	予備費			主要施策	安心を支えるまち	
	目	1	予備費		画	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100340	予備費			具体的な施策	国民健康保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150,000	0	0	0	0	150,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	100,000	0	0	0	0	100,000

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【一般財源増加理由】		医療費等の支払が急激に伸びた場合、予算額不足のために予算執行ができない事態を避けるための増額。(予備費の目安は保険給付費の3%)									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
29	予備費	150,000	予備費								
上記の合計		150,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	150,000	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

後期高齡者医療特別会計

新	コード	010703100
	部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当
旧	コード	010301200
	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	4 - 3
--------	-------

予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600010	一般管理費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
79	75	4	0	0	0	4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	事務費繰入金	79							

【目的・効果】
【目的】 後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
【効果】 事務費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 印刷製本費の増(予算書、決算書)総務課、会計課からの指示額のとおり、事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需要費	79	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷								
上記の合計											
		79	職員の人件費合計	0	事業費総合計			79	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

新	コード	010703100
	部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当
旧	コード	010301200
	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	4 - 3
--------	-------

予算	款	2	後期高齢者医療広域連合納付金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者医療広域連合納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600070	広域連合納付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	1,005,725				230,926
前年度	887,737				215,239
増減額	117,988	0	0	0	15,687
					774,799
					672,498
					102,301

特定財源の内訳	款	3	事務費繰入金	金額	30,554	合計金額	
		3	保険基盤安定繰入金	金額	200,372		
							230,926

【目的・効果】
【目的】 ・後期高齢者医療事業を健全かつ安定的に運営していくため、保険料等負担金、保険基盤安定事業負担金、事務費負担金を、長野県後期高齢者医療広域連合へ納付することを目的とする。(納付額は、広域連合指示額による)
【効果】 ・医療費等に対する安定的な給付と後期高齢者医療広域連合の健全な運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】
【当該年度の事業の概要(手法)】
 保険料納付金は毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う。(年12回:毎月15日までに支払)
 保険料基盤安定負担金:長野県後期高齢者医療広域連合からの請求により支払う。(年6回:5月・7月・11月・1月・3月)
 事務費負担金:長野県後期高齢者医療広域連合からの請求により支払う。(年4回:5月・8月・12月及び3月)

【一般財源増加理由】 保険料率の改定による保険料納付金の増が主な要因(広域連合指示額)							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,005,725	保険料等の負担金、保険基盤安定事業負担金及び事務費負担金を長野県後期高齢者医療広域連合へ納付する。				

上記の合計	1,005,725	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,005,725	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

新	コード	010703100
	部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当
旧	コード	010301200
	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号	4 - 3
--------	-------

予算	款	3	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金	画	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保険料還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600080	保険料還付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600					600
前年度	2,000					2,000
増減額	1,400	0	0	0	0	1,400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 後期高齢者医療保険被保険者から納入のあった保険料について、過誤納金として還付するため。
【効果】 還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる

【当該年度の事業概要(手法)】

納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に随時還付処理により執行していく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	600	還付金				
上記の合計		600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	600	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主要内容
合計		0	左記の特定財源

新	コード	010703100
	部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当
旧	コード	010301200
	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号	4 - 3
--------	-------

予算	款	3	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600085	還付加算金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
50	200	150	0	0	0	0
						50
						200
						150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 後期高齢者医療保険被保険者から納入のあった保険料が過誤納金となり、還付を必要とする保険料に加算金が必要となる場合に対応するため。
【効果】 還付金に加算が必要となった場合に、速やかに対応が可能となる

【当該年度の事業概要(手法)】

納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に随時還付処理により執行していく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	50	還付加算金				
上記の合計		50	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

新	コード	010703100
	部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当
旧	コード	010301200
	部・課・係等	市民環境部 市民課 国保年金担当

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号	4 - 3
--------	-------

予算	款	4	予備費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600150	予備費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5	5	0	0	0	0	1
						1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】 事務費等急な予算化が必要な場合に備える。
 【効果】 速やかな対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】
 必要なときに執行する。

【一般財源増加理由】 予備費の一部がH25年度までは特定財源となっていたものを、H26年度予算から全て一般財源としたため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	5	予備費				

上記の合計 5 職員の人件費合計 0 事業費総合計 5 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

介護保険特別会計

重点項目番号	2	新	コード	010702100	予算書ページ	16
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	認め合い支えるまち
目	1	一般管理費	事業	3100010	基本施策	高齢者介護サービスの充実
	1	一般管理費		具体的な施策	介護保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,610				3,610	0
前年度	2,738				2,738	0
増減額	872	0	0	0	872	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額	3,610	合計金額	
							3,610

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険運営のための総務一般管理費(介護保険等運営協議会委員報酬、地域密着型サービス事業者選考委員会賃金、等賦課徴収にかかる以外の経費)
【効果】
 ・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会との給付データの送受信を行うPCが、老朽化のため動作不安定となっているため交換を行う。

[一般財源増加理由]

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	357	介護保険運営協議会委員報酬等				
11	需用費	821	事務用品、参考図書、第6期介護保険事業計画書印刷代等				
12	役務費	1,694	高額介護、住宅改修、ケアプラン点検、郵便料、電話料				
13	委託料	594	介護保険システム改修				
18	備品購入費	144	国保連合会給付データ送信用PC購入				
上記の合計		3,610	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,610	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	新	コード	010702100	予算書ページ	16
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	徴収費		主要施策	認め合い支えるまち
事業	目	1	賦課徴収費	画	基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費		具体的な施策	介護保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,143				6,143	0
前年度	5,253				5,253	0
増減額	890	0	0	0	890	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	480	10	延滞金		1			
8	事務費繰入金	5,661								
9	事務費繰越金	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険料の適正な賦課と徴収の実施。
【効果】
 ・介護保険事業の財源の確保と、公平性を守るために適正な徴収を実施する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・本算定納付書封入臨時賃金、収納嘱託員介護保険料収納分歩合給
 ・滞納整理研修会に参加する等、滞納処分についての確かなスキルを身につけて、法を遵守した適正な滞納整理を実施する。
 ・現年分において、催告書の発送、電話催告の実施などを行う事で滞納繰り越し分の減額を計る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	609	本算定納付書封入臨時賃金、収納嘱託員歩合給				
09	旅費	82	東京税務セミナー収納整理部門参加旅費				
11	需用費	798	納付書、催告書、等封筒印刷代他				
12	役務費	4,338	介護保険料、納付書、督促状、催告書発送郵便代他				
19	負担金補助及び交付金	316	特別徴収経由負担業務負担金他				
上記の合計		6,143	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,143	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	新	コード	010702200	部・課・係等	保健医療部	介護保険課	認定調査係	予算書ページ	18
		旧	コード	010402300		健康福祉部	高齢者介護課	介護支援係		

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	介護認定審査会費		主要施策	認め合い
	目	1	認定調査費等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100030	認定調査費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,013				81,013	0
前年度	79,090				79,090	0
増減額	1,923	0	0	0	1,923	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額	81,012	款	10	雑入	金額	1	合計金額	81,013
---------	---	---	--------	----	--------	---	----	----	----	---	------	--------

【目的・効果】
【目的】
 介護保険法に基づき、介護サービスを利用するために必要な要介護認定および要支援認定(以下、要介護認定)を行う。
【効果】
 ・要介護認定を行うことで、介護サービスの必要度(どれ位、介護のサービスを行う必要があるか)が判断できる。
 ・高齢者が住み慣れた住環境のもと、心身の状況に合わせた介護サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護保険被保険者より、介護給付を受けるための要介護(要支援)申請が行われた際、その申請から認定結果の通知までを行う。
 ・申請後、職員は当該申請に係る被保険者を訪問し、法に基づく心身の状況や環境等、認定調査を行う。
 ・申請者の主治医より、疾病又は負傷の状況等についての主治医意見書を求める。
 ・認定調査票および主治医意見書を、松本広域連合に設置された介護認定審査会へ送付し、要介護認定の審査判定を依頼する。
 ・介護認定審査会の審査および判定の結果に基づき、要介護認定を行い、その結果を申請者へ送付する。

【一般財源増加倍理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	38,476	認定調査員等賃金								
11	需用費	672	認定調査用消耗品、認定調査用封筒印刷								
12	役務費	20,617	FAX通信料、主治医意見書作成料								
13	委託料	96	県外認定調査委託料、制度改正に伴うシステム改修費								
14	使用料及び賃借料	1,300	認定調査用自動車リース料、有料道路使用料、コピー機パフォーマンスチャージ料								
19	負担金補助及び交付金	19,852	松本広域連合介護認定審査会負担金								
上記の合計		81,013	職員の人件費合計	0	事業費総合計	81,013	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・認定調査用自動車が長年の使用により老朽化していることから、8台の内3台を、リース期間満了(H26.7.2)に伴い、入れ替えを行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
14	使用料及び賃借料	260	認定調査用自動車リース車3台の入れ替え費(9ヶ月間)	
合計		260	左記の特定財源 事務費繰入金(260)	

重点項目番号	2	新	コード	010702100	予算書ページ	18
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護サービス等諸費		主要施策	認め合い支えるまち
目	1	介護サービス等諸費	事業	3100070	介護サービス等諸費	高年齢者介護サービスの充実
	1	介護サービス等諸費		具体的な施策	介護保険事業の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,092,974	1,972,965	1,254,314		3,703,208	1,162,487
前年度	7,512,958	1,836,869	1,169,934		3,376,856	1,129,299
増減額	580,016	136,096	84,380	0	326,352	33,188

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
		その他 第三者納付金等	4	4	介護給付費交付金現年度分(2号)	2,502,437	8	介護保険支払基金準備基金繰入金	122,132	6,930,487
	3	介護給付費負担金現年度分(国)	1,550,139	5	介護給付費負担金現年度分(県)	1,254,314				
	3	現年度分調整交付金(国)	422,825	8	介護給付費繰入金現年度	1,078,636				

【目的・効果】
【目的】
 ・介護サービス給付費
【効果】
 ・介護サービス利用について、不足の出ない予算計画

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢化の進行に基づきサービス利用費も増加傾向にある。
 ・介護給付費は月による増減や、市内、近隣の市町村の施設整備状況に影響されるため平成24年度の給付実績及び前年との給付増加状況を考慮し、給付不足が無い様に見積もった。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	8,092,974	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他								
上記の合計	8,092,974	職員の人件費合計	0		事業費総合計	8,092,974	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	2	介護給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	その他諸費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	審査支払手数料		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100080	審査支払手数料		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,168					8,168
前年度	7,855					7,855
増減額	313	0	0	0	0	313

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付費の適正な審査支払いを実施する為に国保連合会を介した給付費の支払いを行う

【効果】

・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	8,168	審査支払手数料				
上記の合計		8,168	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,168	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	2	介護給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	高額介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	145,331					145,331
前年度	132,409					132,409
増減額	12,922	0	0	0	0	12,922

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険サービス利用者のうち、1割負担額が1カ月で一定額（15,000円、24,600円、37,200円）を超えた場合に、超過分を払い戻す。
【効果】
 ・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	145,331	高額介護・予防給付費								
上記の合計											
		145,331	職員の人件費合計	0	事業費総合計			145,331	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	2	介護給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	特定入所者介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	360,615					360,615
前年度	369,166					369,166
増減額	8,551	0	0	0	0	8,551

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に支払う
【効果】
 ・低所得者への介護サービス利用軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	360,615	負担限度額超過給付							
上記の合計										
		360,615	職員の人件費合計	0	事業費総合計	360,615	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
		旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	2	介護給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	5	高額医療合算介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,006					22,006
前年度	17,192					17,192
増減額	4,814	0	0	0	0	4,814

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う

【効果】

・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成24年度決算において、前年比28%の上昇があり、関連する高額介護サービスも上昇傾向である。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	22,006	合算負担限度額超過給付						
上記の合計									
		22,006	職員の人件費合計			0	事業費総合計	22,006	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	新	コード	010702300	予算書ページ	22
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防係			
予算	款	3	地域支援事業	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
					項	1
目	1	介護予防二次予防事業費		画	基本施策	高齢者介護サービスの充実
		事業	3100101		介護予防二次予防事業	具体的な施策

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,235	5,558	2,779		9,227	4,671
前年度	31,129	7,782	3,891		12,918	6,538
増減額	8,894	2,224	1,112	0	3,691	1,867

特定財源の内訳	款	3	地域支援交付金(予防)現年度分	金額	5,558	款	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	金額	2,779	合計金額	
		4	支払基金支援交付金現年度分	金額	6,448							
		5	県交付金(介護予防)現年度分	金額	2,779							
												17,564

【目的・効果】
 【目的】70歳～89歳の市民に対し基本チェックリスト調査を行うことにより、二次予防事業対象者(要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者)を把握し、介護予防プログラムを提供することで、要支援・要介護状態になることを予防する。
 【効果】70歳～89歳の方が基本チェックリスト調査を実施することで、自らの状態を知り、介護予防のための方法について知識を得て実践につなげることができる。
 ・二次予防事業対象者が運動機能・口腔機能・認知機能向上のための教室・訪問により介護予防プログラムの提供を受けることで、要支援・要介護状態になることを予防できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・基本チェックリストを70歳～89歳の市民に郵送・返信する方法で、二次予防事業対象者を把握する。
 ・基本チェックリスト返信者に対し、判定結果と生活に役立ててもらえるよう介護予防アドバイスを送付する。
 ・二次予防事業対象者に対し、通所型介護予防事業(運動器・口腔・認知複合教室)及び通所型介護予防事業(運動器・口腔複合教室)を実施する。
 ・二次予防事業対象者に対し、訪問型介護予防事業を行う。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	128	対象者把握事業での基本チェックリスト確認作業のための看護師等の賃金						
8	報償費	90	訪問型介護予防事業のための理学療法士等への謝礼						
11	需用費	63	介護予防事業実施のための消耗品						
12	役務費	3,501	基本チェックリスト郵送料・返信用郵送料・結果通知用郵送料						
13	委託料	18,453	通所型・訪問型介護予防事業委託料・医師会への評価健診委託料・基本チェックリスト作成と結果作成業務委託料						
上記の合計		22,235	職員の人件費合計	0	事業費総合計		22,235	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	新	コード	010702300	予算書ページ	22
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防係			
予算	款	3	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
事業	3100102	介護予防一次予防事業	目	2	基本施策	高齢者介護サービスの充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,876	1,719	859		2,853	1,445
前年度	9,159	2,289	1,144		3,800	1,926
増減額	2,283	570	285	0	947	481

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	地域支援交付金(予防)現年度分	1,719	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	859				5,431
	4	支払基金支援交付金現年度分	1,994							
	5	県交付金(介護予防)現年度分	859							

【目的・効果】
【目的】65歳以上の市民を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、地域における介護予防の推進を図る。
【効果】

- ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・目的別体操教室や認知症予防教室・介護予防教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催する。
 ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。
 ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための検診・相談・啓蒙活動を行う。
 ・地域や団体等の主体的な介護予防活動の支援を行う。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	2,882	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金								
8	報償費	1,844	各種介護予防教室・介護予防講演会の講師謝礼								
9	旅費	40	認知症予防講習会参加のための旅費								
11	需用費	858	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品								
13	委託料	1,229	介護予防教室の中の体操教室実施のための委託料								
19	負担金補助及び交付金	23	認知症予防講習会参加費								
上記の合計		6,876	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,876	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	新	コード	010702300	予算書ページ	24
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防係			
予算	款	3	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
目	1	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実	
		事業	3100106		包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	具体的な施策

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,510	22,717	11,358		11,358	12,077
前年度	58,660	23,171	11,585		11,585	12,319
増減額	1,150	454	227	0	227	242

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分		22,717					45,433
	5	県交付金(包括・任意)現年度分		11,358					
	8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分		11,358					

【目的・効果】
【目的】市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方が、できるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。
【効果】
 ・地域包括支援センターにおいて、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を行うことで、高齢者の方が、要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する東部地域包括支援センターは豊科総合支所内で直営で運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高健康支援センター内で委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷総合支所で委託でそれぞれ運営している。
 ・地域包括支援センターにおいては、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を実施する。
 ・3か所の地域包括支援センターが連携強化を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。
 ・地域包括支援センターの適切、公正、中立な運営の確保を目指すために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	310	介護支援専門員研修・権利擁護研修講師謝礼・地域包括支援センター運営協議会出席謝礼							
11	需用費	107	地域包括支援センターで使用する事務用品							
12	役務費	252	東部地域包括支援センター電話料・損害賠償保険料							
13	委託料	36,573	南部地域包括支援センター・北部地域包括支援センター委託料・介護保険制度改正対応システム改修の委託料							
14	使用料及び賃借料	266	北部地域包括支援センターパソコン・プリンター借上げ料							
19	負担金補助及び交付金	163	介護支援専門員研修・権利擁護研修等の負担金・団体定期保険料等							
上記の合計		37,671	職員の人件費合計	19,839	事業費総合計	57,510	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402100
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	3	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	任意事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100107	任意事業		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
15,404	15,384	20	6,084	3,042		3,042
			6,076	3,038		3,038
			8	4	0	4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分		6,084					12,168
	5	県交付金(包括・任意)現年度分		3,042					
	8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分		3,042					

【目的・効果】

【目的】 地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者に対して、必要な支援を行う。

【効果】 ・施設介護だけに頼らない在宅介護での継続が可能となる。

・成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・成年後見支援センター「かけはし」の運営の補助。
- ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。
- ・認知症を地域で理解し患者を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。

【一般財源増加理由】 対象者の増加見込による介護用品購入助成費の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	102	ケアプランチェック講師謝礼。認知症サポーター養成講座講師謝礼。				
11	需用費	107	認知症サポーター養成講座テキスト、DVD				
12	役務費	311	成年後見市長申立書類作成手数料。認知症サポーター養成講座資料郵送費。				
13	委託料	283	住宅改修相談作業療法士等への委託費。家族介護交流事業委託費。				
19	負担金補助及び交付金	4,890	成年後見センター運営委託補助				
20	扶助費	9,711	介護用品購入助成扶助。成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助。				
上記の合計		15,404	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,404	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	26
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702300
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防係	
重点項目番号	2	旧	コード	010402400
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護予防係	

予算	款	4	介護サービス事業費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防支援事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護予防支援事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100108	介護サービス事業費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,857				15,857	0
前年度	14,967				14,967	0
増減額	890	0	0	0	890	0

特定財源の内訳	款	6	介護予防サービス計画費	金額	15,857	合計金額	
	収入						15,857

【目的・効果】

【目的】直営の東部地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。

【効果】

- ・要支援者の状況・環境を勘案し介護予防サービス計画を作成することで、適切な介護予防サービスの利用をすることができる。
- ・指定介護予防支援業務を、適切な指定居宅介護支援事業者に委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・直営の東部地域包括支援センターが要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスの確保のために関係機関との連絡調整を行う。
- ・指定介護予防支援業務を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,945	介護支援専門員等臨時職員賃金				
13	委託料	10,912	指定介護予防支援業務の委託料				
上記の合計		15,857	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,857	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	26
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当	
重点項目番号	2	旧	コード	010402200
		部・課・係等	健康福祉部高齢者介護課介護保険係	

予算	款	6	公債費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	利子		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100120	一時借入金利子		具体的な施策	介護保険事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100				100	0
前年度	100				100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額	99	合計金額
		10	介護保険会計歳計現金利子	金額	1	

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付金支払いに際し国、県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

[一般財源増加理由]							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	100	一時借入金利子				
上記の合計		100	職員の人件費合計		0	事業費総合計	100 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	28
--------	----

重点項目番号	2	新	コード	010702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係	
旧		コード	010402100	
		部・課・係等	健康福祉部 高齢者介護課 高齢者福祉係	

予算	款	7	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1				1	0
前年度	1				1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	地域支援事業繰越金	1							

【目的・効果】

【目的】

・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰り越す為の科目設置。

【効果】

・年度内に給付額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成25年度の給付額確定後、負担金額を算出。決算後に繰越し、26年度に返還する。

【一般財源増加理由】 対象者の増加見込による介護用品購入助成費の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	地域支援事業国庫金返還金				

上記の合計 1 職員の人件費合計 0 事業費総合計 1 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

下水道事業特別会計

予算書ページ	16
--------	----

新	コード	011103100
	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
旧	コード	010803100
	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	一般管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	410009	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	344,850	国支出金	県支出金	市債	その他	87,157
前年度	347,246				340,746	6,500
増減額	2,396	400	0	0	83,453	80,657

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	公共下水道使用料	257,291	7	コピー等サービス料	1				
3	下水道事業費国庫補助金	400								
4	行政財産使用料	1								

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき、下水道接続に関する広報・啓発に努め、供用区域内の水洗化の普及を促進するとともに、下水道事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

・下水道事業の適正な事業運営。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・適切な時期による業務執行
- ・公営企業職員としての意識向上のため研修への受講参加
- ・下水道施設の維持管理を包括的に委託し適正な運営を図る
- ・上水道担当が委託する使用料徴収業務の一部を負担する

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	210	公共下水道事業運営審議会委員報酬	16	原材料費	602	井水メーター購入費(新規・取替)
9	旅費	838	職員研修講師旅費実費及び職員実務研修出張旅費	18	備品購入費	181	CADソフト購入費
11	需要費	2,858	下水道事業参考図書、コピー用紙等消耗品、公用車燃料代、使用料納入通知書等の印刷製本費、公用車修理費	19	負担金補助及び交付金	61,979	日本下水道協会等会費、研修負担金、退職手当負担金、水洗化ローン利子補給補助金等
12	役務費	7,873	下水道使用料・負担金郵便料、口座振替振込手数料、公用車車検及び公用車保険料	23	償還金、利子及び割引料	501	使用料過年度還付金等
13	委託料	129,031	施設管理委託料(公共処理施設・管路維持管理委託等)事務事業委託料(下水道台帳データ作成、企業会計移行)	25	積立金	921	下水道建設基金利子
14	使用料及び賃借料	2,251	下水道管理GISシステムリース料、コピー機賃借料、保守料等	27	公課費	85,062	公用車重量税及び下水道事業消費税
15	工事請負費	1,706	井水メータ取付、取替工事				
上記の合計		294,013	職員の人件費合計	50,837	事業費総合計	344,850	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・大規模地震等発生時においても下水道の機能を維持するための基本的検討を長野県と共に行い、その計画を策定する。
- ・企業会計システムを構築し、テストを繰り返し企業会計移行時から使用できるものとする。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	891	下水道事業継続計画(BCP)策定(大規模地震等震災時における下水道機能継続計画を県と共に策定する)
13	委託料	6,404	企業会計システム構築業務委託
合計		7,295	左記の特定財源

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備係
重点項目番号	4	旧	コード	010803200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	管渠への責任を果たすまち
	目	1	国庫補助事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100060	国庫補助事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
100,000	258,691	158,691	50,000		45,000	5,000
				0	70,400	18,291
						0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		1	3			8			
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)		5,000					100,000
	3	下水道事業費国庫補助金		50,000					
	8	下水道事業債		45,000					

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。

【効果】

・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・委託料
 牧離山地区の管渠実施設計を行い、平成27年度からの工事実施に備える。
- ・工事請負費
 島新田地区の下水道整備を行い、当地区の整備を完了させる。
 平成28年度整備完了を目指し、牧離山地区の下水道整備を行う。
- ・負担金
 下水道工事が完了した道路の舗装復旧負担金を道路管理者(建設課)に支出する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	8,000	牧離山地区管渠実施設計				
15	工事請負費	77,000	管渠工事(島新田地区、牧離山地区)及び占用路面本復旧工事				
19	負担金及び交付金	15,000	市道路面復旧負担金				
上記の合計		100,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備係
重点項目番号	4	旧	コード	010803200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	管渠への責任を果たすまち
	目	2	特定環境保全事業		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100110	特定環境保全事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
234,000	250,986	16,986	117,000		105,300	11,700
				0	10,500	3,486
						0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		1	3			8			
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)		11,700					234,000
	3	下水道事業費国庫補助金		117,000					
	8	下水道事業債		105,300					

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。

【効果】

・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・委託料
豊里地区の管渠実施設計を行い、平成27年度からの工事実施に備える。
- ・工事請負費
平成27年度整備完了を目指し、新屋地区の下水道整備を行う。
平成29年度整備完了を目指し、牧地区の下水道整備を行う。
- ・負担金
下水道工事が完了した道路の舗装復旧負担金を道路管理者(建設課)に支出する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	7,400	豊里地区管渠実施設計、下水道公社施工監理委託				
15	工事請負費	211,600	管渠工事(新屋地区、牧地区)及び占用路面本復旧工事				
19	負担金及び交付金	15,000	市道路面復旧負担金				
上記の合計		234,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	234,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備係
重点項目番号	4	旧	コード	010803200
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 下水道整備担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	管渠への責任を果たすまち
	目	4	流域下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100170	流域下水道事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	28,800	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	32,300			30,400	1,900	0
増減額	3,500	0	0	3,500	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	1,900							
8	下水道事業債	26,900								

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。

【効果】

・長野県が事業主体となり実施している犀川安曇野流域下水道の汚水処理施設の建設費の一部を負担することで、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

流域下水道事業費の国庫支出金を除く2分の1を松本市と下水道計画区域面積按分で負担する。

流域下水道事業費 = 国庫支出金(50%) + 県負担分(25%) + 流域下水道構成自治体負担金(松本市、安曇野市)(25%)
 流域下水道構成市町村負担金 = 松本市負担分(9.1%) + 安曇野市負担分(90.9%)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	28,800	流域下水道建設負担金				
上記の合計							
	28,800	職員の人件費合計	0	事業費総合計	28,800	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
	0	左記の特定財源	

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	
		旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	受益者負担金徴収費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100180	受益者負担金徴収費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,314					53,314
前年度	10,765				10,765	0
増減額	42,549	0	0	0	10,765	53,314

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・下水道事業受益者負担金の公平・公正、適格な賦課及び徴収。
 【効果】
 ・受益者負担の公平性を確保することができる。
 ・下水道事業の早期整備と適正な事業運営を行うことができる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・認可区域内整備地区への受益者負担金の賦課及び徴収。
 ・認可区域外流入に対応した受益者負担金の随時賦課及び徴収。
 ・農地等徴収猶予該当地の現地確認。
 ・徹底した滞納処分の執行。
 ・高齢者等に配慮し、非常勤職員による集金を実施します。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,912	滞納整理職員及び臨時職員賃金	23	償還金、利子及び割引料	322	受益者負担金過誤納付金・還付加算金
8	報償費	5,180	受益者負担金前納報奨制度による報奨金				
11	需要費	313	下水道事業負担金納入通知書等の印刷製本費				
12	役務費	100	下水道使用料・負担金口座振替振込手数料				
13	委託料	260	下水道受益者負担金システム保守委託料				
14	使用料及び賃借料	674	下水道受益者負担金システム使用料				
19	負担金補助及び交付金	3,664	退職手当負担金、職員互助会負担金				
上記の合計		14,425	職員の人件費合計	38,889	事業費総合計	53,314	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	22
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
重点項目番号	4	旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	下水道維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100240	下水道維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	737,493				712,493	25,000
前年度	692,218				692,218	0
増減額	45,275	0	0	0	20,275	25,000

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	2	公共下水道使用料(現年度分)		712,459					712,493
	7	流域下水道事業関連事務費負担金		34					

【目的・効果】
【目的】
 ・衛生的で快適な生活環境の実現のため、下水道施設の適正な事業運営・維持管理を行う。
【効果】
 ・流域関連の下水を処理する長野県に対し維持管理経費を負担するで、下水道事業の適正な事業運営、下水道施設の適正な維持管理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・県が管理する流域下水道の維持管理費の一部を負担する。(年6回払い)
 ・明科浄化センターの汚泥処理を委託する。
 ・マンホール周辺の陥没等を補修する。

[一般財源増加理由] 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	712	ファイル等消耗品、公用車燃料代及び公共樹破損修理				
12	役務費	66	電信電話料(携帯電話使用料)				
13	委託料	6,906	水質検査及び汚泥処分委託料				
14	使用料及び賃借料	55	借地料(JR東日本用地)				
15	工事請負費	9,450	管路等維持工事(公共マス設置等)				
16	原材料費	1,089	補修用原材料				
19	負担金及び交付金	719,215	犀川安曇野流域下水道維持管理負担金				
上記の合計		737,493	職員の人件費合計	事業費総合計		737,493	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
			部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
		旧	コード	010803100
			部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100300	下水道事業債償還元金		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,914,231				124,086	1,790,145
前年度	1,832,447				72,079	1,760,368
増減額	81,784	0	0	0	52,007	29,777

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	89,714	1	区域外流入負担金(滞納繰越分)	172				
1	公共下水道事業受益者負担金(滞納繰越分)	30,000								
1	区域外流入負担金(現年度分)	4,200								

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき整備した、下水道施設の建設に充当した下水道事業債の元金の償還をする。

【効果】

・健全な財政運営

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に下水道建設のため借り入れた下水道事業債の元金の償還をする。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1,914,231	公共下水道に伴う起債元金の償還				

上記の合計	1,914,231	職員の人件費合計		事業費総合計	1,914,231	OK
-------	-----------	----------	--	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	
旧		コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100320	下水道事業債償還利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	777,023				614,186	162,837
前年度	810,608				468,460	342,148
増減額	33,585	0	0	0	145,726	179,311

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	公共下水道使用料(現年度分)	604,175	2	受益者負担金督促手数料	100	7	延滞金	10	
2	公共下水道使用料(滞納繰越分)	8,000	2	下水道使用料督促手数料	480	7	受益者協力金	1		
2	指定工事店指定手数料	500	4	下水道建設基金利子	920					

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき整備した、下水道施設の建設に充当した下水道事業債の利子の償還をする。

【効果】

・健全な財政運営

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に下水道建設のため借り入れた下水道事業債の利子の償還をする。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	777,023	公共下水道に伴う起債利子の償還				

上記の合計	777,023	職員の人件費合計		事業費総合計	777,023	OK
-------	---------	----------	--	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

新	コード	011103100
	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
旧	コード	010803100
	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

重点項目番号	4
--------	---

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100340	一時借入金利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600				600	0
前年度	1,200				1,200	0
増減額	600	0	0	0	600	0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	2	排水設備等確認申請手数料		600									600

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき、下水道施設の整備を推進するとともに下水道接続に関する広報・啓発に努め、供用区域内の水洗化の普及を促進する。また下水道事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

・下水道事業の適正な事業運営。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道事業推進のため一時借入資金の利子。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	600	一時借入金利子				

上記の合計	600	職員の人件費合計		事業費総合計	600	OK
-------	-----	----------	--	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
		旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	予備費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100350	予備費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,500					4,500
前年度	4,500					4,500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき、下水道施設の整備を推進するとともに下水道接続に関する広報・啓発に努め、供用区域内の水洗化の普及を促進する。また下水道事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

・下水道事業の適正な事業運営。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道事業推進のための予備費に前年度繰越金を充てる。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	4,500	予備費				
上記の合計		4,500	職員の人件費合計	事業費総合計		4,500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

農業集落排水事業特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
重点項目番号	4	旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200010	施設維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
本年度	50,379	国支出金	県支出金	市債	その他
前年度	48,937				47,574
増減額	1,442	0	0	0	45,526
					3,411
					606

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	下水道使用料(現年度分)	47,442	2	排水設備確認手数料	10				
2	下水道使用料(滞納繰越分)	100	5	延滞金	1					
2	督促手数料	20	5	行政財産使用料	1					

【目的・効果】

【目的】

・明科地域の農業集落排水事業計画に基づき、設置した処理施設の適正な維持管理を図る。

【効果】

- ・生活環境の向上
- ・公共用水域の水質保全

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道施設を包括的に維持管理委託し適正な維持管理を図る。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	196	印刷製本、移動脱水車修繕	27	公課費	33	移動脱水車重量税
12	役務費	331	下水道使用料・負担金郵便料、口座振替振込手数料、移動脱水車車検及び保険料				
13	委託料	49,199	農業集落排水施設維持管理委託、施設広域監視業務委託				
15	工事請負費	540	陥没箇所補修、検満メータ取り換え				
16	原材料費	9	検満メータ購入				
19	負担金補助及び交付金	20	地域資源循環技術センター負担金				
23	償還金、利子及び割引料	51	還付金				
上記の合計		50,379	職員の人件費合計	事業費総合計		50,379	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
重点項目番号	4	旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200020	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	802	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	769					0
増減額	33	0	0	0	33	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	下水道使用料(現年度分)	701							
6	農業集落排水事業建設基金利子	101								

【目的・効果】
【目的】
 ・農業集落排水事業建設基金の適正運用
【効果】
 ・農業集落排水事業の適正運営

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市の基金を一括して定期預金や国債等で合同運用する。
 ・消費税申告を適正に行い納付する。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	102	農業集落排水事業建設基金利子				
27	公課費	700	消費税簡易課税				

上記の合計	802	職員の人件費合計		事業費総合計	802	OK
-------	-----	----------	--	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
重点項目番号	4	旧	コード	010803100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200040	元金		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	103,716	国支出金	県支出金	市債	その他	103,426
前年度	101,077				290	100,835
増減額	2,639	0	0	0	48	2,591

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受益者分担金(現年度分)	280							
1	受益者分担金(滞納繰越分)	10								

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき整備した、下水道施設の建設に充当した下水道事業債の元金の償還をする。

【効果】

・健全な財政運営

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に下水道建設のため借り入れた下水道事業債の元金の償還をする。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	103,716					

上記の合計 103,716 職員の人件費合計 事業費総合計 103,716 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
旧		コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当	

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200030	利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	38,851	国支出金	県支出金	市債	その他	38,851
前年度	41,490					41,490
増減額	2,639	0	0	0	0	2,639

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業計画に基づき整備した、下水道施設の建設に充当した下水道事業債の利子の償還をする。
【効果】
 ・健全な財政運営

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に下水道建設のため借り入れた下水道事業債の利子の償還をする。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	38,851	償還金利子				

上記の合計	38,851	職員の人件費合計		事業費総合計	38,851	OK
-------	--------	----------	--	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	新	コード	011103100
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当
旧		コード	010803100	
		部・課・係等	上下水道部	下水道課 維持管理担当

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200050	予備費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	300					300
前年度	300					300
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業計画に基づき、下水道接続に関する広報・啓発に努め、供用区域内の水洗化の普及を促進する。また下水道事業の健全な財政運営を図る。
【効果】
 ・下水道事業の適正な事業運営。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道事業推進のための予備費に前年度繰越金を充てる。

【一般財源増加理由】 公営企業法適用に向けて、下水道事業特別会計における事業費についての財源内訳を見直した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	300	予備費				

上記の合計	300	職員の人件費合計		事業費総合計	300	OK
-------	-----	----------	--	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市上川手財産区特別会計

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200	予算書ページ	10
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
					項	1
事業	5100010	1	管理委員会費	画	基本施策	林業の振興
					目	1
			上川手山林財産区 管理委員会費		単位:千円	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	371					371
前年度	88					88
増減額	283	0	0	0	0	283

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・先進地における森林事業状況、木材生産の拡大に向け、公共建築物等における木材利用の拡大に向けた取り組みの強化するために視察研修を実施する。

【一般財源増加理由】 視察研修会を行うため増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	98	管理会の委員報酬				
09	旅費	148	視察研修会旅費				
11	需用費	20	視察研修会燃料費				
13	委託料	70	大型バス運転業務				
14	使用料及び賃借料	35	有料道路使用料				
上記の合計		371	職員の人件費合計	0	事業費総合計	371	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 先進地における森林事業状況、木材生産の拡大に向け、公共建築物等における木材利用の拡大に向けた取り組みの強化するために視察研修を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
09	旅費	148	視察研修会旅費
11	需用費	20	視察研修会燃料費
13	委託料	70	大型バス運転業務
14	使用料及び賃借料	35	有料道路使用料
合計		273	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200	予算書ページ	10
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		
予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
事業	目	2	一般管理費	画	基本施策	林業の振興
	事業	5100020	上川手山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	309				250	59
前年度	268					268
増減額	41	0	0	0	250	209

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	上川手山林財産区基金	250							
									250	

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・山林財産区内に点在する個人所有地の権利解消を図る。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	160	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	5	郵便料				
22	補償補填及び賠償金	100	権利解消補償金(2名分)				
25	積立金	34	基金利子				
上記の合計		309	職員の人件費合計	0	事業費総合計	309	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
		旧	コード	010502200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	事業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費	基本施策	林業の振興	
	事業	5100040	上川手山林財産区 造林費	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	998					998
前年度	1,000					1,000
増減額	2	0	0	0	0	2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・森林整備 間伐・下刈業務委託
 ・森林の公益的機能を発揮するため、除伐・間伐・下刈等を実施し健全な森林を保全する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	998	除伐・間伐等業務委託								
上記の合計		998	職員の人件費合計	0	事業費総合計	998	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市北の沢財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
		旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200010	北の沢山林財産区 一般管理費	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	262				1	261
前年度	201				1	200
増減額	61	0	0	0	0	61

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	立木売却収入		1						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議
 ・水源林造林協議会等に係る事業への参加
 ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】 育樹祭・特用林業振興会等に係る報酬・旅費・負担金補助及び交付金増									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	80	管理会・育樹祭に係る報酬						
09	旅費	6	水源林造林協議会研修会						
10	交際費	10	慶弔費						
11	需用費	63	消耗品費、食糧費、印刷製本費						
12	役務費	5	郵便料						
19	負担金補助及び交付金	48	水源林造林協議会等負担金						
25	積立金	50	基金積立金利子						
上記の合計		262	職員の人件費合計	0	事業費総合計	262	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
旧		コード	010502200	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200020	北の沢山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	413					413
前年度	143					143
増減額	270	0	0	0	0	270

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び傷害保険料
 ・山林財産区内の森林整備(つる切り、間伐作業)

【一般財源増加理由】		森林整備(つる切り、間伐作業)業務委託増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	74	現地踏査謝礼								
11	需用費	25	消耗品費、燃料費、食糧費								
12	役務費	314	森林整備(つる切り・間伐等)、役員の傷害保険								
上記の合計		413	職員の人件費合計	0	事業費総合計	413	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・森林の公益的機能を発揮するため、つる切り・間伐等を実施し健全な森林を保全する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
12	役務費	300	森林整備(つる切り・間伐等)	
合計		300	左記の特定財源	

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200	予算書ページ	10
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		
		旧	コード	010502200		
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		

予算	款	2	事業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5200050	北の沢山林財産区 公団分収造林費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2				2	0
前年度	20					20
増減額	18	0	0	0	2	20

特定財源の内訳	款	04	森林総合研究所負担金	金額	2	合計金額	2

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・分収造林契約した森林整備に係る間伐・下刈業務委託費

【参考】分収造林契約は、森林所有者(北の沢山林財産区)と独立法人 森林総合研究所の2者で分収林契約を結び、裾枝払・除伐・保育間伐等を行ったのち、成育木を伐採しその収益を分け合う森林業務です。(山林財産区内に3か所・142haの契約)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1	消耗品費					
12	役務費	1	間伐・下刈等の業務委託					
上記の合計		2	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市有明山財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
		旧	コード	010502200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	有明山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	258					258
前年度	212					212
増減額	46	0	0	0	0	46

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積316haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
- ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】 消耗品費及び基金積立金利子の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	76	管理会・育樹祭に係る報酬				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	72	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	4	郵便料				
25	積立金	96	基金積立金利子				
上記の合計		258	職員の人件費合計	0	事業費総合計	258	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市富士尾沢財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	富士尾沢山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特産林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	148					148
前年度	153					153
増減額	5	0	0	0	0	5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
 ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理会・育樹祭に係る報酬								
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	63	消耗品費、食糧費、印刷製本費								
12	役務費	4	郵便料								
25	積立金	8	基金積立金利子								
上記の合計		148	職員の人件費合計	0	事業費総合計	148	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
旧		コード	010502200	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400020	富士尾沢山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	533					533
前年度	133					133
増減額	400	0	0	0	0	400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び障害保険料
 ・山林財産区内の森林整備(除伐、間伐、つる切り作業)業務委託

【一般財源増加理由】		森林整備(つる切り、間伐作業)業務委託増					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	94	現地踏査謝礼				
11	需用費	25	消耗品費、燃料費、食糧費				
12	役務費	414	森林整備(除伐・間伐等)、役員の傷害保険				
上記の合計		533	職員の人件費合計	0	事業費総合計	533	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・森林の公益的機能を発揮するため、除伐・間伐等を実施し健全な森林を保全する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	400	森林整備(除伐・間伐等)
合計		400	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
		旧	コード	010502200
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	富士尾沢山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特産林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
748	606	142	0	0	0	0
						748
						606
						142

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・富士尾沢山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	748	予備費								
上記の合計		748	職員の人件費合計	0	事業費総合計	748	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市穂高山林財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	
重点項目番号	4-3	旧	コード	010502200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当	

予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	穂高山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	146					146
前年度	151					151
増減額	5	0	0	0	0	5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
 ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理会・育樹祭に係る報酬								
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	63	消耗品費、食糧費、印刷製本費								
12	役務費	4	郵便料								
25	積立金	6	基金積立金利子								
上記の合計		146	職員の人件費合計	0	事業費総合計	146	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	新	コード	010802200	予算書ページ	10
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		
		旧	コード	010502200		
			部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500020	穂高山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	485					485
前年度	134					134
増減額	351	0	0	0	0	351

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び傷害保険料
 ・山林財産区内の森林整備(除伐、間伐、つる切り作業)

【一般財源増加理由】		森林整備事業を組み入れたため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	49	現地踏査謝礼								
11	需用費	22	消耗品費、食糧費								
12	役務費	414	森林整備(除伐・間伐等)、役員の傷害保険料								
上記の合計		485	職員の人件費合計	0	事業費総合計	485	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・森林の公益的機能を発揮するため、除伐・間伐等を実施し健全な森林を保全する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
12	役務費	400	森林整備(除伐・間伐等)	
合計		400	左記の特定財源	

重点項目番号 **4-3**

新	コード	010802200
	部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当
旧	コード	010502200
	部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	穂高山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	673					673
前年度	585					585
増減額	88	0	0	0	0	88

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
29	予備費	673	予備費								
上記の合計		673	職員の人件費合計	0	事業費総合計	673	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

産業団地造成事業特別会計

重点項目番号	1-1	新	コード	010901200	部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興係	予算書ページ	10
		旧	コード	010601200		商工観光部商工労政課工業振興担当		
予算	款	1	産業団地事業費		総合計画	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちの形成	
	項	1	産業団地事業費			主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち	
	目	1	産業団地事業費			基本施策	2 工業の振興	
	事業	6100010	産業団地建設事業			具体的な施策	生産基盤の整備	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	99,058				99,058	0
前年度	99,155				99,155	0
増減額	97	0	0	0	97	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	1	土地売却収入		98,408					99,058
	2	一般会計繰入金		649					
	3	前年度繰越金		1					

【目的・効果】
目的
 ・あづみ野産業団地分譲地残り1区画の売却。
 ・東京、名古屋、大阪の各長野県事務所や企業を訪問し要望調査や、誘致の可能性のある企業の掘り起こしをし、新産業団地建設に向けた検討を行う。
効果
 企業誘致によって地元雇用が生まれ、地域の活性化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・あづみ野産業団地分譲地残り1区画の売却
 ・東京、名古屋、大阪の各長野県事務所や企業を訪問し、誘致の可能性のある企業の掘り起こしや、新産業団地建設に向けた要望調査を行う

[一般財源増加理由]										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	58	企業誘致土産 30	分譲企業選考委員会出席謝礼 28	19	負担金補助及び交付金	35	あづみ野産業団地案内看板設置負担金		
9	旅費	195	企業誘致関係							
11	需用費	143	事務用品 50	産業団地看板書換 50						
			決算書・予算書印刷 43							
12	役務費	108	事業用地ナビ掲載広告料							
13	委託料	81	産業団地緑地除草外							
14	使用料及び賃借料	30	都内等駐車場使用料							
17	公有財産購入費	98,408	あづみ野産業団地用地購入費							
上記の合計		99,058	職員の人件費合計	0	事業費総合計		99,058	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

観光宿泊施設事業特別会計

重点項目番号	1-4	新	コード	010902300	予算書ページ	10
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	1	観光宿泊施設事業費	合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
事業	7100001	観光宿泊施設管理費	目	1	基本施策	観光の振興

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	28,617	国支出金	県支出金	市債	その他	1,935
前年度	0				0	0
増減額	28,617	0	0	0	26,682	1,935

特定財源の内訳	款	1	観光宿泊施設維持管理	金額	18,972	合計金額
	2	有明荘外施設使用料	金額	7,710		
					26,682	

【目的・効果】
【目的】 市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備するとともに、市民に憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大及び市民の福祉の向上を図る。
【効果】 観光宿泊施設の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延伸を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・しゃくなげ荘、有明荘、大天荘、長峰荘の維持管理を行なう。
 ・有明荘は維持管理のほか、大規模改修の時期が到来しているため、年次計画の作成に先立ち耐震診断を実施する。
 しゃくなげ荘 建築(昭和48年)、延床面積(2,226.00㎡)、構造(鉄筋コンクリート造)、施設概要(本館)
 有明荘 建築(昭和53年)、延床面積(1,732.37㎡)、構造(鉄骨造)、施設概要(本館、新館、入浴棟、貯湯舎、資材庫)
 大天荘 建築(昭和33年)、延床面積(517.57㎡)、構造(木造)、施設概要(本館、新館、冬期小屋、外便所)
 長峰荘 建築(昭和46年)、延床面積(1,452.23㎡)、構造(木造)、施設概要(本館、新館)

【一般財源増加理由】		新規事業による皆増。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需要費	1,023	施設小破修繕		27	公課費	12	自動車重量税	
12	役務費	407	建築基準法建物調査						
13	委託料	4,049	有明荘耐震診断他						
14	使用料及び賃借料	4,743	長峰荘車両借上、土地借地料(有明荘、大天荘)他						
15	工事請負費	2,138	有明荘木製浴槽漏水修繕他						
18	備品購入費	3,753	有明荘テーブル						
19	負担金補助及び交付金	12,492	しゃくなげ荘温泉利用負担金						
上記の合計		28,617	職員の人件費合計	0	事業費総合計	28,617	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・有明荘の中央棟は昭和53年の建築であり、旧耐震基準の建築物のため耐震診断の必要性がある。また、施設の老朽化に伴い改修の時期が到来しており、年次計画により改修を進める必要がある。本年度は耐震診断、浴槽漏水修繕、食堂テーブル購入のための費用を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	3,995	有明荘耐震診断	
15	工事請負費	1,903	有明荘木製浴槽漏水修繕	
18	備品購入費	3,753	有明荘食堂テーブル	
合計		9,651	左記の特定財源	有明荘外施設使用料(有明荘、大天荘、長峰荘) 7,710千円